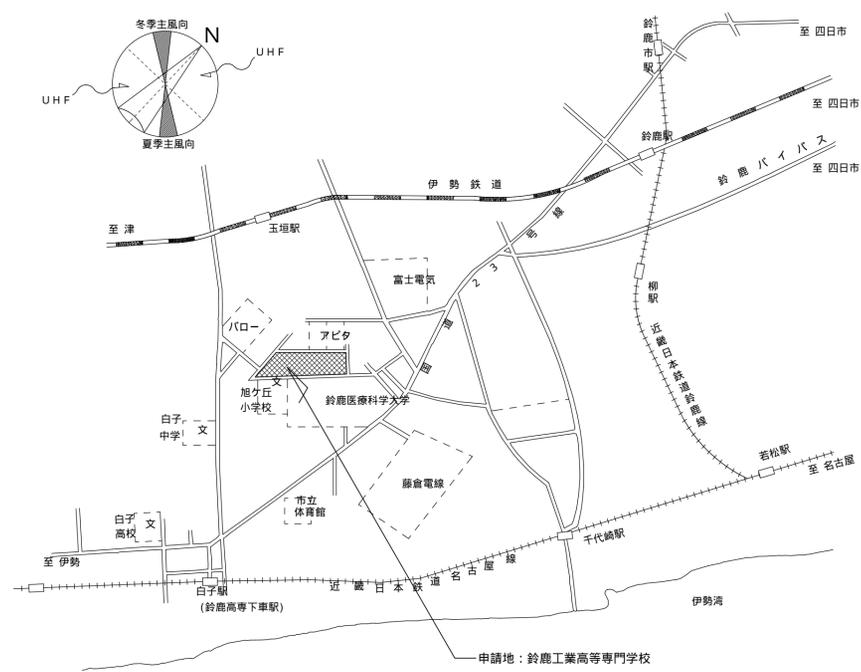


鈴鹿工業高専機械工学科棟改修その他工事

平成25年 7月

建築											
図面番号	図面名称		縮尺	図面番号	図面名称		縮尺	図面番号	図面名称		縮尺
01	共-01	表紙, 図面リスト	-	31	A-25	改修前後 1階展開図(7)	1/50	60	S-01	改修前 基礎伏図	1/100
02	共-02	案内図, 配置図	1/1,000	32	A-26	改修前後 1階展開図(8)	1/50	61	S-02	改修前 2階梁伏図	1/100
03	特-01	建築改修工事特記仕様書(1)	-	33	A-27	改修前後 1階展開図(9)	1/50	62	S-03	改修前 R階梁伏図	1/100
04	特-02	建築改修工事特記仕様書(2)	-	34	A-28	改修前後 1階展開図(10)	1/50	63	S-04	改修後 基礎伏図	1/100
05	特-03	建築改修工事特記仕様書(3)	-	35	A-29	改修前後 2階平面詳細図(1)	1/50	64	S-05	改修後 2階梁伏図	1/100
06	特-04	建築改修工事特記仕様書(4)	-	36	A-30	改修前後 2階平面詳細図(2)	1/50	65	S-06	改修後 R階梁伏図	1/100
07	A-01	外部・内部仕上表(1)	-	37	A-31	改修前後 2階平面詳細図(3)	1/50	66	S-07	改修前 軸組図-1	1/100
08	A-02	内部仕上表(2)	-	38	A-32	改修前後 2階平面詳細図(4)	1/50	67	S-08	改修前 軸組図-2	1/100
09	A-03	改修前 1階平面図	1/100	39	A-33	改修前後 2階展開図(1)	1/50	68	S-09	改修後 軸組図-1	1/100
10	A-04	改修後 1階平面図	1/100	40	A-34	改修前後 2階展開図(2)	1/50	69	S-10	改修後 軸組図-2	1/100
11	A-05	改修前 2階平面図	1/100	41	A-35	改修前後 2階展開図(3)	1/50	70	S-11	改修前 軸組図-3	1/100
12	A-06	改修後 2階平面図	1/100	42	A-36	改修前後 2階展開図(4)	1/50	71	S-12	改修後 軸組図-3	1/100
13	A-07	改修前 R階平面図	1/100	43	A-37	改修前後 2階展開図(5)	1/50	72	S-13	枠付鉄骨ブレース取付要領図	1/10・15・30
14	A-08	改修後 R階平面図	1/100	44	A-38	改修前後 2階展開図(6)	1/50	73	S-14	枠付鉄骨ブレース架構詳細図	1/30
15	A-09	改修前 南・東側立面図	1/100	45	A-39	改修前後 2階展開図(7)	1/50	74	S-15	雑 詳細図	1/20・30
16	A-10	改修後 南・東側立面図	1/100	46	A-40	改修前後 1階天井伏図	1/200	75	S-16	炭素繊維シート接着工法標準仕様書	-
17	A-11	改修前 北・西側立面図	1/100	47	A-41	改修前後 2階天井伏図	1/200	76	S-17	SR-CF工法特記仕様書	-
18	A-12	改修後 北・西側立面図	1/100	48	A-42	改修前 建具表	1/100	77	S-18	大梁補強詳細図	1/10・60
19	A-13	改修前後 矩計図・屋外階段詳細図	1/50	49	A-43	新設・改修建具表(1)	1/100				
20	A-14	改修前後 屋内階段詳細図	1/50	50	A-44	新設・改修建具表(2)	1/100				
21	A-15	改修前後 1階平面詳細図(1)	1/50	51	A-45	アルミ建具詳細図	1/5				
22	A-16	改修前後 1階平面詳細図(2)	1/50	52	A-46	平面ホワイトボード 詳細図	1/2・1/10				
23	A-17	改修前後 1階平面詳細図(3)	1/50	53	A-47	平面ホワイトボード+掲示板, 掲示板 詳細図	1/2・1/10				
24	A-18	改修前後 1階平面詳細図(4)	1/50	54	A-48	スライド黒板 詳細図	1/2・1/10				
25	A-19	改修前後 1階展開図(1)	1/50	55	A-49	部分詳細図(1)	1/10				
26	A-20	改修前後 1階展開図(2)	1/50	56	A-50	部分詳細図(2)	1/10				
27	A-21	改修前後 1階展開図(3)	1/50	57	A-51	部分詳細図(3)・撤去詳細図	1/20・1/30・1/50				
28	A-22	改修前後 1階展開図(4)	1/50	58	A-52	改修前後 外構配置図	1/200				
29	A-23	改修前後 1階展開図(5)	1/50	59	A-53	外構詳細図	1/10				
30	A-24	改修前後 1階展開図(6)	1/50								

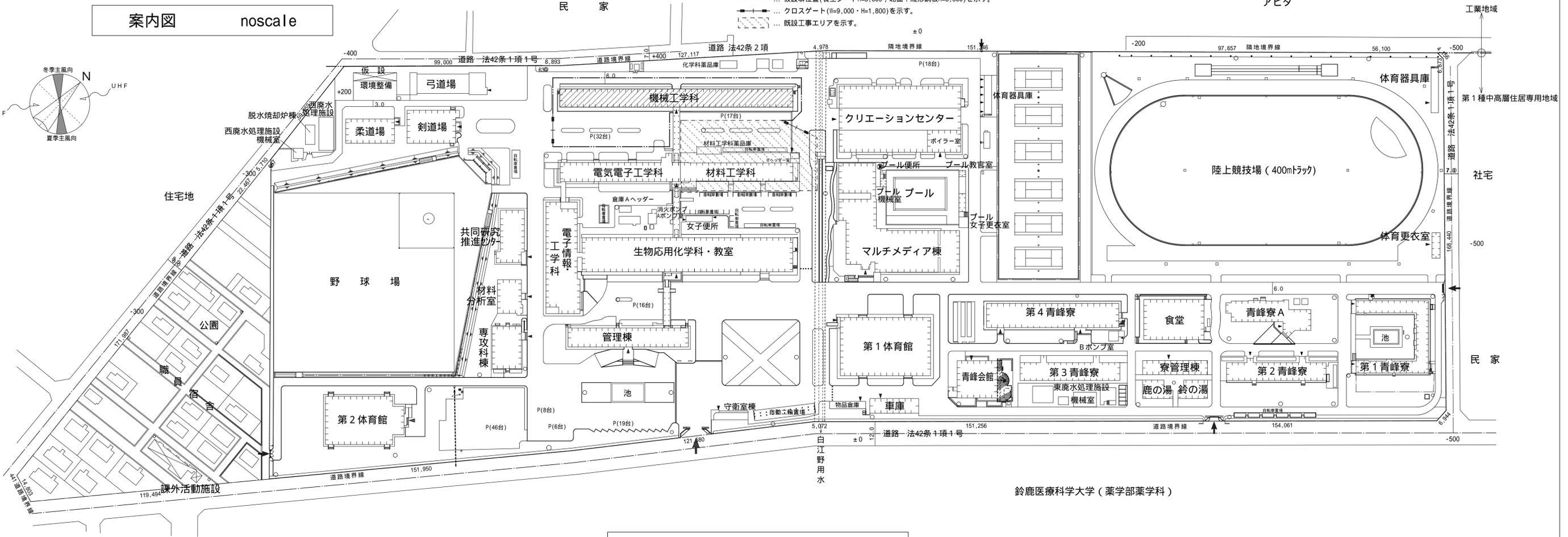
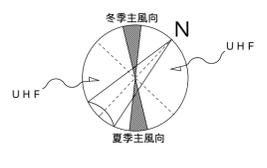
記 事	業務名		鈴鹿工業高専機械工学科棟改修設計等業務				鈴鹿工業高等専門学校				工事名称	日付	総数
	株式会社 総企画設計 管理建築士 一級建築士(大臣)第270315号 犬飼 和行		棟	担	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担	当	鈴鹿工業高専機械工学科棟改修その他工事	平成25年7月	01/77
											図面名称	縮尺	番号
											表紙、図面リスト	1/-	共-01



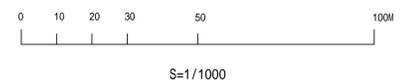
案内図 noscale

- 本工事建物
- 既設建物

- 凡例
- 仮設場位置(養生シートH=3,000,北面:成形鋼板H=3,000)を示す。
 - クロスゲート(W=9,000・H=1,800)を示す。
 - 既設工事エリアを示す。



配置図 S=1/1000



記事	業務名	鈴鹿工業高専機械工学科棟改修設計等業務				鈴鹿工業高等専門学校	工事名称	鈴鹿工業高専機械工学科棟改修その他工事	日付	平成25年7月	総数	02/77		
	株式会社 総企画設計	管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行	校図	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	図面名称	案内図, 配置図	縮尺	1/1,000	番号

A3版の場合は50%縮尺とする

建築改修工事特記仕様書	
工事概要	
工事名称	鈴鹿工業高専機械工学科棟改修その他工事
工事場所	三重県鈴鹿市白子町(鈴鹿工業高等専門学校構内)
完成期限	平成26年 3月 7日(金)
工事の種類・規模等	
棟名称	機械工学科棟
工種	模様替
構造・階数	R 2
建築面積	(1,184.45) m ²
延べ面積	(2,117.11) m ²
改修延べ面積	2,117.11 m ²
延べ面積計	- m ²
改修延べ面積計	2,117.11 m ²
模様替内容	耐震改修
	外部改修
	内部改修
	屋根改修
	建具改修
塗装改修	
工作物等	
一般特記事項	
総則	<p>1. この工事の請負者は、独立行政法人国立高等専門学校機構発注工事請負等規則別記第1号の工事請負契約基準、現場説明書、特記仕様書 4枚、図面 73枚、公共建築工事標準仕様書(統一基準)(建築工事編)(平成25年版)、文部科学省建築工事標準仕様書(特記基準)(平成25年版)、公共建築改修工事標準仕様書(統一基準)(建築工事編)(平成25年版)、文部科学省建築改修工事標準仕様書(特記基準)(平成25年版)及び工事写真撮影要領に基づき工事を施工する。</p> <p>2. 特記仕様書の適用方法</p> <p>(1) ・印で始まる事項及び表中の・印の事項は、印の付した事項のみ適用する。</p> <p>(2) _____で抹消した章及び項目の当該特記事項は、すべて適用しない。</p> <p>(3) 表中の数字、文字又は記号を記入する事項は、記入してある事項のみ適用する。</p> <p>(4) 特記された材料、製造所、製品名、施工業者等の取扱い、特記されたもの又は同等品以上のものとする。ただし、同等以上のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。</p> <p>(5) 左欄の()、(())内の数値は、下記の各該当番号を示す。 左欄の《 》内の数値は、下記の各該当番号を示す。 () - 公共建築工事標準仕様書(統一基準)(建築工事編)(平成25年版) (()) - 文部科学省建築工事標準仕様書(特記基準)(平成25年版) 《 》 - 公共建築改修工事標準仕様書(統一基準)(建築工事編)(平成25年版) 《 》 - 文部科学省建築改修工事標準仕様書(特記基準)(平成25年版)</p>
建築基準法に基づき定められた区分等	建築基準法に基づき定められた区分等 風速 $V_0 = \frac{3.4}{s} \cdot s$ 積雪区分 告示第1455号 別表(32)

1章 一般共通事項																					
<1.2.1> 実施工程表	概成工期 平成26年 2月14日(金)																				
<1.3.3> 電気保安技術者	この工事現場に下記いずれかの電気保安技術者及び、工用電力設備の保安責任者を選任する。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目名</th> <th>電気保安技術者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 第3種電気主任技術者以上の資格を有する者</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>2 1級電気工事工事施工管理技士の資格を有する者</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>3 高等学校又はこれらと同等以上の教育施設において、電気事業法の規定に基づく主任技術者の資格等に関する省令第7条第1項各号の科目を修めて卒業した者</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>4 旧電気工事技術者検定規定規則による高圧電気工事技術者の検定に合格した者</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>5 公益事業局長又は通商産業局長の指定を受けた高圧試験に合格した者</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>6 第1種電気工事士の資格を有する者</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>7 2級電気工事工事施工管理技士の資格を有する者</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8 第2種電気工事士(旧電気工事士)以上の資格を有する者</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9 短期大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上の教育施設の電気工学以外の工学に関する学科において一般電気工学(実験を含む)に関する科目を修めて卒業した者</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目名	電気保安技術者	1 第3種電気主任技術者以上の資格を有する者	○	2 1級電気工事工事施工管理技士の資格を有する者	○	3 高等学校又はこれらと同等以上の教育施設において、電気事業法の規定に基づく主任技術者の資格等に関する省令第7条第1項各号の科目を修めて卒業した者	○	4 旧電気工事技術者検定規定規則による高圧電気工事技術者の検定に合格した者	○	5 公益事業局長又は通商産業局長の指定を受けた高圧試験に合格した者	○	6 第1種電気工事士の資格を有する者	○	7 2級電気工事工事施工管理技士の資格を有する者		8 第2種電気工事士(旧電気工事士)以上の資格を有する者		9 短期大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上の教育施設の電気工学以外の工学に関する学科において一般電気工学(実験を含む)に関する科目を修めて卒業した者	
項目名	電気保安技術者																				
1 第3種電気主任技術者以上の資格を有する者	○																				
2 1級電気工事工事施工管理技士の資格を有する者	○																				
3 高等学校又はこれらと同等以上の教育施設において、電気事業法の規定に基づく主任技術者の資格等に関する省令第7条第1項各号の科目を修めて卒業した者	○																				
4 旧電気工事技術者検定規定規則による高圧電気工事技術者の検定に合格した者	○																				
5 公益事業局長又は通商産業局長の指定を受けた高圧試験に合格した者	○																				
6 第1種電気工事士の資格を有する者	○																				
7 2級電気工事工事施工管理技士の資格を有する者																					
8 第2種電気工事士(旧電気工事士)以上の資格を有する者																					
9 短期大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上の教育施設の電気工学以外の工学に関する学科において一般電気工学(実験を含む)に関する科目を修めて卒業した者																					
<1.3.4> 工用電力設備の保安責任者	この工事現場には、下記の資格を有する工用電力設備の保安責任者を選任する。 第3種電気主任技術者以上の資格を有すること																				
<1.3.5> 施工条件	この工事現場では、次の施工条件による。 休日等に工事を行う場合は事前に監督職員に連絡の上、下記時間帯に施工すること 休日等の施工可能時間：午前9:00～午後6:00まで																				
<1.3.8> 発生材の処理等	引渡しを要するもの 1) 品名 _____ 2) 引渡し先 _____ 3) 集積場所 _____																				
<1.3.11> 施工中の環境保全等	特別管理産業廃棄物 1) 品名 _____ 2) 処理方法 _____																				
低騒音型・低振動型建設機械の使用	現場において再利用を図るもの 1) 品名 _____ 2) 使用箇所 _____																				
排出ガス対策型建設機械	再資源化を図るもの 1) 品名 _____ 2) 受入場所 _____ 3) 搬出に先立ち搬出計画書を作成し、監督職員に提出する。 4) 日々の搬出量等を取りまとめた土砂等搬出調査書を作成し、監督職員に提出する。 5) 工事発注後に明らかになった事情により、上記の指定によりがたい場合は、監督職員と協議する。																				
	関係法令に従い適切に処分するもの 1) 品名 _____ 2) 受入場所 _____ 3) 搬出に先立ち搬出計画書を作成し、監督職員に提出する。 4) 日々の搬出量等を取りまとめた土砂等搬出調査書を作成し、監督職員に提出する。 5) 工事発注後に明らかになった事情により、上記の指定によりがたい場合は、監督職員と協議する。																				
	本工事においては「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関わる規程」(平成9年7月31日 建設省告示第1536号)に基づき国土交通大臣が型式指定を行った低騒音型・低振動型建設機械を使用するものとする。ただしこれにより難しい場合は、監督職員と協議の上、必要書類を提出するものとする。 低騒音型建設機械を使用する場合、現場代理人は施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督職員に提出するものとする。																				
	本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は、「特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律」(平成17年法律第51号)に基づき技術基準に適合する機械、または、「排出ガス対策型建設機械指定要領」(平成3年10月8日付け建設省経機発第249号)、「排出ガス対策型建設機械の普及促進に関する規定」(平成18年3月17日国土交通省告示第348号)もしくは「第3次排出ガス対策型建設機械指定要領」(平成18年3月17日付け国総施第215号)に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。排出ガス対策型建設機械を使用出来ない場合は、平成7年度建設技術評価制度公募課題「建設機器の排出ガス浄化装置の開発」、またはこれと同等の開発目標で実施された民間開発建設技術の技術審査・証明事業、もしくは建設技術審査証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着することで、排出ガス対策型機械と同等とみなす。ただし、これにより難しい場合は、監督職員と協議するものとする。																				

	排出ガス対策型建設機械、又は排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、現場代理人は、施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督職員に提出するものとする。																																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ</td> <td>ディーゼルエンジン(エンジン出力8kW以上、</td> </tr> <tr> <td>ホイールローダ</td> <td>60kW以下)を搭載したものに限る。</td> </tr> <tr> <td>ブルドーザ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>発動電動機(可搬式、溶接兼用機を含む)</td> <td>ディーゼルエンジン(エンジン出力7.5kW以上、</td> </tr> <tr> <td>空気圧縮機(可搬式)</td> <td>20kW以下)を搭載したものに限る。</td> </tr> <tr> <td>油圧ユニット(基礎工用機械で独立したもの)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ローラ類(ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ホイールクレーン(ラフテレーンクレーン)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種類	備考	バックホウ	ディーゼルエンジン(エンジン出力8kW以上、	ホイールローダ	60kW以下)を搭載したものに限る。	ブルドーザ		発動電動機(可搬式、溶接兼用機を含む)	ディーゼルエンジン(エンジン出力7.5kW以上、	空気圧縮機(可搬式)	20kW以下)を搭載したものに限る。	油圧ユニット(基礎工用機械で独立したもの)		ローラ類(ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ)		ホイールクレーン(ラフテレーンクレーン)																			
種類	備考																																				
バックホウ	ディーゼルエンジン(エンジン出力8kW以上、																																				
ホイールローダ	60kW以下)を搭載したものに限る。																																				
ブルドーザ																																					
発動電動機(可搬式、溶接兼用機を含む)	ディーゼルエンジン(エンジン出力7.5kW以上、																																				
空気圧縮機(可搬式)	20kW以下)を搭載したものに限る。																																				
油圧ユニット(基礎工用機械で独立したもの)																																					
ローラ類(ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ)																																					
ホイールクレーン(ラフテレーンクレーン)																																					
ディーゼル車排出ガス規制に適合した車両	受注者は本工事現場で使用し、又は使用される関係車両(以下本工事関係車両という。)が、当該工事現場のディーゼル車排出ガス規制条例(以下「排出ガス規制条例」という。)の適用を受ける場合は、これに適合した車両を使用しなければならない。																																				
	受注者は、本工事の施工に先立ち、本工事関係車両の「ディーゼル車排出ガス規制に適合する車両の使用」について、排出ガス規制条例の遵守を施工計画書に記載しなければならない。																																				
	受注者は、本工事関係車両にディーゼル車を使用する場合には、車検証のコピーを保管し、本工事関係車両を把握しなければならない。																																				
	受注者は、取締りにより本工事関係車両に違法行為等があった場合には、直ちに監督職員に報告しなければならない。																																				
	受注者は、資機材の搬入等において、資材納入業者に排出ガス規制条例を遵守させるものとする。																																				
<1.4.2> 材料の品質等	再利用を図るものは、次による。																																				
<1.4.4> 材料の検査等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>材料名</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	材料名	備考																																		
材料名	備考																																				
<1.6.2> 技能士	<table border="1"> <thead> <tr> <th>適用工事種別</th> <th>技能検定の職種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>仮設工事</td> <td>・とび</td> </tr> <tr> <td>鉄筋工事</td> <td>・鉄筋施工</td> </tr> <tr> <td>コンクリート工事</td> <td>・左官 ・コックリ圧送施工 ・型枠施工</td> </tr> <tr> <td>鉄骨工事</td> <td>・とび</td> </tr> <tr> <td>ブロック・ALC[®] 補工事</td> <td>・ブロック建築 ・ALC[®] 補施工</td> </tr> <tr> <td>PCカーテンウォール工事</td> <td>・カーテンウォール施工</td> </tr> <tr> <td>防水工事</td> <td>○防水施工</td> </tr> <tr> <td>石工事</td> <td>・石材施工</td> </tr> <tr> <td>タイル工事</td> <td>・タイル張り</td> </tr> <tr> <td>木工工事</td> <td>・建築大工</td> </tr> <tr> <td>屋根、とい工事</td> <td>・建築板金 ・スレート施工</td> </tr> <tr> <td>金属工事</td> <td>○内装仕上げ施工(鋼製下地)</td> </tr> <tr> <td>左官工事</td> <td>・左官</td> </tr> <tr> <td>建具工事</td> <td>○サッシ施工 ・ガラス施工</td> </tr> <tr> <td>塗装工事</td> <td>○塗装</td> </tr> <tr> <td>内装工事</td> <td>○内装仕上げ施工(床、天井仕上げ等)・表装</td> </tr> <tr> <td>植栽工事</td> <td>・造園</td> </tr> </tbody> </table>	適用工事種別	技能検定の職種	仮設工事	・とび	鉄筋工事	・鉄筋施工	コンクリート工事	・左官 ・コックリ圧送施工 ・型枠施工	鉄骨工事	・とび	ブロック・ALC [®] 補工事	・ブロック建築 ・ALC [®] 補施工	PCカーテンウォール工事	・カーテンウォール施工	防水工事	○防水施工	石工事	・石材施工	タイル工事	・タイル張り	木工工事	・建築大工	屋根、とい工事	・建築板金 ・スレート施工	金属工事	○内装仕上げ施工(鋼製下地)	左官工事	・左官	建具工事	○サッシ施工 ・ガラス施工	塗装工事	○塗装	内装工事	○内装仕上げ施工(床、天井仕上げ等)・表装	植栽工事	・造園
適用工事種別	技能検定の職種																																				
仮設工事	・とび																																				
鉄筋工事	・鉄筋施工																																				
コンクリート工事	・左官 ・コックリ圧送施工 ・型枠施工																																				
鉄骨工事	・とび																																				
ブロック・ALC [®] 補工事	・ブロック建築 ・ALC [®] 補施工																																				
PCカーテンウォール工事	・カーテンウォール施工																																				
防水工事	○防水施工																																				
石工事	・石材施工																																				
タイル工事	・タイル張り																																				
木工工事	・建築大工																																				
屋根、とい工事	・建築板金 ・スレート施工																																				
金属工事	○内装仕上げ施工(鋼製下地)																																				
左官工事	・左官																																				
建具工事	○サッシ施工 ・ガラス施工																																				
塗装工事	○塗装																																				
内装工事	○内装仕上げ施工(床、天井仕上げ等)・表装																																				
植栽工事	・造園																																				
<1.6.4> 一工程の施工の確認及び報告	標準仕様書に定めがあるもの以外で、次に示す工程については、施工の確認及び報告を監督職員に行うものとする。																																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工の確認及び報告を行う工程</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>防水層の下地</td> <td>下地が完了した段階</td> </tr> <tr> <td>外壁関係の施工</td> <td>外部足場を取り外す前の段階</td> </tr> <tr> <td>軽量鉄骨天井下地及び軽量鉄骨壁下地</td> <td>下地が完了した段階</td> </tr> <tr> <td>仕上材の撤去</td> <td>撤去が完了した段階</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施工の確認及び報告を行う工程	備考	防水層の下地	下地が完了した段階	外壁関係の施工	外部足場を取り外す前の段階	軽量鉄骨天井下地及び軽量鉄骨壁下地	下地が完了した段階	仕上材の撤去	撤去が完了した段階																										
施工の確認及び報告を行う工程	備考																																				
防水層の下地	下地が完了した段階																																				
外壁関係の施工	外部足場を取り外す前の段階																																				
軽量鉄骨天井下地及び軽量鉄骨壁下地	下地が完了した段階																																				
仕上材の撤去	撤去が完了した段階																																				
<1.6.5> 施工の検査等	標準仕様書に定めがあるもの以外で、次について監督職員の検査を受ける。 ・揮発性有機化合物等の室内濃度の測定																																				
<1.6.7> 施工の立会い等	標準仕様書に定めがあるもの以外で、次に示す工事段階及び事項については、監督職員の立会いを受ける。																																				

<1.6.9> 化学物質の濃度測定	ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン等の揮発性有機化合物の室内濃度の測定 工事施工完了後、引き渡しをするまでの間に、下表の測定室等の揮発性有機化合物の室内濃度を測定し、指針値以下であることを確認し、報告する。																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>測定室等</th> <th>階</th> <th>室名</th> <th>採取本数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械工学科棟</td> <td rowspan="2">1階</td> <td>第1共有実験室</td> <td>1検体</td> </tr> <tr> <td>第9実験室</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>2階</td> <td>第3教員室</td> <td>1検体</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>クラスルーム</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>外気</td> <td></td> <td></td> <td>1検体</td> </tr> </tbody> </table> <p>上記の室の内の代表的な1室について、それぞれ1検体につき2回採取を行い測定する。</p>	測定室等	階	室名	採取本数	機械工学科棟	1階	第1共有実験室	1検体	第9実験室	〃	2階	第3教員室	1検体			クラスルーム	〃	外気			1検体				
測定室等	階	室名	採取本数																							
機械工学科棟	1階	第1共有実験室	1検体																							
		第9実験室	〃																							
	2階	第3教員室	1検体																							
		クラスルーム	〃																							
外気			1検体																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>測定物質、測定方法</th> <th>指針値</th> <th>測定方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ホルムアルデヒド</td> <td>100 µg/m³ (0.08ppm) 以下</td> <td>○ジニトロフェニルヒドラジン誘導体固相吸着/溶媒抽出法で採取し、高速液体クロマトグラフ法によって行う。 ・その他()</td> </tr> <tr> <td>トルエン</td> <td>260 µg/m³ (0.07ppm) 以下</td> <td>○次の内いずれかの測定方法とする。 固相吸着/溶媒抽出法で採取し、 ガスクロマトグラフィーによって行う。</td> </tr> <tr> <td>キシレン</td> <td>870 µg/m³ (0.20ppm) 以下</td> <td>固相吸着/加熱脱着法で採取し、 ガスクロマトグラフィーによって行う。</td> </tr> <tr> <td>エチルベンゼン</td> <td>3800 µg/m³ (0.88ppm) 以下</td> <td>容器採取法で採取し、 ガスクロマトグラフィーによって行う。</td> </tr> <tr> <td>スチレン</td> <td>220 µg/m³ (0.05ppm) 以下</td> <td>・その他()</td> </tr> </tbody> </table> <p>両単位の換算は、25 の場合による。</p>	測定物質、測定方法	指針値	測定方法	ホルムアルデヒド	100 µg/m ³ (0.08ppm) 以下	○ジニトロフェニルヒドラジン誘導体固相吸着/溶媒抽出法で採取し、高速液体クロマトグラフ法によって行う。 ・その他()	トルエン	260 µg/m ³ (0.07ppm) 以下	○次の内いずれかの測定方法とする。 固相吸着/溶媒抽出法で採取し、 ガスクロマトグラフィーによって行う。	キシレン	870 µg/m ³ (0.20ppm) 以下	固相吸着/加熱脱着法で採取し、 ガスクロマトグラフィーによって行う。	エチルベンゼン	3800 µg/m ³ (0.88ppm) 以下	容器採取法で採取し、 ガスクロマトグラフィーによって行う。	スチレン	220 µg/m ³ (0.05ppm) 以下	・その他()							
測定物質、測定方法	指針値	測定方法																								
ホルムアルデヒド	100 µg/m ³ (0.08ppm) 以下	○ジニトロフェニルヒドラジン誘導体固相吸着/溶媒抽出法で採取し、高速液体クロマトグラフ法によって行う。 ・その他()																								
トルエン	260 µg/m ³ (0.07ppm) 以下	○次の内いずれかの測定方法とする。 固相吸着/溶媒抽出法で採取し、 ガスクロマトグラフィーによって行う。																								
キシレン	870 µg/m ³ (0.20ppm) 以下	固相吸着/加熱脱着法で採取し、 ガスクロマトグラフィーによって行う。																								
エチルベンゼン	3800 µg/m ³ (0.88ppm) 以下	容器採取法で採取し、 ガスクロマトグラフィーによって行う。																								
スチレン	220 µg/m ³ (0.05ppm) 以下	・その他()																								
	試料採取方法 試料採取は室内及び外気の各1ヶ所を2回ずつとし、対象室内を30分換気後に対象室内を5時間以上密閉し、その後概ね30分間採取の濃度(µg/m ³)で表示。採取の時刻は揮発性有機化合物濃度の日変動で最大となることが予想される午後2時～3時頃に設定するのが望ましい。室外についても室内と同様の条件で平行して採取する。試料採取は室の中央付近の少なくとも壁から1m以上離れた高さ1.2m～1.5mの位置を試料採取位置として設定する。外気の試料採取は外壁及び空調排気口から2～5m離れた、室内の測定高さと同等の高さの所を試料採取位置として設定する。																									
	測定結果が上回った場合の措置 測定結果が指針値を上回った場合は、監督職員と協議する。																									
	参考測定機関：																									
<1.8.2> 完成図	完成図の種類及び記入内容は次による。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>完成図</th> <th>原図</th> <th>複製本</th> <th>複製本(金文字黒表紙)</th> <th>CADデータ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>完成図</td> <td>○A1</td> <td>○A3</td> <td>○A1</td> <td>2部</td> </tr> <tr> <td>施工図</td> <td>○A1</td> <td>○A1</td> <td>○A1</td> <td>1部</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○A1</td> <td>○A1</td> <td>○A1</td> <td>2部</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○A1</td> <td>○A1</td> <td>○A1</td> <td>1部</td> </tr> </tbody> </table>	完成図	原図	複製本	複製本(金文字黒表紙)	CADデータ	完成図	○A1	○A3	○A1	2部	施工図	○A1	○A1	○A1	1部		○A1	○A1	○A1	2部		○A1	○A1	○A1	1部
完成図	原図	複製本	複製本(金文字黒表紙)	CADデータ																						
完成図	○A1	○A3	○A1	2部																						
施工図	○A1	○A1	○A1	1部																						
	○A1	○A1	○A1	2部																						
	○A1	○A1	○A1	1部																						
	完成図の様式等は次による。 作成方法 紙媒体、CADデータ 原図サイズ A1、A3																									
	工事写真帳は(○紙媒体 ○電子媒体)で、各1部提出する。完成写真はキャビネットと黒表紙、工事名称等は金文字入りとする。なお、完成写真には撮影方向等を明示した配置図、平面図を添付する。																									
	本工事は、次の書類について電子納品の対象とする。 完成図、施工図のCADデータ、全ての書類(建具等一部除外)																									
	貸与する設計図のCADデータ著作権者名：鈴鹿工業高専 ファイル形式：JWW 貸与条件：貸与するCADデータを本工事における施工図又は完成図の作成のために以外に使用しないこと。 提出方法 製本、USBメモリ、CD-ROM																									
<1.8.3> 保全に関する資料	保全に関する資料 提出部数 ○ 2部																									

記事	業務名	鈴鹿工業高専機械工学科棟改修設計等業務				工事名称	鈴鹿工業高専機械工学科棟改修その他工事	日付	平成25年7月	総数	03 / 77
	業務名	株式会社 総企画設計	管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行	棟別	担当	図面名称	建築改修工事特記仕様書(1)	縮尺	-	番号	特-01

外部仕上表																
名称	場所	区分	仕上				名称	場所	区分	仕上						
屋根	R階	改修前	加硫ゴム系シート防水t=1.2				外壁	全面	改修前	モルタル刷毛引きリシン吹付の上防水形複層塗材						
		改修後	既設防水下地処理の上塩ビシート防水(t=2.0)断熱接着工法(S1-F2), 断熱材:硬質ウレタンフォームt=30						改修後	浮き部分調査及び補修 高圧洗浄の上 防水形複層塗材E						
		PH階	改修前	加硫ゴム系シート防水t=1.2					全面	改修前	モルタル刷毛引き					
			改修後	既設防水下地処理の上塩ビシート(t=2.0)防水断熱接着工法(S1-F2), 断熱材:硬質ウレタンフォームt=30						改修後	高圧洗浄の上 膨れ部 脆弱部除去・浮き部分補修					
		バラベツ	改修前	立上り・天端: 加硫ゴム系シート防水t=1.2					巾木	全面	改修前	モルタル刷毛引き				
			改修後	立上り・天端: 既設防水撤去の上塩ビシート(t=2.0)防水(S1-F2)							改修後	高圧洗浄の上 膨れ部 脆弱部除去・浮き部分補修				
	廊下	改修前	床: 防水モルタル塗 目地切, 内外手摺壁: モルタル刷毛引き目地切リシン吹付の上防水形複層塗材, 手摺・支柱: 角パイプ OP 撤去				その他	LPG置場	改修前	外壁: CBt=120化繊種み, 扉: スチールアングル枠ネットフェンス						
		改修後	床: モルタル塗高圧洗浄の上 膨れ部 脆弱部除去・浮き部分補修 外部用防汚性塩ビシートt=2.5 張り 内外手摺壁: 浮き部分調査及び補修 高圧洗浄の上 防水形複層塗材E, 手摺: 100×50×2.3 DP 新設, 支柱: 32×32×1.2 DP 2,000 新設						改修後	外壁: 高圧洗浄, 扉: ケレンの上DP						
									改修前	鉄骨部分: 溶融亜鉛メッキの上 DP						
									改修後	鉄骨部分: 溶融亜鉛メッキの上 DP						

内部仕上表 内装仕上材・接着剤・塗材(基材含む)はF 若しくは、規制対象外材を用いるものとする。

階	室名	区分	床		幅木		壁		梁型		天井		ブラインド 又カーテン BOX	備考				
			レベル	下地	仕上	仕上	高さ	下地	仕上	下地	仕上	天井高						
1階	第10教員研究室	改修前	±0	M	塩ビ系タイル張り		モルタル塗 VP	100	M	1-2通り:有孔ボード張り VP 外壁面:断熱材吹付t35,LSG下地GB-Rt12.5+GB-R-Ht9.5の上 EP-G 間仕切壁:LSG下地GB-Rt12.5+GB-R-Ht9.5の上 EP-G RC・CB壁:LSG下地GB-Rt12.5+GB-R-Ht9.5の上 EP-G		M	ブラスター塗	S	300×300有孔ボード張り VP	3,100	木製	長押2段
	第1実験室 (南側:光学実験室,前室)	改修後	±0	M	既設撤去 下地処理の上 VS張り		VH 新設	60	M	ブラスター塗(種:モルタル塗 VP H=1,900)		M	ブラスター塗	S	G・B・N・C張り	2,900	木製	ホワイトボード, 画機
	機械力学実験室 (北側)	改修前	±0	M	塩ビ系タイル張り		モルタル塗 VP	100	M	1-2通り:有孔ボード張り VP 外壁面:断熱材吹付t35,LSG下地GB-Rt12.5+GB-R-Ht9.5の上 EP-G 間仕切壁:LSG下地GB-Rt12.5+GB-R-Ht9.5の上 EP-G RC・CB壁:LSG下地GB-Rt12.5+GB-R-Ht9.5の上 EP-G		M	ブラスター塗	M	300×300有孔ボード張り VP	3,100	木製	黒板, 掲示板, 長押2段
	第1実験室 (北側)	改修後	±0	M	既設撤去 下地処理の上 VS張り		VH 新設	60	M	ブラスター塗(種:モルタル塗 VP H=1,900)		M	ブラスター塗	S	G・B・N・C張り	2,900	木製	流し台, ホワイトボード, 画機
	機械力学実験室	改修前	±0	M	塩ビ系タイル張り		モルタル塗 VP	100	M	1-2通り:有孔ボード張り VP 外壁面:断熱材吹付t35,LSG下地GB-Rt12.5+GB-R-Ht9.5の上 EP-G 間仕切壁:LSG下地GB-Rt12.5+GB-R-Ht9.5の上 EP-G RC・CB壁:LSG下地GB-Rt12.5+GB-R-Ht9.5の上 EP-G		M	ブラスター塗	M	300×300有孔ボード張り VP	3,100	木製	黒板, 掲示板, 長押2段
	第1共有実験室	改修後	±0	M	既設撤去 下地処理の上 塗床		VH 新設	60	M	ブラスター塗(種:モルタル塗 VP H=1,900)		M	ブラスター塗	S	G・B・N・C張り	2,900	木製	画機
	熱工学実験室	改修前	±0	C	モルタル塗		モルタル塗 VP	100	M	ブラスター塗(種:モルタル塗 VP H=1,900)		M	ブラスター塗	M	軽量骨材吹付	3,725	木製	長押2段
	第2実験室(南側)	改修後	±0	M	既設撤去 下地処理の上 VS張り		VH 新設	60	M	外壁面:断熱材吹付t35,LSG下地GB-Rt12.5+GB-R-Ht9.5の上 EP-G 間仕切壁:LSG下地GB-Rt12.5+GB-R-Ht9.5の上 EP-G RC・CB壁:LSG下地GB-Rt12.5+GB-R-Ht9.5の上 EP-G		M	ブラスター塗	S	G・B・N・C張り	2,900	木製	ホワイトボード, 画機
	熱工学実験室	改修前	±0	C	モルタル塗		モルタル塗 VP	100	M	ブラスター塗(種:モルタル塗 VP H=1,900)		M	ブラスター塗	M	軽量骨材吹付	3,425	木製	長押2段
	第2実験室 (北:恒温実験室側)	改修後	±0	M	既設撤去 下地処理の上 VS張り		VH 新設	60	M	外壁面:断熱材吹付t35,LSG下地GB-Rt12.5+GB-R-Ht9.5の上 EP-G 間仕切壁:LSG下地GB-Rt12.5+GB-R-Ht9.5の上 EP-G RC・CB壁:LSG下地GB-Rt12.5+GB-R-Ht9.5の上 EP-G		M	ブラスター塗	S	G・B・N・C張り	2,900	木製	ホワイトボード, 画機
	熱工学実験室	改修前	±0	C	モルタル塗		モルタル塗 VP	100	M	ブラスター塗(種:モルタル塗 VP H=1,900)		M	ブラスター塗	M	軽量骨材吹付	3,725	木製	長押2段
	熱工学実験準備室	改修前	±0	C	モルタル塗		モルタル塗 VP	100	M	ブラスター塗(種:モルタル塗 VP H=1,900)		M	ブラスター塗	M	軽量骨材吹付	3,725	木製	人研作業台, 長押2段
	第3実験室	改修後	±0	M	既設撤去 下地処理の上 塗床		VH 新設	60	M	外壁面:断熱材吹付t35,LSG下地GB-Rt12.5+GB-R-Ht9.5の上 EP-G 間仕切壁:LSG下地GB-Rt12.5+GB-R-Ht9.5の上 EP-G RC・CB壁:LSG下地GB-Rt12.5+GB-R-Ht9.5の上 EP-G		M	既設撤去 下地処理の上 EP	M	既設撤去 下地処理の上 EP-T	3,750	木製	画機
	設計工学実験室	改修前	±0	M	塩ビシート張り		モルタル塗 VP	100	M	ブラスター塗(種:モルタル塗 VP H=1,900)		M	ブラスター塗	M	軽量骨材吹付	3,725	木製	人研作業台, 長押2段
	第4実験室	改修後	±0	M	既設撤去 下地処理の上 VS張り		VH 新設	60	M	外壁面:断熱材吹付t35,LSG下地GB-Rt12.5+GB-R-Ht9.5の上 EP-G RC・CB壁:LSG下地GB-Rt12.5+GB-R-Ht9.5の上 EP-G		M	ブラスター塗	S	G・B・N・C張り	2,900	木製	人研作業台, 画機
	流体工学実験室	改修前	±0	M	塗床		モルタル塗 VP	100	M	ブラスター塗(種:モルタル塗 VP H=1,900)		M	ブラスター塗	M	軽量骨材吹付	3,725	木製	ビット, ガスタ, 長押2段
	第5実験室	改修後	±0	M	既設撤去 下地処理の上 塗床		VH 新設	60	M	外壁面:断熱材吹付t35,LSG下地GB-Rt12.5+GB-R-Ht9.5の上 EP-G RC・CB壁:LSG下地GB-Rt12.5+GB-R-Ht9.5の上 EP-G		M	既設撤去 下地処理の上 EP	M	既設撤去 下地処理の上 EP-T	3,750	木製	ビット, 画機
	材料強度実験室	改修前	±0	C	モルタル塗		モルタル塗 VP	100	M	ブラスター塗(種:モルタル塗 VP H=1,900)		M	ブラスター塗	M	軽量骨材吹付	3,725	木製	長押2段
	第6実験室	改修後	±0	M	既設撤去 下地処理の上 塗床		VH 新設	60	M	外壁面:断熱材吹付t35,LSG下地GB-Rt12.5+GB-R-Ht9.5の上 EP-G 間仕切壁:LSG下地GB-Rt12.5+GB-R-Ht9.5の上 EP-G RC・CB壁:LSG下地GB-Rt12.5+GB-R-Ht9.5の上 EP-G		M	ブラスター塗	S	G・B・N・C張り	2,900	木製	排水枵・ビット, 画機
	オートグラフ室	改修前	±0	M	塩ビシート張り		モルタル塗 VP	100	M	ブラスター塗(種:モルタル塗 VP H=1,900)		M	ブラスター塗	S	300×300有孔ボード張り VP (スラブ下:吹付アスベスト撤去)	3,100	木製	長押2段
	前室	改修前	±0	M	塩ビシート張り		モルタル塗 VP	100	M	ブラスター塗(種:モルタル塗 VP H=1,900)		M	ブラスター塗	M	軽量骨材吹付	3,725	木製	長押2段
	暗室	改修前	±0	M	塗床		モルタル塗 VP	100	M	ブラスター塗(種:モルタル塗 VP H=1,900)		M	ブラスター塗	S	300×300有孔ボード張り VP	3,100	木製	人研作業台, 長押2段
	材料力学実験室	改修前	±0	M	塩ビ系タイル張り		モルタル塗 VP	100	M	ブラスター塗(種:モルタル塗 VP H=1,900)		M	ブラスター塗	M	軽量骨材吹付	3,725	木製	長押2段
	第2共有実験室	改修後	±0	M	既設撤去 下地処理の上 塗床		VH 新設	60	M	外壁面:断熱材吹付t35,LSG下地GB-Rt12.5+GB-R-Ht9.5の上 EP-G 間仕切壁:LSG下地GB-Rt12.5+GB-R-Ht9.5の上 EP-G RC・CB壁:LSG下地GB-Rt12.5+GB-R-Ht9.5の上 EP-G		M	ブラスター塗	S	G・B・N・C張り	2,900	木製	ビット, 画機
	暗室	改修前	±0	C	モルタル塗		モルタル塗 VP	100	M	ブラスター塗(種:モルタル塗 VP H=1,900)		M	ブラスター塗	S	300×300有孔ボード張り VP	3,100	木製	長押2段
	固体工学実験室	改修前	±0	M	塩ビ系タイル張り		モルタル塗 VP	100	M	ブラスター塗(種:モルタル塗 VP H=1,900)		M	ブラスター塗	S	300×300有孔ボード張り VP	3,100	木製	人研作業台, 長押2段
	精密工学実験室	改修前	±0	C	モルタル塗		モルタル塗 VP	100	M	ブラスター塗(種:モルタル塗 VP H=1,900)		M	ブラスター塗	M	軽量骨材吹付	3,725	木製	アコーディオンカーテン, 長押2段
	第7実験室	改修後	±0	M	既設撤去 下地処理の上 塗床		VH 新設	60	M	外壁面:断熱材吹付t35,LSG下地GB-Rt12.5+GB-R-Ht9.5の上 EP-G 間仕切壁:LSG下地GB-Rt12.5+GB-R-Ht9.5の上 EP-G RC・CB壁:LSG下地GB-Rt12.5+GB-R-Ht9.5の上 EP-G		M	ブラスター塗	S	G・B・N・C張り	2,900	木製	画機
	精密工学実験室	改修前	±0	C	モルタル塗		モルタル塗 VP	100	M	ブラスター塗(種:モルタル塗 VP H=1,900)		M	ブラスター塗	M	軽量骨材吹付	3,725	木製	アコーディオンカーテン, 長押2段
	機能加工実験室	改修前	±0	C	モルタル塗		モルタル塗 VP	100	M	ブラスター塗(種:モルタル塗 VP H=1,900)		M	ブラスター塗	M	軽量骨材吹付	3,725	木製	アコーディオンカーテン, 長押2段
	第8実験室	改修後	±0	M	既設撤去 下地処理の上 塗床		VH 新設	60	M	外壁面:断熱材吹付t35,LSG下地GB-Rt12.5+GB-R-Ht9.5の上 EP-G 間仕切壁:LSG下地GB-Rt12.5+GB-R-Ht9.5の上 EP-G		M	既設撤去 下地処理の上 EP	M	既設撤去 下地処理の上 EP-T	3,750	木製	画機
	機能加工実験室	改修前	±0	C	モルタル塗		モルタル塗 VP	100	M	ブラスター塗(種:モルタル塗 VP H=1,900)		M	ブラスター塗	M	軽量骨材吹付	3,725	木製	アコーディオンカーテン, 長押2段
	知能機械システム 実験室	改修前	±0	M	塩ビ系タイル張り		モルタル塗 VP	100	M	ブラスター塗(種:モルタル塗 VP H=1,900)		M	ブラスター塗	S	300×300有孔ボード張り VP	3,100	木製	人研作業台, 長押2段
第9実験室	改修後	±0	M	既設撤去 下地処理の上 VS張り		VH 新設	60	M	外壁面:断熱材吹付t35,LSG下地GB-Rt12.5+GB-R-Ht9.5の上 EP-G 間仕切壁:LSG下地GB-Rt12.5+GB-R-Ht9.5の上 EP-G		M	既設撤去 下地処理の上 EP	M	既設撤去 下地処理の上 EP-T	3,750	木製	画機	
知能機械システム 実験室	改修前	±0	M	塩ビ系タイル張り		モルタル塗 VP	100	M	ブラスター塗(種:モルタル塗 VP H=1,900)		M	ブラスター塗	S	300×300有孔ボード張り VP	3,100	木製	人研作業台, 長押2段	
第11教員研究室	改修前	±0	M	塩ビ系タイル張り		モルタル塗 VP	100	M	ブラスター塗(種:モルタル塗 VP H=1,900)		M	ブラスター塗	S	300×300有孔ボード張り VP	3,100	木製	人研作業台, 長押2段	
第10実験室	改修後	±0	M	既設撤去 下地処理の上 VS張り		VH 新設	60	M	外壁面:断熱材吹付t35,LSG下地GB-Rt12.5+GB-R-Ht9.5の上 EP-G 間仕切壁:LSG下地GB-Rt12.5+GB-R-Ht9.5の上 EP-G RC・CB壁:LSG下地GB-Rt12.5+GB-R-Ht9.5の上 EP-G		M	ブラスター塗	S	G・B・N・C張り	2,900	木製	画機	
メカトロニクス実験室	改修前	±0	M	塩ビ系タイル張り		モルタル塗 VP	100	M	ブラスター塗(種:モルタル塗 VP H=1,900)		M	ブラスター塗	M	軽量骨材吹付	3,725	木製	人研作業台, 長押2段	
第11実験室	改修後	±0	M	既設撤去 下地処理の上 VS張り		VH 新設	60	M	外壁面:断熱材吹付t35,LSG下地GB-Rt12.5+GB-R-Ht9.5の上 EP-G RC・CB壁:LSG下地GB-Rt12.5+GB-R-Ht9.5の上 EP-G		M	ブラスター塗	M	G・B・N・C張り	2,900	木製	画機	

特記事項	1. 改修にてワタシ防水を行う部分については既設モルタルにて下地処理のこと	7. 特記なき限り、ボード厚は、ロックウール化繊種み 10・9・8・112.5・98・0・19.5とする	12. 既設仕上材の撤去は目視完了し工法にて処理する	18. 音響吸音材は全て撤去し、平型(新設種:SK-PH-27同等)を新設とする	凡例	C(床)	コンクリート全面平型	G・B・F	強化石膏ボード	F・K	1/100鋼板	S・OP	合成樹脂塗料	U・C	ウレタン樹脂ニス
	2. 壁面はモルタル補修のこと	8. 既設天井撤去部は、全て下地共撤去とする	13. 既設仕上、破損部等は、石膏ボードはアスベスト含有品とする	19. 室内案内照明4000(4000種)表示機:アルミ製、案内用:VE印刷を新設とする		C(壁・天井)	コンクリート打直し	G・B・R	石膏ボード19.5	化繊FK	化粧1/100鋼板	E・P	合成樹脂塗料	C・L	クリアラッカー塗
3. 重量降音機付(吸音型)のボード張り、床及びスラブ下までとする	9. コンクリート面処理(水・砂)とある部分は下地調整材(C)全面塗とする	14. 水廻りに使用する石膏ボードは、シーリング石膏ボードとする	20. 天井LSG下地処理は、コンクリートスラブに75×45×15×2.3(長さ1000程度)を	21. 外壁面補修は、硬質ウレタンフォーム(現場発注品)とする	M	モルタル	G・B・S	シーリング石膏ボード	V・H	ビニル布	E・P・G	数層合成樹脂塗料	F・E	フル樹脂エポキシ塗	
4. 塗料、吹付下地等は、吹付工法とし、その他は吹付とする	10. 床材撤去に支障となる床クック・欠損等はモルタル補修を行うこと	15. 既設壁を補修等は、全て下地調整材とする	22. 床材撤去に支障となる床クック・欠損等はモルタル補修を行うこと	23. 外壁面補修は、硬質ウレタンフォーム(現場発注品)とする	S	軽集積下地	G・B・S・H	硬質石膏ボード19.5	V・S	織布樹脂ニルシートF312.0	E・P・T	合成樹脂塗料	O・S・L	オイルステインクリアラッカー塗	
5. 特記なき限り、天井断熱は塩ビ製とする(この字型)	11. モルタル・タイル等を撤去する場合は、既設部は目視完了し工法にて処理すること	16. 既設木製カーテン・ブラインドボックスは、全て撤去とする	17. 既設人研石のコンクリート工法は、現場調整の上用いられること		C	コンクリートブロック	G・B・N・C	不燃強化繊維石膏ボード19.5	T・K	タイルカーペット	S・U・S	エポキシ樹脂塗料	S・U・S	ステンレス	
6. 特記なき限り、改修室内の木部・鉄部は塗装とする					W	木下地									

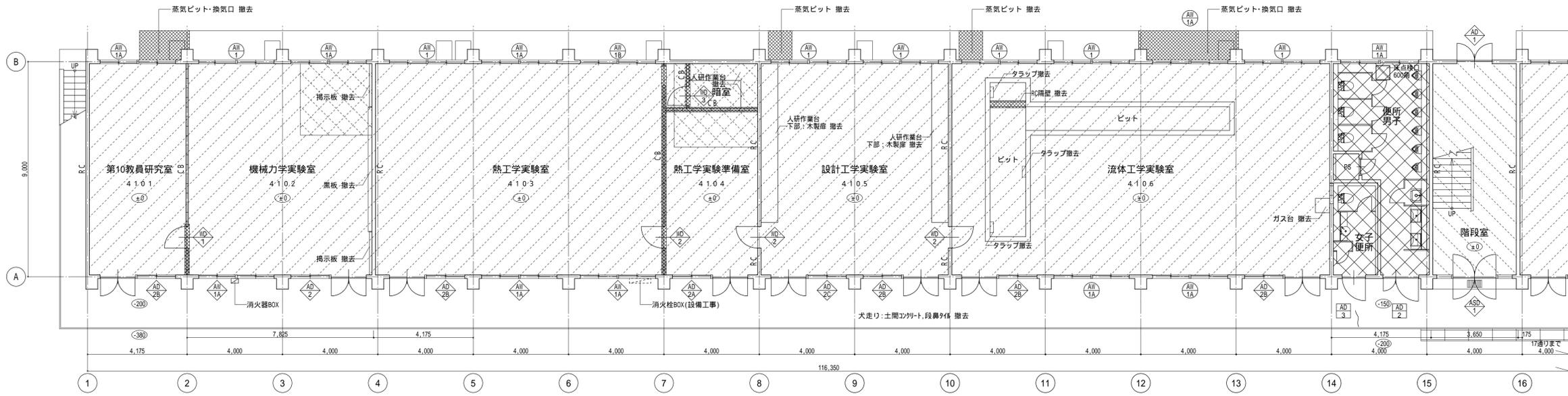
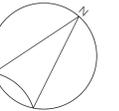
記事	業務名				鈴鹿工業高等専門学校				工事名称		日付	総数
	鈴鹿工業高等専門学校 棟改修設計等業務				鈴鹿工業高等専門学校				鈴鹿工業高等専門学校棟改修その他工事		平成25年7月	07/77
記事	株式会社 総企画設計				棟図				担当		縮尺	番号
	管理建築士 一級建築士(大員) 第270315号 犬飼 和行				棟図				担当		1/100	A-01
外部・内部仕上表(1)										A3版の場合は50%縮尺とする		

内部仕上表 内装仕上材・接着剤・塗材(基材含む)はF 若しくは、規制対象外材を用いるものとする。

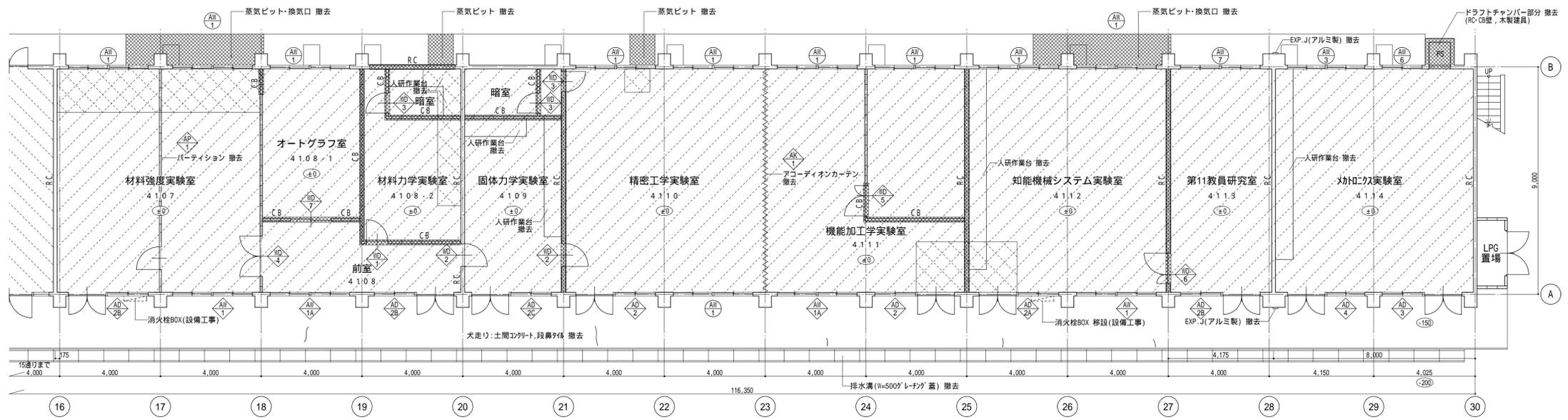
階	室名	区分	床		幅木		壁		柱・梁型		天井		ブラインド 又カーテン BOX	備考		
			レベル	下地	仕上	仕上	高さ	下地	仕上	下地	仕上	天井高				
2階	創造工学演習室 第1・2・3目的スペース	改修前	±0	M	塩ビシート張り		モルタル塗 VP		ブラスター塗(種:モルタル塗 VP H=1,900)		ブラスター塗	S	せつこうボード張り EP	3,100	木製	黒板, 掲示板, 長押2段
		改修後	±0	M	既設下地共撤去 モルタル下地の上VS張り		VH 新設		外壁面: 断熱材吹付135, LGS下地GB-R12.5+GB-R-H19.5の上 EP-G 内仕切壁: LGS下地GB-R12.5+GB-R-H19.5の上 EP-G RC・CB壁: LGS下地GB-R12.5+GB-R-H19.5の上 EP-G			S	G・B・N・C張り	2,580	木製	流し台, 画枠
	創造工学演習室 第1・2・3教員室	改修前	±0	M	塩ビシート張り		モルタル塗 VP		ブラスター塗(種:モルタル塗 VP H=1,900)		ブラスター塗	S	せつこうボード張り EP	3,100	木製	黒板, 掲示板, 長押2段
		改修後	±0	M	既設下地共撤去 モルタル下地の上VS(木目調)張り		VH 新設		外壁面: 断熱材吹付135, LGS下地GB-R12.5+GB-R-H19.5の上 EP-G 内仕切壁: LGS下地GB-R12.5+GB-R-H19.5の上 EP-G RC・CB壁: LGS下地GB-R12.5+GB-R-H19.5の上 EP-G			S	G・B・N・C張り	2,580	木製	画枠
	多目的実験室 第4・5・6目的スペース	改修前	±0	M	塩ビ系タイル張り		モルタル塗 VP		ブラスター塗(種:モルタル塗 VP H=1,900)		ブラスター塗	S	せつこうボード張り EP	3,100	木製	黒板, 掲示板, 長押2段
		改修後	±0	C	既設下地共撤去 モルタル下地の上VS張り		VH 新設		外壁面: 断熱材吹付135, LGS下地GB-R12.5+GB-R-H19.5の上 EP-G 内仕切壁: LGS下地GB-R12.5+GB-R-H19.5の上 EP-G RC・CB壁: LGS下地GB-R12.5+GB-R-H19.5の上 EP-G			S	G・B・N・C張り	2,580	木製	流し台, 画枠
	多目的実験室 第4・5・6教員室	改修前	±0	M	塩ビ系タイル張り		モルタル塗 VP		ブラスター塗(種:モルタル塗 VP H=1,900)		ブラスター塗	S	せつこうボード張り EP	3,100	木製	黒板, 掲示板, 長押2段
		改修後	±0	C	既設下地共撤去 モルタル下地の上VS(木目調)張り		VH 新設		外壁面: 断熱材吹付135, LGS下地GB-R12.5+GB-R-H19.5の上 EP-G 内仕切壁: LGS下地GB-R12.5+GB-R-H19.5の上 EP-G RC・CB壁: LGS下地GB-R12.5+GB-R-H19.5の上 EP-G			S	G・B・N・C張り	2,580	木製	画枠
	多目的実験室 資料調査室	改修前	±0	M	塩ビ系タイル張り		モルタル塗 VP		ブラスター塗(種:モルタル塗 VP H=1,900)		ブラスター塗	S	せつこうボード張り EP	3,100	木製	長押2段
		改修後	±0	C	既設下地共撤去 モルタル下地の上VS張り		VH 新設		外壁面: 断熱材吹付135, LGS下地GB-R12.5+GB-R-H19.5の上 EP-G 内仕切壁: LGS下地GB-R12.5+GB-R-H19.5の上 EP-G RC・CB壁: LGS下地GB-R12.5+GB-R-H19.5の上 EP-G			S	G・B・N・C張り	2,580	木製	流し台, 画枠
	多目的実験室 資料調査室	改修前	±0	M	塩ビ系タイル張り		モルタル塗 VP		ブラスター塗(種:モルタル塗 VP H=1,900)		ブラスター塗	S	せつこうボード張り EP	3,100	木製	黒板, 掲示板, 長押2段
		改修後	±0	C	既設下地共撤去 モルタル下地の上VS(木目調)張り		VH 新設		外壁面: 断熱材吹付135, LGS下地GB-R12.5+GB-R-H19.5の上 EP-G 内仕切壁: LGS下地GB-R12.5+GB-R-H19.5の上 EP-G RC・CB壁: LGS下地GB-R12.5+GB-R-H19.5の上 EP-G			S	G・B・N・C張り	2,580	木製	画枠
	4Eクラスルーム 第8・9目的スペース	改修前	±0	M	塩ビ系タイル張り		モルタル塗 VP		ブラスター塗(種:モルタル塗 VP H=1,900)		ブラスター塗	S	せつこうボード張り EP	3,100	木製	黒板, 掲示板, 長押2段
		改修後	±0	C	既設下地共撤去 モルタル下地の上VS張り		VH 新設		外壁面: 断熱材吹付135, LGS下地GB-R12.5+GB-R-H19.5の上 EP-G 内仕切壁: LGS下地GB-R12.5+GB-R-H19.5の上 EP-G RC・CB壁: LGS下地GB-R12.5+GB-R-H19.5の上 EP-G			S	G・B・N・C張り	2,580	木製	流し台, 画枠
	4Eクラスルーム 第8・9教員室	改修前	±0	M	塩ビ系タイル張り		モルタル塗 VP		ブラスター塗(種:モルタル塗 VP H=1,900)		ブラスター塗	S	せつこうボード張り EP	3,100	木製	黒板, 掲示板, 長押2段
		改修後	±0	C	既設下地共撤去 モルタル下地の上VS(木目調)張り		VH 新設		外壁面: 断熱材吹付135, LGS下地GB-R12.5+GB-R-H19.5の上 EP-G 内仕切壁: LGS下地GB-R12.5+GB-R-H19.5の上 EP-G RC・CB壁: LGS下地GB-R12.5+GB-R-H19.5の上 EP-G			S	G・B・N・C張り	2,580	木製	画枠
	製図室 第10・11目的スペース	改修前	±0	M	塩ビ系タイル張り		モルタル塗 VP		ブラスター塗(種:モルタル塗 VP H=1,900)		ブラスター塗	S	せつこうボード張り EP	3,100	木製	黒板, 掲示板, 長押2段
		改修後	±0	C	既設下地共撤去 モルタル下地の上VS張り		VH 新設		外壁面: 断熱材吹付135, LGS下地GB-R12.5+GB-R-H19.5の上 EP-G 内仕切壁: LGS下地GB-R12.5+GB-R-H19.5の上 EP-G RC・CB壁: LGS下地GB-R12.5+GB-R-H19.5の上 EP-G			S	G・B・N・C張り	2,580	木製	流し台, 画枠
	製図室 第10・11教員室	改修前	±0	M	塩ビ系タイル張り		モルタル塗 VP		ブラスター塗(種:モルタル塗 VP H=1,900)		ブラスター塗	S	せつこうボード張り EP	3,100	木製	黒板, 掲示板, 長押2段
		改修後	±0	C	既設撤去 下地処理の上 VS(木目調)張り		VH 新設		外壁面: 断熱材吹付135, LGS下地GB-R12.5+GB-R-H19.5の上 EP-G 内仕切壁: LGS下地GB-R12.5+GB-R-H19.5の上 EP-G RC・CB壁: LGS下地GB-R12.5+GB-R-H19.5の上 EP-G			S	G・B・N・C張り	2,580	木製	画枠
	製図室 事務室	改修前	±0	M	塩ビ系タイル張り		モルタル塗 VP		ブラスター塗(種:モルタル塗 VP H=1,900)		ブラスター塗	S	せつこうボード張り EP	3,100	木製	黒板, 掲示板, 教壇, 長押2段
		改修後	±0	C	既設下地共撤去 モルタル下地の上VS張り		VH 新設		外壁面: 断熱材吹付135, LGS下地GB-R12.5+GB-R-H19.5の上 EP-G 内仕切壁: LGS下地GB-R12.5+GB-R-H19.5の上 EP-G RC・CB壁: LGS下地GB-R12.5+GB-R-H19.5の上 EP-G			S	G・B・N・C張り	2,580	木製	流し台+ガス台, 画枠
	製図室 セミナー室・調査資料室	改修前	±0	M	塩ビ系タイル張り		モルタル塗 VP		ブラスター塗(種:モルタル塗 VP H=1,900)		ブラスター塗	S	せつこうボード張り EP	3,100	木製	黒板, 掲示板, 長押2段
改修後		±0	C	既設下地共撤去 モルタル下地の上VS張り		VH 新設		外壁面: 断熱材吹付135, LGS下地GB-R12.5+GB-R-H19.5の上 EP-G 内仕切壁: LGS下地GB-R12.5+GB-R-H19.5の上 EP-G RC・CB壁: LGS下地GB-R12.5+GB-R-H19.5の上 EP-G			S	G・B・N・C張り	2,580	木製	画枠	
5Mクラスルーム 第1教員研究室	改修前	±0	M	塩ビ系タイル張り		モルタル塗 VP		ブラスター塗(種:モルタル塗 VP H=1,900)		ブラスター塗	S	せつこうボード張り EP	3,100	木製	黒板, 掲示板, 長押2段	
	改修後	±0	M	塩ビ系タイル張り		モルタル塗 VP		ブラスター塗(種:モルタル塗 VP H=1,900)		ブラスター塗	S	300×300有孔ボード張り VP	3,100	木製	長押2段	
クラスルーム(1)	改修前	±0	M	塩ビ系タイル張り		モルタル塗 VP		外壁面: 断熱材吹付135, LGS下地GB-R12.5+GB-R-H19.5の上 EP-G 内仕切壁: LGS下地GB-R12.5+GB-R-H19.5の上 EP-G RC・CB壁: LGS下地GB-R12.5+GB-R-H19.5の上 EP-G		既設下地処理の上 EP	S	D・R張り	2,900	木製	スライド黒板, 掲示板, 画枠, ピクチャーレール	
	改修後	±0	C	既設下地共撤去 モルタル下地の上VS張り		VH 新設		外壁面: 断熱材吹付135, LGS下地GB-R12.5+GB-R-H19.5の上 EP-G 内仕切壁: LGS下地GB-R12.5+GB-R-H19.5の上 EP-G RC・CB壁: LGS下地GB-R12.5+GB-R-H19.5の上 EP-G			S	300×300有孔ボード張り VP	3,100	木製	長押2段	
第1教員研究室 第2教員研究室	改修前	±0	M	塩ビ系タイル張り		モルタル塗 VP		ブラスター塗(種:モルタル塗 VP H=1,900)		ブラスター塗	S	300×300有孔ボード張り VP	3,100	木製	長押2段	
	改修後	±0	M	塩ビ系タイル張り		モルタル塗 VP		ブラスター塗(種:モルタル塗 VP H=1,900)		ブラスター塗	S	300×300有孔ボード張り VP	3,100	木製	長押2段	
機械工学科事務室 クラスルーム(2)	改修前	±0	M	塩ビ系タイル張り		モルタル塗 VP		外壁面: 断熱材吹付135, LGS下地GB-R12.5+GB-R-H19.5の上 EP-G 内仕切壁: LGS下地GB-R12.5+GB-R-H19.5の上 EP-G RC・CB壁: LGS下地GB-R12.5+GB-R-H19.5の上 EP-G		既設下地処理の上 EP	M C	D・R張り	2,900	木製	スライド黒板, 掲示板, 画枠, ピクチャーレール	
	改修後	±0	C	既設下地共撤去 モルタル下地の上VS張り		VH 新設		外壁面: 断熱材吹付135, LGS下地GB-R12.5+GB-R-H19.5の上 EP-G 内仕切壁: LGS下地GB-R12.5+GB-R-H19.5の上 EP-G RC・CB壁: LGS下地GB-R12.5+GB-R-H19.5の上 EP-G			S	300×300有孔ボード張り VP	3,100	木製	長押2段	
第3教員研究室 第4教員研究室	改修前	±0	M	塩ビ系タイル張り		モルタル塗 VP		ブラスター塗(種:モルタル塗 VP H=1,900)		ブラスター塗	S	300×300有孔ボード張り VP	3,100	木製	長押2段	
	改修後	±0	M	塩ビ系タイル張り		モルタル塗 VP		ブラスター塗(種:モルタル塗 VP H=1,900)		ブラスター塗	S	300×300有孔ボード張り VP	3,100	木製	長押2段	
第5教員研究室 第6教員研究室	改修前	±0	M	塩ビ系タイル張り		モルタル塗 VP		ブラスター塗(種:モルタル塗 VP H=1,900)		ブラスター塗	S	300×300有孔ボード張り VP	3,100	木製	長押2段	
	改修後	±34 ±0	C	既設下地共撤去 モルタル下地の上OAフロー+TK張り 既設下地共撤去 モルタル下地の上VS張り		VH 新設		外壁面: 断熱材吹付135, LGS下地GB-R12.5+GB-R-H19.5の上 EP-G 内仕切壁: LGS下地GB-R12.5+GB-R-H19.5の上 EP-G RC・CB壁: LGS下地GB-R12.5+GB-R-H19.5の上 EP-G		既設下地処理の上 EP	S	G・B・N・C張り	2,866 2,900	木製	白板, ホワイトボード+掲示板, 掲示板, 画枠	
第7教員研究室 第8教員研究室	改修前	±0	M	塩ビ系タイル張り		モルタル塗 VP		ブラスター塗(種:モルタル塗 VP H=1,900)		ブラスター塗	S	300×300有孔ボード張り VP	3,100	木製	長押2段	
	改修後	±0	M	塩ビ系タイル張り		モルタル塗 VP		ブラスター塗(種:モルタル塗 VP H=1,900)		ブラスター塗	S	300×300有孔ボード張り VP	3,100	木製	長押2段	
第9教員研究室 クラスルーム(3)	改修前	±0	M	塩ビ系タイル張り		モルタル塗 VP		外壁面: 断熱材吹付135, LGS下地GB-R12.5+GB-R-H19.5の上 EP-G 内仕切壁: LGS下地GB-R12.5+GB-R-H19.5の上 EP-G RC・CB壁: LGS下地GB-R12.5+GB-R-H19.5の上 EP-G		既設下地処理の上 EP	M	D・R張り	2,900	木製	スライド黒板, 掲示板, 画枠, ピクチャーレール	
	改修後	±0	M	既設撤去 下地処理の上 VS張り		VH 新設		外壁面: 断熱材吹付135, LGS下地GB-R12.5+GB-R-H19.5の上 EP-G 内仕切壁: LGS下地GB-R12.5+GB-R-H19.5の上 EP-G RC・CB壁: LGS下地GB-R12.5+GB-R-H19.5の上 EP-G			S	300×300有孔ボード張り VP	3,100	木製	長押2段	
第9教員研究室 4Mクラスルーム	改修前	±0	M	塩ビ系タイル張り		モルタル塗 VP		ブラスター塗(種:モルタル塗 VP H=1,900)		ブラスター塗	S	300×300有孔ボード張り VP	3,100	木製	長押2段	
	改修後	±0	M	塩ビ系タイル張り		モルタル塗 VP		外壁面: 断熱材吹付135, LGS下地GB-R12.5+GB-R-H19.5の上 EP-G 内仕切壁: LGS下地GB-R12.5+GB-R-H19.5の上 EP-G RC・CB壁: LGS下地GB-R12.5+GB-R-H19.5の上 EP-G		既設撤去 炭素繊維シート大梁補強の上ラスモルタルt=30	S	G・B・N・C張り	2,580	木製	黒板, 掲示板, 長押2段	
モノ削り工房	改修前	±0	M	塗床				ブラスター塗(種:モルタル塗 VP H=1,900)		ブラスター塗	M	ブラスター塗	—	—	—	手摺: 白ラワン積層材, 手摺子: 角パイプ15×15 #130 SOP, ノンスリップ真鍮製
	改修後	±0	M	人造石研出 真鍮目地入#900(玄間) 既設撤去 下地処理の上 塗床		人研ぎ		既設撤去 下地処理の上 EP-G		既設下地処理の上 EP	M	既設下地処理の上 EP-T	—	—	—	手摺: 既設下地処理の上 UC, 手摺子: 既設クレンの上 SOP, 既設 ノンスリップ撤去の上アルミ製(ゴム付) 新設

特記事項	1. 改修にてワレタン防水を行う部分については既設モルタルにて下地処理のこと	7. 特記なき限り、ボード厚は、ロックウール化粧巻板 98・12、98・0・12.5、98・0・19.5とする	12. 既設仕上材撤去の場合は既設工法にて処理する	18. 音遮蔽設置は全て撤去し、平型(新設)38・P2(旧)を新設とする	凡例	C(床)	コンクリート3層併用	G・B・F	強化石膏ボード	F・K	1/1壁カシワム板#6	S・O・P	合成樹脂化粧ペイント塗	U・C	ウレタン樹脂ウレキ
	2. 壁撤去後はモルタル補修のこと	8. 既設天井撤去部は、全て下地共撤去とする	13. 既設仕上、石膏巻板・石膏ボードはアスベスト含有品とする	19. 室内案内灯#900+400(仲)表示板: アルミ製、案内灯(UVE印刷)を新設とする		C(壁・天井)	コンクリート打直し	G・B・R	石膏ボード#19.5	化粧F・K	化粧1/1壁カシワム板#6	E・P	合成樹脂エマルジョンペイント塗(艶消スチロール系)	C・L	クワリテックウレキ
3. 壁撤去後残存の石膏ボードは、床下及びスラブまでとする	9. コンクリート面処理(中・細)とある部分は下地調整材(C)全面塗とする	14. 水廻りに使用する石膏ボードは、シーリング石膏ボードとする	20. 天井(LGS下地)は、コンクリートスラブに75×45×15×2.3(長さ1000程度)を	21. 外装断熱材は、硬質ウレタンフォーム(現場発注工法)とする	M	モルタル	G・B・S	シーリング石膏ボード	V・H	ビニル布	E・P・G	艶消り合成樹脂エマルジョンペイント塗	D・P	樹脂性塗料	
4. 塗床、吹付下地ボードはジョイント工法とし、その他は交付とする	10. 床材厚に支障となる床クック・欠損等はモルタル補修を行うこと	15. 既設壁を補修等は、全て下地共撤去すること	16. モルタル・タイル等を撤去する場合は、既設壁との取合いはカッター等により切断し、	17. 既設人研ぎ石のクリーニング方法は、機械磨きの上用(400目)とする	S	コンクリートブロック	G・B・R・H	硬質石膏ボード#19.5	V・S	織布化粧ビニルシート#312.0	E・P・T	合成樹脂エマルジョン塗料	O・S・L	オイルステインクリヤーウレキ塗	
5. 特記なき限り、天井調湿は塩化ビニル(コ)字型)	11. モルタル・タイル等を撤去する場合は、既設壁との取合いはカッター等により切断し、	18. 既設木製カーテン・ブラインドボックスは、全て撤去とする	19. 外装断熱材は、硬質ウレタンフォーム(現場発注工法)とする		W	木下地	G・B・N・C	不燃化粧化粧石膏ボード#19.5	T・K	タイルカーペット			S・U・S	ステンレス	
6. 既設なき限り、改修室内の木部・鉄部はS2塗料とする	既設撤去 下地処理の上 VS張り														

記事	業務名		鈴鹿工業高等専門学校		工事名称		日付	総数
	鈴鹿工業高等専門学校 棟改修設計等業務		鈴鹿工業高等専門学校		鈴鹿工業高等専門学校棟改修その他工事		平成25年7月	08 / 77
事務所長	総務課長		課長補佐		施設係長		担当	縮尺
	株式会社 総企画設計		管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行		図面名称		番号	1/100
内部仕上表(2)		A-02						



凡例	
	床仕上げ、壁・天井仕上げ(軽量骨材吹付を除く)及び下地(木・CB)撤去 黒板、掲示板、作業台、撤去
	床仕上げ 撤去(階段室)
	床仕上げ、土間コンクリート(l=120)共撤去
	工事範囲外(女子・男子便所)
	撤去建具符号を示す
	ガラス及びアルミパネル取替え建具符号を示す
	既設クリーニング建具符号を示す
	コンクリート壁撤去範囲を示す
	CB壁撤去範囲を示す
	FLからのレベルを示す

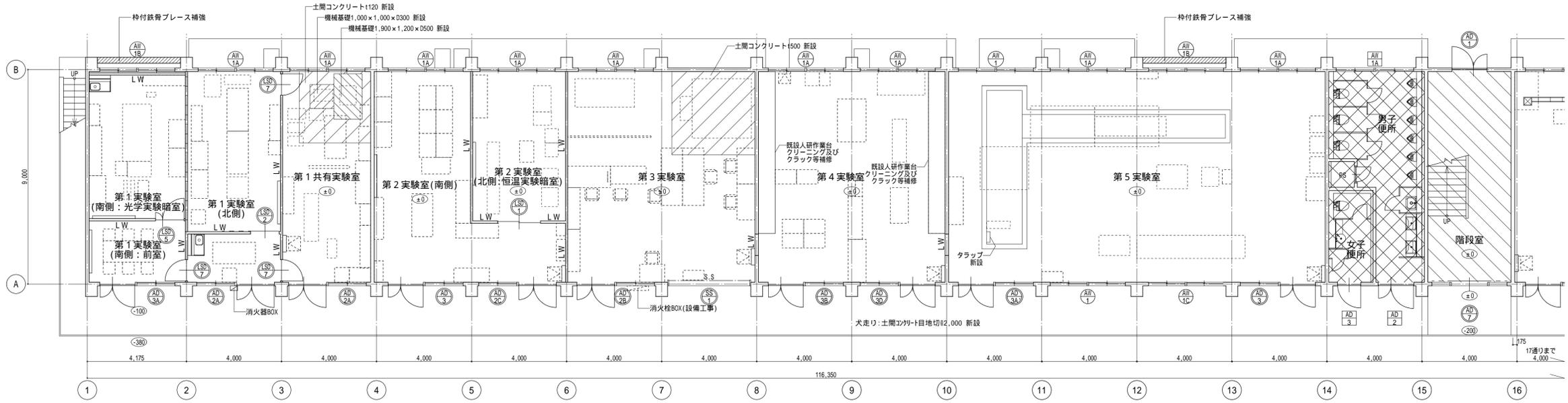
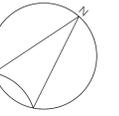


劣化損傷図(見上げ) 凡例	
	浮き
	ひびわれ
	爆裂・欠損

改修前 1階平面図 1/100

記事	業務名	鈴鹿工業高専機械工学科棟改修設計等業務				校図	担当	鈴鹿工業高等専門学校		工事名称	鈴鹿工業高専機械工学科棟改修その他工事	日付	平成25年7月	総数	09/77
	株式会社 総企画設計	管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行	校図	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	鈴鹿工業高専機械工学科棟改修その他工事	縮尺	1/100	番号	A-03	

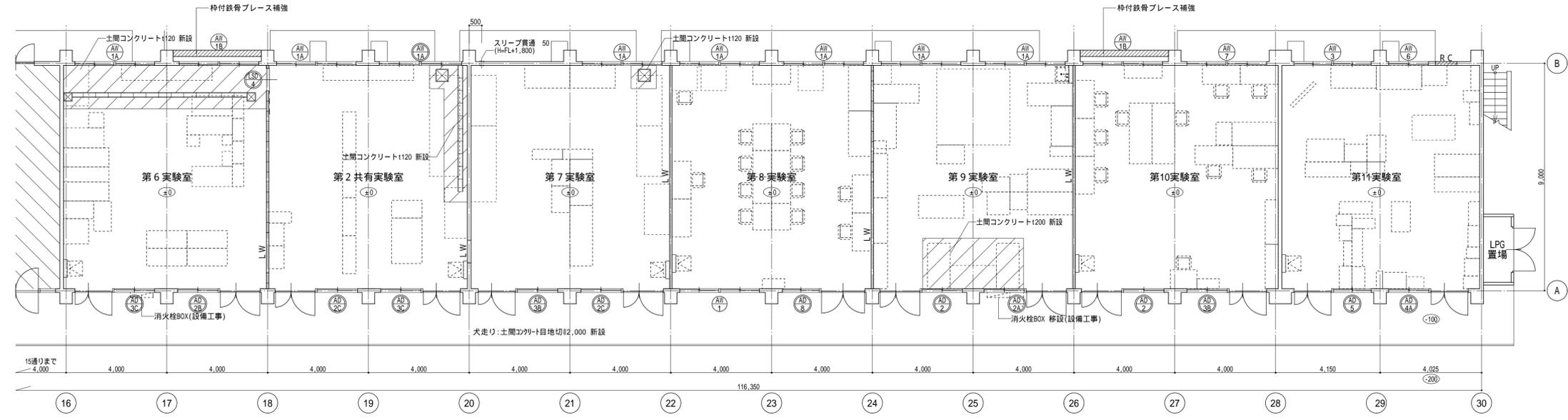
A3版の場合は50%縮尺とする



改修内容：床仕上げ、壁・天井仕上げ及び下地新設

凡例

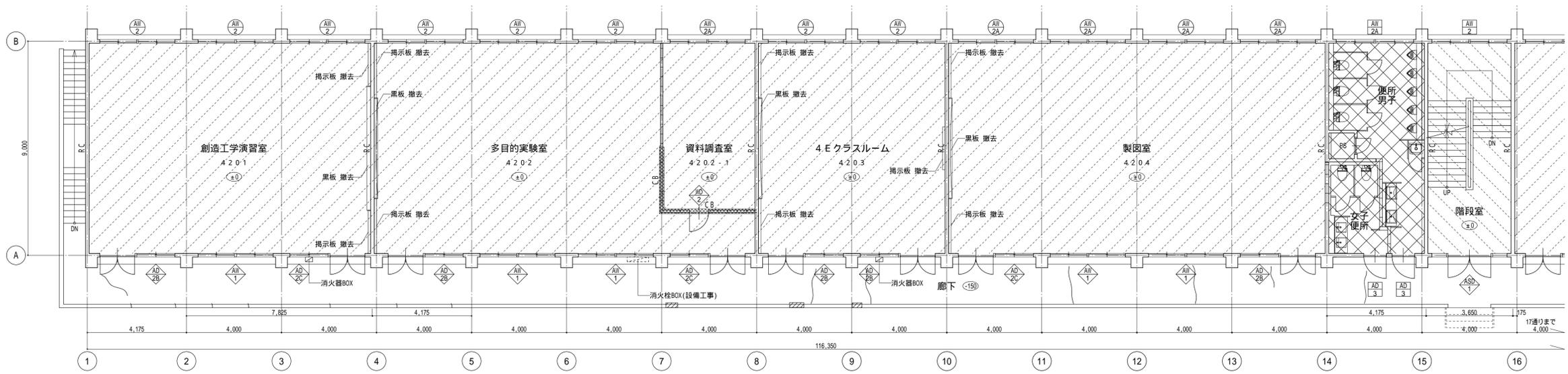
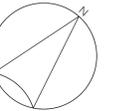
	床・壁・天井仕上げ 新設(階段室)
	工事範囲外(女子・男子便所)
	床仕上げ、土間コンクリート共 新設
	新設建具符号を示す
	ガラス及びアルミパネル取替え建具符号を示す
	既設クリーニング建具符号を示す
	新設軽量鉄骨(LGS W65)間仕切壁
	RC壁 新設
	FLからのレベルを示す



改修後 1階平面図 1/100

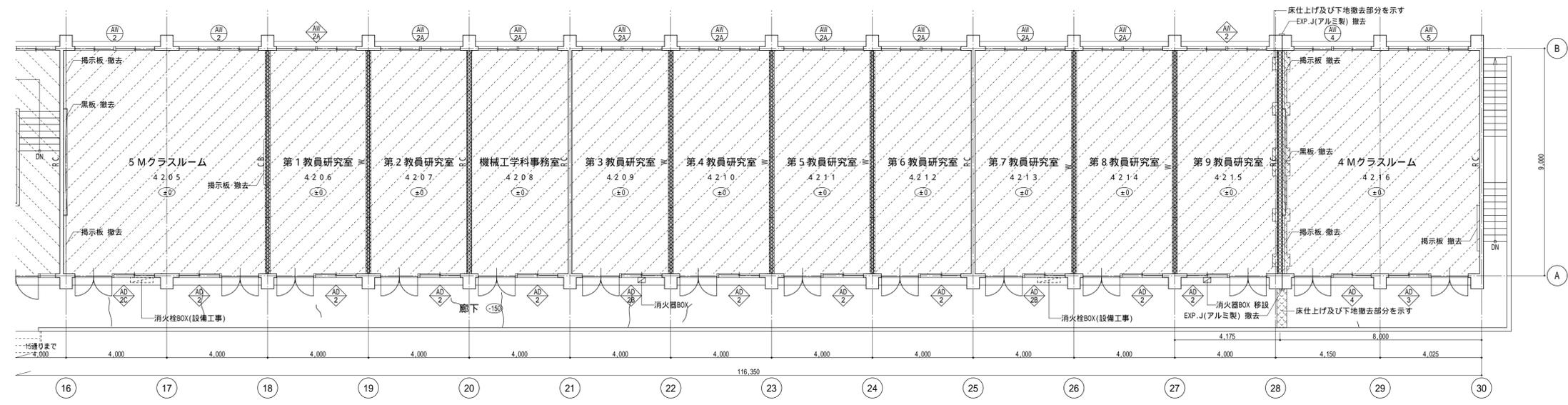
記事	業務名	鈴鹿工業高専機械工学科棟改修設計等業務				工事名称	鈴鹿工業高専機械工学科棟改修その他工事		日付	平成25年7月	総数	10/77
	株式会社 総企画設計	管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行	検図	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	縮尺	1/100	番号

A3版の場合は50%縮尺とする



凡例	
	床仕上げ、壁・天井仕上げ(軽量骨材吹付を除く)及び下地(木・CB)撤去 黒板、掲示板上げ、作業台、撤去
	床仕上げ 撤去(階段室)
	工事範囲外(女子・男子便所)
	RC壁撤去下部等、床仕上げ及び下地撤去部分を示す
	撤去建具符号を示す
	ガラス及びアルミパネル取替え建具符号を示す
	既設クリーニング建具符号を示す
	コンクリート壁撤去範囲を示す
	CB壁撤去範囲を示す
	木造壁撤去範囲を示す
	FLからのレベルを示す

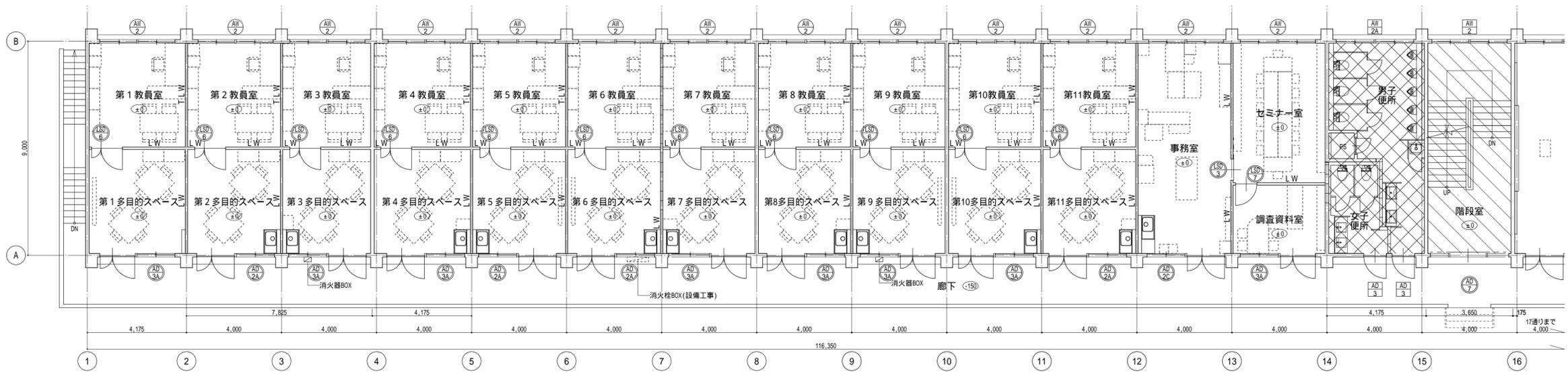
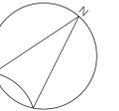
劣化損傷図(見上げ) 凡例	
	浮き
	ひびわれ
	爆裂・欠損



改修前 2階平面図 1/100

記事	業務名	鈴鹿工業高専機械工学科棟改修設計等業務				鈴鹿工業高等専門学校			工事名称	鈴鹿工業高専機械工学科棟改修その他工事	日付	平成25年7月	総数	11/77
	株式会社 総企画設計	管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行	検図	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	図面名称	改修前 2階平面図	縮尺	1/100	番号

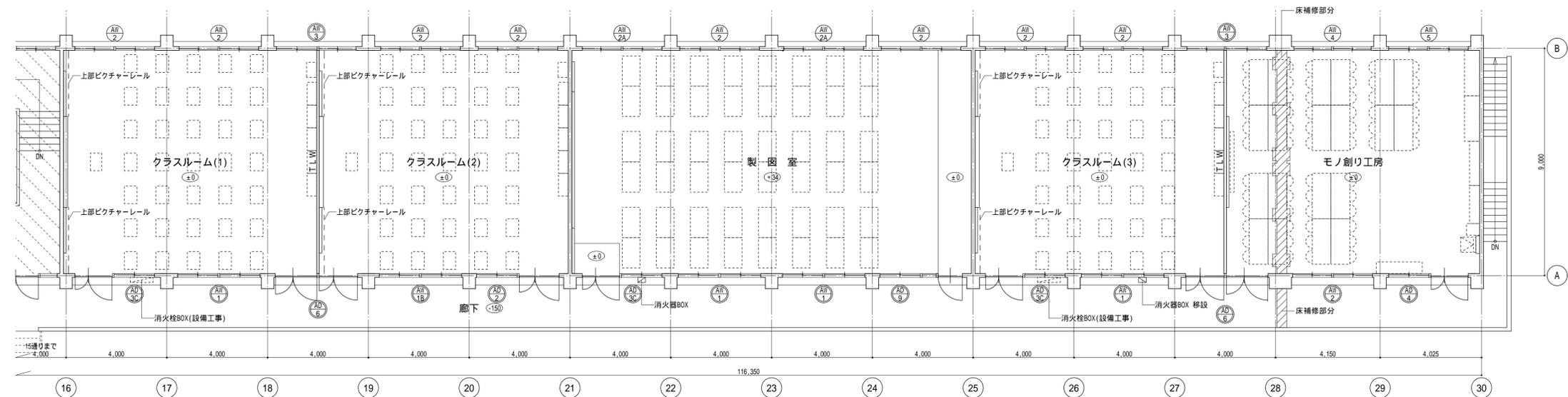
A3版の場合は50%縮尺とする



改修内容：床仕上げ、壁・天井仕上げ及び下地新設

凡例

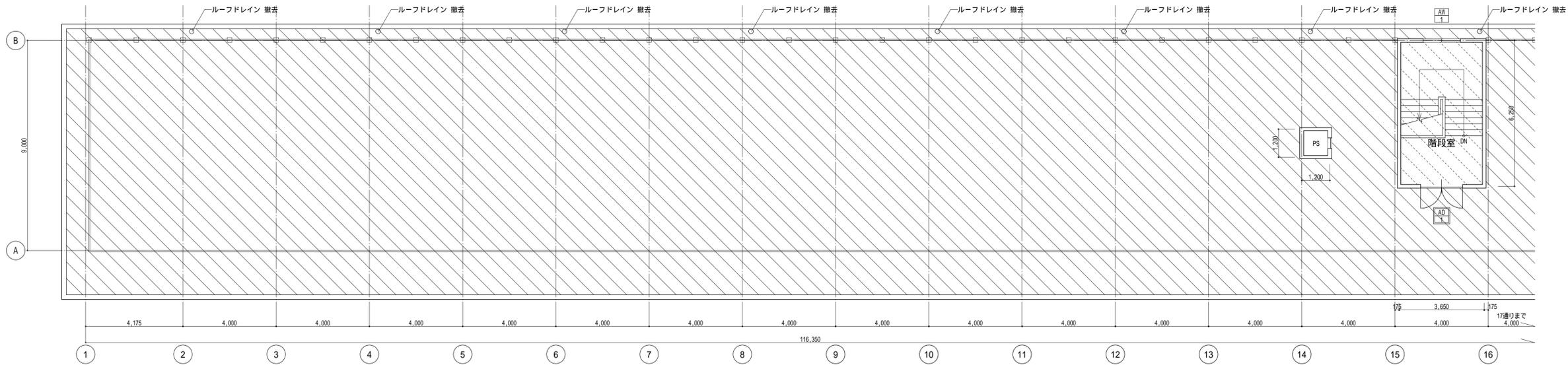
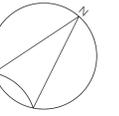
	床・壁・天井仕上げ 新設(階段室)
	工事範囲外(女子・男子便所)
	RC壁撤去下部等、床コンクリート打による補修部分を示す
	新設建具符号を示す
	ガラス及びアルミパネル取替え建具符号を示す
	既設クリーニング建具符号を示す
	新設軽量鉄骨(LGS W65)間仕切壁
	新設準耐火・遮音性能軽量鉄骨(LGS)間仕切壁
	FLからのレベルを示す



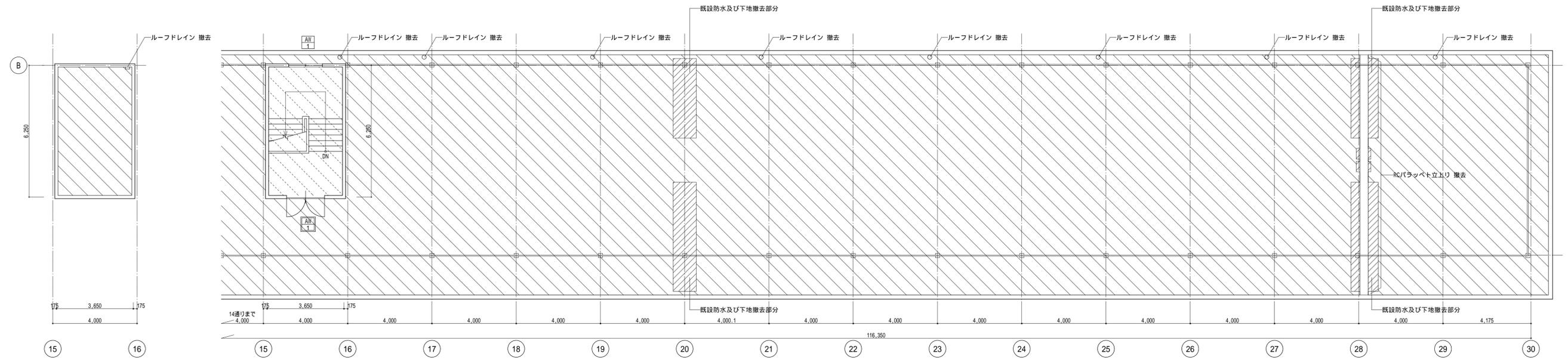
改修後 2階平面図 1/100

記事	業務名	鈴鹿工業高等専門学校 鈴鹿工業高等専門学校 改修設計等業務				工事名称	鈴鹿工業高等専門学校 改修その他工事		日付	平成25年7月	総数	12/77
	株式会社 総企画設計	管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行	検図	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	縮尺	1/100	番号

A3版の場合は50%縮尺とする



凡例	
	床仕上げ 撤去(階段室)
	加硫ゴムシート防水t=1.2 範囲を示す
	既設防水及び下地撤去部分を示す
	撤去建具符号を示す
	既設クリーニング建具符号を示す
	既設クリーニング及び、採取替え建具符号を示す

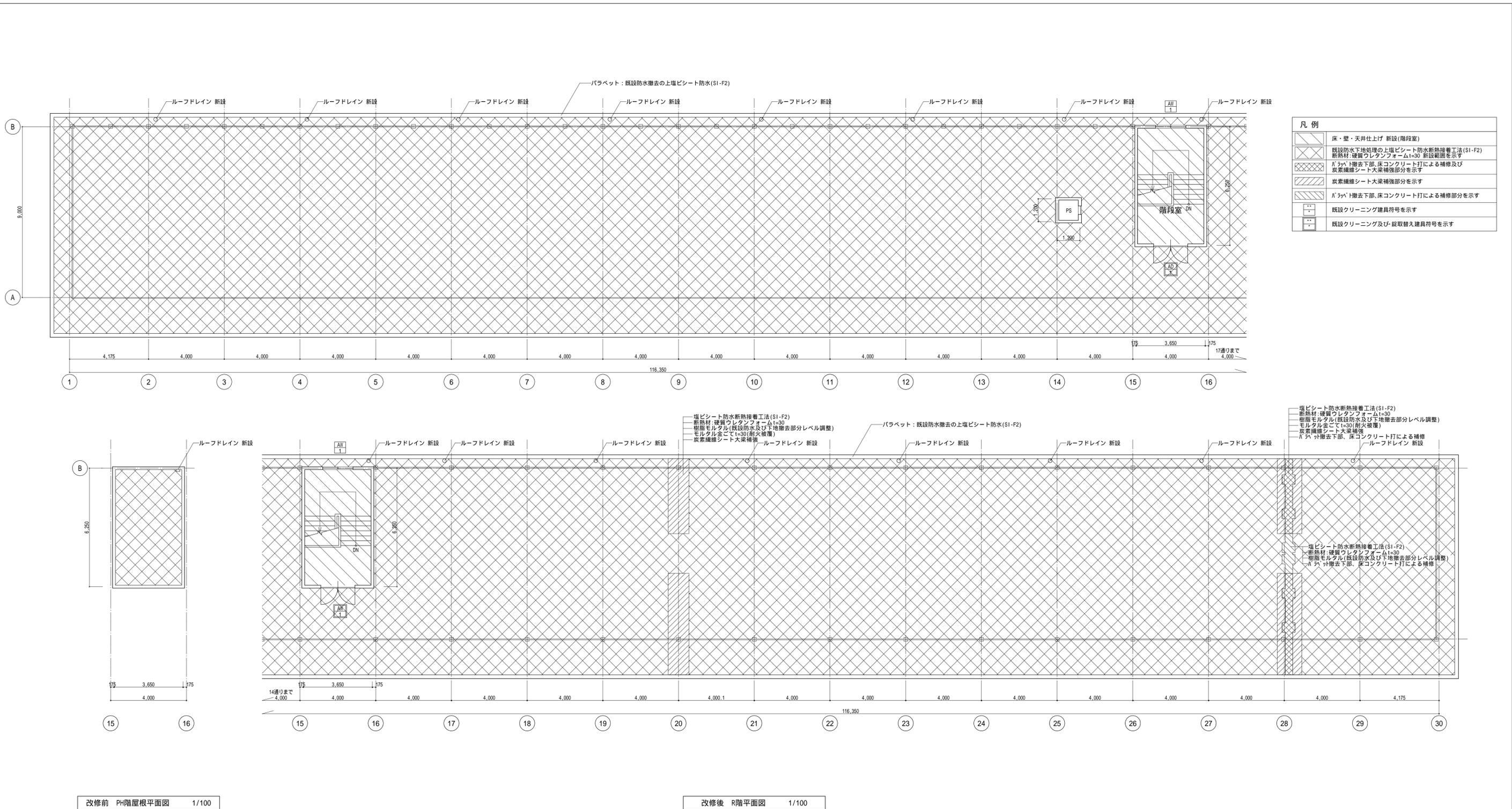


改修前 PH階屋根平面図 1/100

改修前 R階平面図 1/100

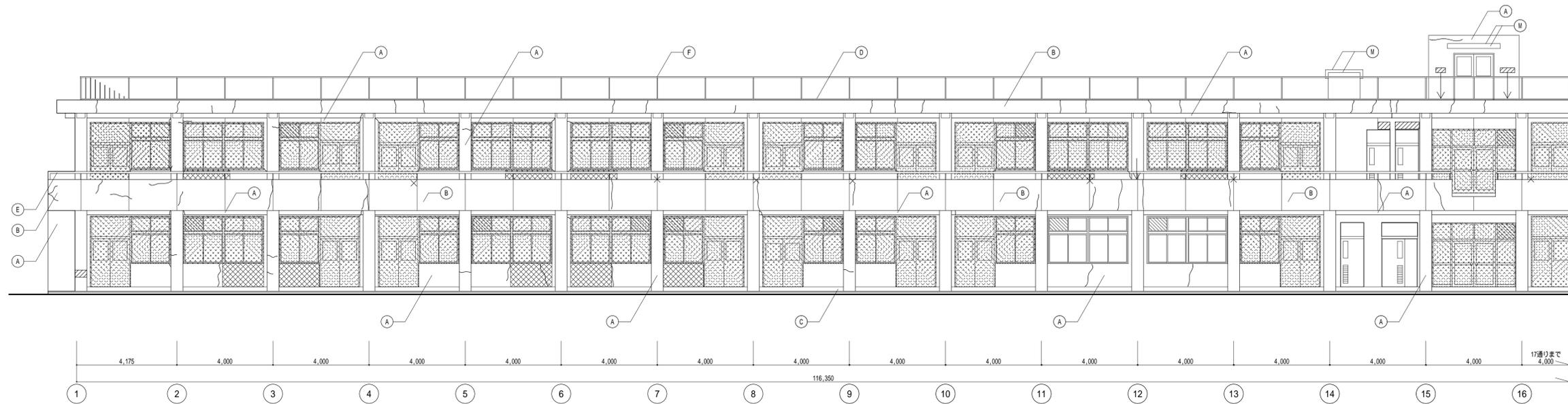
記事	業務名	鈴鹿工業高専機械工学科棟改修設計等業務					工事名称	鈴鹿工業高専機械工学科棟改修その他工事		日付	平成25年7月	総数	13/77	
	株式会社 総企画設計	管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行	棟図	担当		事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	縮尺	1/100	番号	A-07

A3版の場合は50%縮尺とする

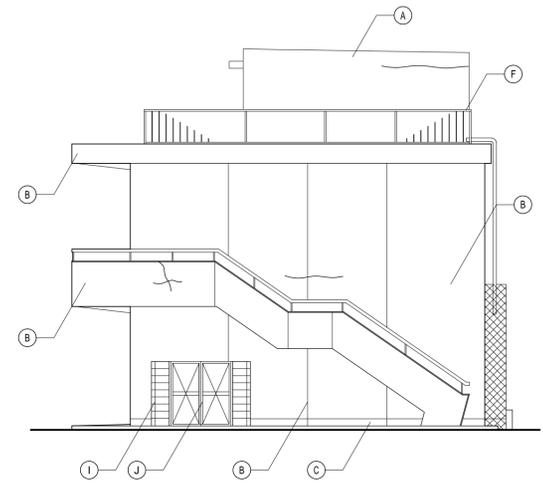


記 事	業務名		鈴鹿工業高等専門学校					工事名称	日付	総数	
	鈴鹿工業高等専門学校		改修設計等業務					鈴鹿工業高等専門学校改修その他工事	平成25年7月	14/77	
	株式会社 総企画設計		棟図	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担 当	縮尺	番号
	管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行									1/100	A-08

A3版の場合は50%縮尺とする



凡例	
(A)	モルタル刷毛引きリシン吹付の上防水形複層塗材
(B)	モルタル刷毛引き自地切りリシン吹付の上防水形複層塗材
(C)	巾木：モルタル塗刷毛引き
(D)	パラペット天端：アルミ製押え金物
(E)	廊下・階段手摺：スチール製角パイプ OP
(F)	屋上手摺：スチール製パイプ OP
(G)	縦樋：硬質塩化ビニール管100 OP 掴み金物
(H)	モルタル塗金こて
(I)	CBt=120化粧積み(H=1,800)
(J)	扉：アングル枠ネットフェンス
(K)	防水モルタル塗り
(L)	アルミEXP・J 撤去
(M)	防水モルタルこて押えリシン吹付の上防水形複層塗材
(N)	
	アルミ建具全撤去範囲を示す
	アルミ建具一部(枠以外障子のみ)撤去範囲を示す
	RC壁撤去範囲を示す



劣化項目 (参考数量)		単位	合計	
凸凹浮き	一般部	m ²	3.90	
	指定部	m ²	0.47	
	狭幅部	m	7.10	
ひびわれ	幅0.20mm未満	m	111.30	
	幅0.20mm以上1.00mm未満	m	37.2	
	幅1.00mm以上	m	6.00	
	補修跡	m	8.00	
	エドレット	m	29.5	
	錆汁	m	87.9	
爆裂・欠損	ミニ	50*50*30	箇所	1
	小	50*100*30	箇所	1
	中	100*100*30	箇所	11
	大	100*200*30	箇所	0
	特大	100*300*30	箇所	0
超特大	上記より大	m ²	0.19	

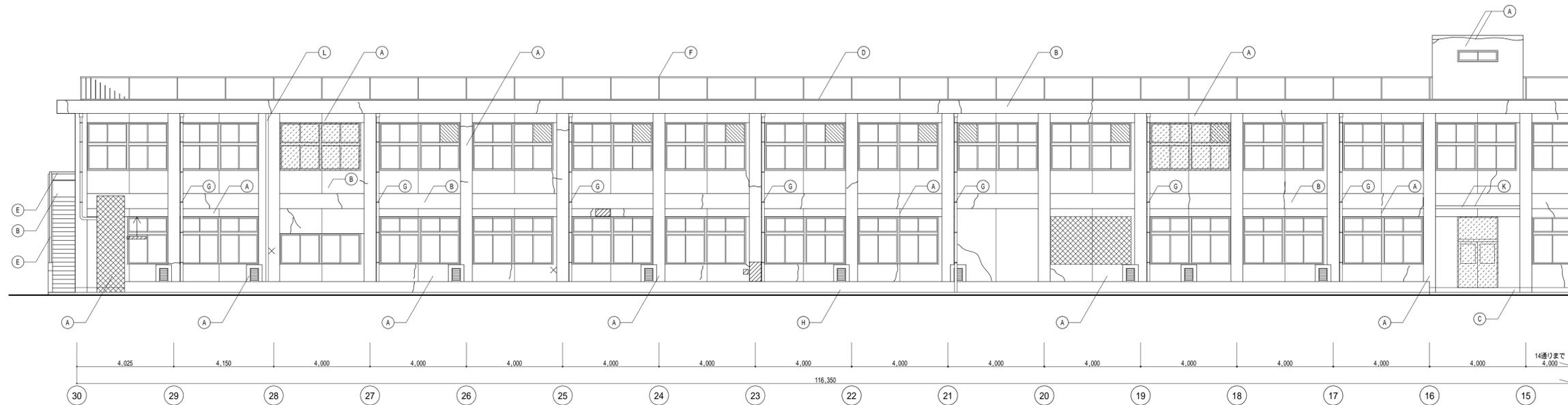
上記数値は床・壁・柱・梁・軒・手摺全ての数量を示す。
施工時に本調査を行う事とする。

劣化損傷図 凡例	
	浮き
	ひびわれ
	爆裂・欠損

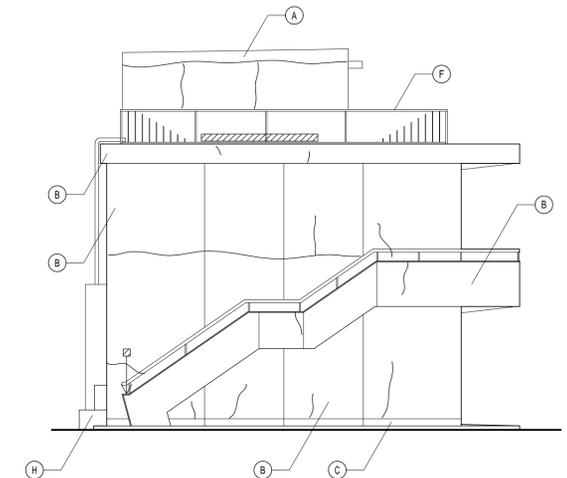
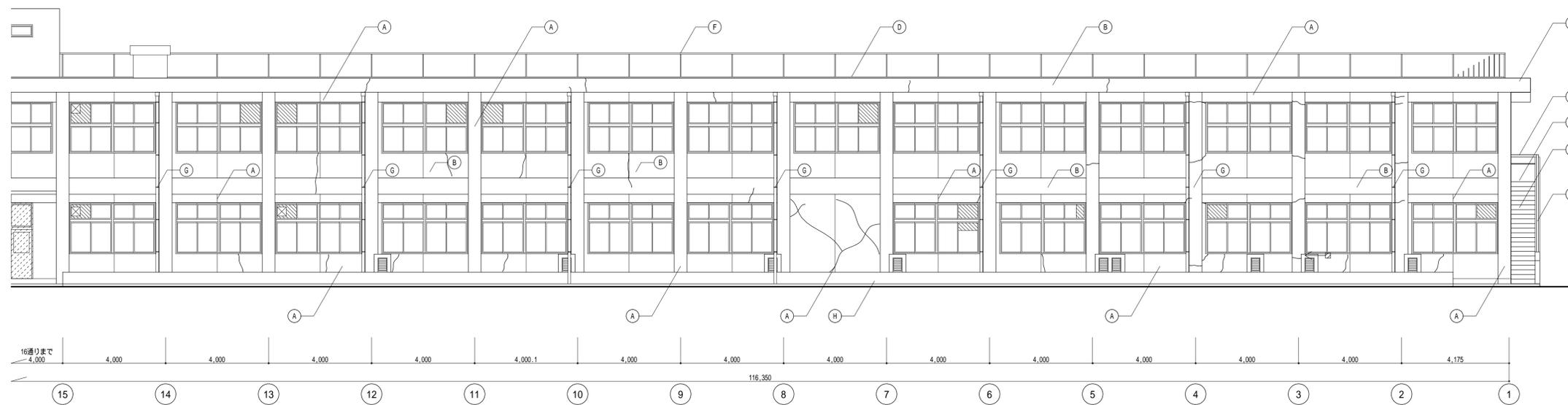
改修前 南側立面図 1/100

改修前 東側立面図 1/100

記事	業務名	鈴鹿工業高専機械工学科棟改修設計等業務				校図	担当	鈴鹿工業高等専門学校	工事名称	鈴鹿工業高専機械工学科棟改修その他工事	日付	平成25年7月	総数	15/77
	株式会社 総企画設計	管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行	校図	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	鈴鹿工業高専機械工学科棟改修その他工事	縮尺	1/100	番号	A-09



凡例	
(A)	モルタル刷毛引きリシン吹付の上防水形複層塗材
(B)	モルタル刷毛引き自地切りリシン吹付の上防水形複層塗材
(C)	巾木：モルタル塗刷毛引き
(D)	パラペット天端：アルミ製押え金物
(E)	廊下・階段手摺：スチール製角パイプ OP
(F)	屋上手摺：スチール製パイプ OP
(G)	縦樋：硬質塩化ビニール管100 OP 掴み金物
(H)	モルタル塗金ごて
(I)	CBt=120化粧積み(H=1,800)
(J)	扉：アングル枠ネットフェンス
(K)	防水モルタルこて押え
(L)	アルミEXP・J 撤去
(M)	防水モルタルこて押えリシン吹付の上防水形複層塗材
(N)	
	アルミ建具全撤去範囲を示す
	アルミ建具一部(枠以外障子のみ)撤去範囲を示す
	RC壁撤去範囲を示す



劣化項目 (参考数量)	単位	合計
凹外浮き		
一般部	m ²	3.90
指定部	m ²	0.47
狭幅部	m	7.10
ひびわれ		
幅0.20mm未満	m	111.30
幅0.20mm以上1.00mm未満	m	37.2
幅1.00mm以上	m	6.00
補修跡	m	8.00
エドレット	m	29.5
錆汁	m	87.9
爆裂・欠損		
ミニ	箇所	1
小	箇所	1
中	箇所	11
大	箇所	0
特大	箇所	0
超特大	m ²	0.19

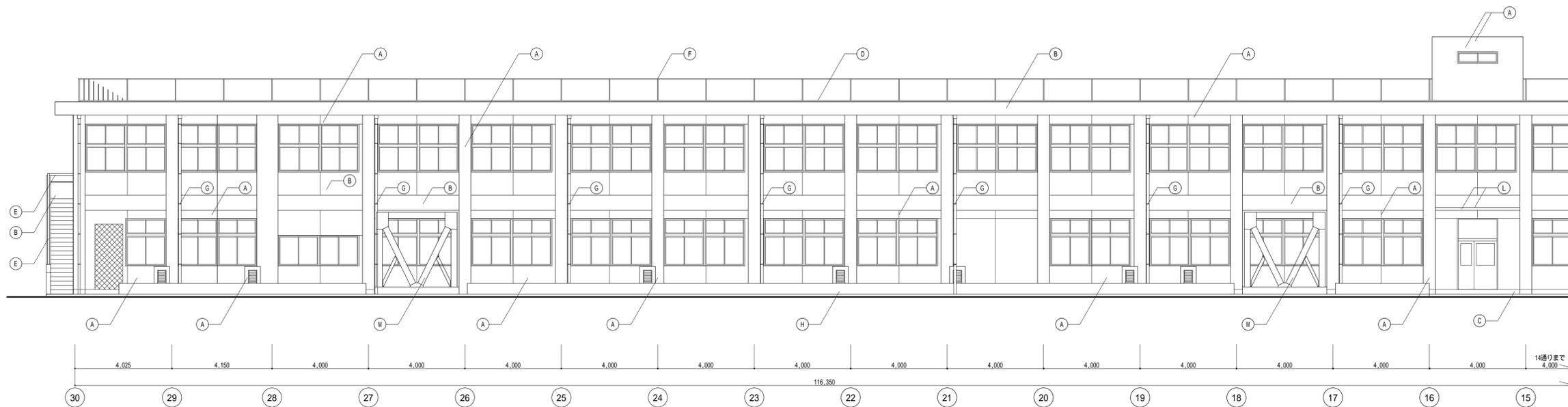
上記数値は床・壁・柱・梁・軒・手摺全ての数量を示す。
施工時に本調査を行う事とする。

劣化損傷図 凡例	
	劣化項目
	浮き
	ひびわれ
	爆裂・欠損

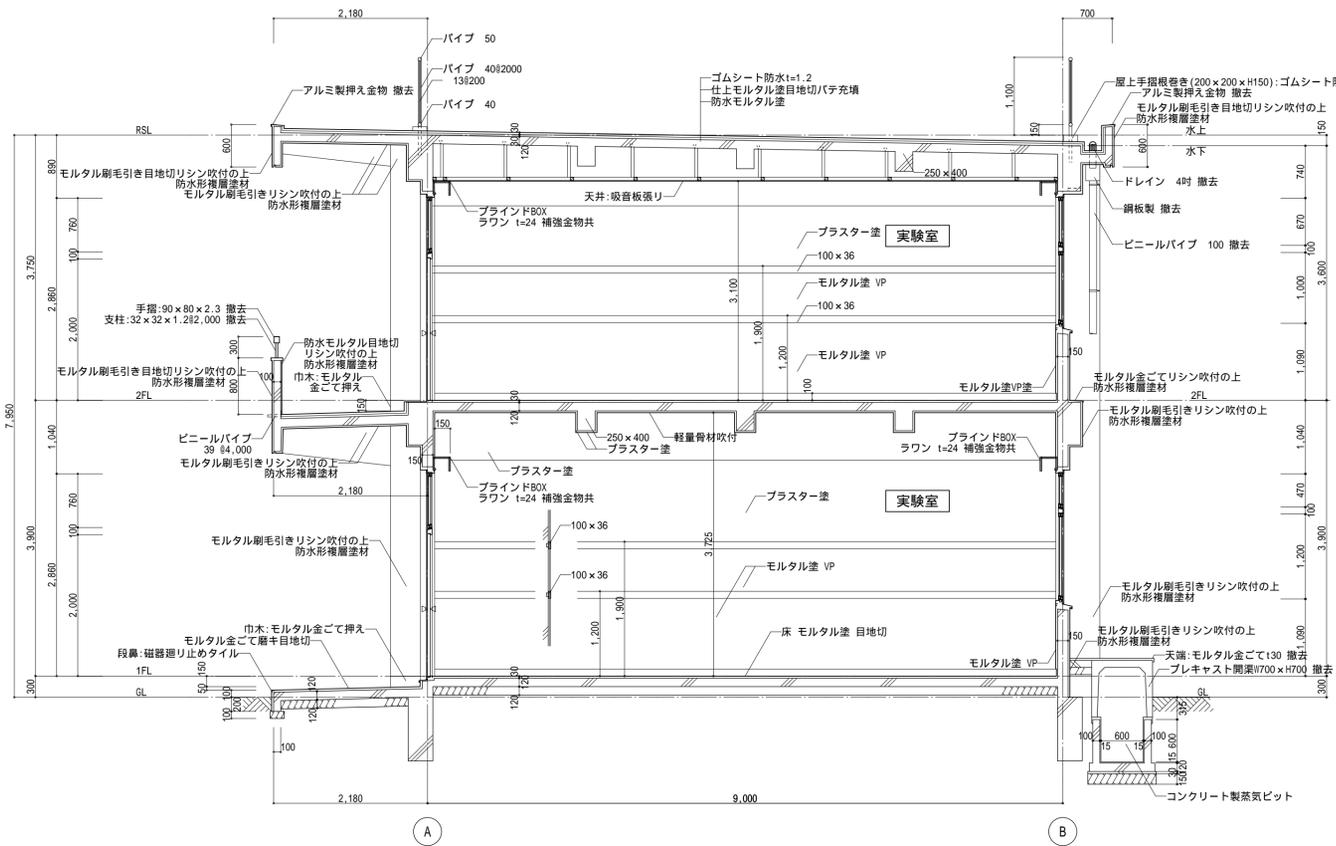
改修前 北側立面図 1/100

改修前 西側立面図 1/100

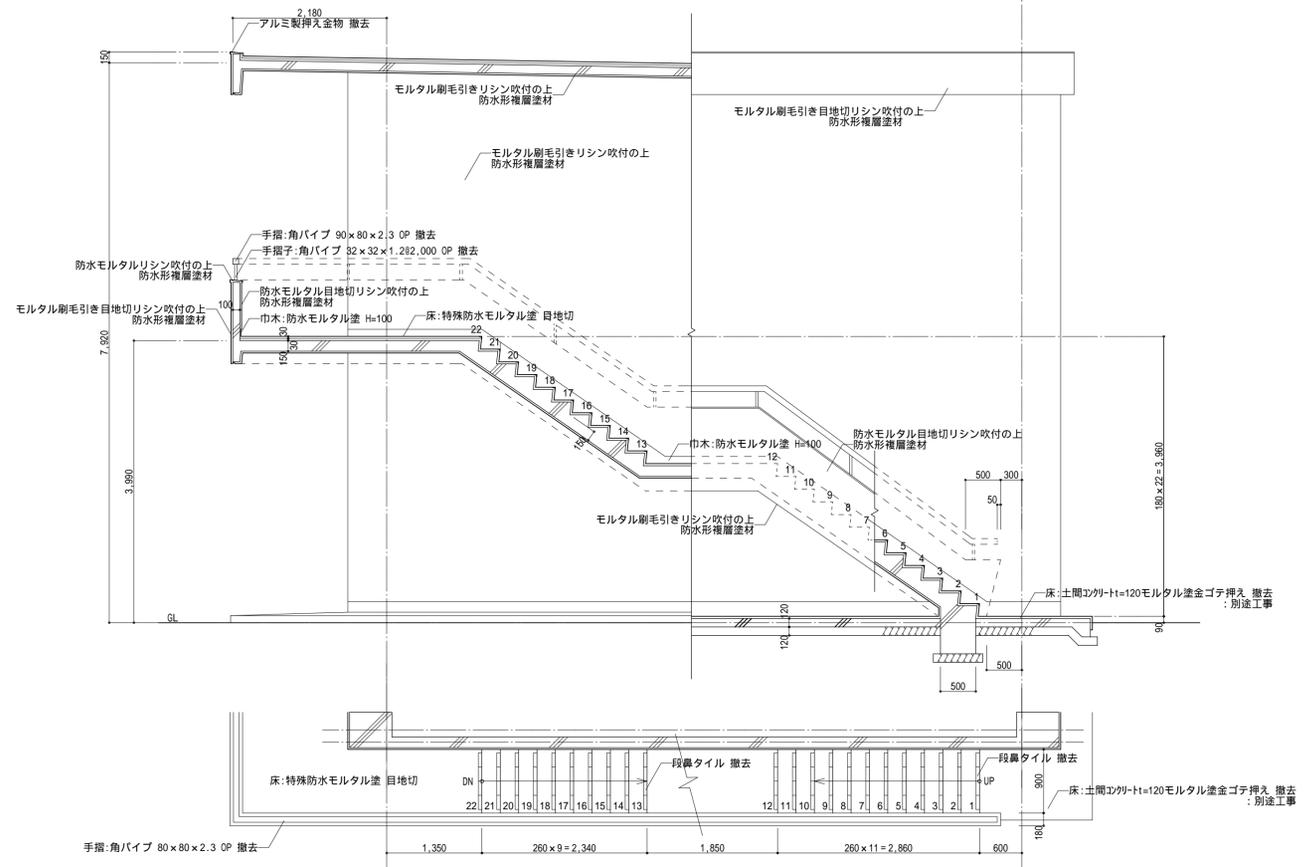
記事	業務名	鈴鹿工業高専機械工学科棟改修設計等業務				工事名称	鈴鹿工業高専機械工学科棟改修その他工事		日付	平成25年7月	総数	17/77
	図面名称	改修前 北・西側立面図				縮尺	1/100		番号	A-11		
	担当者	株式会社 総企画設計 管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行				校図	担当					



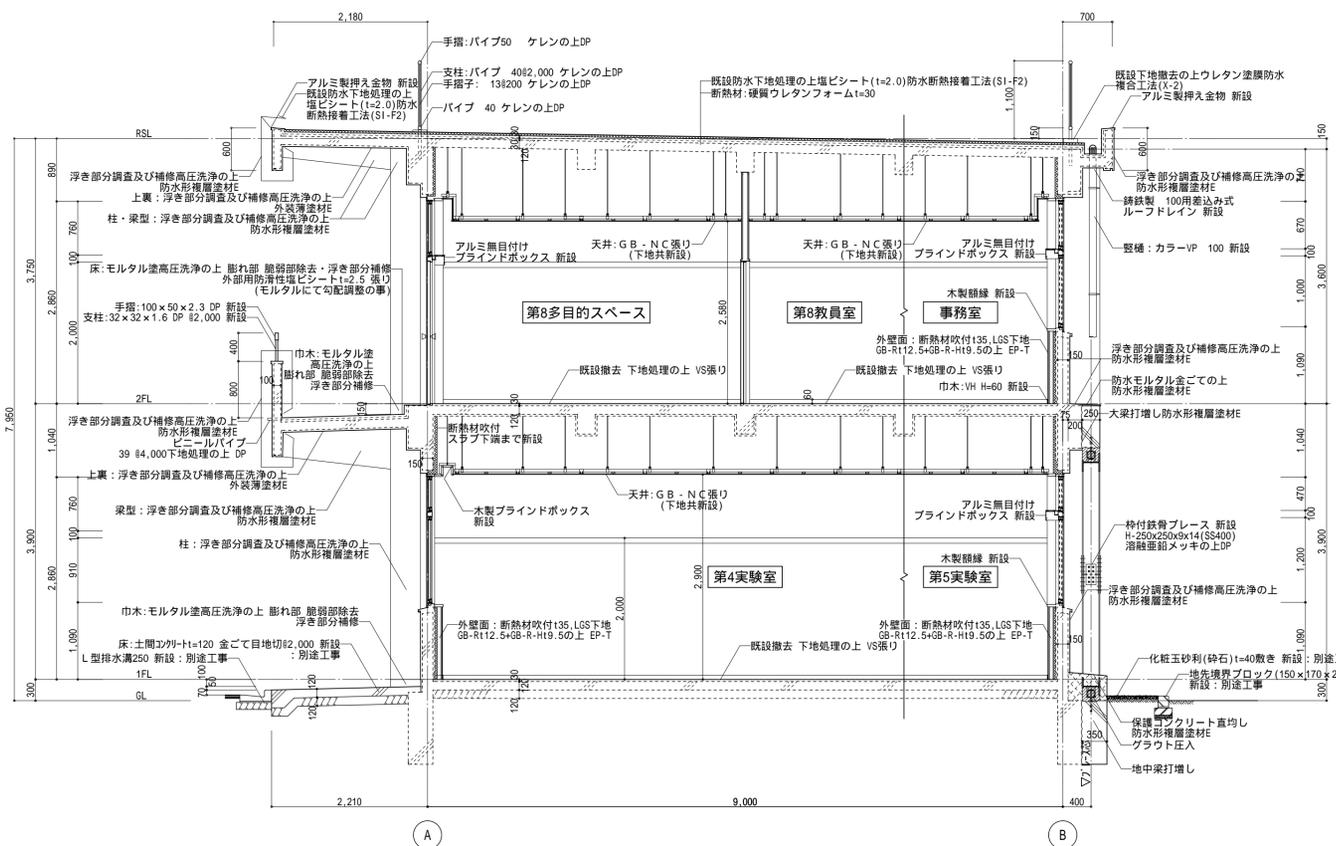
凡例	
(A)	モルタル耐毛引きリシン吹付の上防次形補修塗材
(B)	浮き部分剥離及び補修高圧洗浄の上防次形補修塗材E
(C)	モルタル耐毛引きリシン吹付の上防次形補修塗材E
(D)	浮き部分剥離及び補修高圧洗浄の上防次形補修塗材E
(E)	モルタル耐毛引きリシン吹付の上防次形補修塗材E
(F)	高圧洗浄の上 膨れ部 剥離部除去・浮き部分補修
(G)	パラベット天端：アルミ製押入金物 新設
(H)	廊下・階段手摺：既設撤去の上 スチール製角パイプDP 新設
(I)	屋上手摺：既設スチール製パイプ クレンの上DP
(J)	縦樋：既設撤去の上 横置塩化ビニルパイプ 100 DP
(K)	モルタル耐毛引きリシン吹付の上防次形補修塗材E
(L)	モルタル耐毛引きリシン吹付の上防次形補修塗材E
(M)	CBt=120化粧組み(H=1,800) 高圧洗浄
(N)	扉：アングル枠ネットフェンスケレンの上DP
(O)	モルタル塗高圧洗浄の上 膨れ部 剥離部除去・浮き部分補修
(P)	階段用防滑性塩ビシートt=2.5(露込一体タイプ) 張り
(Q)	既設下地処理の上ウレタン塗膜防水複合工法(X-2)
(R)	枠付鉄骨ブレース：溶融亜鉛メッキの上DP
(S)	
(T)	
(U)	
(V)	
(W)	
(X)	
(Y)	
(Z)	
(AA)	
(AB)	
(AC)	
(AD)	
(AE)	
(AF)	
(AG)	
(AH)	
(AI)	
(AJ)	
(AK)	
(AL)	
(AM)	
(AN)	
(AO)	
(AP)	
(AQ)	
(AR)	
(AS)	
(AT)	
(AU)	
(AV)	
(AW)	
(AX)	
(AY)	
(AZ)	
(BA)	
(BB)	
(BC)	
(BD)	
(BE)	
(BF)	
(BG)	
(BH)	
(BI)	
(BJ)	
(BK)	
(BL)	
(BM)	
(BN)	
(BO)	
(BP)	
(BQ)	
(BR)	
(BS)	
(BT)	
(BU)	
(BV)	
(BW)	
(BX)	
(BY)	
(BZ)	
(CA)	
(CB)	
(CC)	
(CD)	
(CE)	
(CF)	
(CG)	
(CH)	
(CI)	
(CJ)	
(CK)	
(CL)	
(CM)	
(CN)	
(CO)	
(CP)	
(CQ)	
(CR)	
(CS)	
(CT)	
(CU)	
(CV)	
(CW)	
(CX)	
(CY)	
(CZ)	
(DA)	
(DB)	
(DC)	
(DD)	
(DE)	
(DF)	
(DG)	
(DH)	
(DI)	
(DJ)	
(DK)	
(DL)	
(DM)	
(DN)	
(DO)	
(DP)	
(DQ)	
(DR)	
(DS)	
(DT)	
(DU)	
(DV)	
(DW)	
(DX)	
(DY)	
(DZ)	
(EA)	
(EB)	
(EC)	
(ED)	
(EE)	
(EF)	
(EG)	
(EH)	
(EI)	
(EJ)	
(EK)	
(EL)	
(EM)	
(EN)	
(EO)	
(EP)	
(EQ)	
(ER)	
(ES)	
(ET)	
(EU)	
(EV)	
(EW)	
(EX)	
(EY)	
(EZ)	
(FA)	
(FB)	
(FC)	
(FD)	
(FE)	
(FF)	
(FG)	
(FH)	
(FI)	
(FJ)	
(FK)	
(FL)	
(FM)	
(FN)	
(FO)	
(FP)	
(FQ)	
(FR)	
(FS)	
(FT)	
(FU)	
(FV)	
(FW)	
(FX)	
(FY)	
(FZ)	
(GA)	
(GB)	
(GC)	
(GD)	
(GE)	
(GF)	
(GG)	
(GH)	
(GI)	
(GJ)	
(GK)	
(GL)	
(GM)	
(GN)	
(GO)	
(GP)	
(GQ)	
(GR)	
(GS)	
(GT)	
(GU)	
(GV)	
(GW)	
(GX)	
(GY)	
(GZ)	
(HA)	
(HB)	
(HC)	
(HD)	
(HE)	
(HF)	
(HG)	
(HH)	
(HI)	
(HJ)	
(HK)	
(HL)	
(HM)	
(HN)	
(HO)	
(HP)	
(HQ)	
(HR)	
(HS)	
(HT)	
(HU)	
(HV)	
(HW)	
(HX)	
(HY)	
(HZ)	
(IA)	
(IB)	
(IC)	
(ID)	
(IE)	
(IF)	
(IG)	
(IH)	
(II)	
(IJ)	
(IK)	
(IL)	
(IM)	
(IN)	
(IO)	
(IP)	
(IQ)	
(IR)	
(IS)	
(IT)	
(IU)	
(IV)	
(IW)	
(IX)	
(IY)	
(IZ)	
(JA)	
(JB)	
(JC)	
(JD)	
(JE)	
(JF)	
(JG)	
(JH)	
(JI)	
(JJ)	
(JK)	
(JL)	
(JM)	
(JN)	
(JO)	
(JP)	
(JQ)	
(JR)	
(JS)	
(JT)	
(JU)	
(JV)	
(JW)	
(JX)	
(JY)	
(JZ)	
(KA)	
(KB)	
(KC)	
(KD)	
(KE)	
(KF)	
(KG)	
(KH)	
(KI)	
(KJ)	
(KK)	
(KL)	
(KM)	
(KN)	
(KO)	
(KP)	
(KQ)	
(KR)	
(KS)	
(KT)	
(KU)	
(KV)	
(KW)	
(KX)	
(KY)	
(KZ)	
(LA)	
(LB)	
(LC)	
(LD)	
(LE)	
(LF)	
(LG)	
(LH)	
(LI)	
(LJ)	
(LK)	
(LL)	
(LM)	
(LN)	
(LO)	
(LP)	
(LQ)	
(LR)	
(LS)	
(LT)	
(LU)	
(LV)	
(LW)	
(LX)	
(LY)	
(LZ)	
(MA)	
(MB)	
(MC)	
(MD)	
(ME)	
(MF)	
(MG)	
(MH)	
(MI)	
(MJ)	
(MK)	
(ML)	
(MM)	
(MN)	
(MO)	
(MP)	
(MQ)	
(MR)	
(MS)	
(MT)	
(MU)	
(MV)	
(MW)	
(MX)	
(MY)	
(MZ)	
(NA)	
(NB)	
(NC)	
(ND)	
(NE)	
(NF)	
(NG)	
(NH)	
(NI)	
(NJ)	
(NK)	
(NL)	
(NM)	
(NO)	
(NP)	
(NQ)	
(NR)	
(NS)	
(NT)	
(NU)	
(NV)	
(NW)	
(NX)	
(NY)	
(NZ)	
(OA)	
(OB)	
(OC)	
(OD)	
(OE)	
(OF)	
(OG)	
(OH)	
(OI)	
(OJ)	
(OK)	
(OL)	
(OM)	
(ON)	
(OO)	
(OP)	
(OQ)	
(OR)	
(OS)	
(OT)	
(OU)	
(OV)	
(OW)	
(OX)	
(OY)	
(OZ)	
(PA)	
(PB)	
(PC)	
(PD)	
(PE)	
(PF)	
(PG)	
(PH)	
(PI)	
(PJ)	
(PK)	
(PL)	
(PM)	
(PN)	
(PO)	
(PP)	
(PQ)	
(PR)	
(PS)	
(PT)	
(PU)	
(PV)	
(PW)	
(PX)	
(PY)	
(PZ)	
(QA)	
(QB)	
(QC)	
(QD)	
(QE)	
(QF)	
(QG)	
(QH)	
(QI)	
(QJ)	
(QK)	
(QL)	
(QM)	
(QN)	
(QO)	
(QP)	
(QQ)	
(QR)	
(QS)	
(QT)	
(QU)	
(QV)	
(QW)	
(QX)	
(QY)	
(QZ)	
(RA)	
(RB)	
(RC)	
(RD)	
(RE)	
(RF)	
(RG)	
(RH)	
(RI)	
(RJ)	
(RK)	
(RL)	
(RM)	
(RN)	
(RO)	
(RP)	
(RQ)	
(RR)	
(RS)	
(RT)	
(RU)	
(RV)	
(RW)	
(RX)	
(RY)	
(RZ)	
(SA)	
(SB)	
(SC)	
(SD)	
(SE)	
(SF)	
(SG)	
(SH)	
(SI)	
(SJ)	
(SK)	
(SL)	
(SM)	
(SN)	
(SO)	
(SP)	
(SQ)	
(SR)	
(SS)	
(ST)	
(SU)	
(SV)	
(SW)	
(SX)	
(SY)	
(SZ)	
(TA)	
(TB)	
(TC)	
(TD)	
(TE)	
(TF)	
(TG)	
(TH)	
(TI)	
(TJ)	
(TK)	
(TL)	
(TM)	
(TN)	
(TO)	
(TP)	
(TQ)	
(TR)	
(TS)	
(TT)	
(TU)	
(TV)	
(TW)	
(TX)	
(TY)	
(TZ)	
(UA)	
(UB)	
(UC)	
(UD)	
(UE)	
(UF)	
(UG)	
(UH)	
(UI)	
(UJ)	
(UK)	
(UL)	
(UM)	
(UN)	
(UO)	
(UP)	
(UQ)	
(UR)	
(US)	
(UT)	
(UU)	
(UV)	
(UW)	
(UX)	
(UY)	
(UZ)	
(VA)	
(VB)	
(VC)	
(VD)	
(VE)	
(VF)	
(VG)	
(VH)	
(VI)	
(VJ)	
(VK)	
(VL)	
(VM)	
(VN)	
(VO)	
(VP)	
(VQ)	
(VR)	
(VS)	
(VT)	
(VU)	
(VV)	
(VW)	
(VX)	
(VY)	
(VZ)	
(WA)	
(WB)	
(WC)	
(WD)	
(WE)	
(WF)	
(WG)	
(WH)	
(WI)	
(WJ)	
(WK)	
(WL)	
(WM)	
(WN)	
(WO)	
(WP)	
(WQ)	
(WR)	
(WS)	
(WT)	
(WU)	
(WV)	



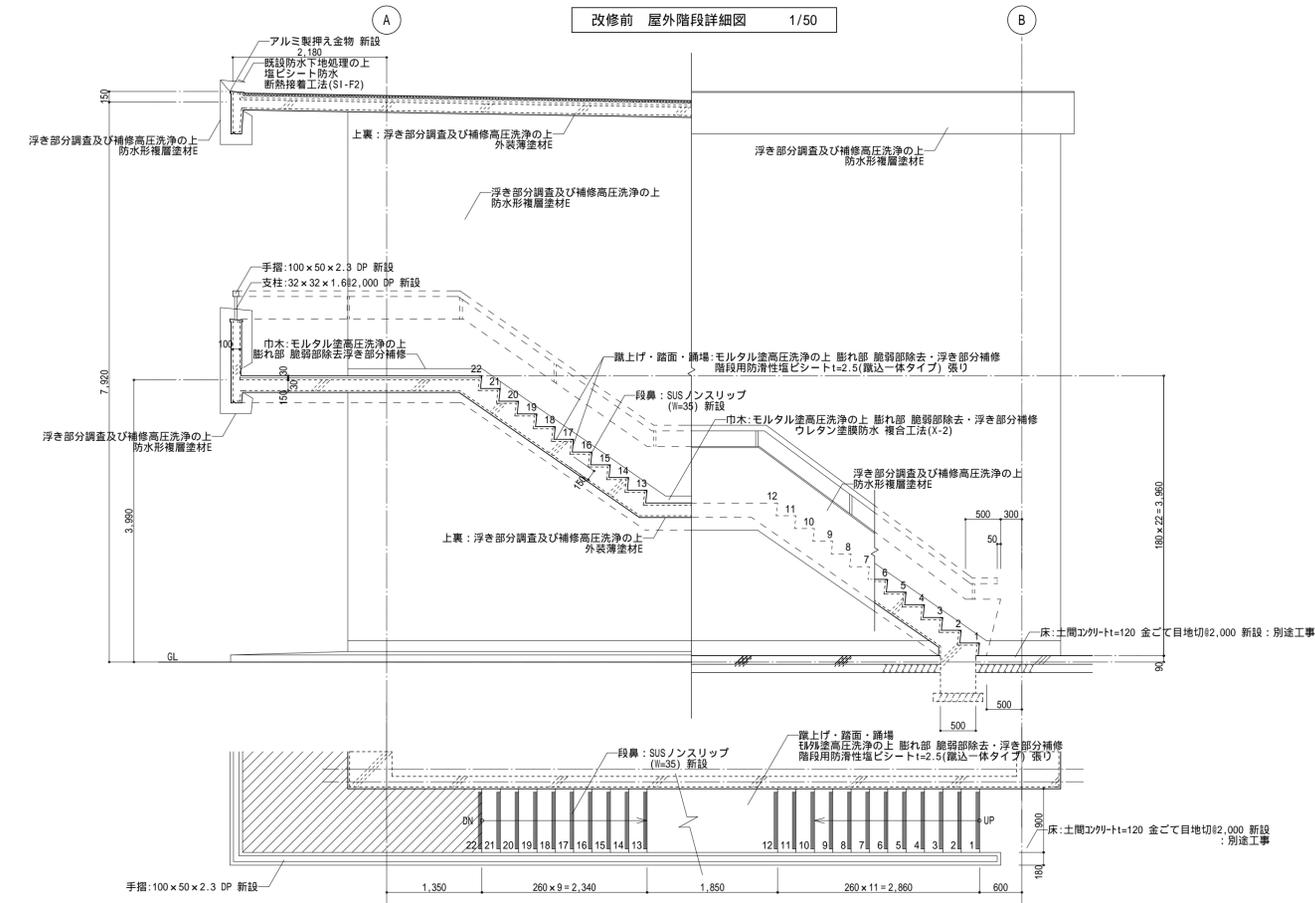
改修前 矩計図 1/50



改修前 屋外階段詳細図 1/50



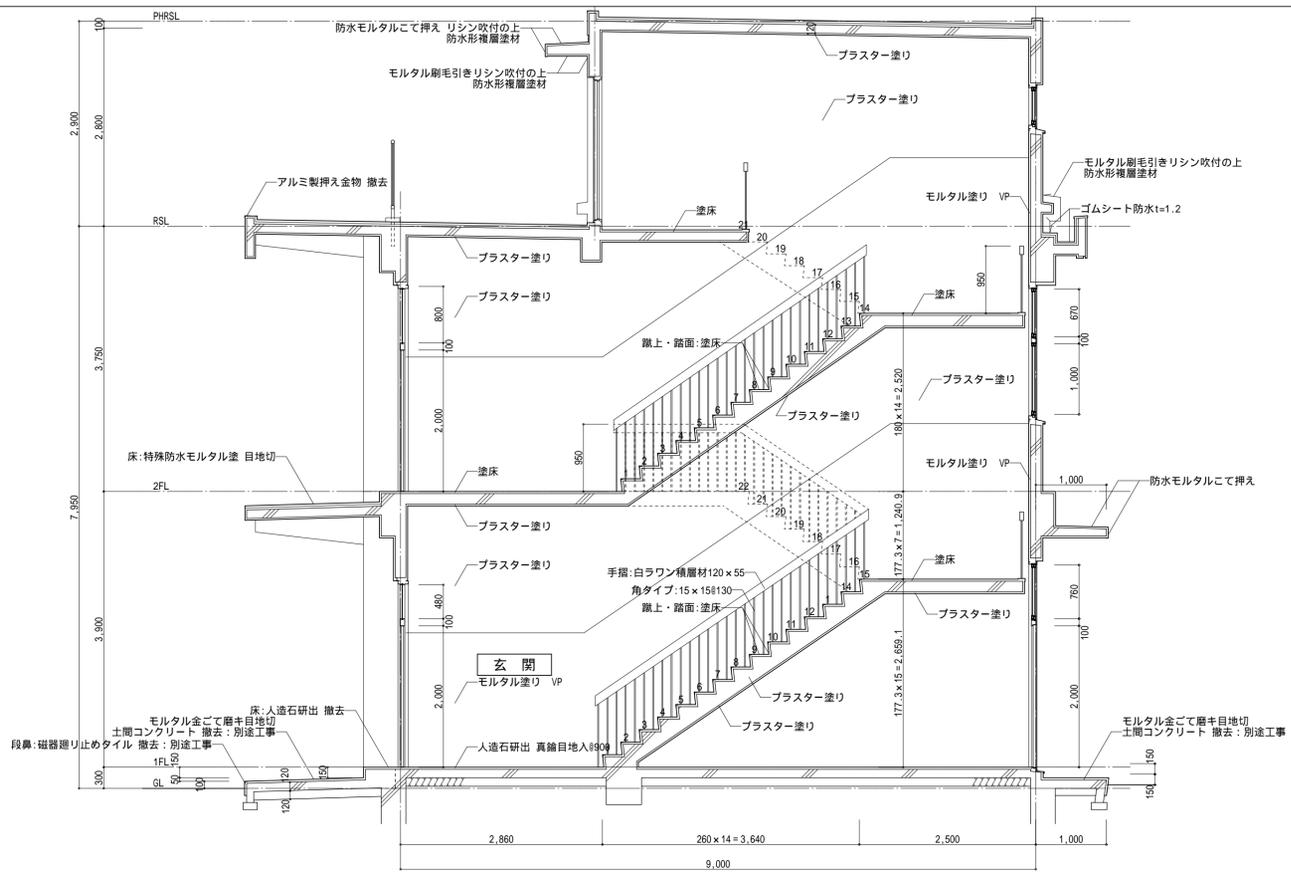
改修後 矩計図 1/50



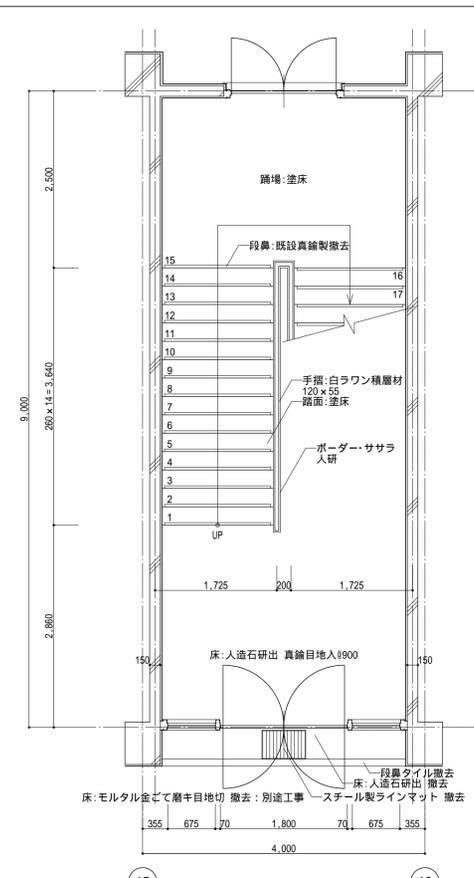
改修後 屋外階段詳細図 1/50

記事	業務名	鈴鹿工業高専機械工学科棟改修設計等業務				工事名称	鈴鹿工業高専機械工学科棟改修その他工事		日付	総数
	図面名称	改修前後 矩計図・屋外階段詳細図				担当者	鈴鹿工業高等専門学校		平成25年7月	19/77
	概略	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	縮尺	番号	
								1/50	A-13	

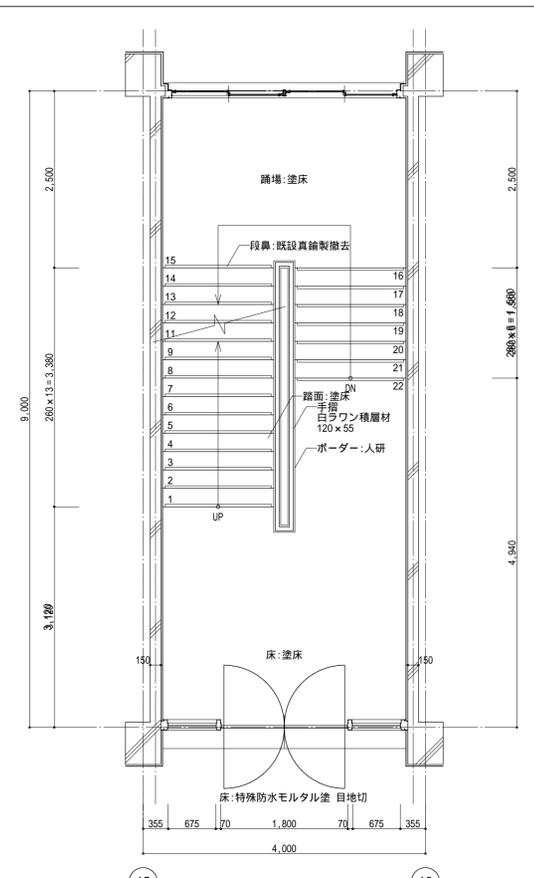
A3版の場合は50%縮尺とする



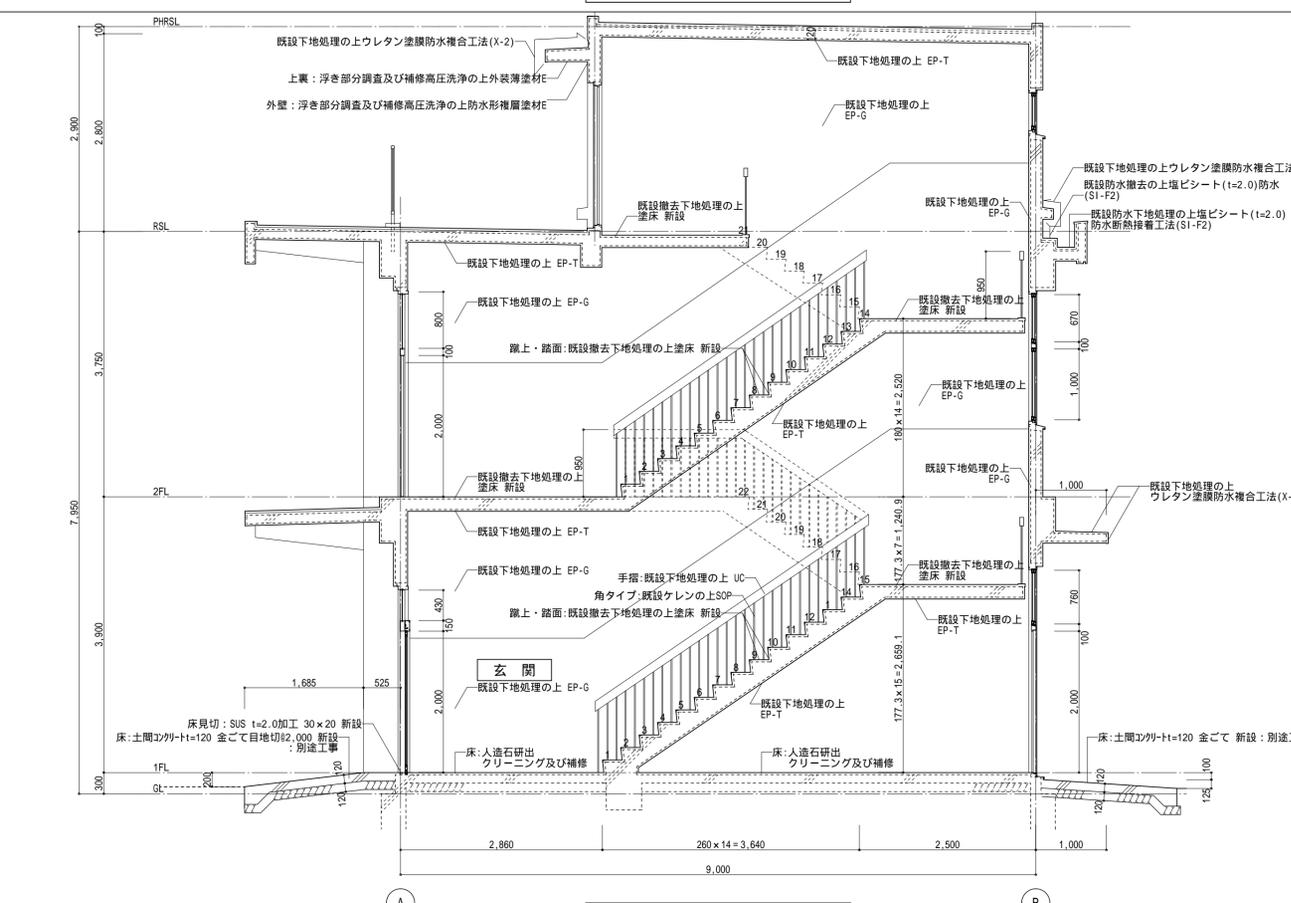
改修前 断面詳細図 1/50



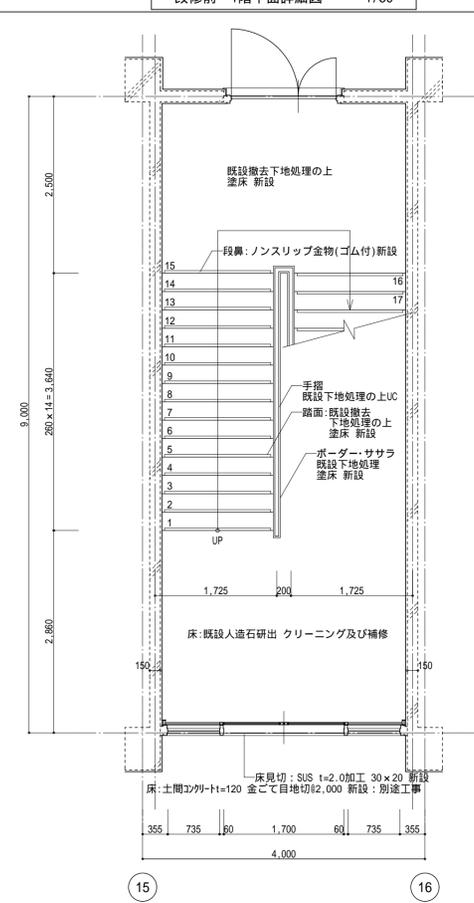
改修前 1階平面詳細図 1/50



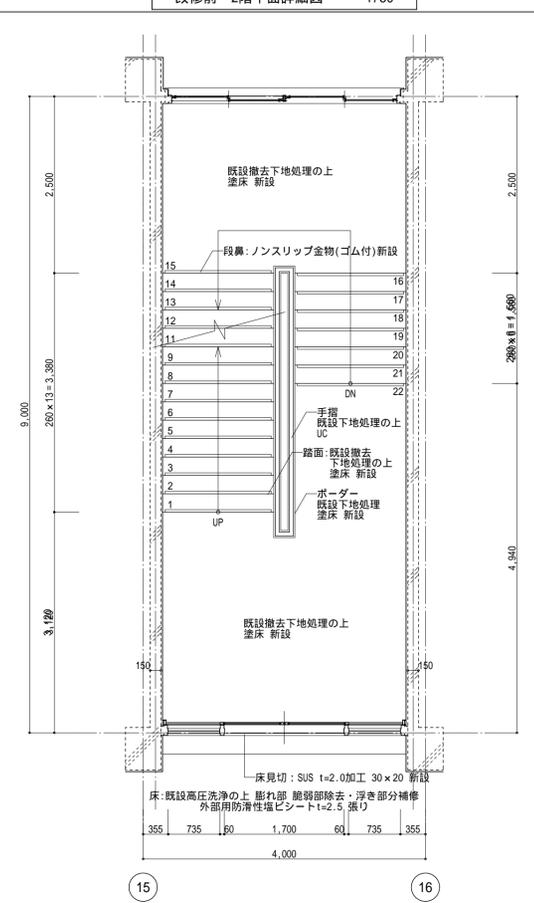
改修前 2階平面詳細図 1/50



改修後 断面詳細図 1/50



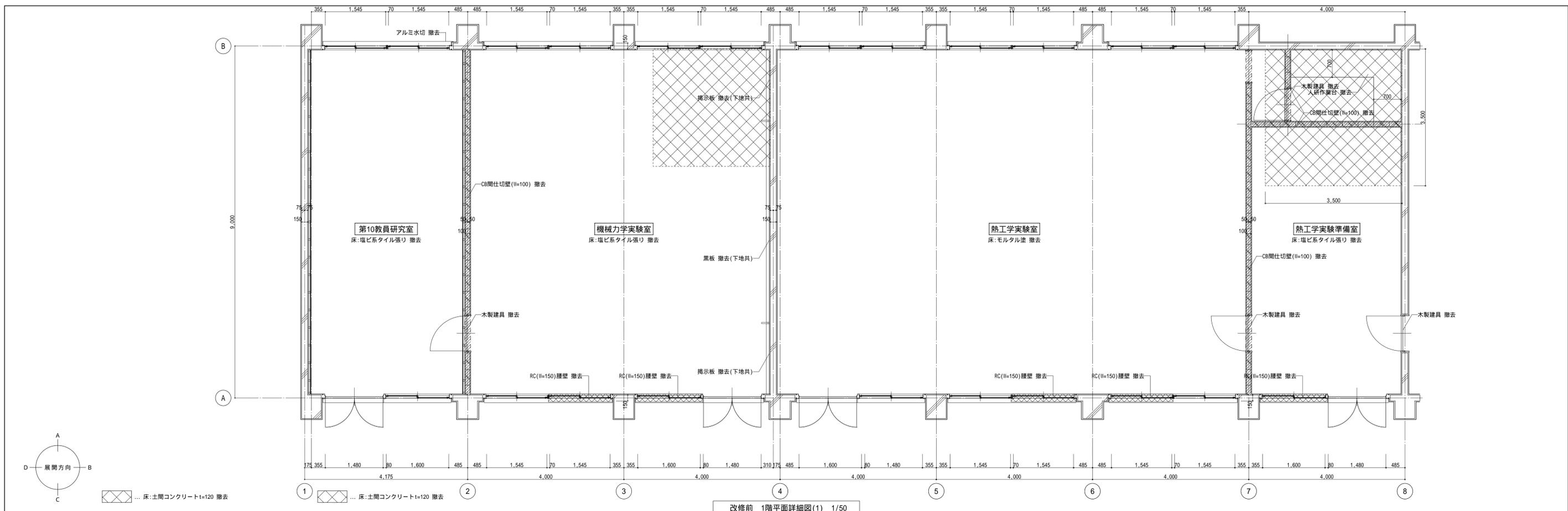
改修後 1階平面詳細図 1/50



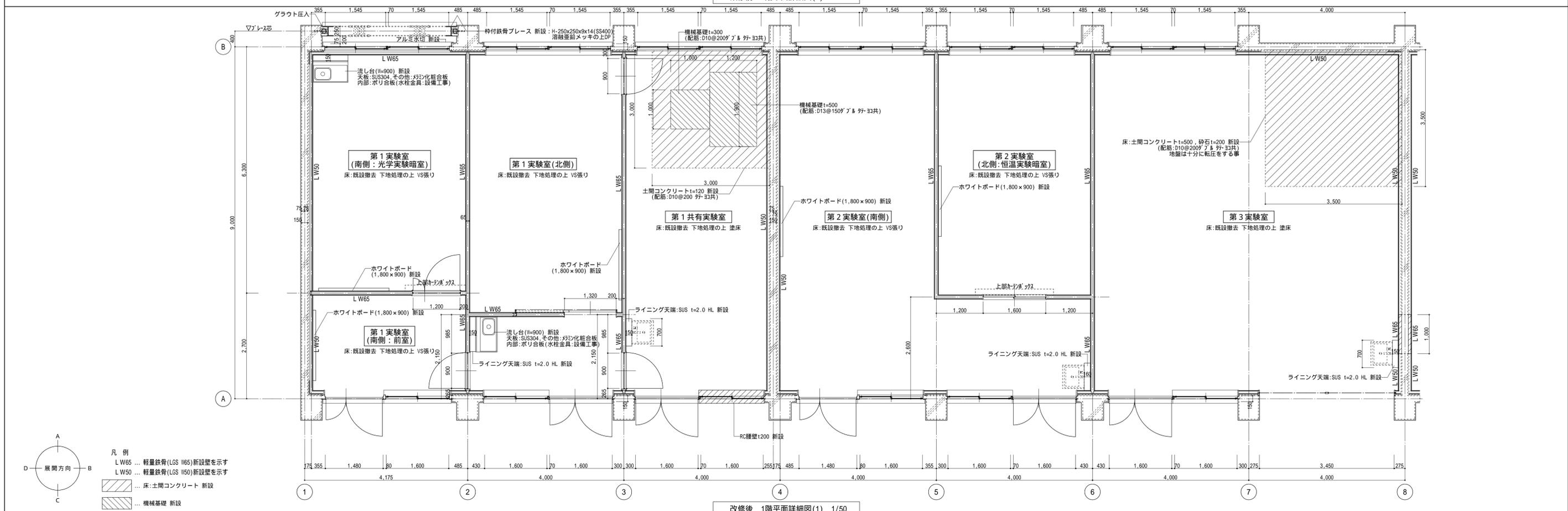
改修後 2階平面詳細図 1/50

記 事	業務名		鈴鹿工業高等専門学校				工事名称	日付	総数
	鈴鹿工業高等専門学校		事務部長				鈴鹿工業高等専門学校 改修その他工事	平成25年7月	20 / 77
	株式会社 総企画設計		棟図	担当	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	図面名称
	管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行								改修前後 屋内階段詳細図
									縮尺
									1/50
									番号
									A-14

A3版の場合は50%縮尺とする



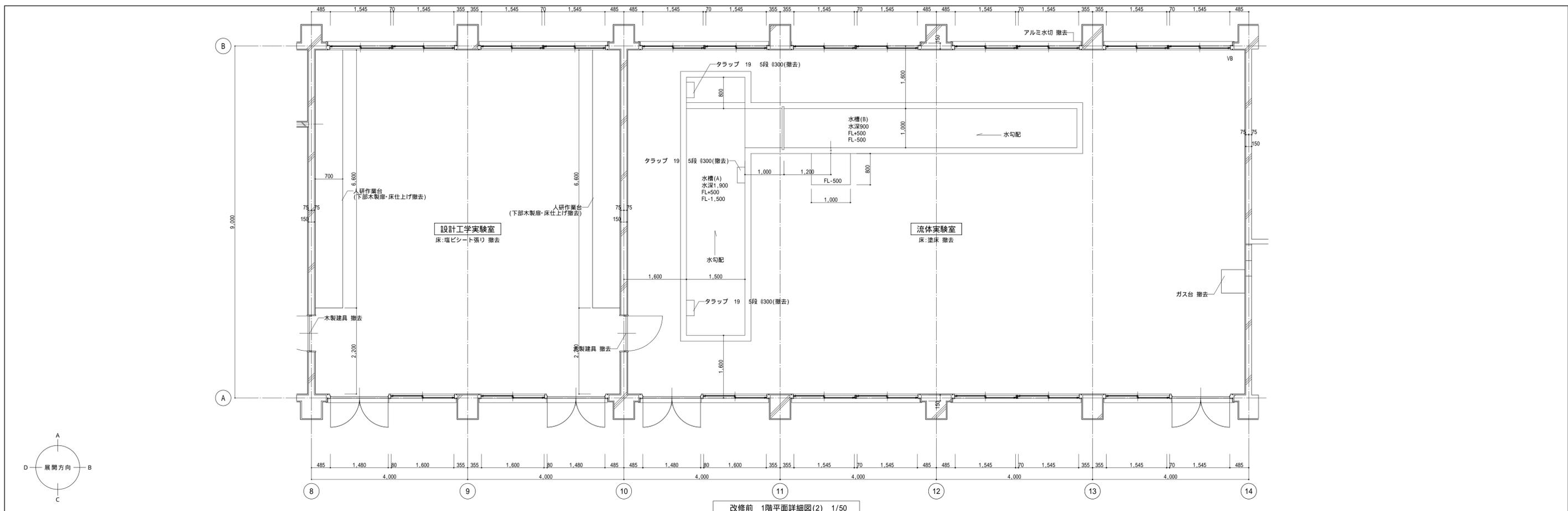
改修前 1階平面詳細図(1) 1/50



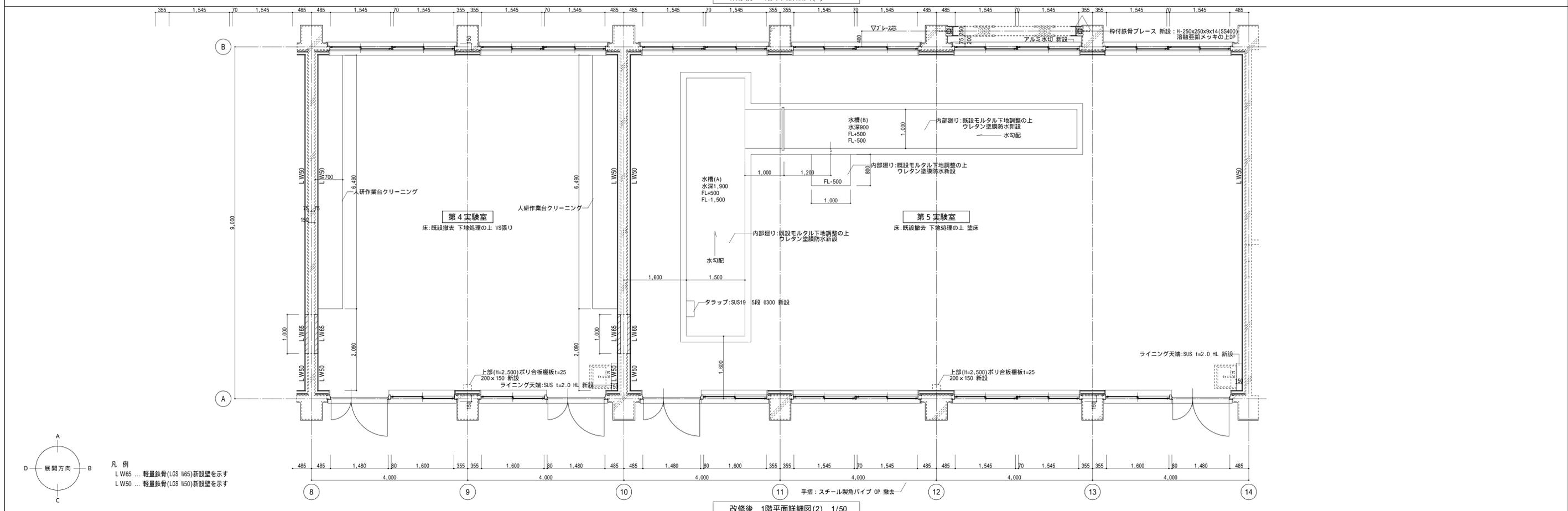
改修後 1階平面詳細図(1) 1/50

記事	業務名		鈴鹿工業高等専門学校				工事名称	日付	総数
	鈴鹿工業高等専門学校 改修設計等業務		事務部長 総務課長 課長補佐 施設係長 担当				鈴鹿工業高等専門学校 改修その他工事	平成25年7月	21 / 77
	株式会社 総企画設計		管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行	検図	担当	図面名称	縮尺	番号	
						改修前後 1階平面詳細図(1)	1/50	A-15	

A3版の場合は50%縮尺とする



改修前 1階平面詳細図(2) 1/50

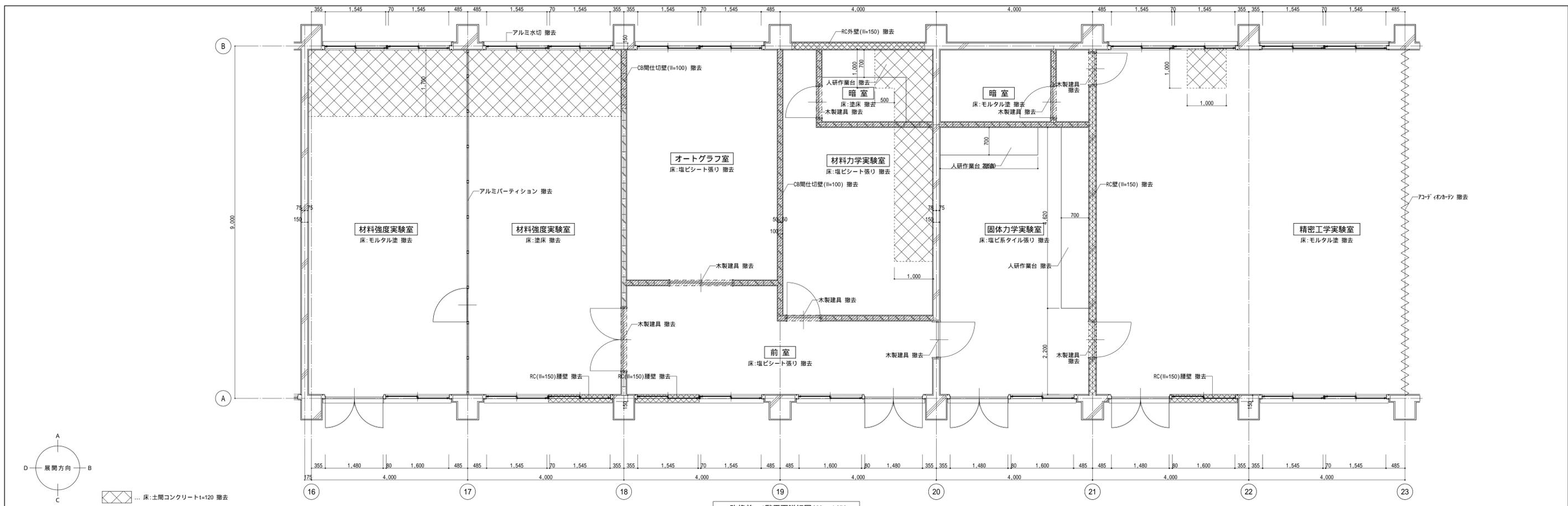


改修後 1階平面詳細図(2) 1/50

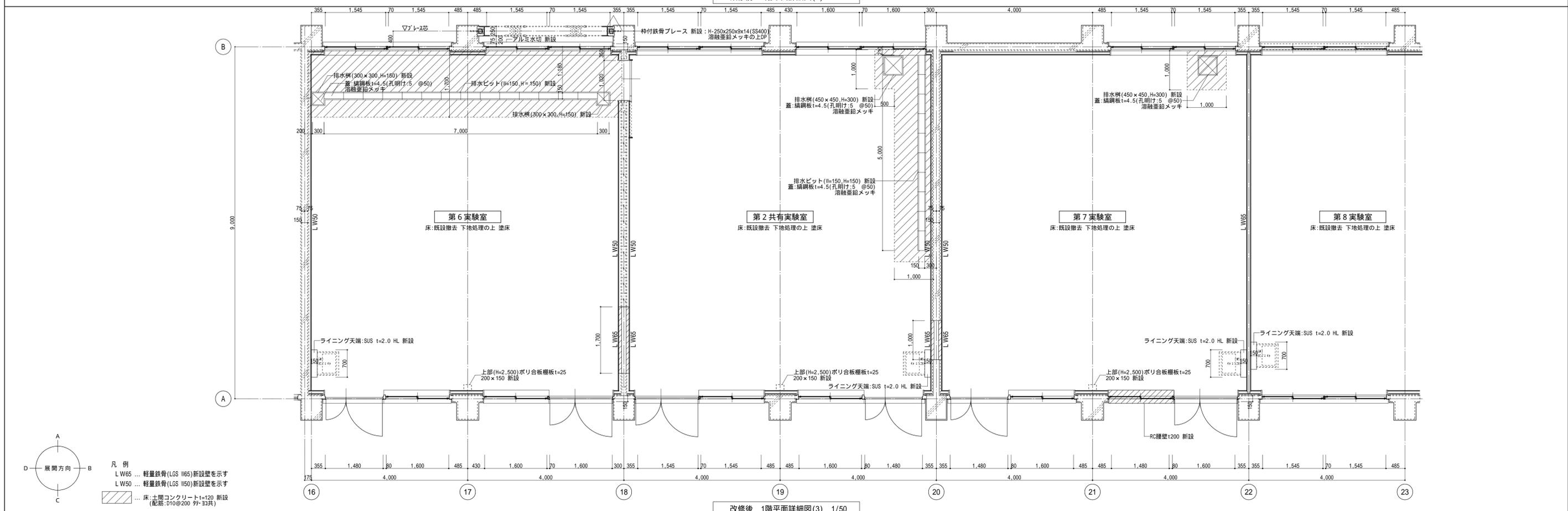
凡例
 LW65 ... 軽量鉄骨(LGS W65)新設置を示す
 LW50 ... 軽量鉄骨(LGS W50)新設置を示す

記事	業務名	鈴鹿工業高専機械工学科棟改修設計等業務				工事名称	鈴鹿工業高専機械工学科棟改修その他工事		日付	平成25年7月	総数	22/77		
	株式会社 総企画設計	管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行	検図	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	図面名称	改修前後 1階平面詳細図(2)	縮尺	1/50	番号

A3版の場合は50%縮尺とする



改修前 1階平面詳細図(3) 1/50

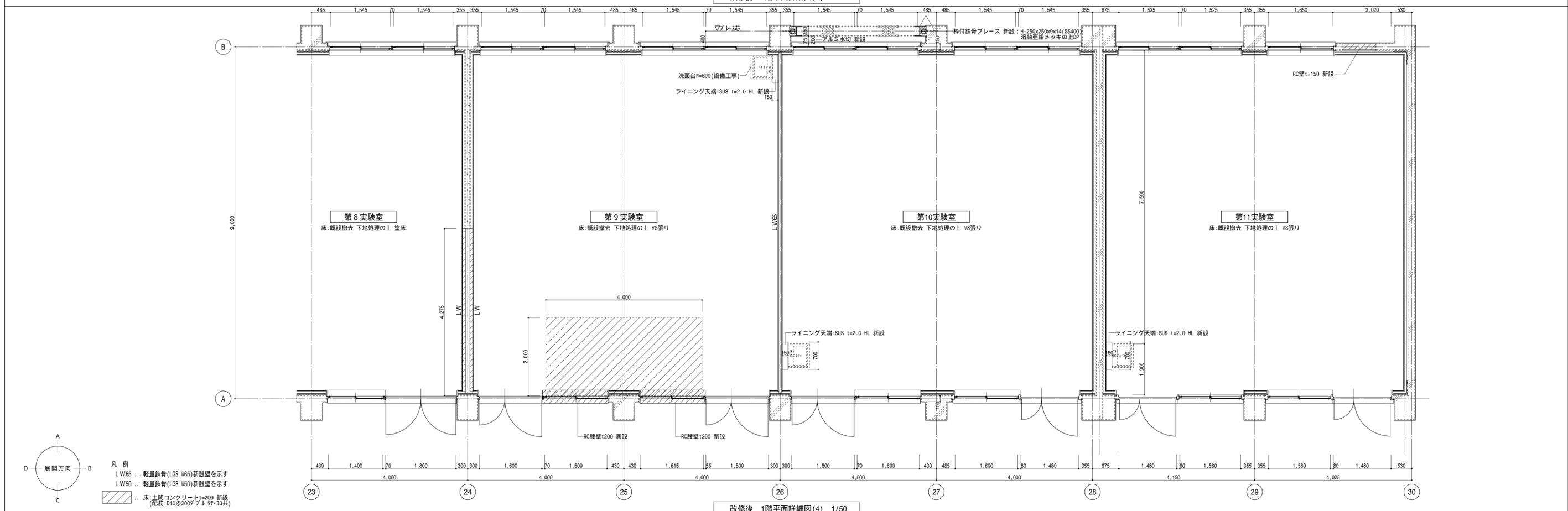
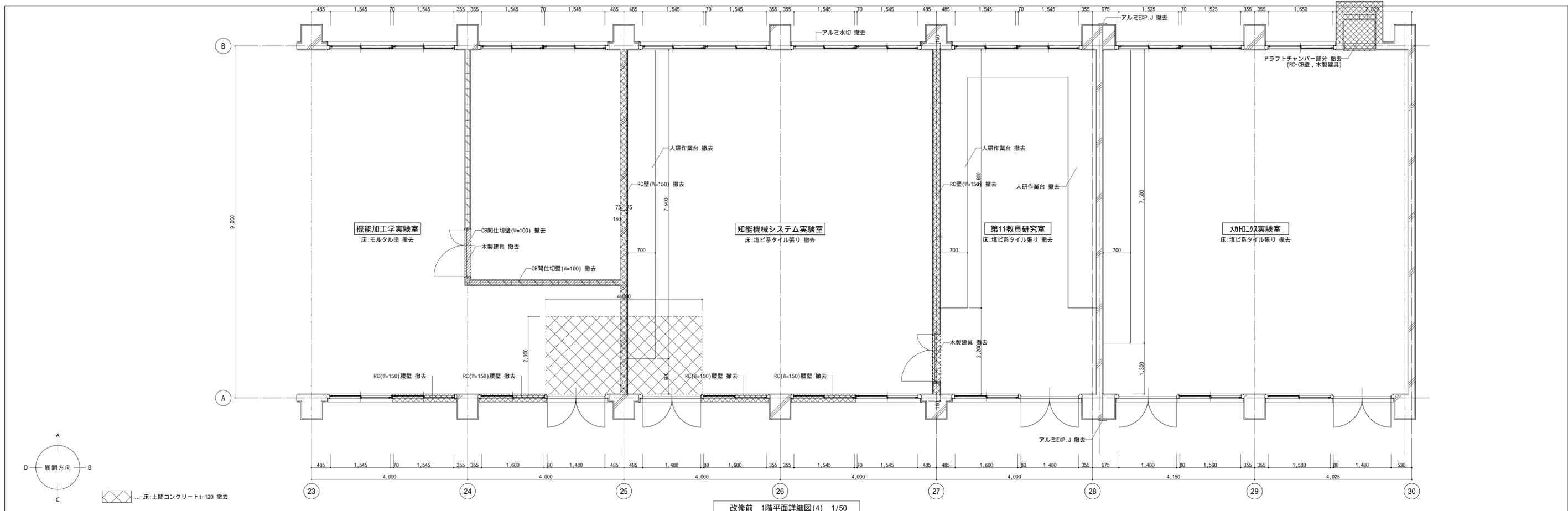


改修後 1階平面詳細図(3) 1/50

凡例
 L W65 ... 軽量鉄骨(LGS W65)新設壁を示す
 L W50 ... 軽量鉄骨(LGS W50)新設壁を示す
 ... 床:土間コンクリートt=120 新設
 (配筋:D10@200 片・33共)

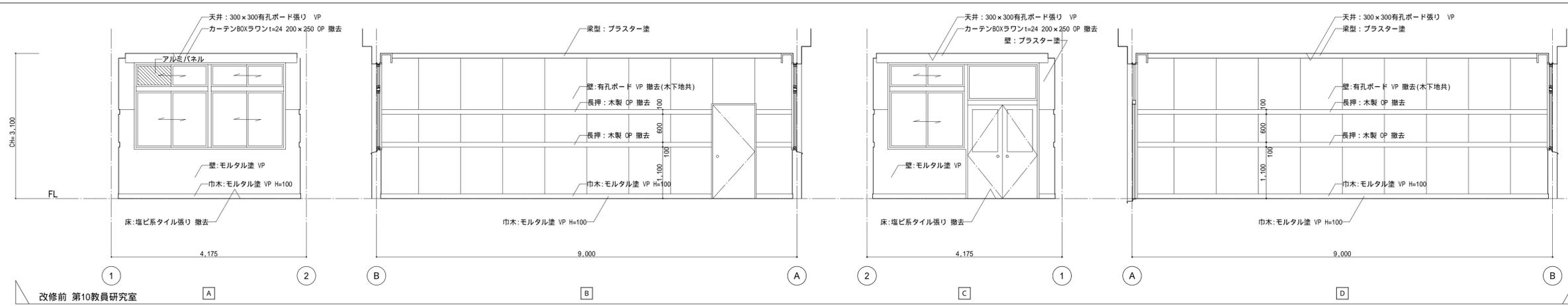
記事	業務名	鈴鹿工業高専機械工学科棟改修設計等業務				鈴鹿工業高等専門学校				工事名称	鈴鹿工業高専機械工学科棟改修その他工事	日付	平成25年7月	総数	23 / 77
	株式会社 総企画設計	管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行	検図	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	図面名称	改修前後 1階平面詳細図(3)	縮尺	1/50	番号	A-17

A3版の場合は50%縮尺とする

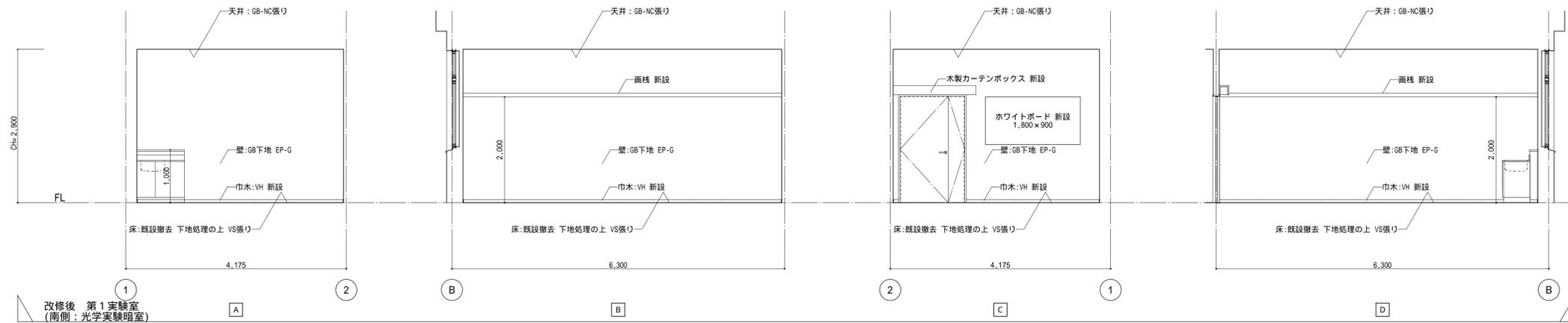


記事	業務名		鈴鹿工業高等専門学校				工事名称	日付	総数
	鈴鹿工業高等専門学校改修設計等業務		事務部長 総務課長 課長補佐 施設係長 担当				鈴鹿工業高等専門学校改修その他工事	平成25年7月	24/77
	株式会社 総企画設計		管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行				図面名称	縮尺	番号
							改修前後 1階平面詳細図(4)	1/50	A-18

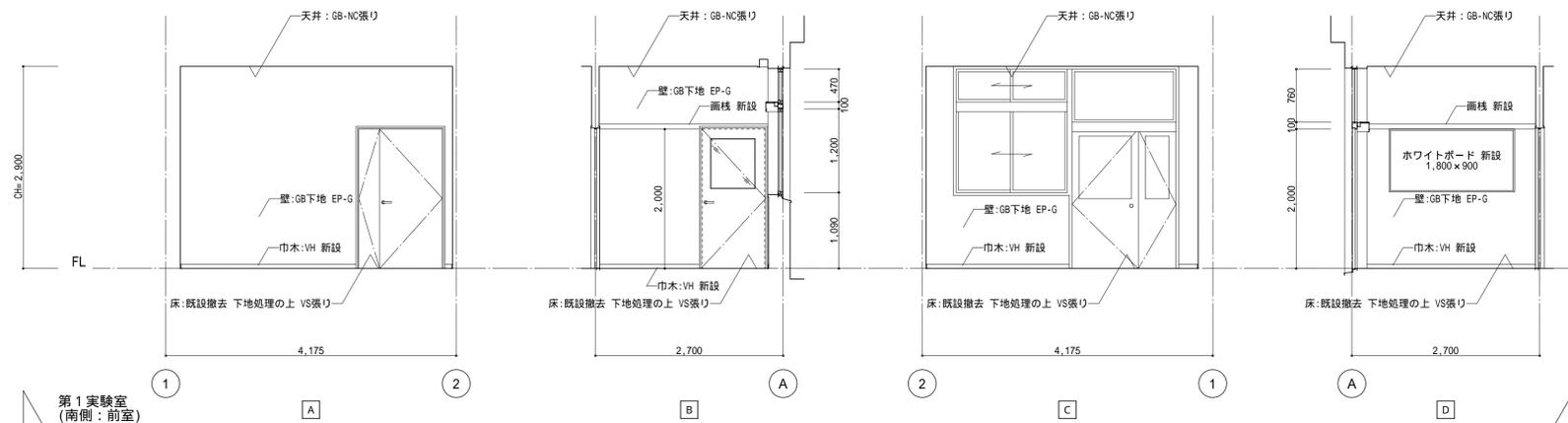
A3版の場合は50%縮尺とする



改修前 第10教員研究室



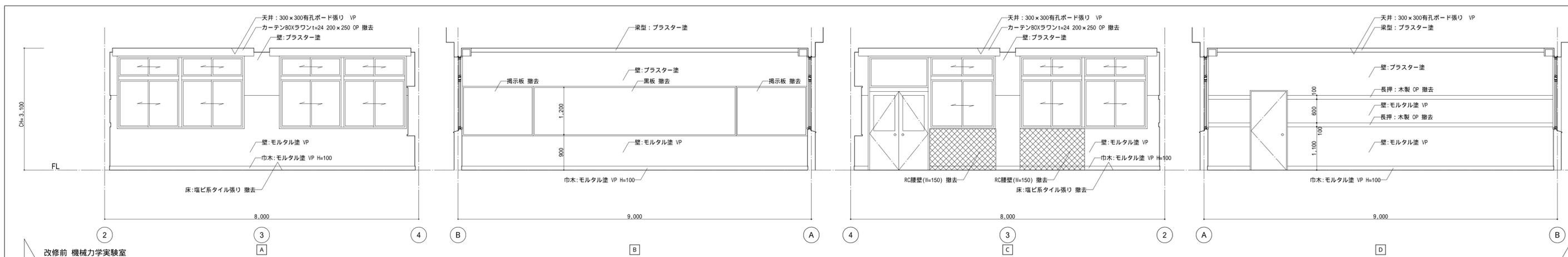
改修後 第1実験室 (南側：光学実験暗室)



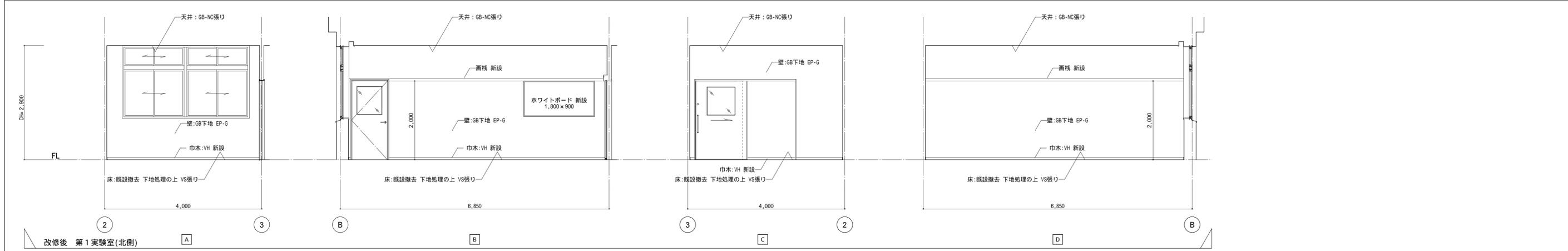
第1実験室 (南側：前室)

記事	業務名		鈴鹿工業高等専門学校				工事名称	日付	総数
	鈴鹿工業高等専門学校棟改修設計等業務		事務部長 総務課長 課長補佐 施設係長 担当				鈴鹿工業高等専門学校棟改修その他工事	平成25年7月	25 / 77
	株式会社 総企画設計 管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行		検図	担当		改修前後 1階展開図(1)		縮尺	番号
						1/50		A-19	

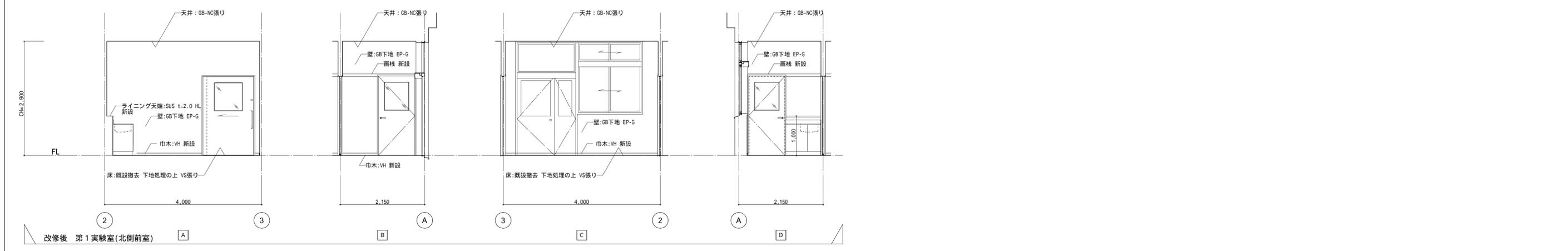
A3版の場合は50%縮尺とする



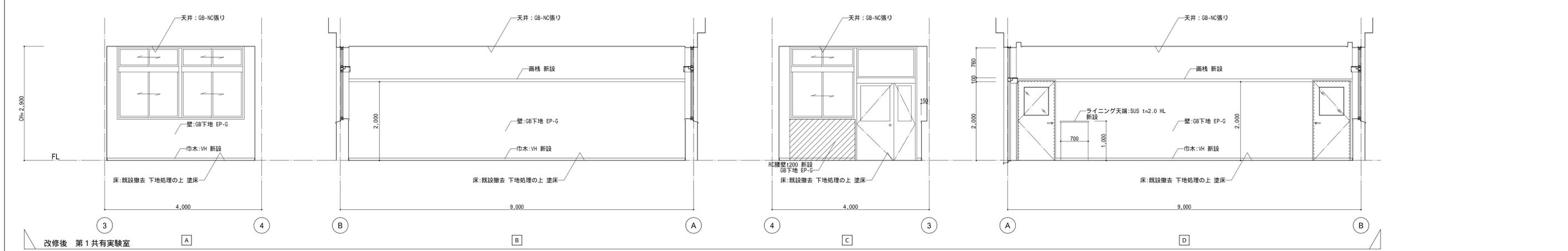
改修前 機械力学実験室



改修後 第1実験室(北側)



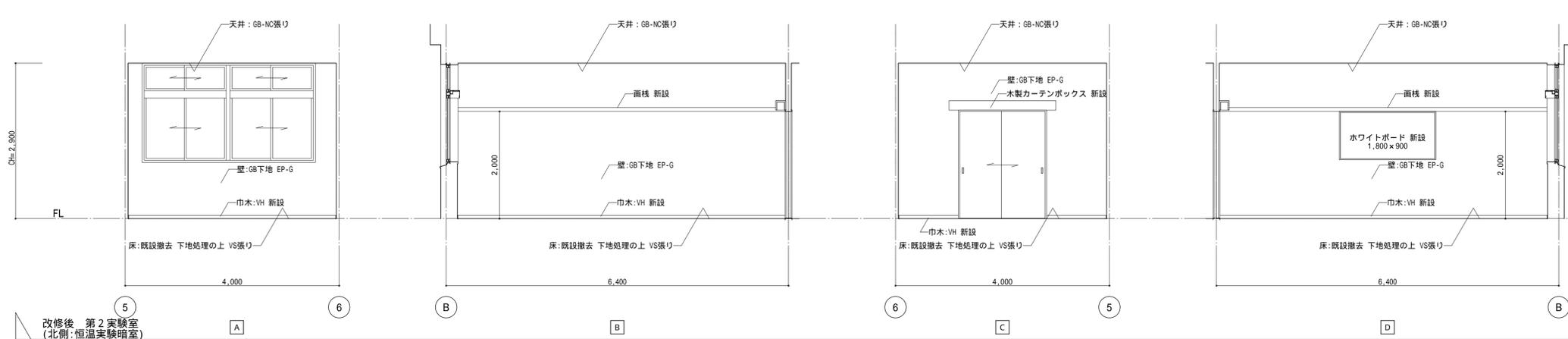
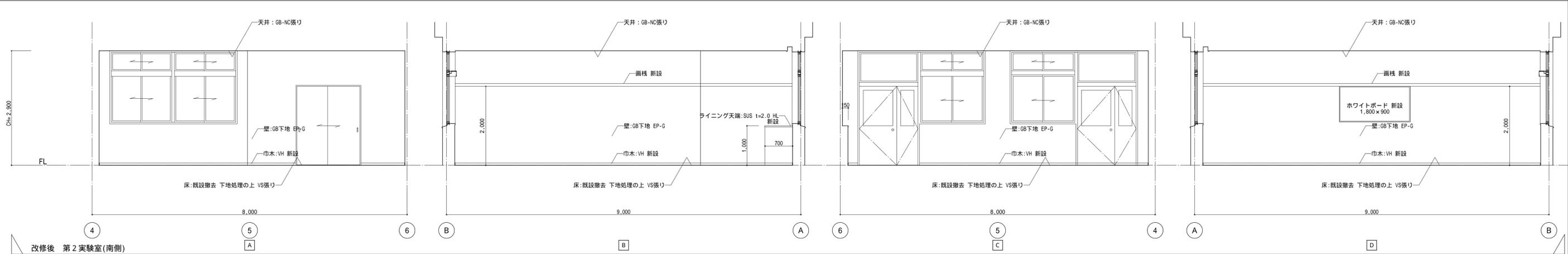
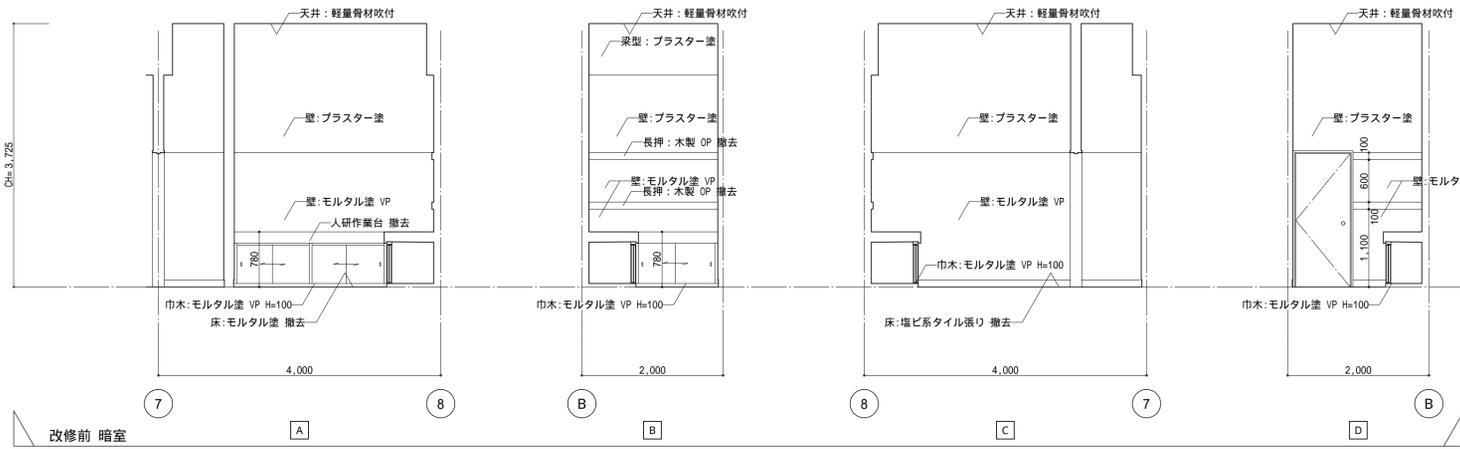
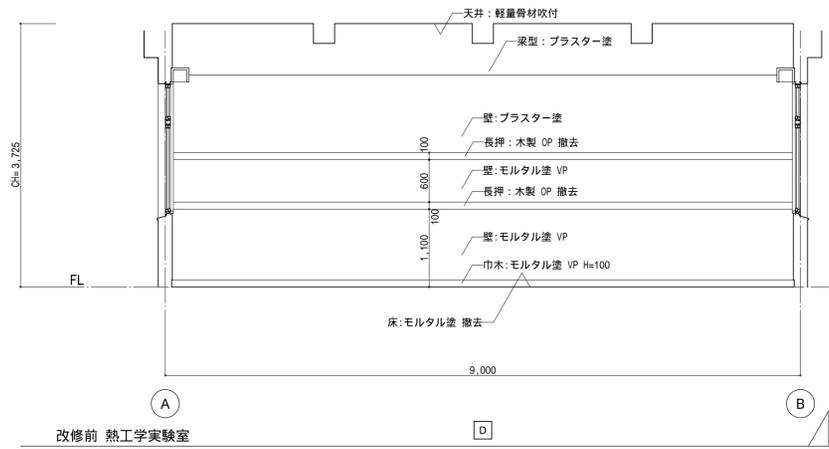
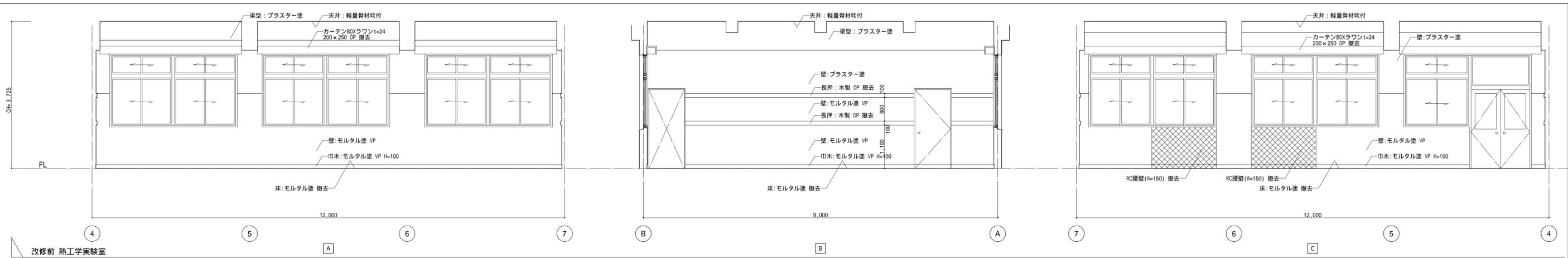
改修後 第1実験室(北側前室)



改修後 第1共有実験室

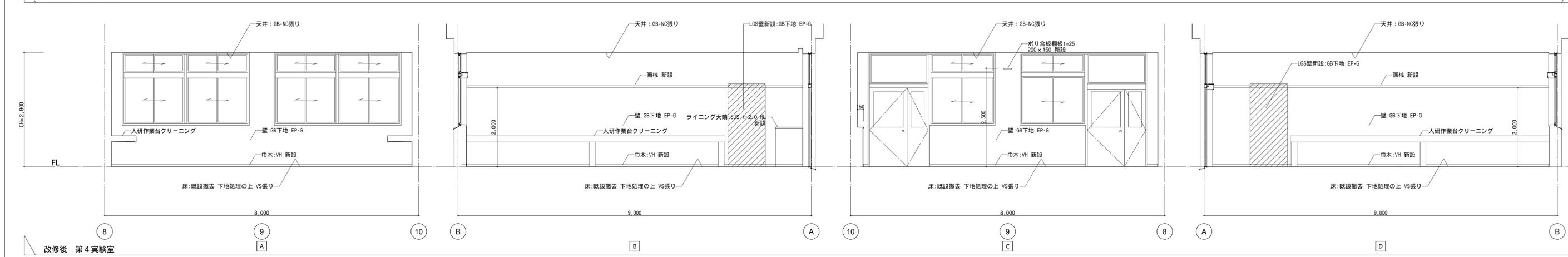
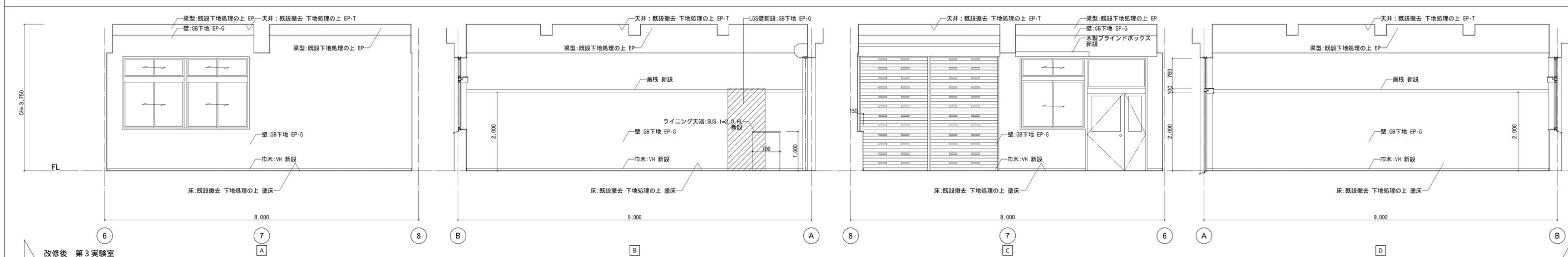
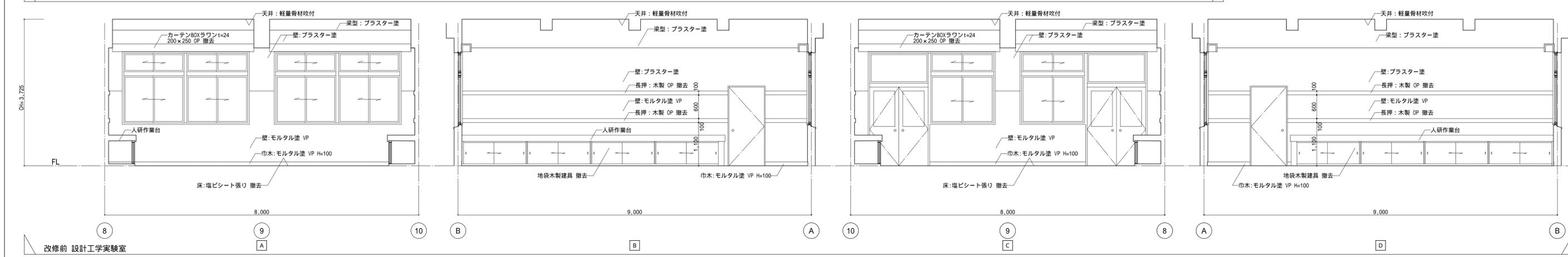
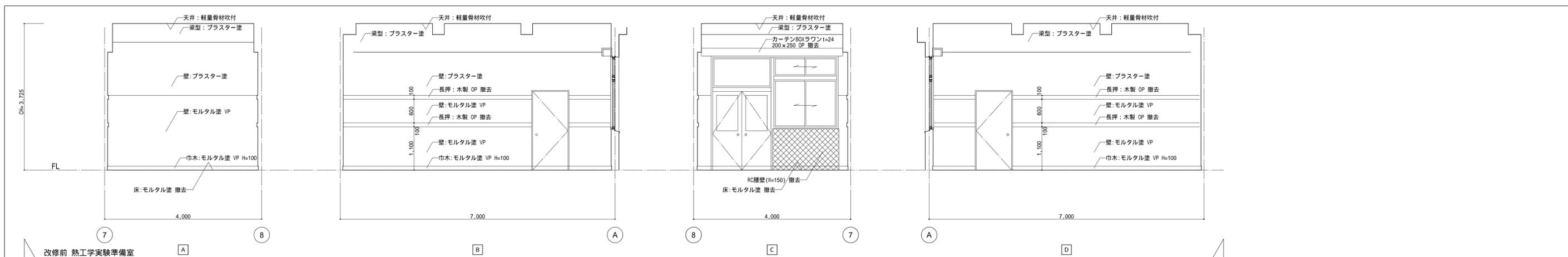
記事	業務名		鈴鹿工業高専機械工学科棟改修設計等業務				鈴鹿工業高等専門学校				工事名称	日付	総数
	株式会社 総企画設計		管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行				事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	鈴鹿工業高専機械工学科棟改修その他工事	平成25年7月
											図面名称	縮尺	番号
											改修前後 1階展開図(2)	1/50	A-20

A3版の場合は50%縮尺とする



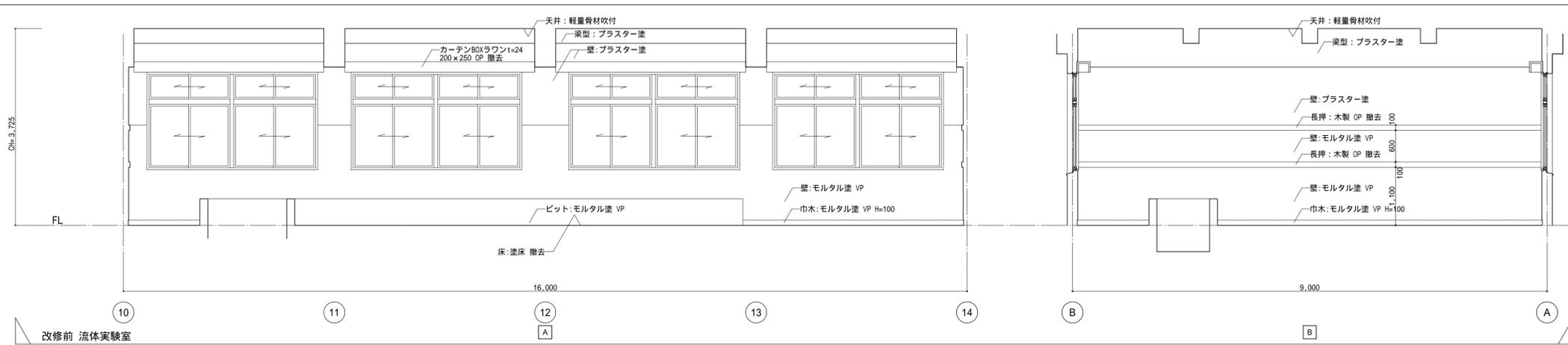
記事	業務名	鈴鹿工業高専機械工学科棟改修設計等業務				鈴鹿工業高等専門学校				工事名称	鈴鹿工業高専機械工学科棟改修その他工事	日付	平成25年7月	総数	27/77
	株式会社 総企画設計	管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行	検図	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	鈴鹿工業高専機械工学科棟改修その他工事	縮尺	1/50	番号	A-21	
										改修前後 1階展開図(3)					

A3版の場合は50%縮尺とする

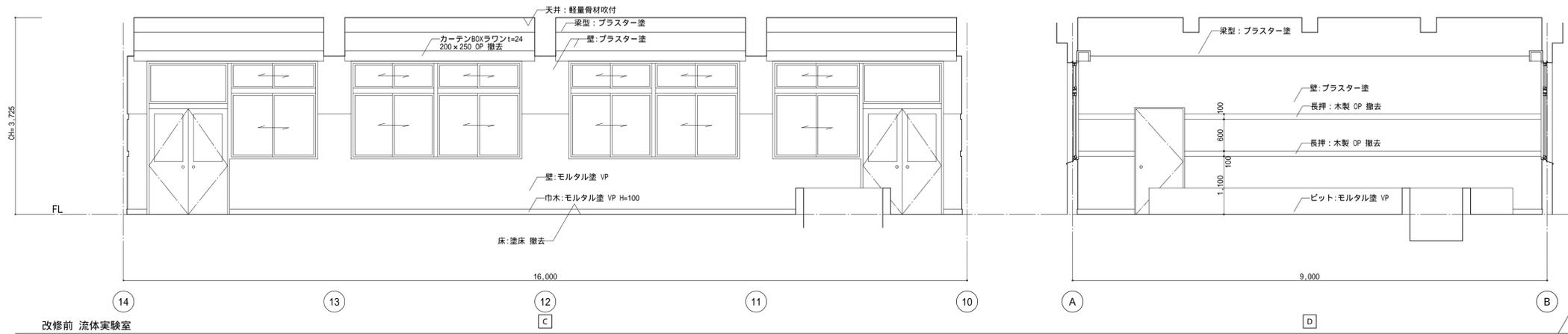


記事	業務名	鈴鹿工業高専機械工学科棟改修設計等業務				鈴鹿工業高等専門学校				工事名称	鈴鹿工業高専機械工学科棟改修その他工事	日付	平成25年7月	総数	28 / 77	
	株式会社 総企画設計	管理建築士	一級建築士 (大臣) 第270315号	犬飼 和行	検図	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	図面名称	改修前後 1階展開図(4)	縮尺	1/50	番号

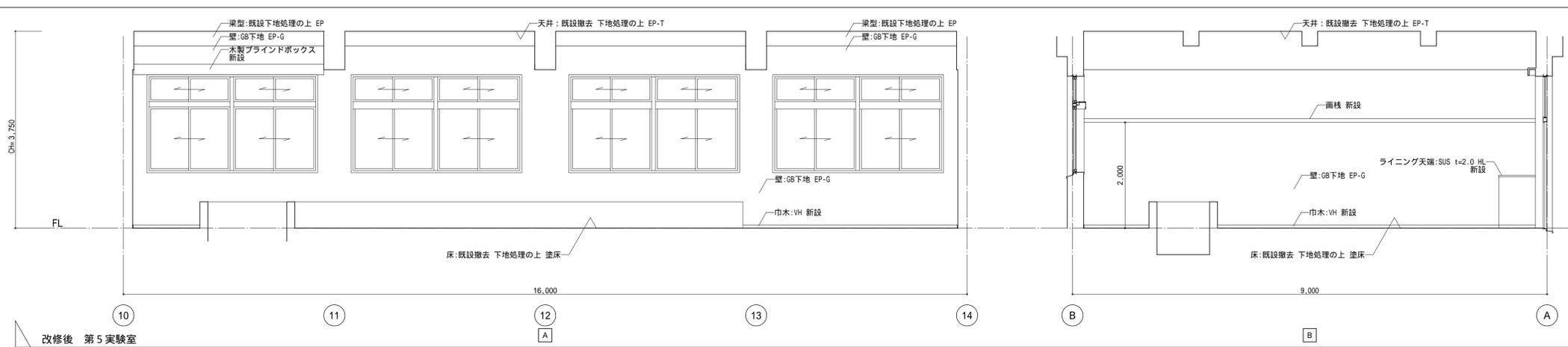
A3版の場合は50%縮尺とする



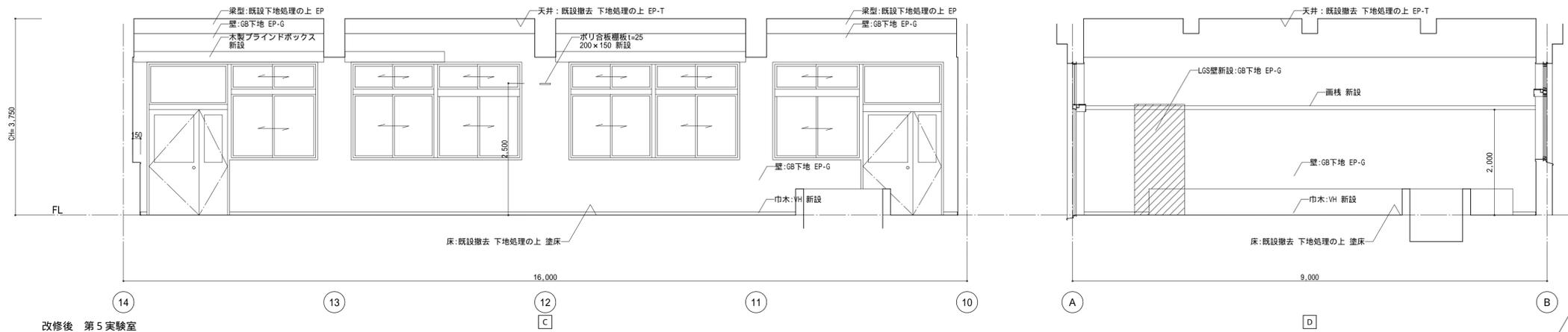
改修前 流体実験室



改修前 流体実験室



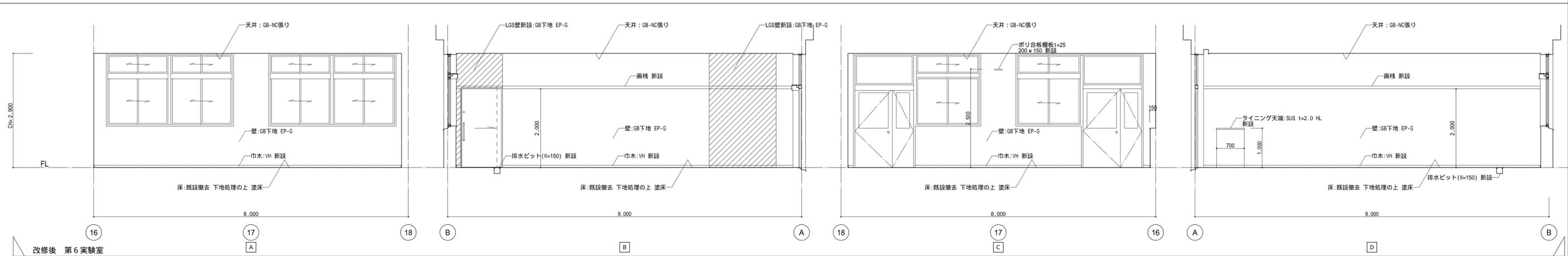
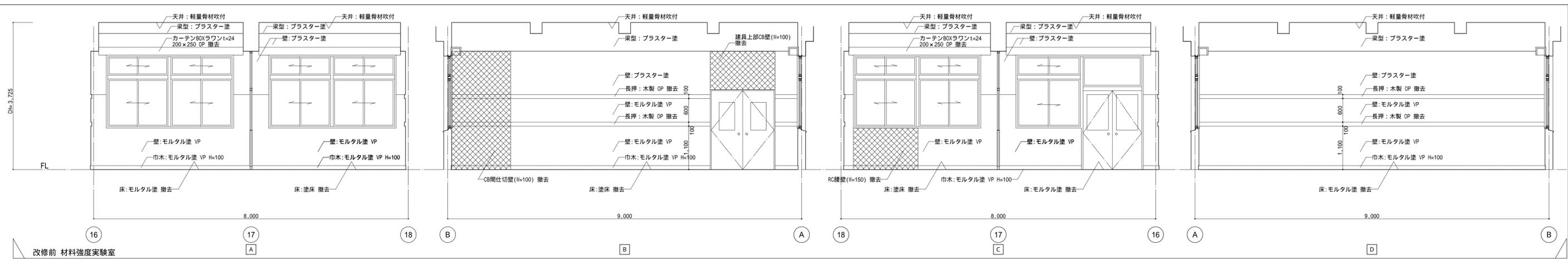
改修後 第5実験室



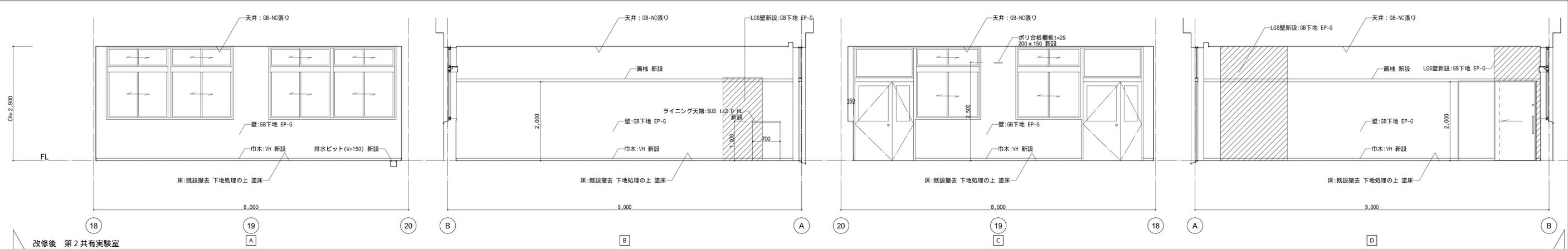
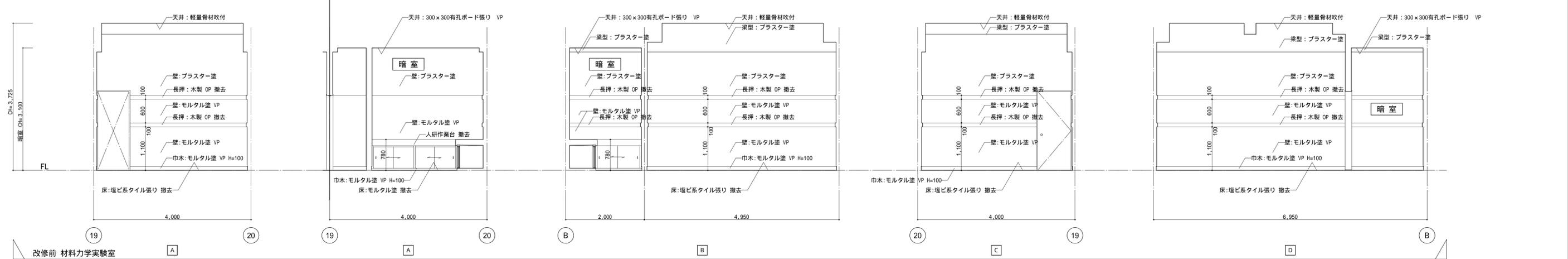
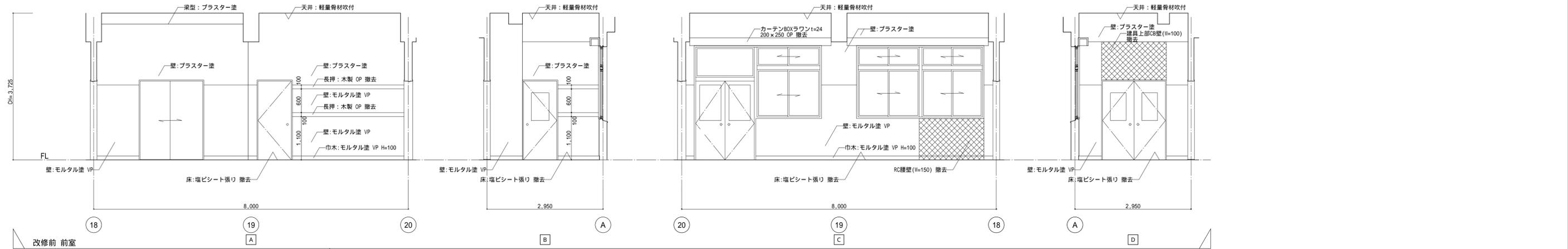
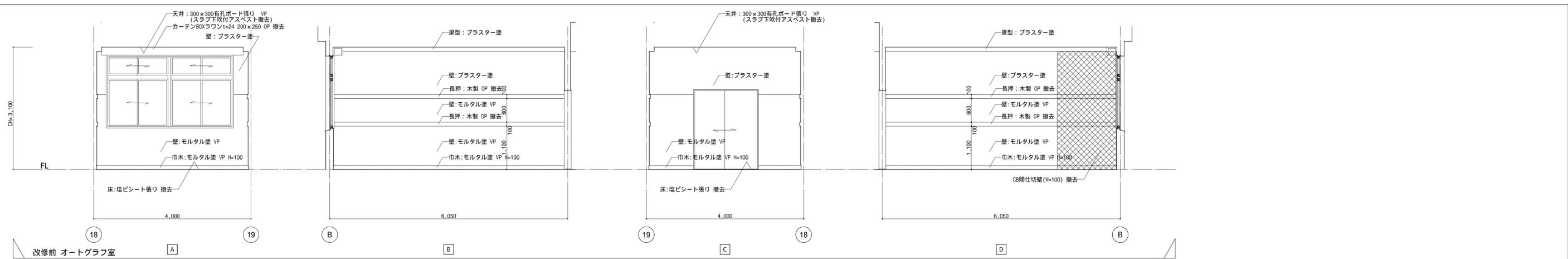
改修後 第5実験室

記 事	業務名		鈴鹿工業高等専門学校				工事名称	日付	総数
	鈴鹿工業高等専門学校改修設計等業務		事務部長 総務課長 課長補佐 施設係長 担当				鈴鹿工業高等専門学校改修その他工事	平成25年7月	29/77
	株式会社 総企画設計		管理建築士 一級建築士 (大臣) 第270315号 犬飼 和行	検図	担当		縮尺	番号	
							1/50	A-23	

A3版の場合は50%縮尺とする

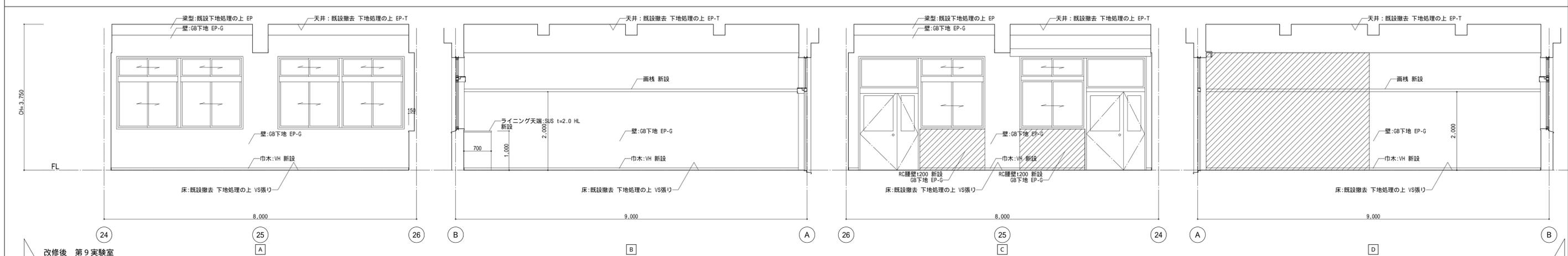
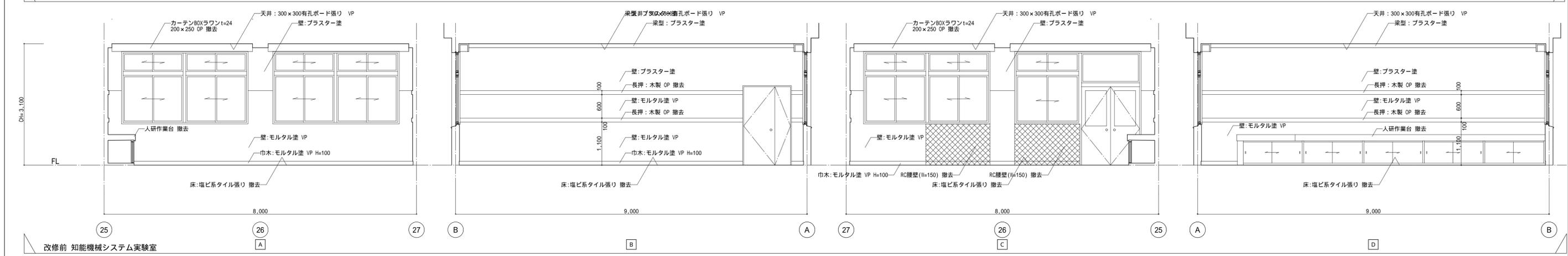
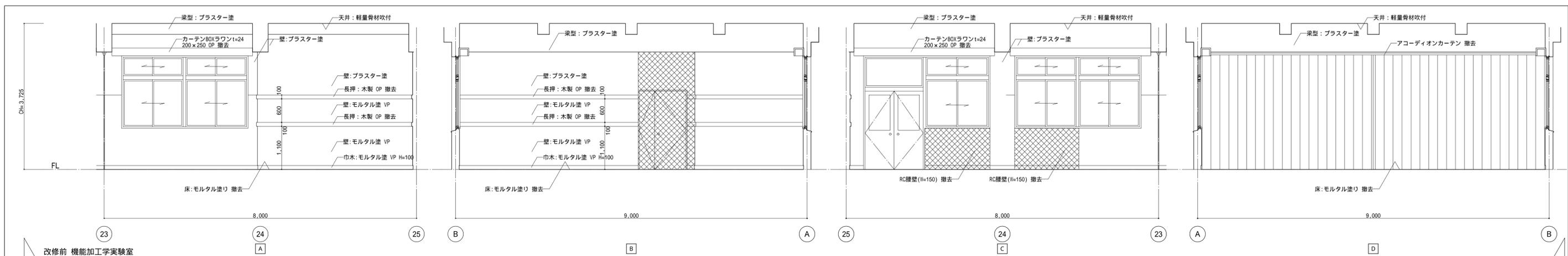


記事	業務名		鈴鹿工業高等専門学校				工事名称	日付	総数
	鈴鹿工業高等専門学校 改修設計等業務		事務部長 総務課長 課長補佐 施設係長 担当				鈴鹿工業高等専門学校 改修その他工事	平成25年7月	30/77
	株式会社 総企画設計		管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行	検図	担当		図面名称	縮尺	番号
							改修前後 1階展開図(6)	1/50	A-24



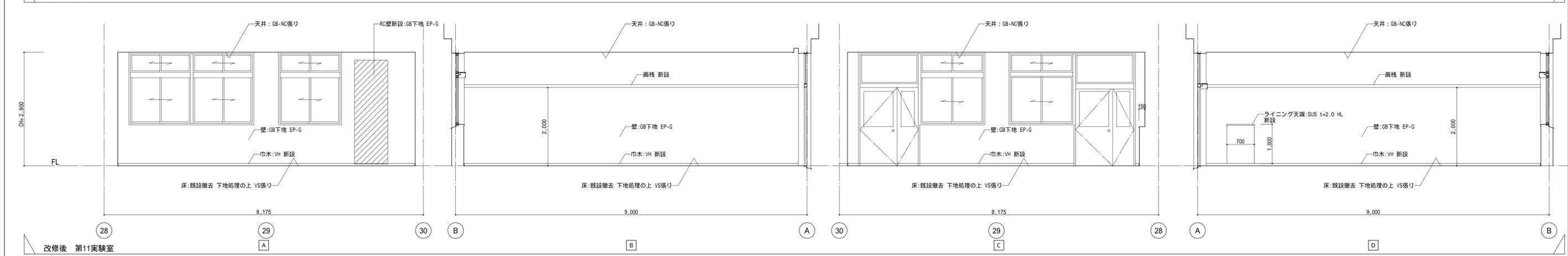
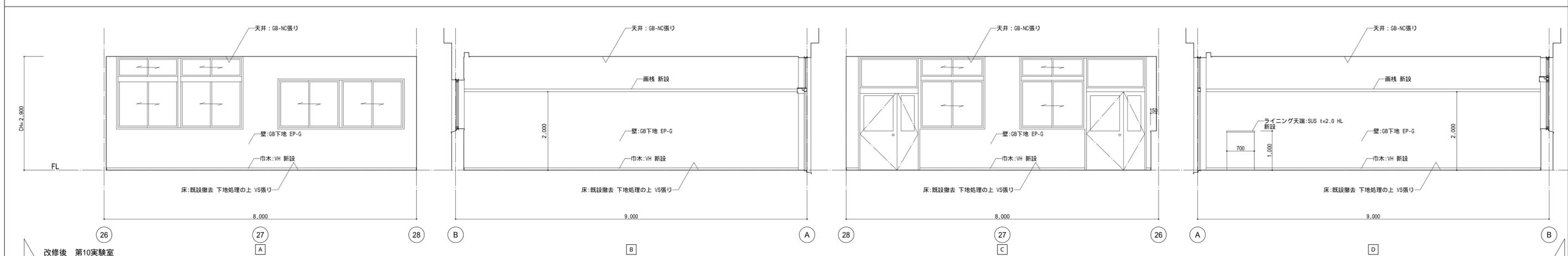
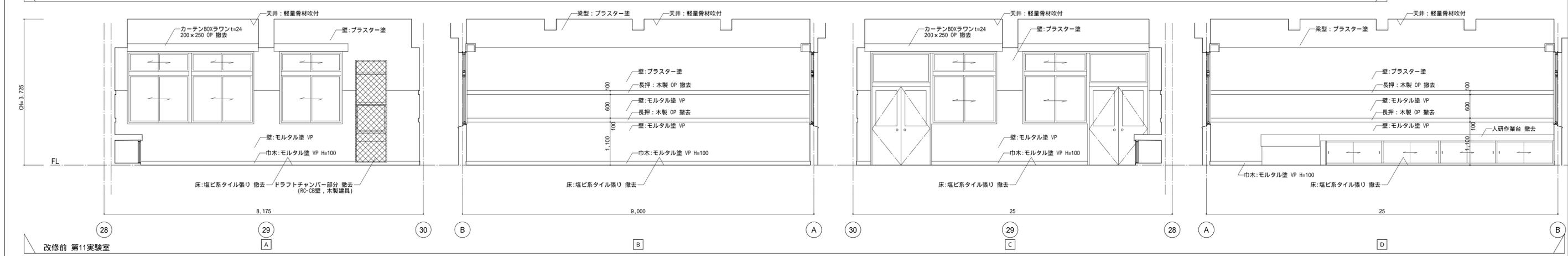
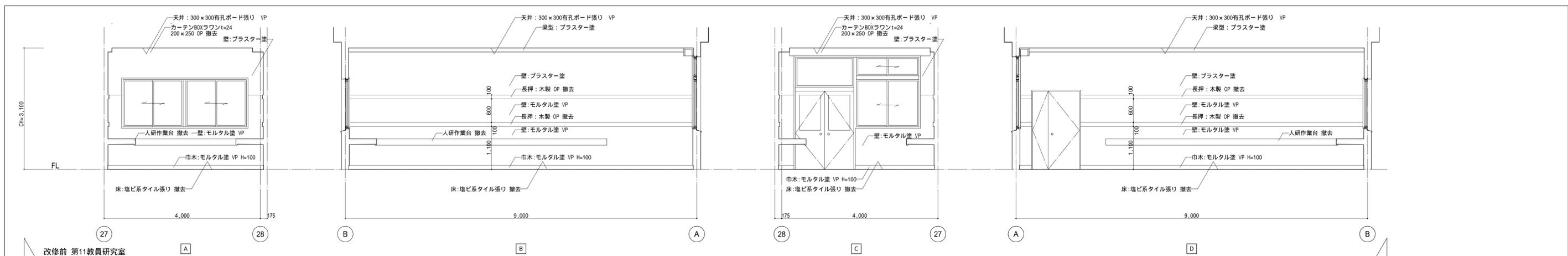
記事	業務名	鈴鹿工業高専機械工学科棟改修設計等業務				鈴鹿工業高等専門学校				工事名称	鈴鹿工業高専機械工学科棟改修その他工事	日付	平成25年7月	総数	31 / 77
	図面名称	株式会社 総企画設計 管理建築士 一級建築士 (大臣) 第270315号 犬飼 和行				検図	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	縮尺	1 / 50	番号

A3版の場合は50%縮尺とする



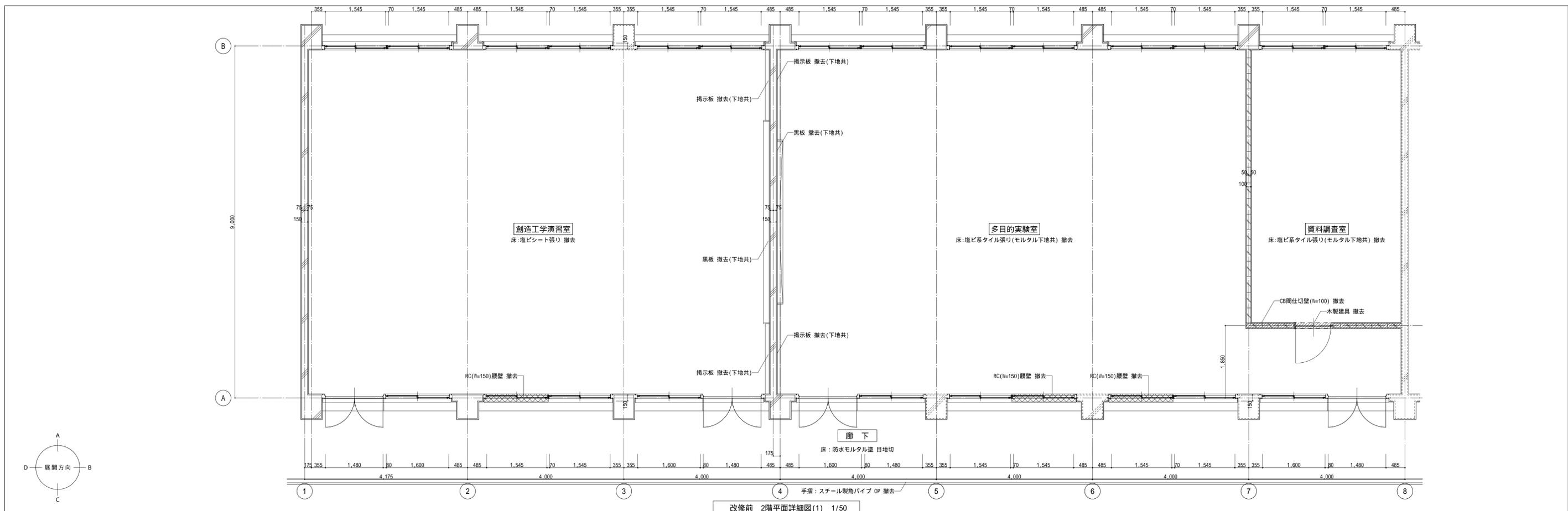
記事	業務名 鈴鹿工業高専機械工学科棟改修設計等業務		鈴鹿工業高等専門学校				工事名称 鈴鹿工業高専機械工学科棟改修その他工事	日付 平成25年7月	総数 33/77	
	株式会社 総企画設計 管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行		棟図	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	縮尺 1/50

A3版の場合は50%縮尺とする

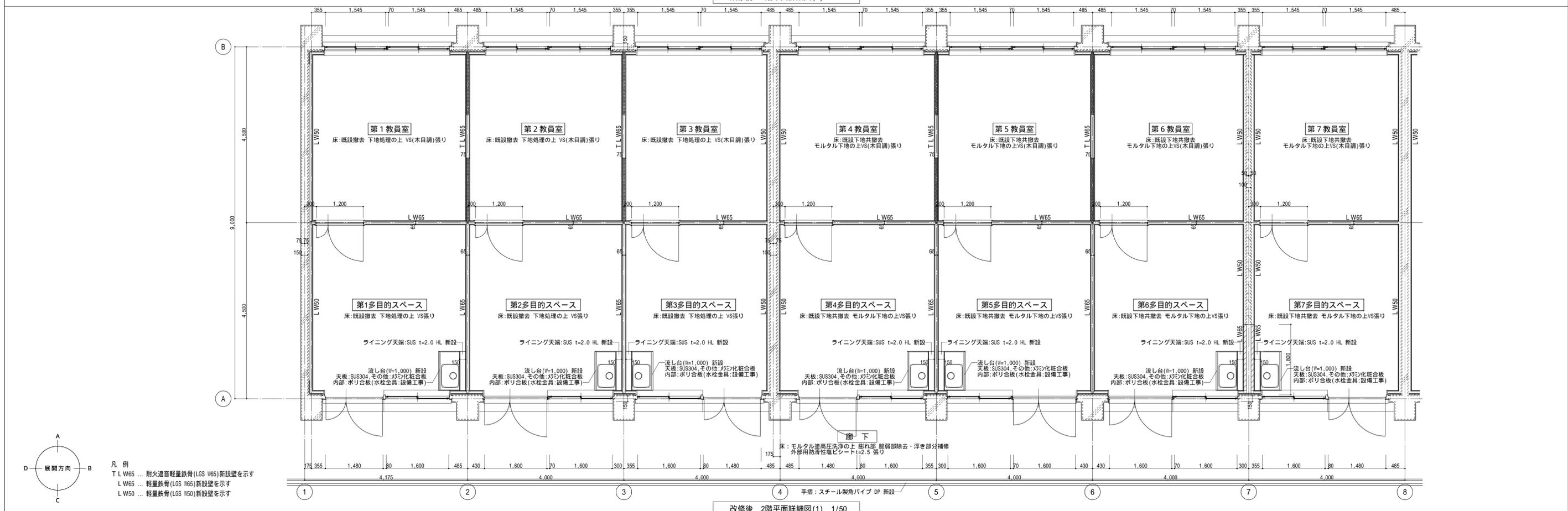


記事	業務名		鈴鹿工業高等専門学校				工事名称	日付	総数
	鈴鹿工業高等専門学校		事務部長				鈴鹿工業高等専門学校 改修その他工事	平成25年7月	34 / 77
	株式会社 総企画設計		管理建築士 一級建築士 (大臣) 第270315号 犬飼 和行				図面名称	縮尺	番号
	株式会社 総企画設計		管理建築士 一級建築士 (大臣) 第270315号 犬飼 和行				改修前後 1階展開図(10)	1 / 50	A - 28

A3版の場合は50%縮尺とする



改修前 2階平面詳細図(1) 1/50

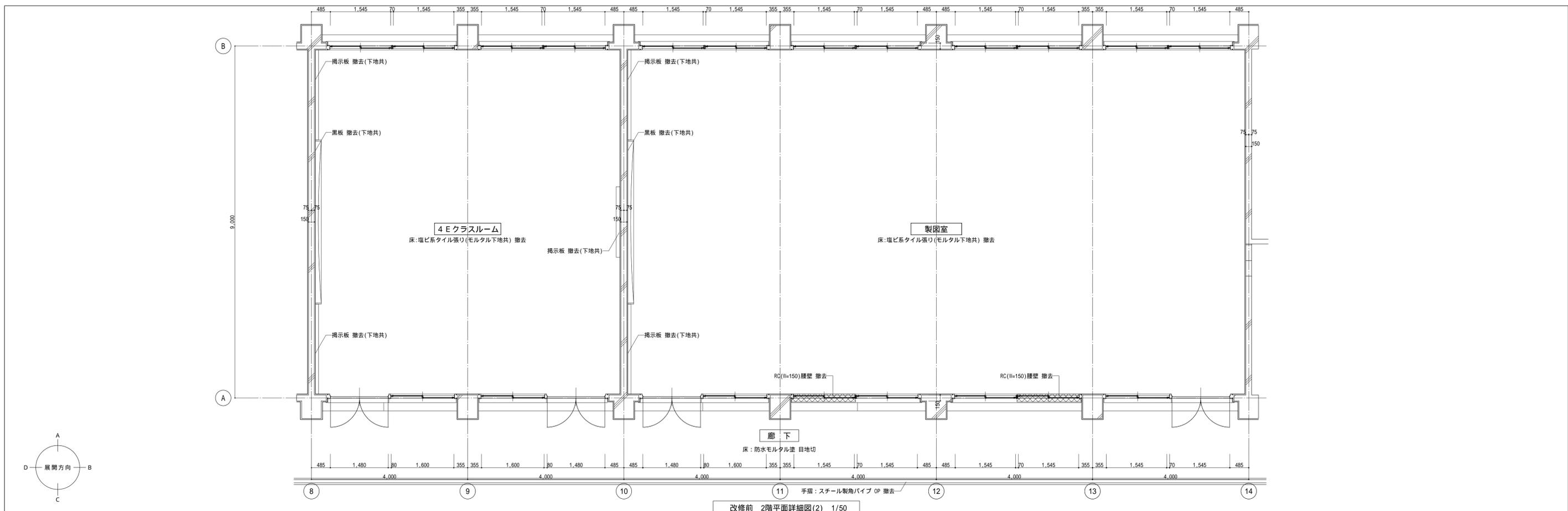


改修後 2階平面詳細図(1) 1/50

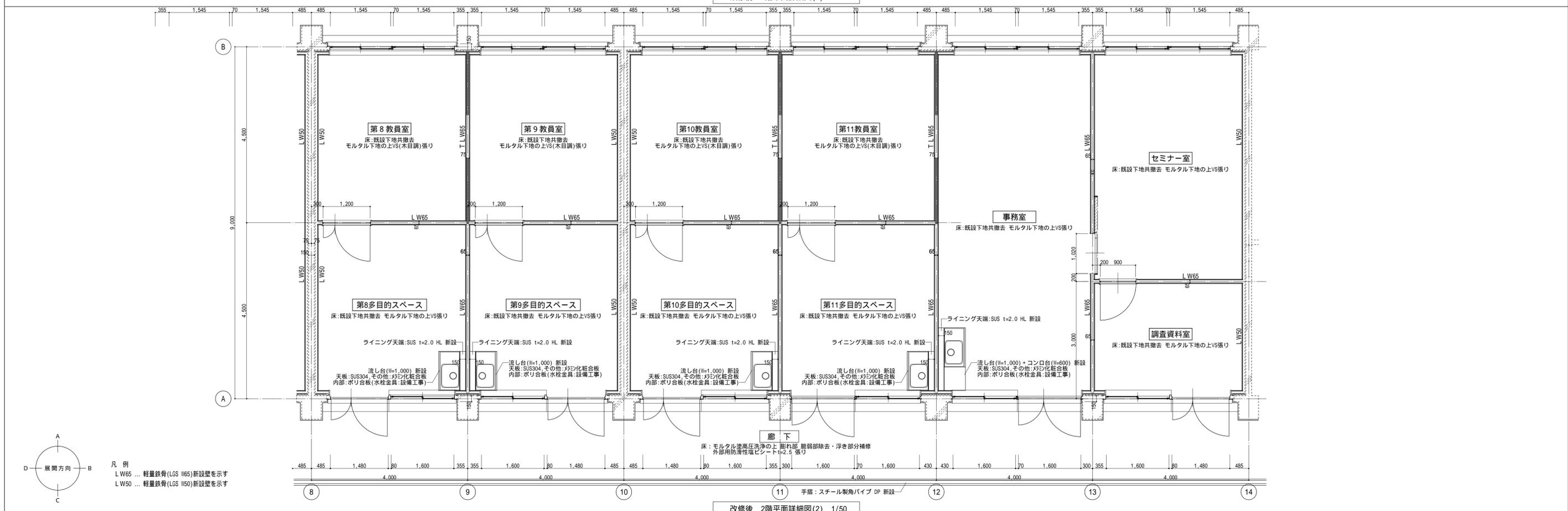
凡例
 T L W65 ... 耐火遮音軽量鉄骨(LGS W65)新設壁を示す
 L W65 ... 軽量鉄骨(LGS W65)新設壁を示す
 L W50 ... 軽量鉄骨(LGS W50)新設壁を示す

記事	業務名	鈴鹿工業高専機械工学科棟改修設計等業務				鈴鹿工業高等専門学校				工事名称	鈴鹿工業高専機械工学科棟改修その他工事	日付	平成25年7月	総数	35 / 77		
	図面名称	株式会社 総企画設計 管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行				検図	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	図面名称	改修前後 2階平面詳細図(1)	縮尺	1/50	番号

A3版の場合は50%縮尺とする



改修前 2階平面詳細図(2) 1/50

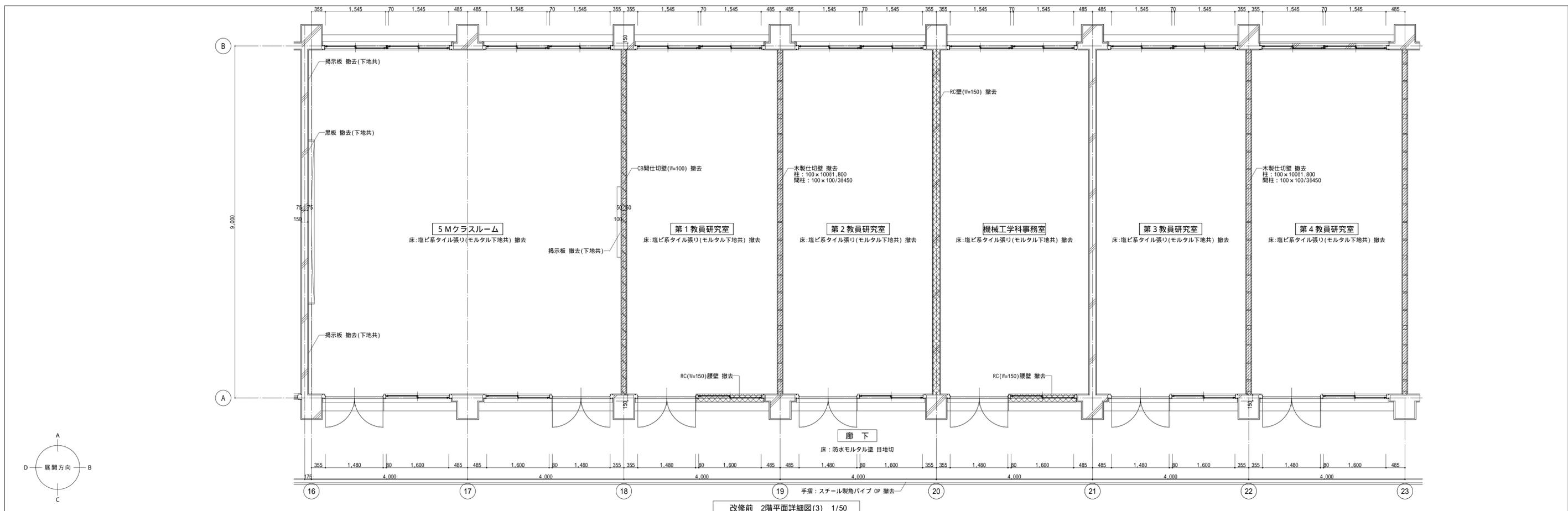


改修後 2階平面詳細図(2) 1/50

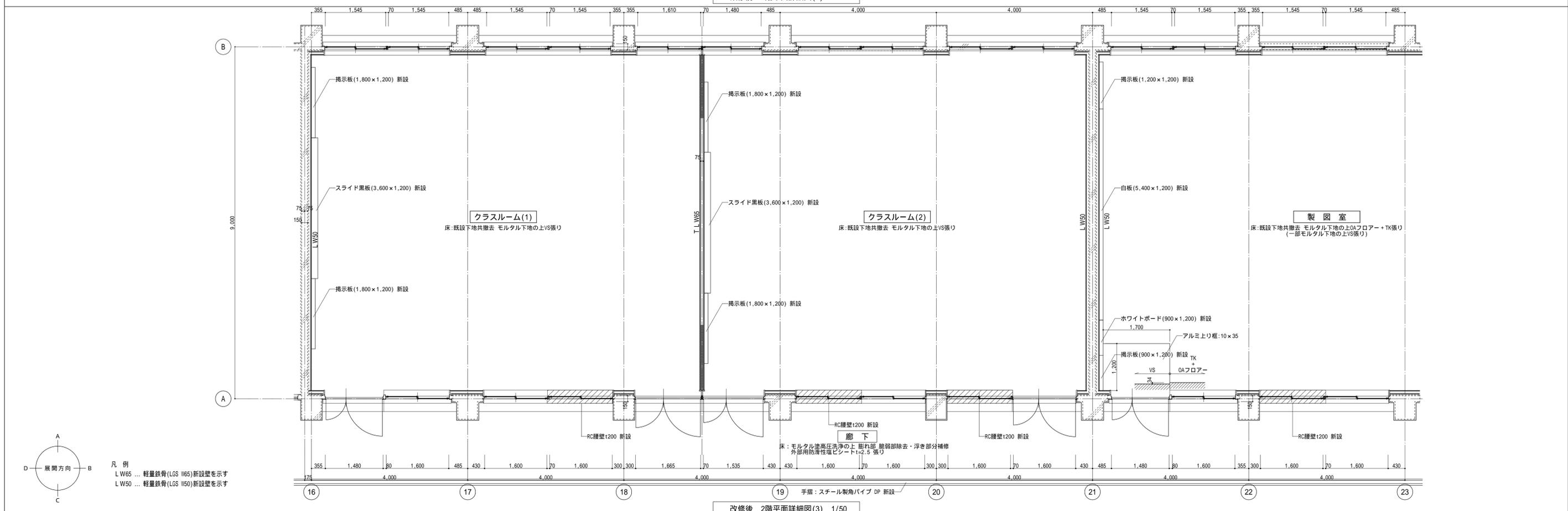
凡例
 LW65 ... 軽量鉄骨(LGS W65)新設壁を示す
 LW50 ... 軽量鉄骨(LGS W50)新設壁を示す

記事	業務名	鈴鹿工業高専機械工学科棟改修設計等業務				鈴鹿工業高等専門学校				工事名称	鈴鹿工業高専機械工学科棟改修その他工事	日付	平成25年7月	総数	36/77
	株式会社 総企画設計	管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行	検図	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	鈴鹿工業高専機械工学科棟改修その他工事	縮尺	1/50	番号	A-30	

A3版の場合は50%縮尺とする



改修前 2階平面詳細図(3) 1/50

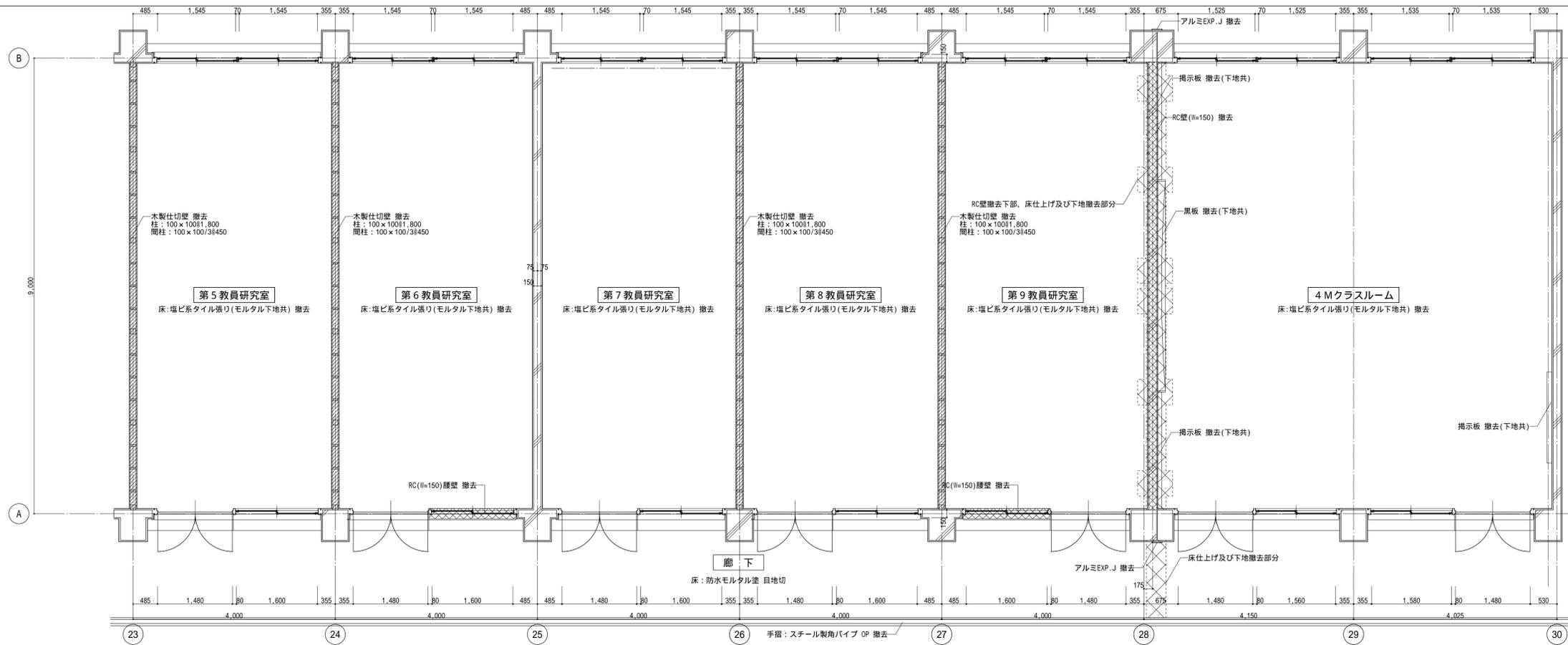


改修後 2階平面詳細図(3) 1/50

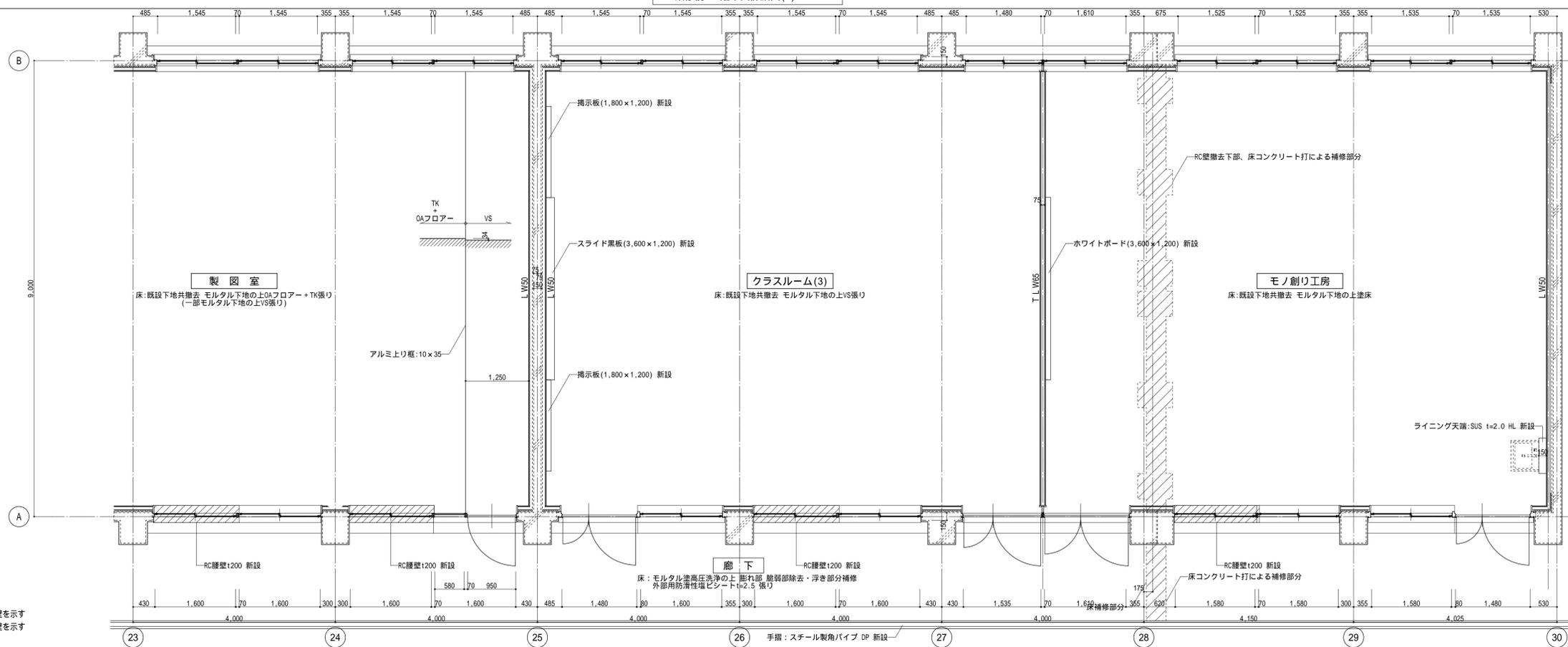
凡例
 LW65 ... 軽量鉄骨(LGS W65)新設壁を示す
 LW50 ... 軽量鉄骨(LGS W50)新設壁を示す

記事	業務名	鈴鹿工業高専機械工学科棟改修設計等業務				鈴鹿工業高等専門学校				工事名称	鈴鹿工業高専機械工学科棟改修その他工事	日付	平成25年7月	総数	37/77
	株式会社 総企画設計	管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行	検図	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	図面名称	改修前後 2階平面詳細図(3)	縮尺	1/50	番号	A-31

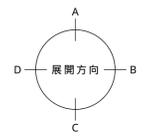
A3版の場合は50%縮尺とする



改修前 2階平面詳細図(4) 1/50



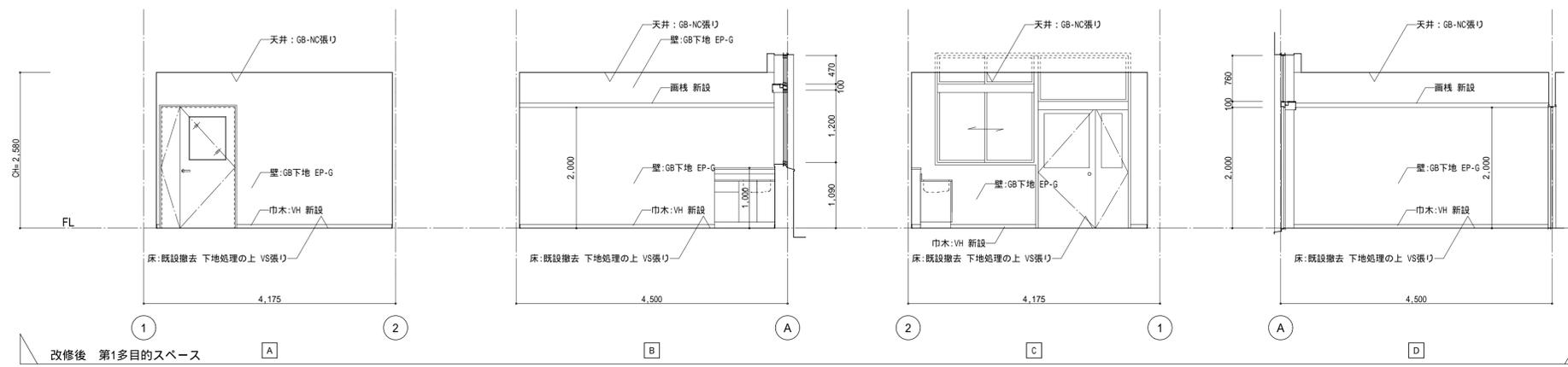
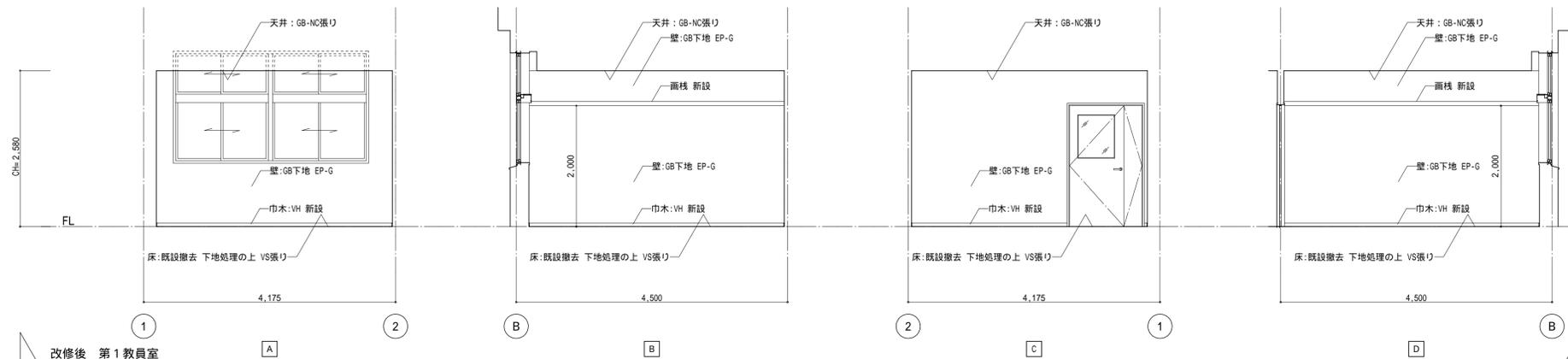
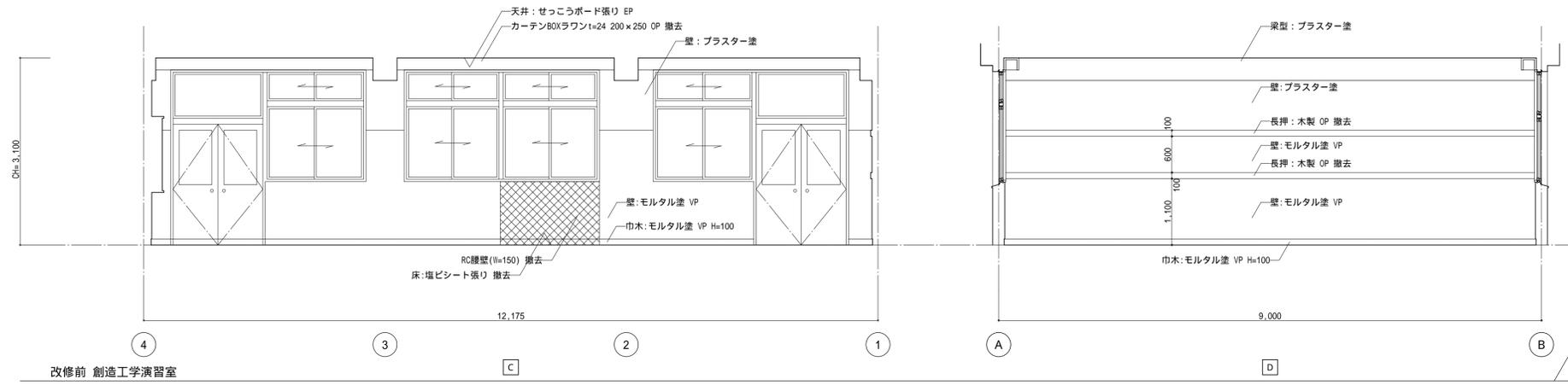
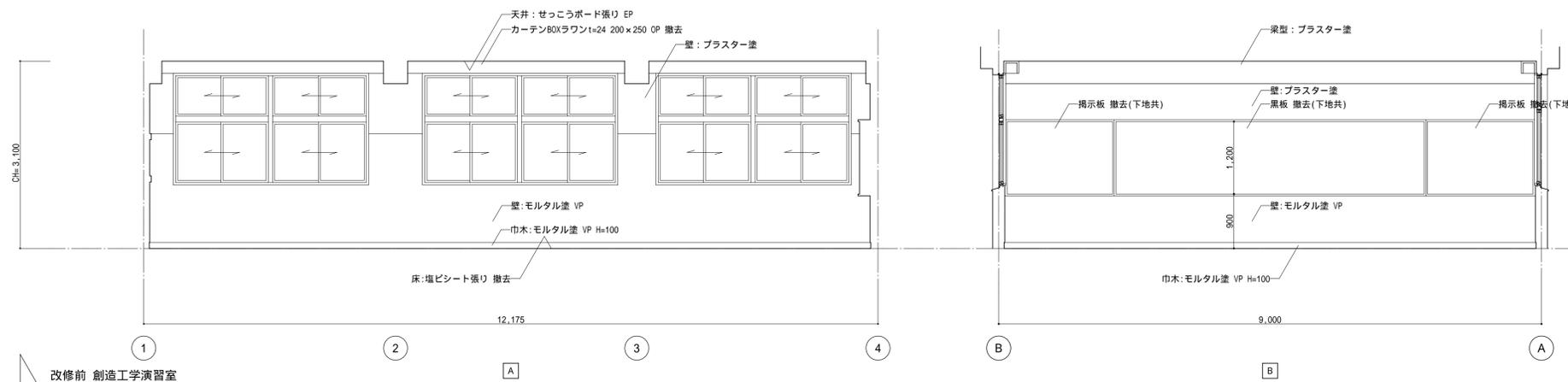
改修後 2階平面詳細図(4) 1/50



凡例
 LW65 ... 軽量鉄骨(LGS W65)新設壁を示す
 LW50 ... 軽量鉄骨(LGS W50)新設壁を示す

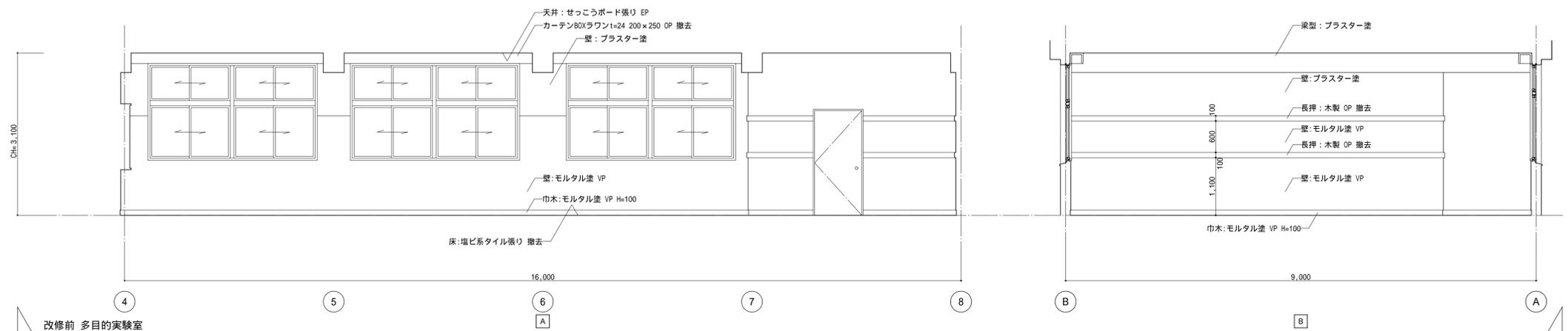
記事	業務名	鈴鹿工業高専機械工学科棟改修設計等業務				鈴鹿工業高等専門学校				工事名称	鈴鹿工業高専機械工学科棟改修その他工事	日付	平成25年7月	総数	38/77
	株式会社 総企画設計	管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行	校図	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	図面名称	改修前後 2階平面詳細図(4)	縮尺	1/50	番号	A-32

A3版の場合は50%縮尺とする

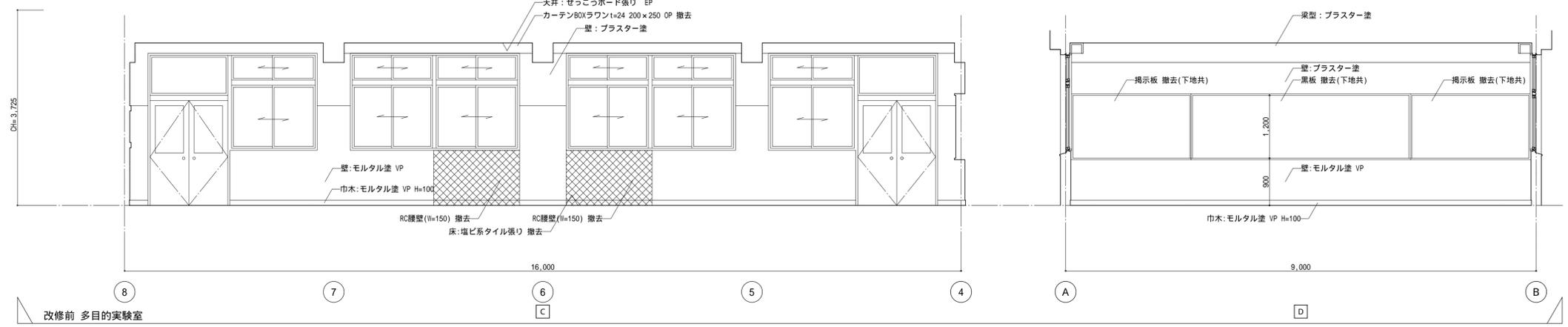


記事	業務名		鈴鹿工業高専機械工学科棟改修設計等業務				鈴鹿工業高等専門学校				工事名称	日付	総数
	株式会社 総企画設計		管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行				事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	鈴鹿工業高専機械工学科棟改修その他工事	平成25年7月
											図面名称	縮尺	番号
											改修前後 2階展開図(1)	1/50	A-33

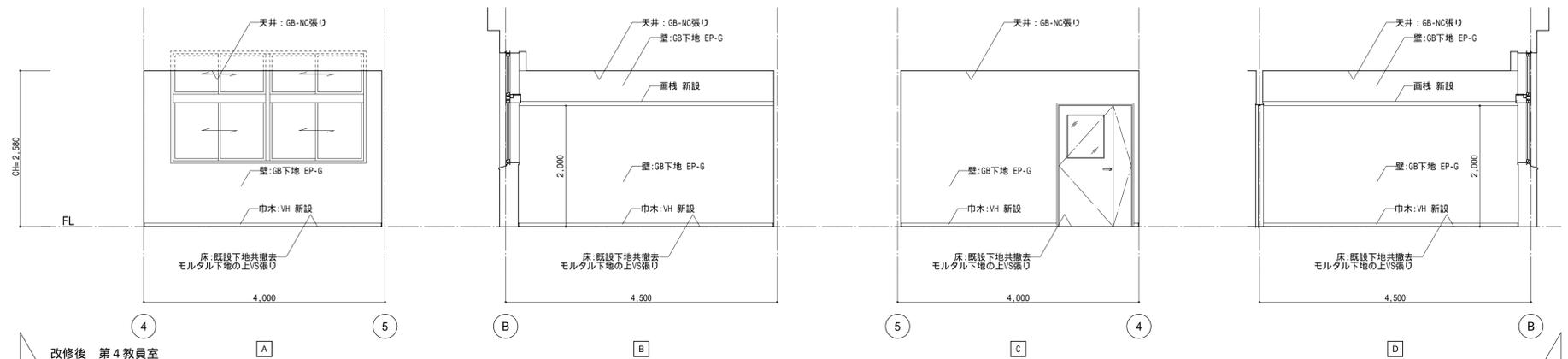
A3版の場合は50%縮尺とする



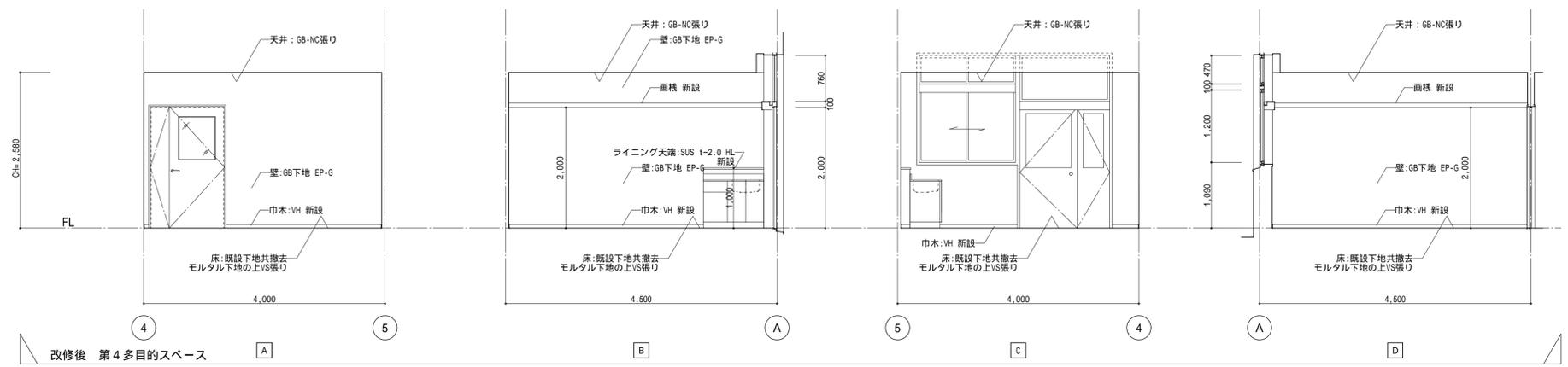
改修前 多目的実験室



改修前 多目的実験室



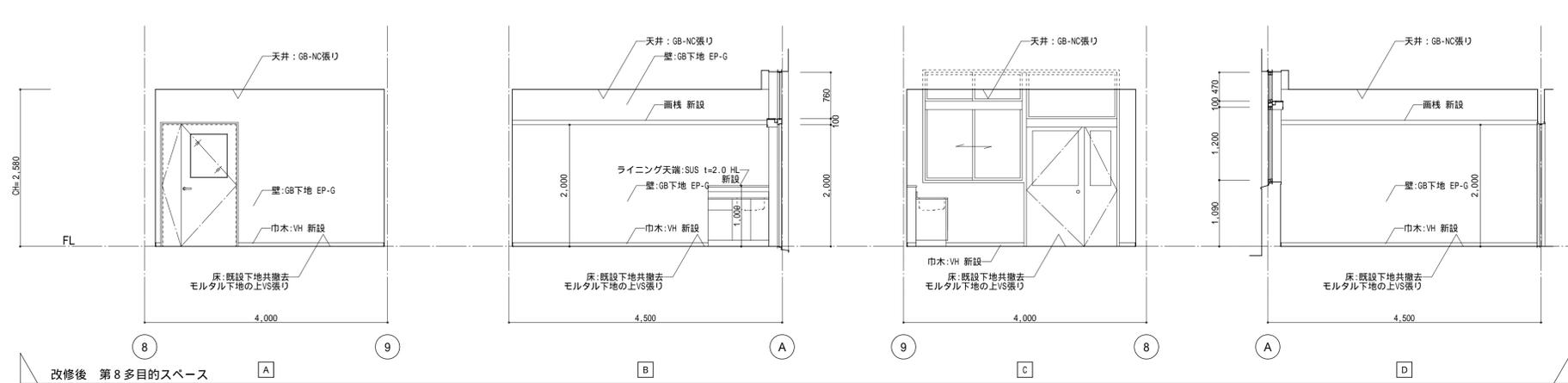
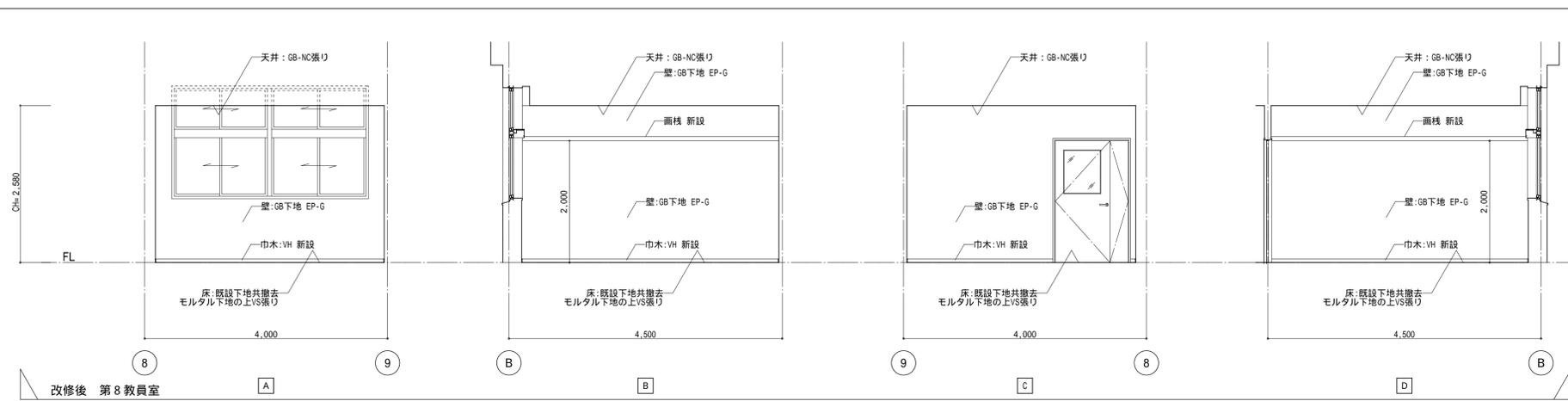
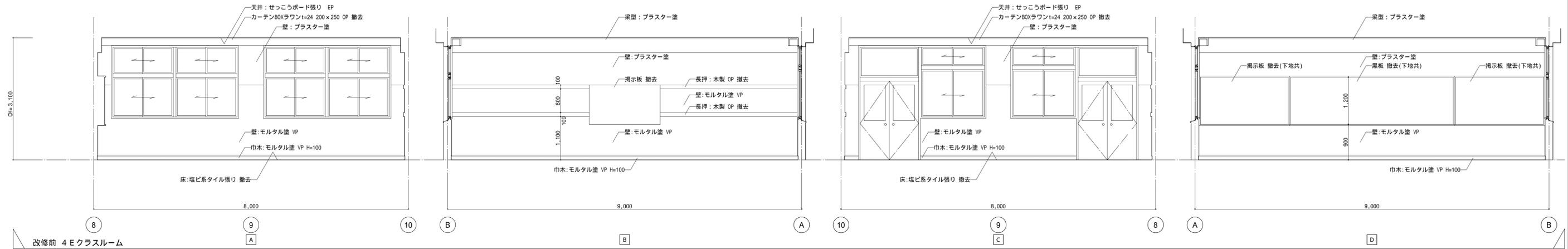
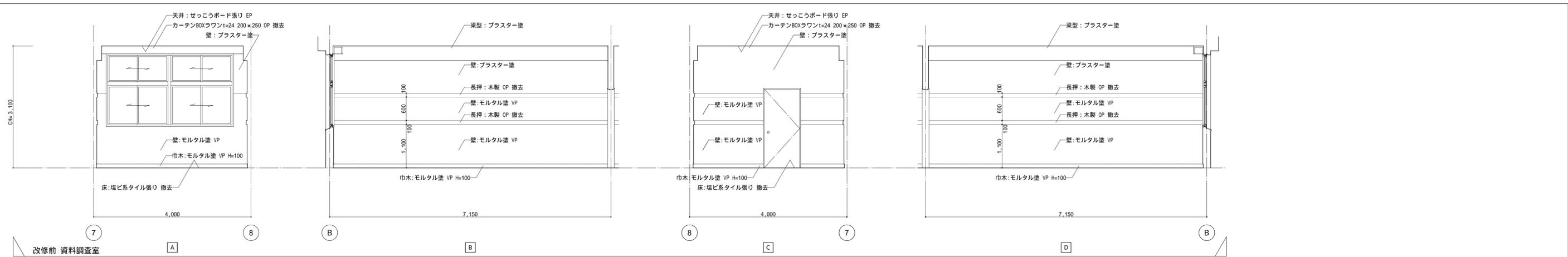
改修後 第4教員室



改修後 第4多目的スペース

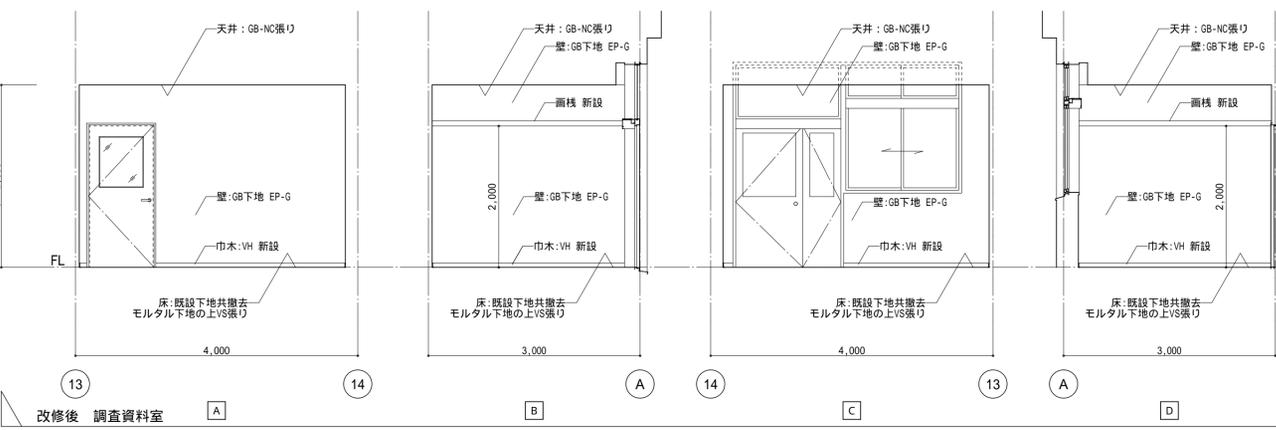
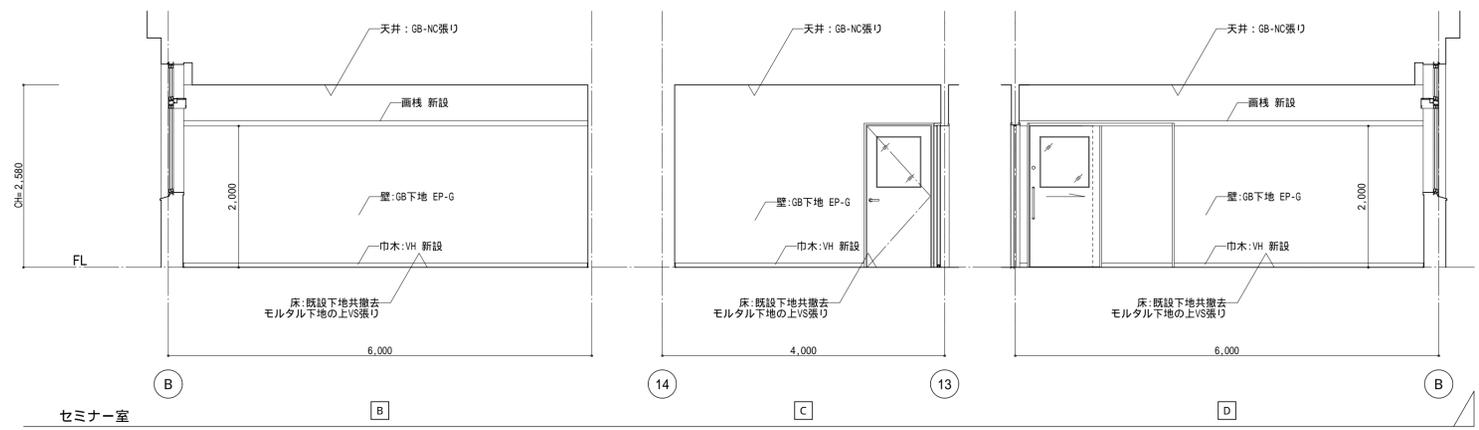
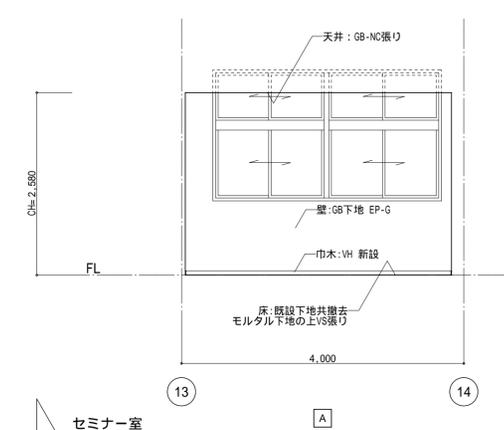
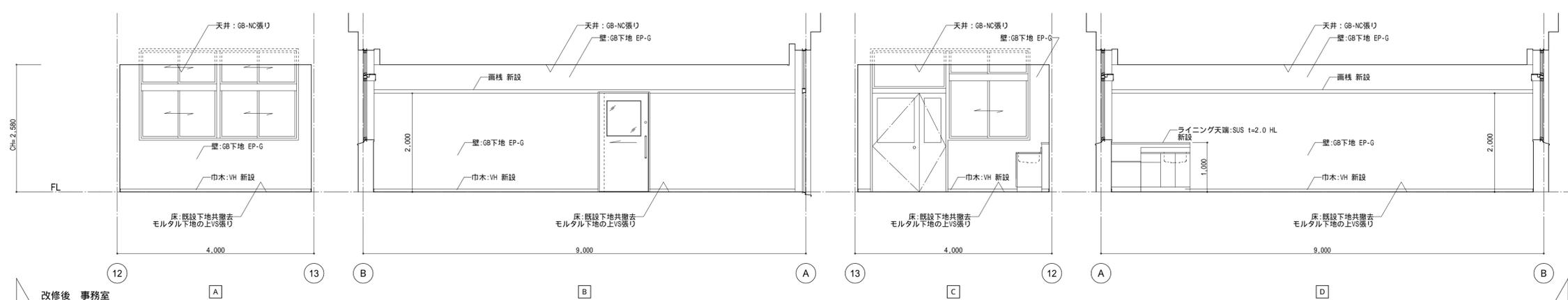
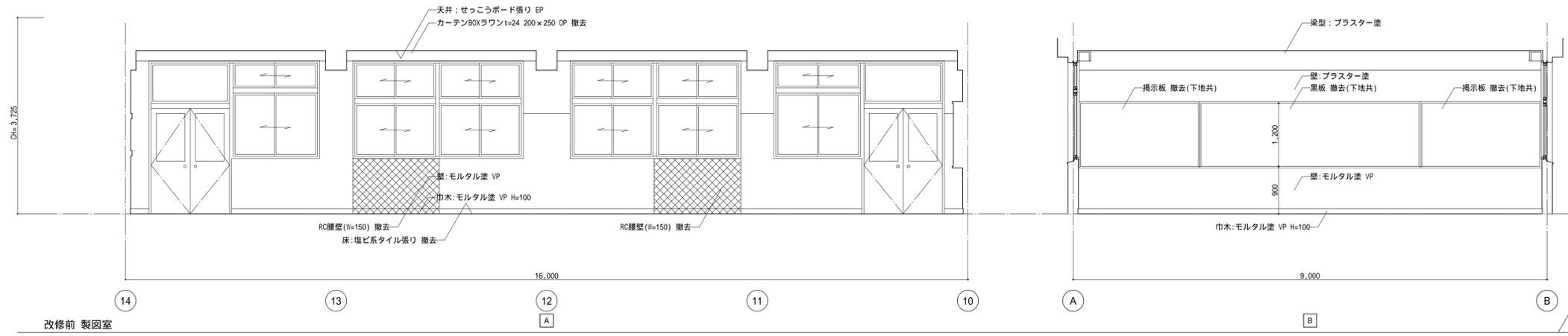
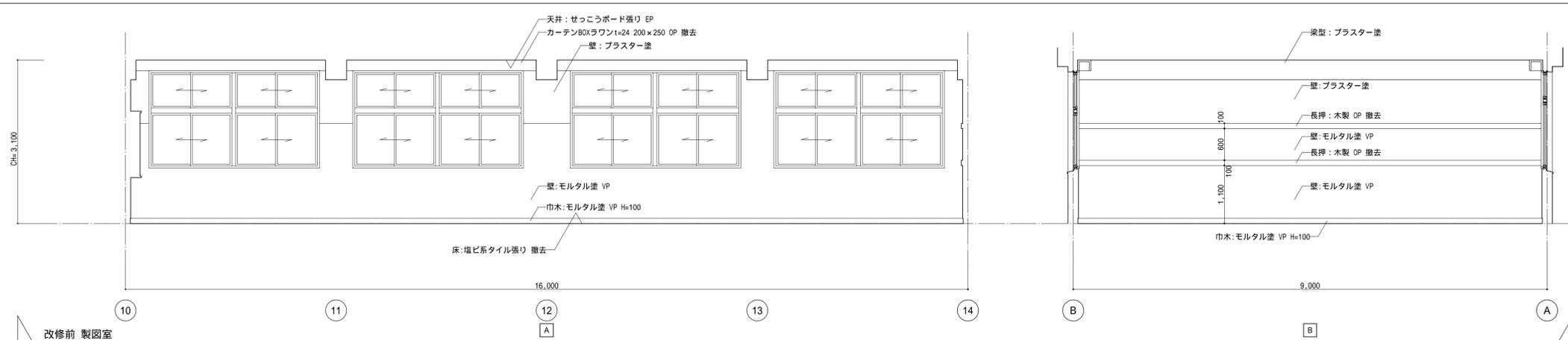
記 事	業務名 鈴鹿工業高専機械工学科棟改修設計等業務		鈴鹿工業高等専門学校				工事名称 鈴鹿工業高専機械工学科棟改修その他工事	日付 平成25年7月	総数 40 / 77	
	株式会社 総企画設計 管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行		棟図	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担 当	縮尺 1/50

A3版の場合は50%縮尺とする



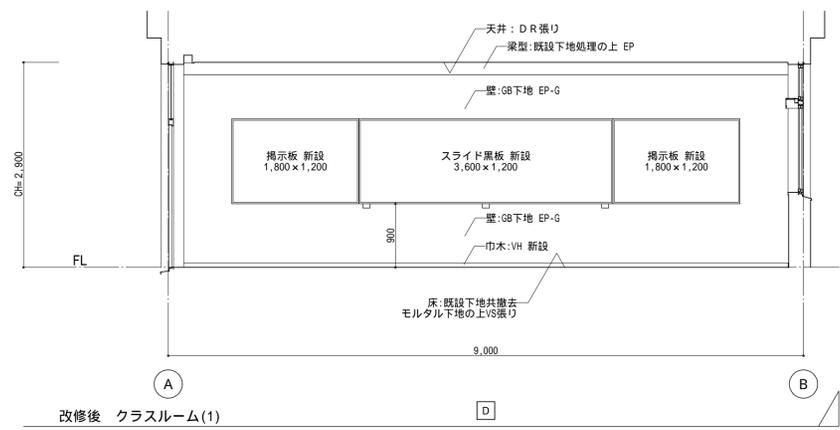
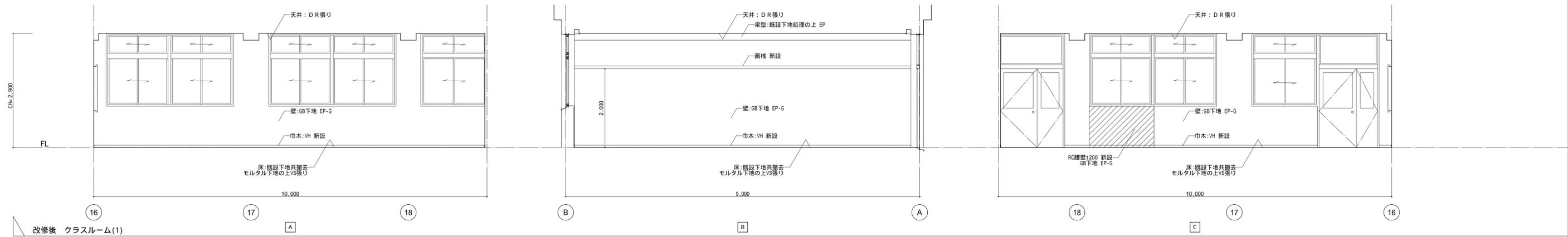
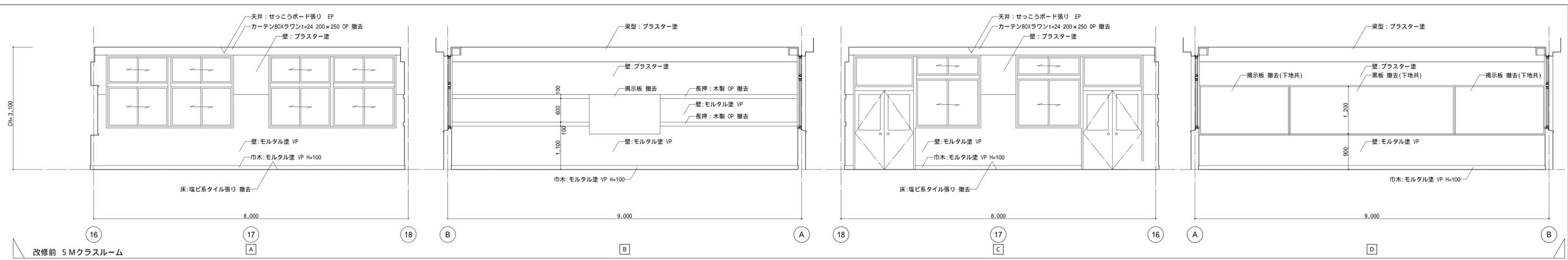
記事	業務名		鈴鹿工業高等専門学校				工事名称	日付	総数
	鈴鹿工業高等専門学校		鈴鹿工業高等専門学校				鈴鹿工業高等専門学校	平成25年7月	41 / 77
	株式会社 総企画設計		棟図	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当
	管理建築士 一級建築士 (大臣) 第270315号 犬飼 和行								
	改修前後 2階展開図(3)						図面名称	縮尺	番号
								1/50	A - 35

A3版の場合は50%縮尺とする



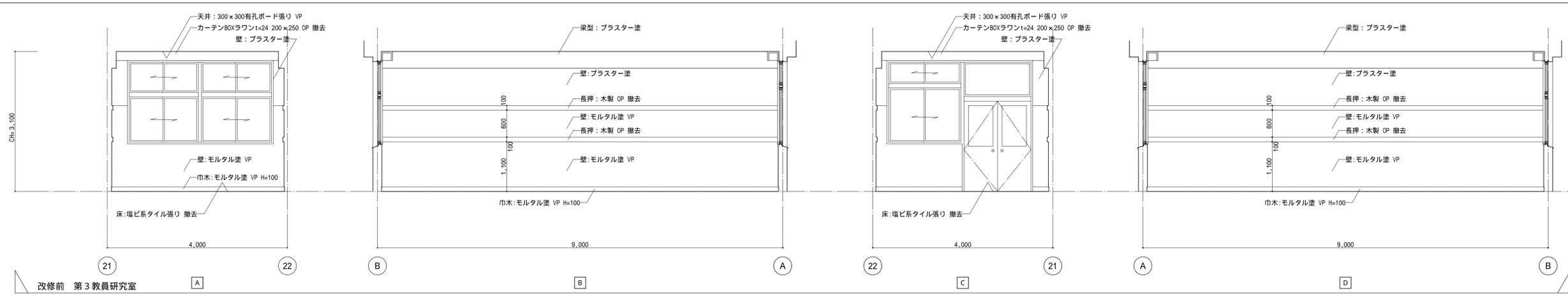
記 事	業務名		鈴鹿工業高等専門学校				工事名称	日付	総数
	鈴鹿工業高等専門学校改修設計等業務		鈴鹿工業高等専門学校				鈴鹿工業高等専門学校改修その他工事	平成25年7月	42 / 77
	株式会社 総企画設計		棟図	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当
	管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行								
							図面名称	縮尺	番号
							改修前後 2階展開図(4)	1/50	A-36

A3版の場合は50%縮尺とする

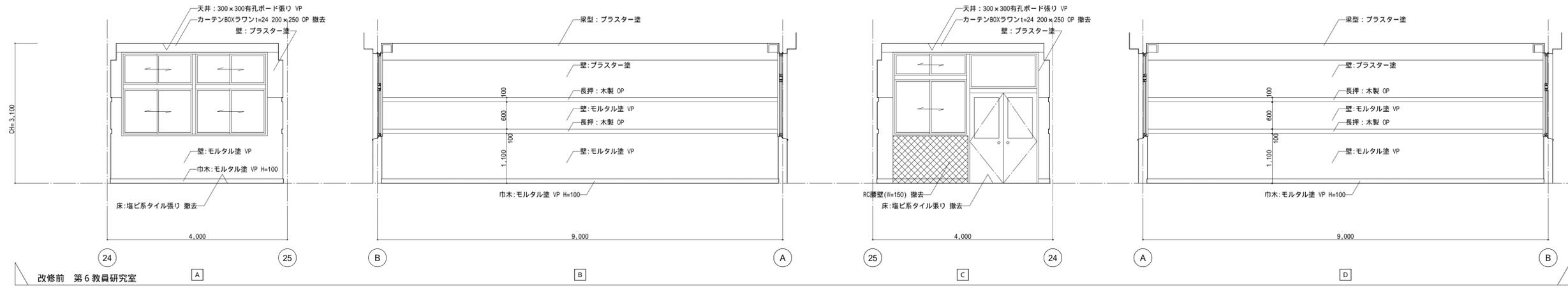


記事	業務名	鈴鹿工業高専機械工学科棟改修設計等業務				鈴鹿工業高等専門学校			工事名称	鈴鹿工業高専機械工学科棟改修その他工事	日付	平成25年7月	総数	43/77
	株式会社 総企画設計	管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行	棟図	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	鈴鹿工業高専機械工学科棟改修その他工事	縮尺	1/50	番号	A-37

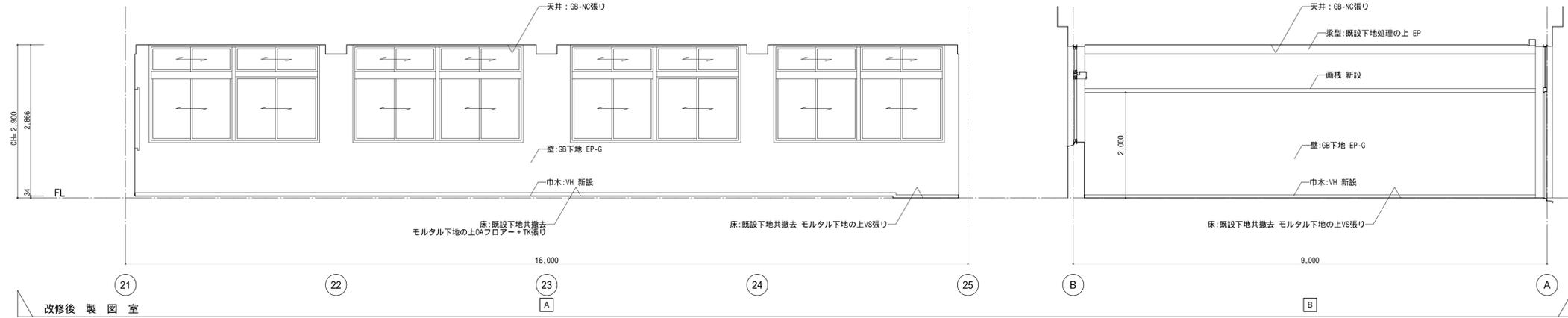
A3版の場合は50%縮尺とする



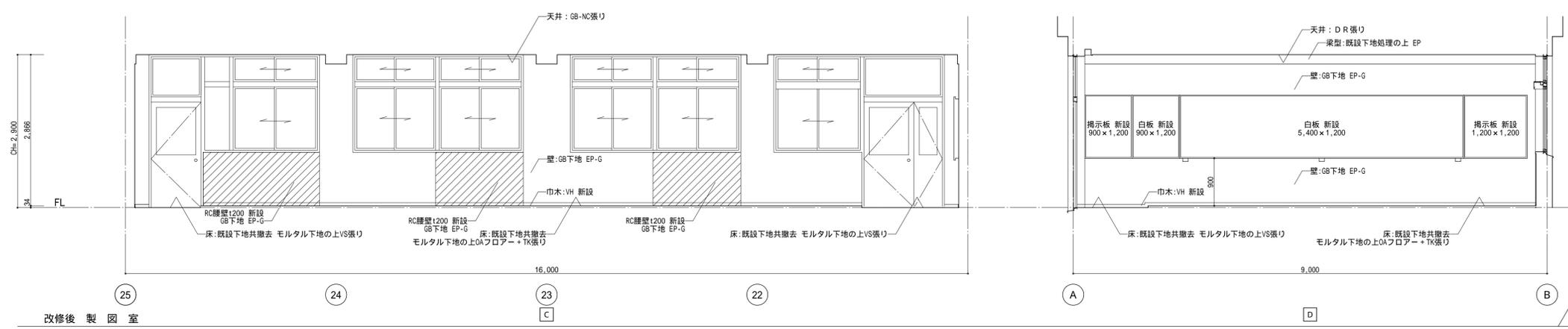
改修前 第3教員研究室



改修前 第6教員研究室



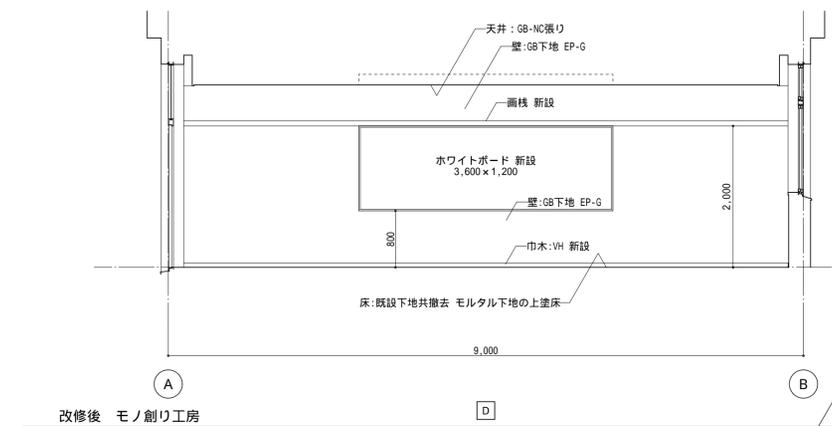
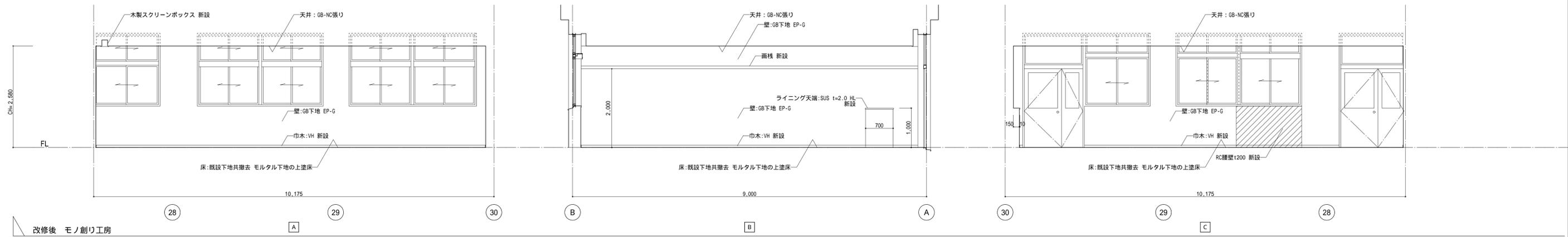
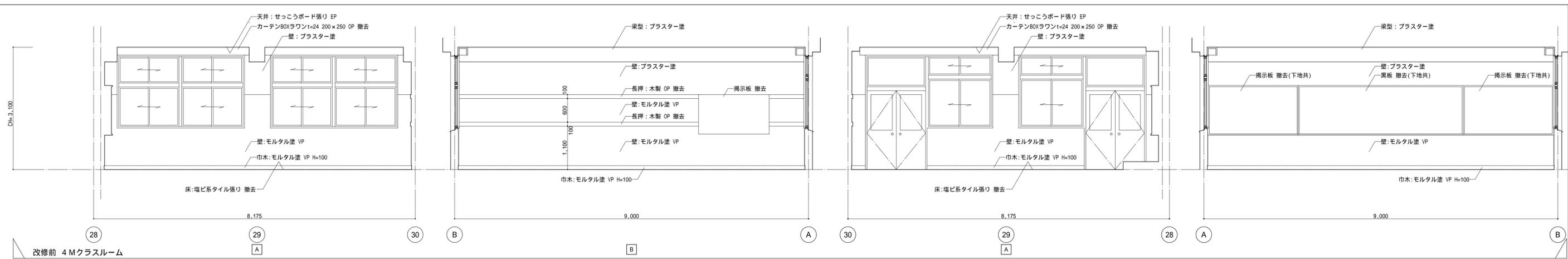
改修後 製図室



改修後 製図室

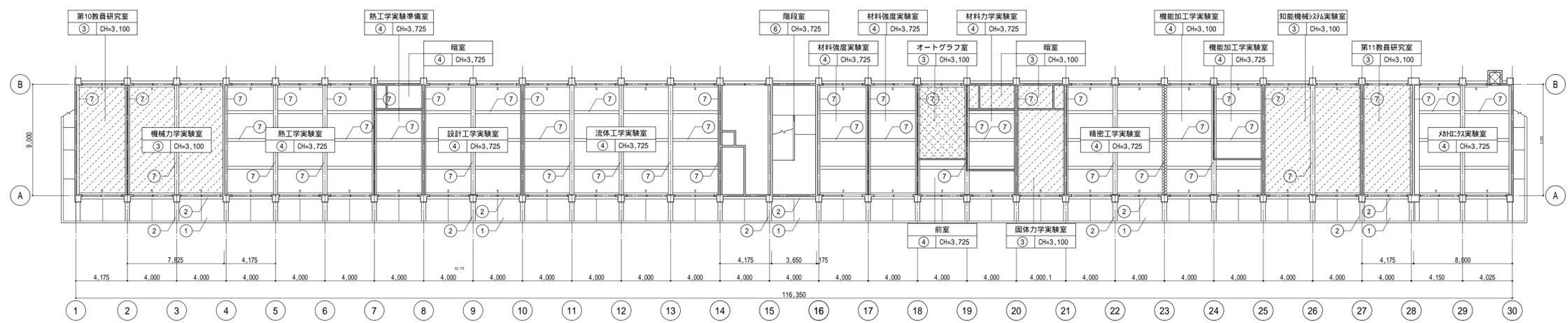
記 事	業務名		鈴鹿工業高等専門学校				工事名称	日付	総数
	鈴鹿工業高等専門学校		鈴鹿工業高等専門学校				鈴鹿工業高等専門学校	平成25年7月	44/77
	株式会社 総企画設計		棟図	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	番号
	管理建築士 一級建築士(大) 第270315号 犬飼 和行								A-38
			改修前後 2階展開図(6)				縮尺	1/50	

A3版の場合は50%縮尺とする

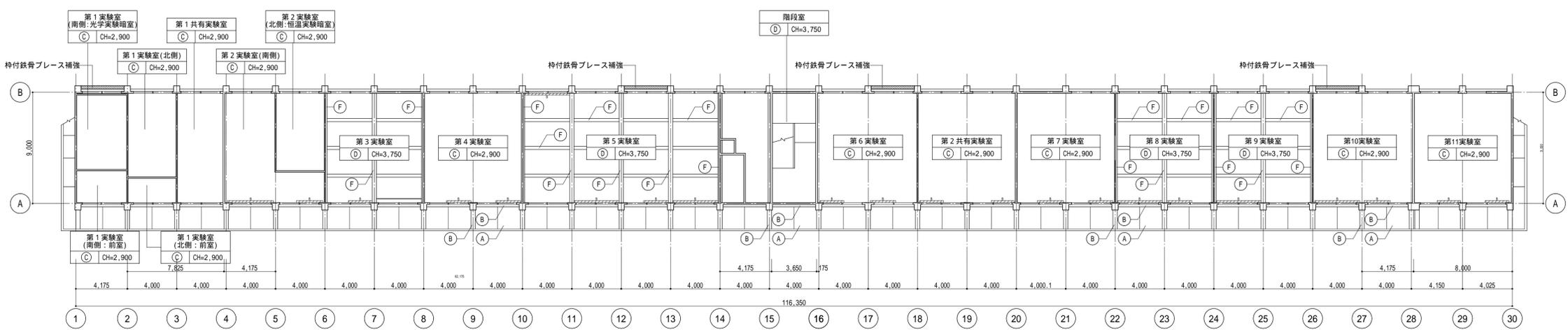


記事	業務名		鈴鹿工業高等専門学校				工事名称	日付	総数
	鈴鹿工業高等専門学校改修設計等業務		事務部長				鈴鹿工業高等専門学校改修その他工事	平成25年7月	45/77
	株式会社 総企画設計		棟図	担当			図面名称	縮尺	番号
	管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行						改修前後 2階展開図(7)	1/50	A-39

凡例	
符号	仕上
①	モルタル刷毛引き目地切アクリルリシン吹付
②	モルタル刷毛引きリシン吹付の上防水形複層塗材
③	有孔ボード張 VP
④	軽量骨材吹付
⑤	せっこうボード張 EP
⑥	プラスター塗
⑦	梁型 プラスター塗
B	カーテン(ブラインド)ボックス:木製 全て撤去
	天井材(下地共)撤去範囲を示す
	天井材(下地共)及びスラブ下吹付アスベスト撤去範囲を示す
	ドラフトチャンバー部撤去範囲を示す。



改修前 1階天井伏図 1/100



改修後 1階天井伏図 1/100

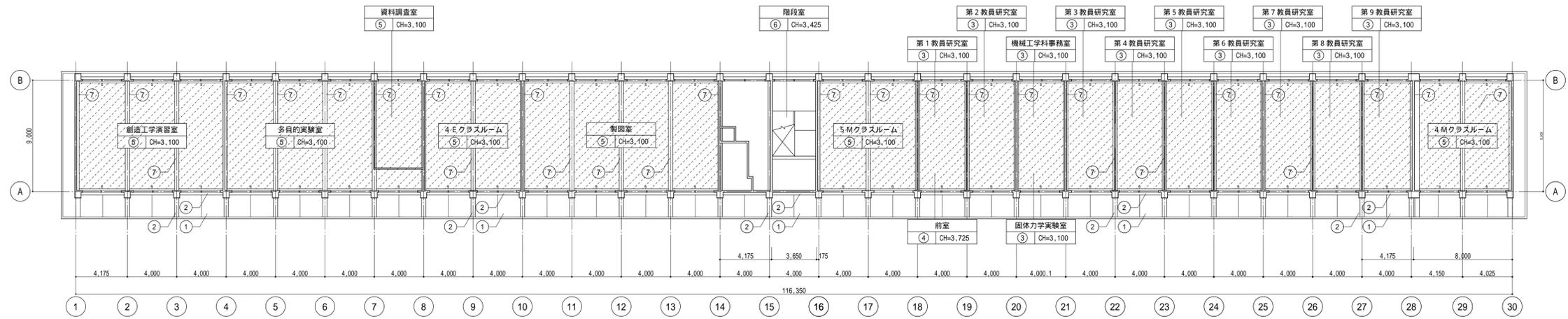
1階天井開口補強	
開口補強寸法	数量
450 x 450 (天井点検口)	21
600 x 600 (天井点検口)	-

凡例	
符号	仕上
(A)	浮き部分調査及び補修, 高圧洗浄の上 外装薄塗材E
(B)	浮き部分調査及び補修, 高圧洗浄の上 防水形複層塗材E
(C)	G B - N C 張り
(D)	既設撤去 下地処理の上 EP-T
(E)	D R 張り
(F)	既設プラスター塗下地処理の上 EP
	天井点検口: 特記なき限りアルミ製450角
	ブラインド(カーテン)ボックス: 木製 (H=150)

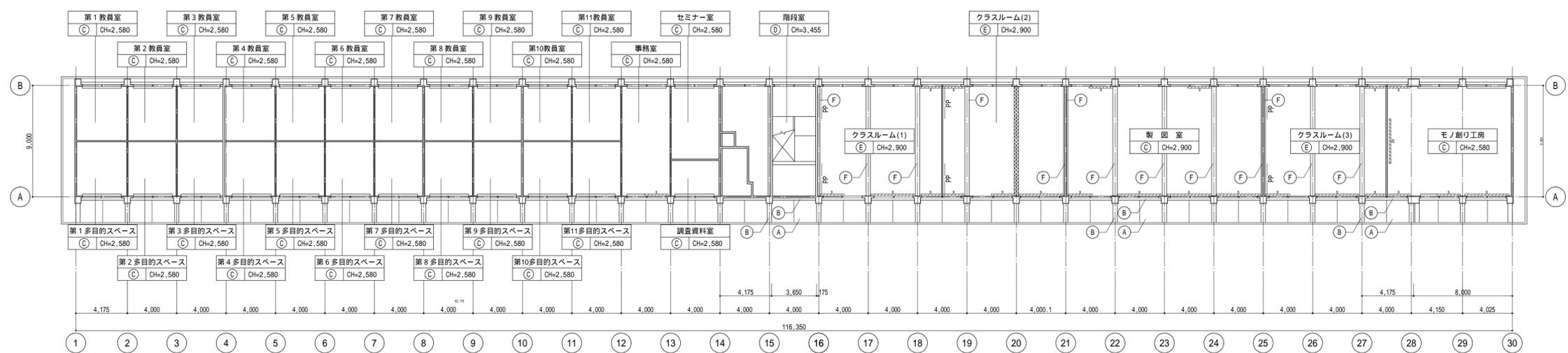
記事	業務名	鈴鹿工業高専機械工学科棟改修設計等業務				鈴鹿工業高等専門学校		工事名称	鈴鹿工業高専機械工学科棟改修その他工事		日付	総数
		株式会社 総企画設計 管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行				事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	平成25年7月	46 / 77
						検図	担当	図面名称	改修前後 1階天井伏図		縮尺	番号
											1 / 100	A - 40

A3版の場合は50%縮尺とする

凡例	
符号	
①	モルタル刷毛引き目地切アクリルリシン吹付
②	モルタル刷毛引きリシン吹付の上防水形複層塗材
③	有孔ボード張 VP
④	軽量骨材吹付
⑤	せっこうボード張 EP
⑥	プラスター塗
⑦	梁型 プラスター塗
B	カーテン(ブラインド)ボックス: 木製 全て撤去
////	天井材(下地共)撤去範囲を示す
XXXX	天井材以外の撤去範囲を示す



改修前 2階天井伏図 1/100



改修後 2階天井伏図 1/100

2階天井開口補強	
開口補強寸法	数量
450 x 450 (天井点検口)	46
600 x 600 (天井点検口)	6

凡例	
符号	仕上
(A)	浮き部分調査及び補修, 高圧洗浄の上 外装薄塗材E
(B)	浮き部分調査及び補修, 高圧洗浄の上 防水形複層塗材E
(C)	G B - N C 張り
(D)	既設撤去 下地処理の上 EP-T
(E)	D R 張り
(F)	既設プラスター塗下地処理の上 EP
	既設プラスター塗撤去 炭素繊維シート大梁補強の上ラスモルタル EP
□	天井点検口: 特記なき限りアルミ製450角
B	ブラインド(カーテン)ボックス: 木製(H=150)
SB	スクリーンボックス: 木製(H=150)
PP	ピクチャーレール: アルミ製

記事	業務名	鈴鹿工業高専機械工学科棟改修設計等業務				鈴鹿工業高等専門学校				工事名称	鈴鹿工業高専機械工学科棟改修その他工事	日付	平成25年7月	総数	47/77
	株式会社 総企画設計	管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行	検図	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	鈴鹿工業高専機械工学科棟改修その他工事	縮尺	1/100	番号	A-41	

符号	型式	材料	数量				仕上及び備考	ガラス	符号	型式	材料	数量				仕上及び備考	ガラス	符号	型式	材料	数量				仕上及び備考	ガラス									
			1F	2F	PHF	計						1F	2F	PHF	計						1F	2F	PHF	計											
AW1		A	17			17	ガラス全て撤去	F-4	AW1		A	1			1	ガラス全て撤去	F-4	AD1		A	1			1	種以外撤去及び開き部下種撤去(カバー工法用)	S-5	AD1		W	2				種共全て撤去	
AW1A		A	6			6	ガラス及びアルミパネル全て撤去	F-4	AD1		A	2	5		7	種共全て撤去	S-5	AD2		A	3	9		12	種共全て撤去	S-5	AD2		W	5	1		6	種共全て撤去	F-4
AW1B		A	1			1	ガラス及びアルミパネル全て撤去	F-4	AD1A		A	5			5	種共全て撤去	S-5	AD2A		A	2			2	種共全て撤去	S-5	AD3		W	4			4	種共全て撤去	
AW2		A	10			10	ガラス全て撤去	F-4	AD2		A	1			1	種以外撤去(カバー工法用)	F-4	AD2B		A	8	7		15	種以外撤去及び開き部下種撤去(カバー工法用)	S-5	AD4		W	1			1	種共全て撤去	F-4
AW2A		A	13			13	ガラス及びアルミパネル全て撤去	F-4	AD2A		A	1			1	種以外撤去(カバー工法用)	F-4	AD2C		A	2	4		6	種以外撤去及び開き部下種撤去(カバー工法用)	S-5	AD5		W	1			1	種共全て撤去	
AW3		A	1			1	ガラス全て撤去	F-4	AD3		A	1			1	種以外撤去及び開き部下種撤去(カバー工法用)	S-5	AD6		A	1	1		2	種以外撤去及び開き部下種撤去(カバー工法用)	S-5	AD6		W	1			1	種共全て撤去	F-4
AW4		A	1			1	ガラス全て撤去	F-4	AD4		A	1			1	種共全て撤去 パネル ポリ合板	S-5	AD7		A	1	1		2	種以外撤去及び開き部下種撤去(カバー工法用)	S-5	AD7		W	1			1	種共全て撤去	
AW5		A	1			1	ガラス全て撤去	F-4	AD5		S	1			1	種共全て撤去	S-5	AD8		A	1	1		2	種以外撤去(カバー工法用)	S-5/PW6.8	AD8								
AW6		A	1			1	ガラス全て撤去	F-4	AD6																										

建具表凡例

建具符号		材質記号			
AW	アルミ製窓	SSD	ステンレス製扉		
AD	アルミ製扉	EAD	自動アルミドア		
AG	アルミ製ガラリ	T	耐水密サッシ		
SD	鋼製扉	G	ガラリ付		
SS	鋼製シャッター	AT	仕様性能は： 耐熱：240kg/m ² 以上、全高：m以下 耐風：560kg/m ² 以上、全高：m以下 アルミニウム建具は、アルミイト処理とする。		
ID	木製扉			S	トーマイガラス
STD	ステンレス製建具(ドア)			K	強化ガラス
			FL	フロート板ガラス(透明)	
			PW	線入みかき板ガラス(縦線)	
			FW	網入型板ガラス	
			HP	熱線吸収ブルー層ガラス	

【建具改修内容凡例】

- ：ガラス及びアルミパネル取替用建具符号を示す
- ◇：撤去建具符号を示す

記 事	業務名		鈴鹿工業高等専門学校				工事名称		日付	総数
	鈴鹿工業高等専門学校棟改修設計等業務		事務部長 総務課長 課長補佐 施設係長 担当				鈴鹿工業高等専門学校棟改修その他工事		平成25年7月	48 / 77
	株式会社 総企画設計		管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行				改修前 建具表		縮尺	番号
	検図		担当						1/100	A-42

記号	数量	1	3	6	1	2	4	2	9
図面	寸法								
材質	形状	アルミ ランマFIX 親子開きフラッシュ戸	アルミ ランマFIX片袖引違い 親子開きフラッシュ戸	アルミ ランマFIX片袖引違い 親子開きフラッシュ戸	アルミ ランマFIX片袖引違い 親子開きフラッシュ戸	アルミ ランマFIX片袖引違い 親子開きフラッシュ戸	アルミ ランマFIX片袖引違い 親子開きフラッシュ戸	アルミ ランマFIX片袖引違い 親子開きフラッシュ戸	アルミ ランマFIX片袖引違い 親子開きフラッシュ戸
仕上	見込	70	70	70	70	70	70	70	70
ガラス種類	厚	FL75	複層ガラス (FL73+空気層76+FL73)						
建具金物		レバーハンドル、丁番、ドアチェック(ストッパー付)、戸当り シリンドラ錠、フランス落し、アルミ二重水切、SUS製巻取り 付属金物一式							
使用場所		1階 階段室	第9・10実験室	第1実験室(北側)、第2・5・6・11多目的スペース、第1共有実験室	第9実験室	第3・6実験室	第2実験室(南側)、第7実験室、第2第共有実験室、事務室	第2実験室(南側)、第5実験室	第1実験室(南側)、第1・3・4・7・8・9・10多目的スペース、調査資料室
改修内容		カバー工法 無目付けアルミブラインドボックス、可動ステンレス製網戸付	新設 無目付けアルミブラインドボックス、可動ステンレス製網戸付	新設 無目付けアルミブラインドボックス、可動ステンレス製網戸付	新設 無目付けアルミブラインドボックス、可動ステンレス製網戸付	新設 無目付けアルミブラインドボックス、可動ステンレス製網戸付	新設 無目付けアルミブラインドボックス、可動ステンレス製網戸付	カバー工法 可動ステンレス製網戸付	カバー工法 無目付けアルミブラインドボックス、可動ステンレス製網戸付
記号	数量	1	3	5	1	1	1	1	2
図面	寸法								
材質	形状	アルミ ランマFIX片袖引違い 親子開きフラッシュ戸	アルミ ランマFIX 2連親子開きフラッシュ戸						
仕上	見込	70	70	70	70	70	70	70	70
ガラス種類	厚	複層ガラス (FL73+空気層76+FL73)							
建具金物		レバーハンドル、丁番、ドアチェック(ストッパー付)、戸当り シリンドラ錠、フランス落し、アルミ二重水切、SUS製巻取り 付属金物一式							
使用場所		第5実験室	第4・7・10実験室	第6実験室、第1共有実験室、クラスルーム、製図室	第4実験室	モノ削り工房	第11実験室	第11実験室	クラスルーム、モノ削り工房
改修内容		カバー工法 無目付けアルミブラインドボックス、可動ステンレス製網戸付	カバー工法 無目付けアルミブラインドボックス、可動ステンレス製網戸付	カバー工法 無目付けアルミブラインドボックス、可動ステンレス製網戸付	カバー工法 無目付けアルミブラインドボックス、可動ステンレス製網戸付	カバー工法 可動ステンレス製網戸付	カバー工法 無目付けアルミブラインドボックス、可動ステンレス製網戸付	カバー工法 無目付けアルミブラインドボックス、可動ステンレス製網戸付	新設
記号	数量	2	1	1		1			
図面	寸法								
材質	形状	アルミ ランマ・両袖FIX 引き分けハンガー戸	アルミ ランマFIX片袖引違い 両開きフラッシュ戸	アルミ ランマFIX片袖引違い+FIX 両開きフラッシュ戸		スチール 軽量バランスシャッター スラット:カラー鋼板 10.4			
仕上	見込	70	70	70					
ガラス種類	厚	TL75	複層ガラス (FL73+空気層76+FL73)	複層ガラス (FL73+空気層76+FL73)		採光窓:ポリカーボネート11.6(200x25)			
建具金物		スリット引棒(L=600)、巾下式引棒、戸当り、無目(ノックレキ仕様) ホリホリ、ホリホリ、衝突防止マーク: SUS丸型30	レバーハンドル、丁番、ドアチェック(ストッパー付)、戸当り シリンドラ錠、フランス落し、アルミ二重水切、SUS製巻取り 付属金物一式	レバーハンドル、丁番、ドアチェック(ストッパー付)、戸当り シリンドラ錠、フランス落し、アルミ二重水切、SUS製巻取り 付属金物一式		ガイドレール、底板、シャッターケース、スライド式シャッター錠 中柱、付属金物一式			
使用場所		1・2階 階段室	第8実験室	製図室		第3実験室			
改修内容		カバー工法 飛散防止フィルム貼付	新設 無目付けアルミブラインドボックス、可動ステンレス製網戸付	新設 可動ステンレス製網戸付		新設			
記号	数量	4	1	1	1	2			
図面	寸法								
材質	形状	アルミ 2段2連引違い窓							
仕上	見込	70	70	70	70	70			
ガラス種類	厚	複層ガラス (FL73+空気層76+FL73)							
建具金物		引手、下車、クレセント、アルミ二重水切 付属金物一式	引手、下車、クレセント、アルミ二重水切 付属金物一式	引手、下車、クレセント、アルミ二重水切 付属金物一式	引手、下車、クレセント、アルミ二重水切 付属金物一式	引手、下車、クレセント、アルミ二重水切 付属金物一式			
使用場所		クラスルーム、製図室	第2共有実験室	クラスルーム	モノ削り工房	クラスルーム、モノ削り工房			
改修内容		新設 可動ステンレス製網戸付	新設 無目付けアルミブラインドボックス、可動ステンレス製網戸付	新設 無目付けアルミブラインドボックス、可動ステンレス製網戸付	新設 無目付けアルミブラインドボックス、可動ステンレス製網戸付	カバー工法 可動ステンレス製網戸付			

- 【建具改修内容凡例】
- : 新設建具符号を示す
 - △: ガラス及びアルミパネル取替建具符号を示す
 - ◇: 既設クリーニング建具符号を示す
 - : 既設クリーニング及び錠取替建具符号を示す
- 【建具符号】
- AD: アルミ製戸
 - AW: アルミ製窓
 - AG: アルミガラリ
 - S D: スチール製戸
 - L S D: スチール製軽量戸
- 【ガラス符号】
- FL: フロート板ガラス
 - F: 型板ガラス
 - PW: 網入り腐き板ガラス
 - FW: 網入り型板ガラス
 - T L: 強化ガラス

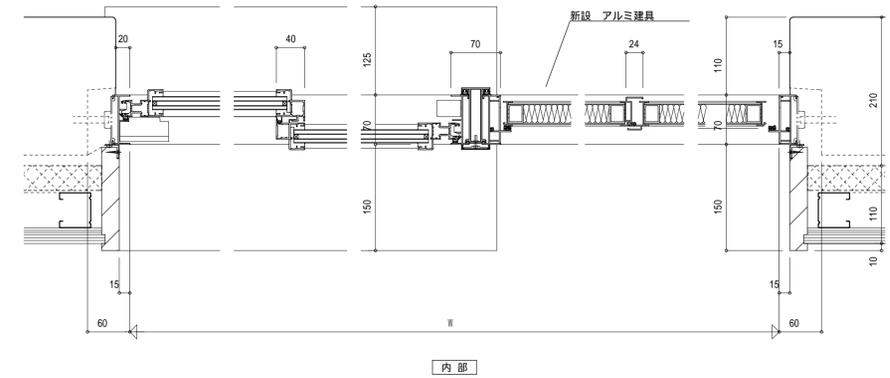
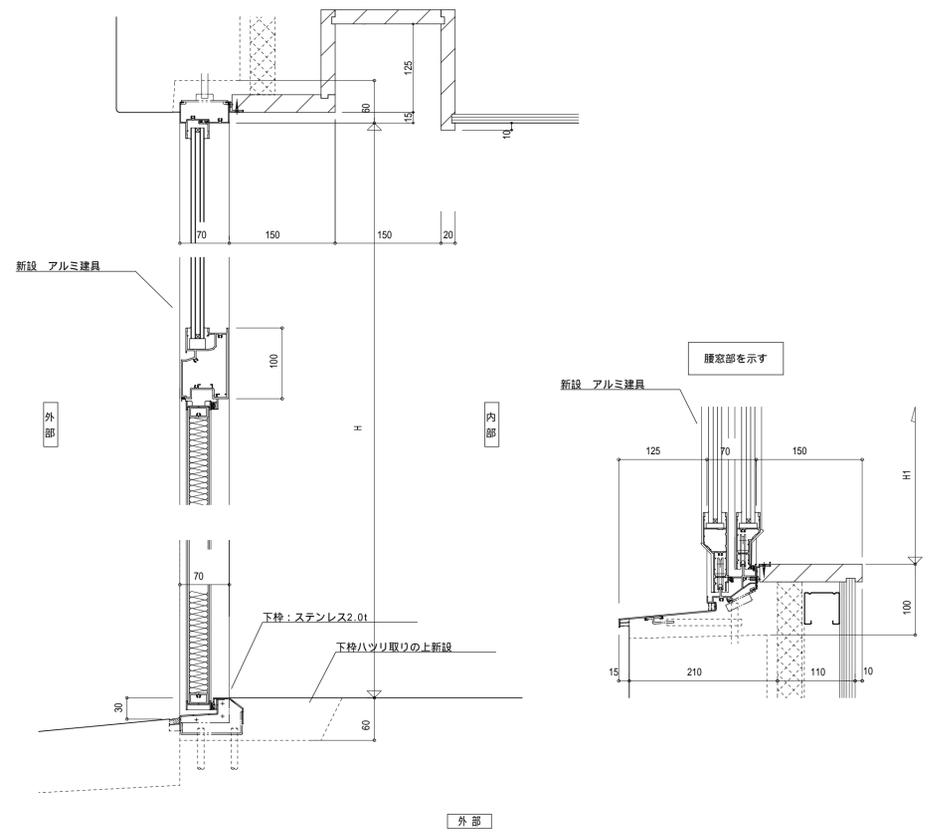
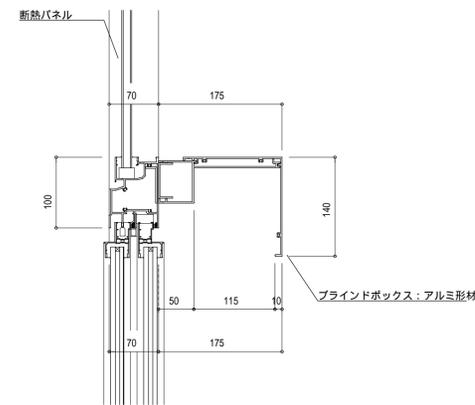
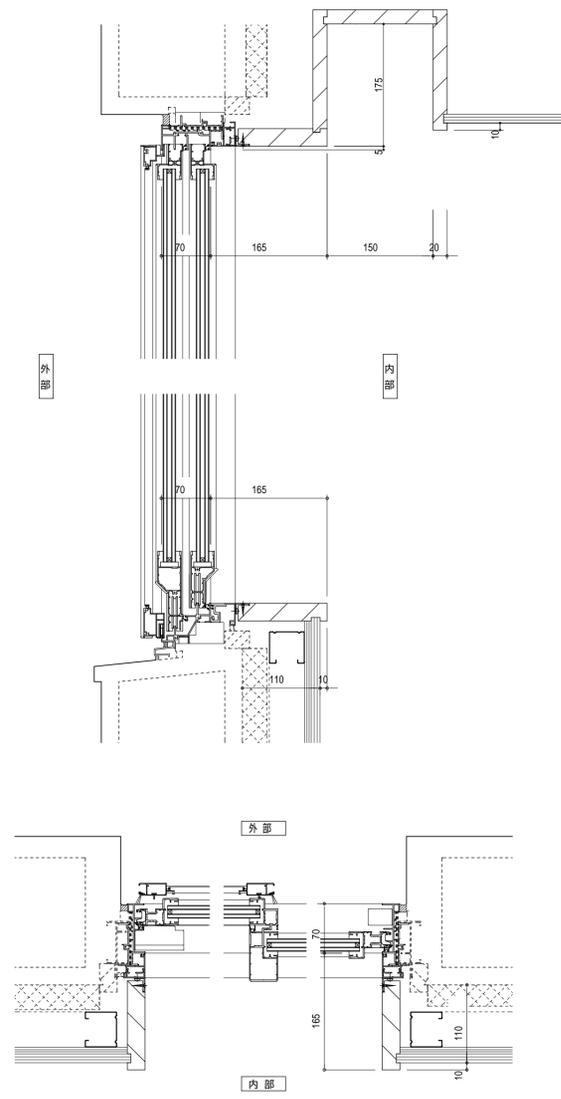
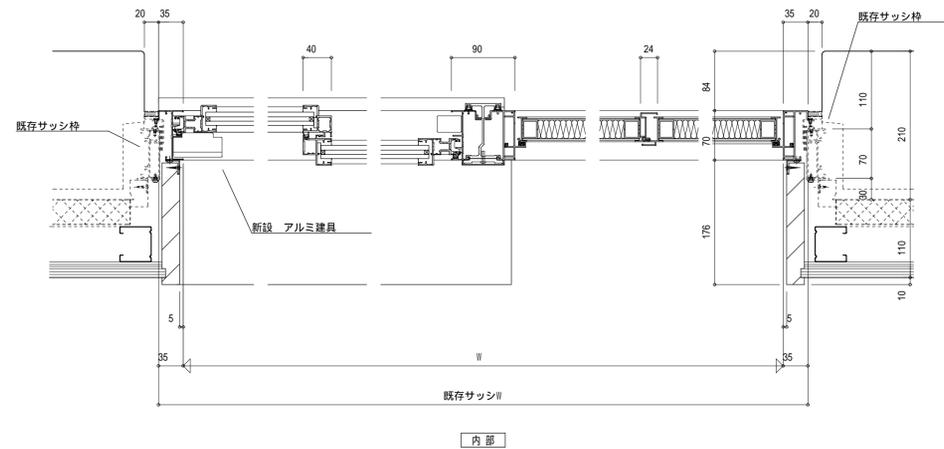
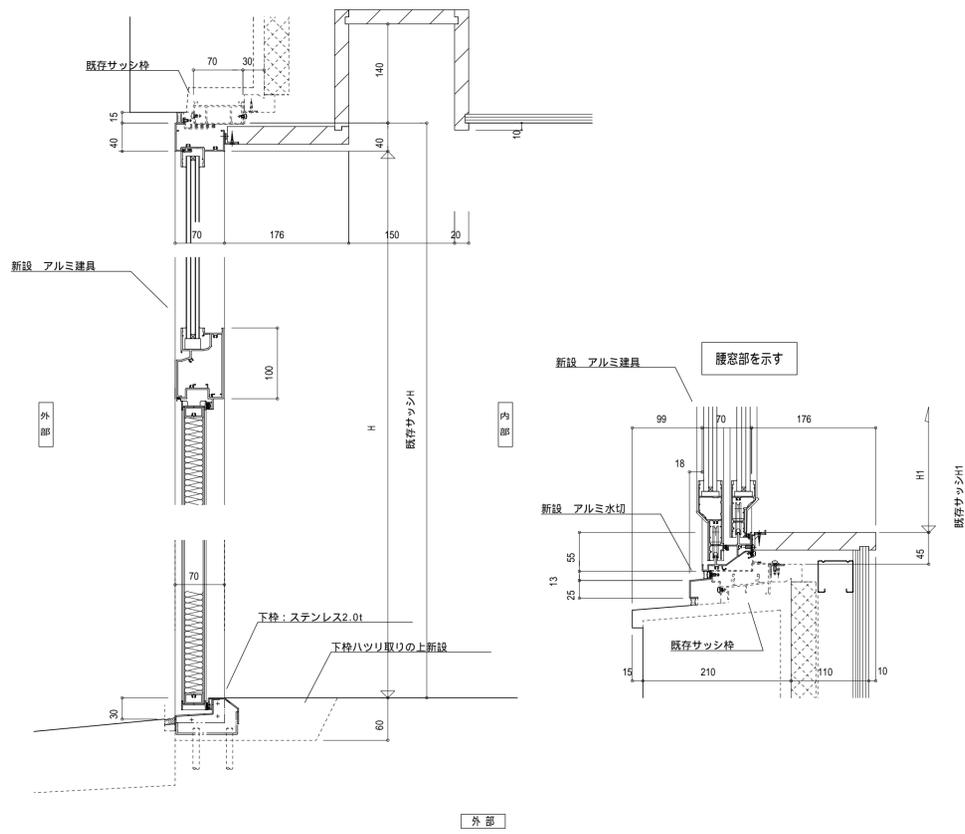
- 【一般事項】
- 建具寸法は、現場にて再調整の上、決定とする
 - 特記なき限り、建具金物はSUS製とする
 - 既設クリーニング建具は全て、開閉調整・シーリング打替を行うこと (AD-2・3は除く)
 - 両開き・親子開き建具は特記なき限り、フランス落し・開閉調整器付とする
 - 既設改修建具の錠は全て取替とする (マスターキー対応)
 - アルミ製建具の仕上は特記なき限り、陽極酸化塗装被覆皮膜とする
 - アルミパネル仕様はアルミ樹脂複合板 (発熱スチロールサンドイッチ)t=18とする
 - アルミパネル加工は設備工事とする
 - 木製額縁米幅t=25 SOPとする
 - ブラインドボックスはMDF t=25 SOPとする

記 事	業務名 鈴鹿工業高専機械工学科棟改修設計等業務					鈴鹿工業高等専門学校			工事名称	鈴鹿工業高専機械工学科棟改修その他工事	日付	平成25年7月	総数	49 / 77		
	株式会社 総企画設計 管理建築士 一級建築士 (大) 第270315号 犬飼 和行					検図	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担 当	縮尺	1 / 100	番号	A - 43
									新設・改修建具表(1)							

記号	数量	1	1	1	1	1	11	4
図面	寸法							
材質	形状	軽量スチール 引違い戸	軽量スチール 片引き戸	軽量スチール 片引き戸	軽量スチール 片引き戸	軽量スチール 親子開き戸	軽量スチール 親子開き戸	軽量スチール 片開き戸
仕上	見込	焼付塗装 40(庫)	焼付塗装 40(庫)	焼付塗装 40(庫)	焼付塗装 40(庫)	焼付塗装 40(庫)	焼付塗装 40(庫)	焼付塗装 40(庫)
ガラス種類	厚	TL75	TL75	TL75	TL75	FL75	FL75	FL75
建具金物		引手、下車、埋込SUS製レール、引違い用線錠	SUS引棒(L=600)、戸当り、下車、埋込SUS製レール Dd式引戸錠、戸当りゴム、付属金物一式	SUS引棒(L=600)、戸当り、下車、埋込SUS製レール Dd式引戸錠、戸当りゴム、付属金物一式	SUS引棒(L=600)、下車、埋込SUS製レール Dd式引戸錠、戸当りゴム、付属金物一式	レバーハンドル、丁番、ドアチェック、シリンダー本締め フランス落し、戸当り、付属金物一式	レバーハンドル、丁番、ドアチェック、シリンダー本締め フランス落し、戸当り、付属金物一式	レバーハンドル、丁番、ドアチェック、シリンダー本締め フランス落し、戸当り、付属金物一式
使用場所		第2実験室	第1実験室(北側)	事務室(セミナー室)	第2共有実験室(第6実験室)	第1実験室(南側)	各教員室(各多目的スペース)	第1実験室(北・南側)、第1共有実験室、セミナー室(調査資料室)
改修内容		新設	新設	新設	新設	新設	新設	新設
記号	数量	3	16	4	1	21	2	1
図面	寸法							
材質	形状	アルミ 2段2連引違い窓	アルミ 2段2連引違い窓	アルミ 2段2連引違い窓	アルミ 2段2連引違い窓	アルミ 2段2連引違い窓	アルミ 2段2連引違い窓	アルミ 2段2連引違い窓
仕上	見込	70	70	70	70	70	70	70
ガラス種類	厚	複層ガラス (FL73+空気層76+FL73)	複層ガラス (FL73+空気層76+FL73)	複層ガラス (FL73+空気層76+FL73)	複層ガラス (FL73+空気層76+FL73)	複層ガラス (FL73+空気層76+FL73)	複層ガラス (FL73+空気層76+FL73)	複層ガラス (FL73+空気層76+FL73)
建具金物		引手、下車、クレセント、アルミ二重水切 付属金物一式	引手、下車、クレセント、アルミ二重水切 付属金物一式	引手、下車、クレセント、アルミ二重水切 付属金物一式	引手、下車、クレセント、アルミ二重水切 付属金物一式	引手、下車、クレセント、アルミ二重水切 付属金物一式	引手、下車、クレセント、アルミ二重水切 付属金物一式	引手、下車、クレセント、アルミ二重水切 付属金物一式
使用場所		第5-8実験室	第1-9実験室、第1-2共有実験室	第1実験室(南側)、第5-6-10実験室	第1-10実験室、第1-2共有実験室	第1-11教員室、事務室、セミナー、クラスルーム、製図室	製図室	第11実験室
改修内容		ガラス、アタッチメント、可動ステンレス製網戸取替	ガラス、アルミパネル、アタッチメント、可動ステンレス製網戸取替 無目付けアルミブラインドボックス	ガラス、アルミパネル、アタッチメント、可動ステンレス製網戸取替 無目付けアルミブラインドボックス	ガラス、アルミパネル、アタッチメント、可動ステンレス製網戸取替 無目付けアルミブラインドボックス	ガラス、アルミパネル、アタッチメント、可動ステンレス製網戸取替 無目付けアルミブラインドボックス	ガラス、アルミパネル、アタッチメント、可動ステンレス製網戸取替 無目付けアルミブラインドボックス	ガラス、アルミパネル、アタッチメント、可動ステンレス製網戸取替 無目付けアルミブラインドボックス
記号	数量	1	1	1				
図面	寸法							
材質	形状	アルミ 2段2連引違い窓	アルミ 2段引違い窓	アルミ 2段引違い窓				
仕上	見込	70	70	70				
ガラス種類	厚	複層ガラス (FL73+空気層76+FL73)	複層ガラス (FL73+空気層76+FL73)	複層ガラス (FL73+空気層76+FL73)				
建具金物		引手、下車、クレセント、アルミ二重水切 付属金物一式	引手、下車、クレセント、アルミ二重水切 付属金物一式	引手、下車、クレセント、アルミ二重水切 付属金物一式				
使用場所		モノ創り工房	第11実験室	第10実験室				
改修内容		ガラス、アルミパネル、アタッチメント、可動ステンレス製網戸取替 無目付けアルミブラインドボックス	ガラス、アタッチメント、可動ステンレス製網戸取替 無目付けアルミブラインドボックス	ガラス、アタッチメント、可動ステンレス製網戸取替				
記号	数量	1		1	1	1	1	3
図面	寸法							
材質	形状	アルミ ランマFIX片引違い 親子開きフラッシュ戸	アルミ 引違い窓	アルミ 2段2連引違い窓	アルミ 2段2連引違い窓	アルミ 2段2連引違い窓	アルミ ランマFIX 親子開きフラッシュ戸	アルミ ランマFIX 片開きフラッシュ戸
仕上	見込	70	70	70	70	70	70	70
ガラス種類	厚	F74	F74	複層ガラス (FL73+空気層76+FL73)	複層ガラス (FL73+空気層76+FL73)	複層ガラス (FL73+空気層76+FL73)	F74	F74
建具金物		レバーハンドル、丁番、ドアチェック(ストッパー付)、戸当り シリンダー錠、フランス落し、アルミ二重水切 SUS製留り、付属金物一式	引手、下車、クレセント、アルミ二重水切 付属金物一式	引手、下車、クレセント、アルミ二重水切 付属金物一式	引手、下車、クレセント、アルミ二重水切 付属金物一式	引手、下車、クレセント、アルミ二重水切 付属金物一式	レバーハンドル、丁番、ドアチェック(ストッパー付)、戸当り シリンダー錠、フランス落し、SUS製留り、ガラリ 付属金物一式	レバーハンドル、丁番、ドアチェック(ストッパー付)、戸当り シリンダー錠、SUS製留り、ガラリ、付属金物一式
使用場所		1階 階段室	1階 階段室	1階 男子便所	2階 階段室	2階 男子便所	1階 男子便所	1-2階 女子便所、2階 男子便所
改修内容		クリーニング、シリンダー錠取替	クリーニング	クリーニング	クリーニング	クリーニング	クリーニング	クリーニング

- 【建具改修内容凡例】**
- : 新設建具符号を示す
 - : ガラス及びアルミパネル取替建具符号を示す
 - : 既設クリーニング建具符号を示す
 - : 既設クリーニング及び錠取替建具符号を示す
- 【建具符号】** **【ガラス符号】**
- A D : アルミ製戸 F L : フロート板ガラス
A W : アルミ製窓 F : 型板ガラス
A G : アルミガラリ P W : 網入り腐き板ガラス
S D : スチール製戸 F W : 網入り型板ガラス
L S D : スチール製網戸 T L : 強化ガラス
- 【一般事項】**
1. 建具寸法は、現場にて再調整の上、決定とする
 2. 特記なき限り、建具金物はSUS製とする
 3. 既設クリーニング建具は全て、開閉調整・シーリング打替えを行うこと(AD-2-3は除く)
 4. 両開き・親子開き建具は特記なき限り、フランス落し・階位調整器付とする
 5. 既設改修建具の錠は全て取替とする(マスターキー対応)
 6. アルミ製建具の仕上は特記なき限り、陽極酸化塗装複合皮膜とする
 7. アルミパネル仕様はアルミ樹脂複合板(発泡スチロールサンドイッチ)t=18とする
 8. アルミパネル穴加工は設備工事とする
 9. 木製網縁米柵t=25 SOPとする
 10. ブラインドボックスはMDF t=25 SOPとする

記	業務名	鈴鹿工業高専機械工学科棟改修設計等業務				鈴鹿工業高等専門学校			工事名称	鈴鹿工業高専機械工学科棟改修その他工事	日付	平成25年7月	総数	50 / 77
	株式会社 総企画設計	管理建築士 一級建築士(大) 第270315号 犬飼 和行	検図	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	図面名称	新設・改修建具表(2)	縮尺	1/100	番号



記事	

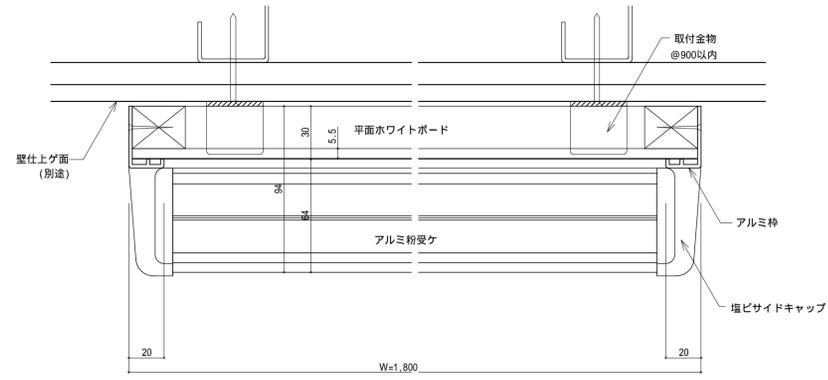
業務名	鈴鹿工業高専機械工学科棟改修設計等業務			
	株式会社 総企画設計	管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行	検図	担当

鈴鹿工業高等専門学校				
事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当

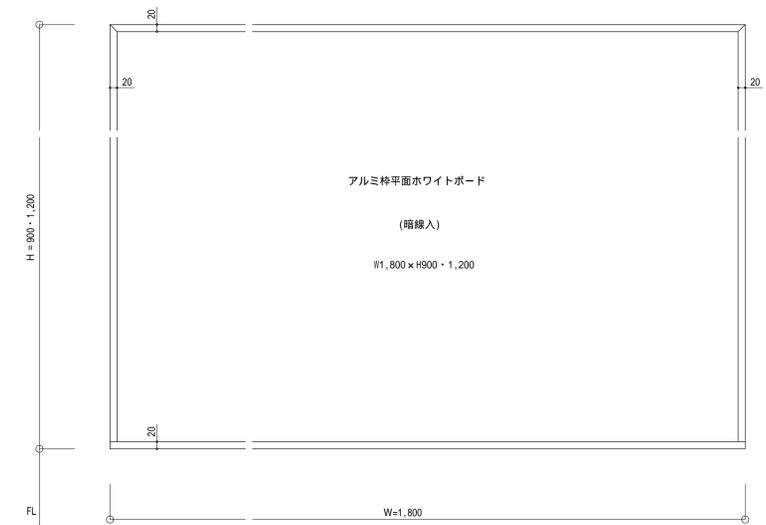
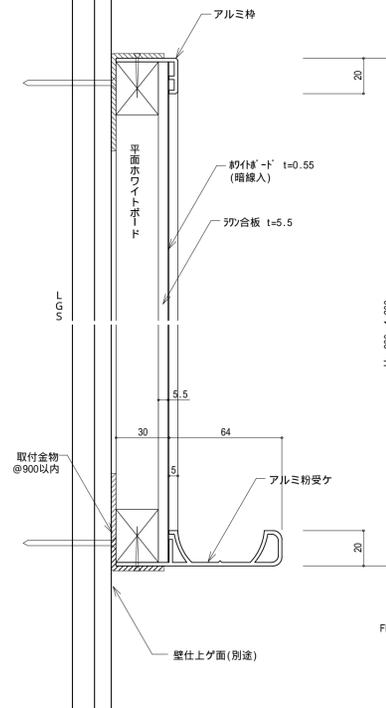
工事名称	鈴鹿工業高専機械工学科棟改修その他工事
図面名称	アルミ建具詳細図

日付	平成25年7月	総数	51/77
縮尺	1/5	番号	A-45

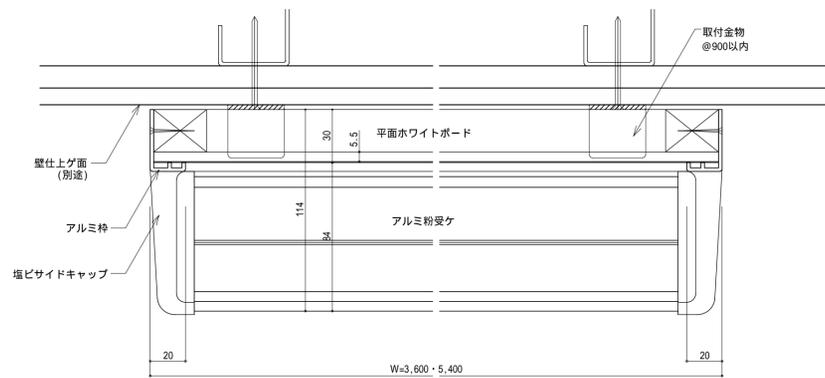
A3版の場合は50%縮尺とする



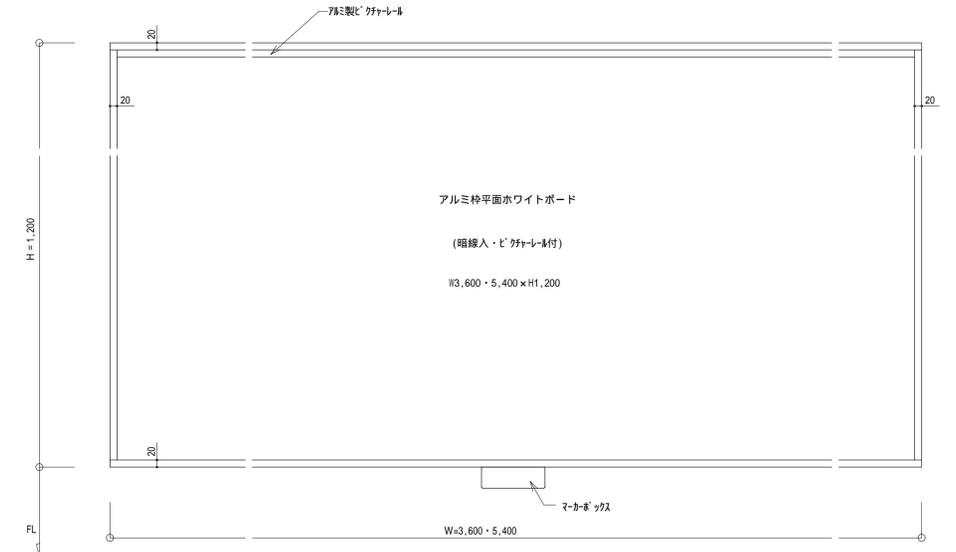
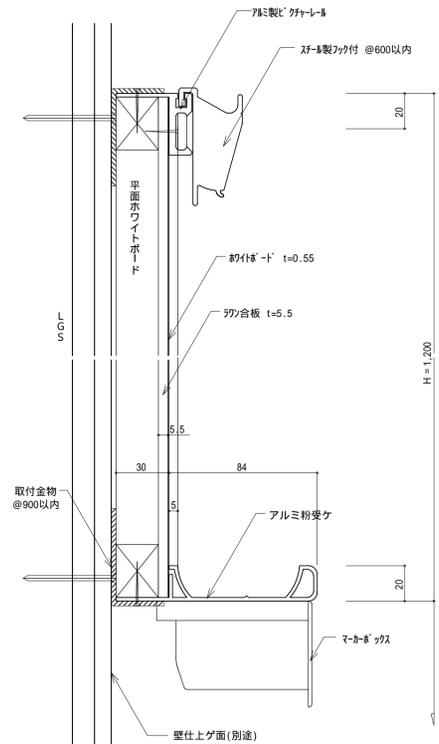
平面詳細図 S:1/2



正面図 S:1/10



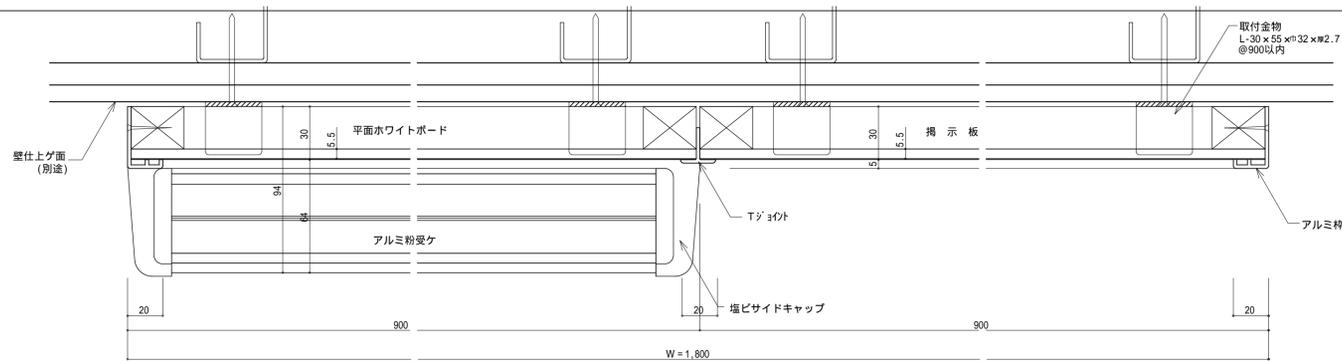
平面詳細図 S:1/2



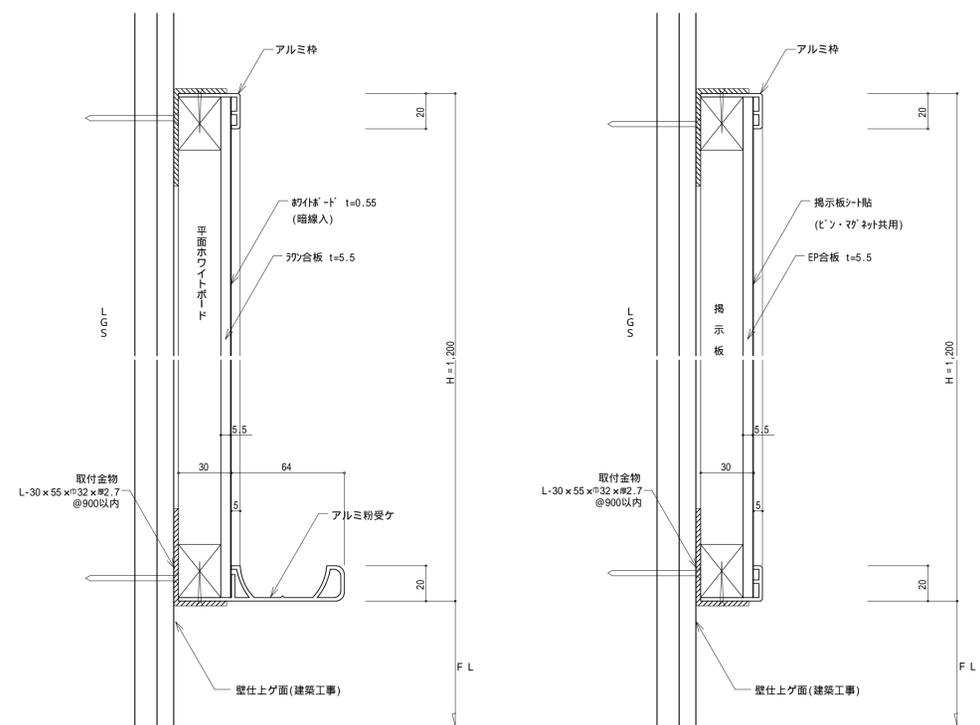
正面図 S:1/10

記 事	業務名	鈴鹿工業高専機械工学科棟改修設計等業務				鈴鹿工業高等専門学校				工事名称	鈴鹿工業高専機械工学科棟改修その他工事	日付	平成25年7月	総数	52 / 77
	株式会社 総企画設計	管理建築士 一級建築士 (大臣) 第270315号 犬飼 和行	検図	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	図面名称	平面ホワイトボード 詳細図	縮尺	1/2・10	番号	A-46

平面ホワイトボード+ 掲示板W1,800×H1,200 詳細図 1/2・10 (参考図)

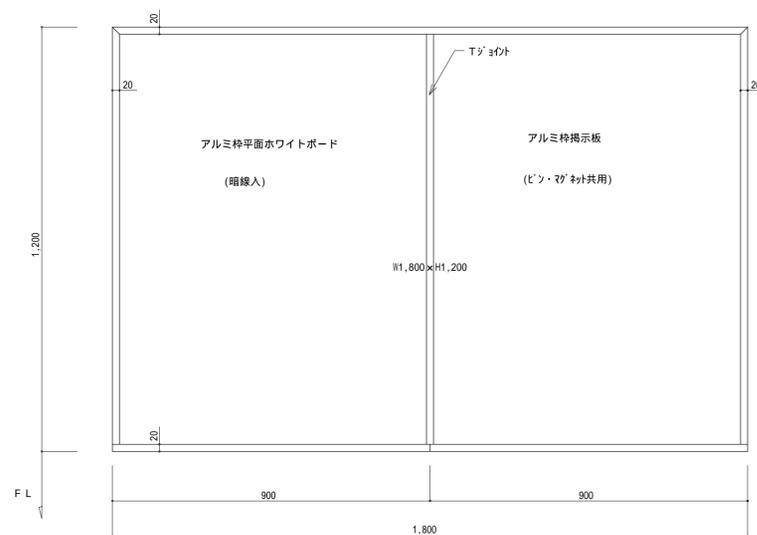


平面詳細図 S:1/2



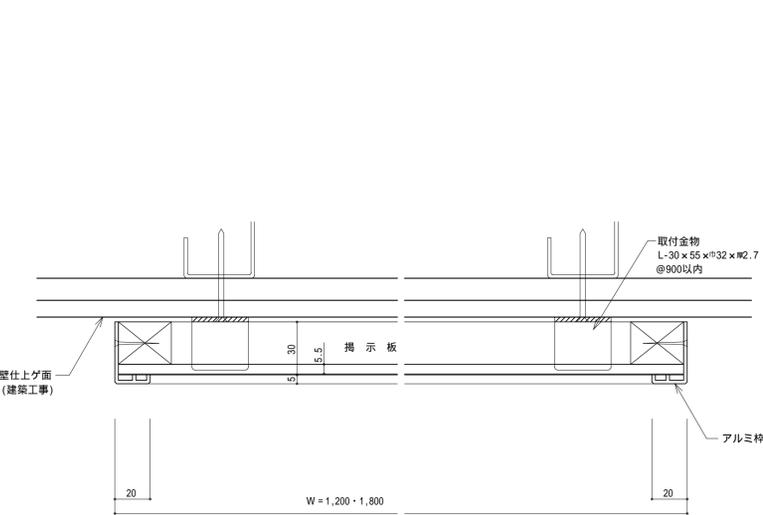
断面詳細図 S:1/2

断面詳細図 S:1/2

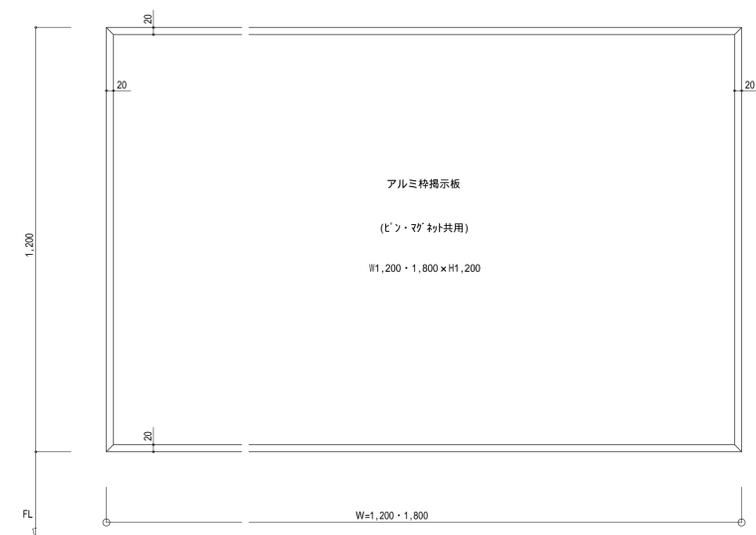
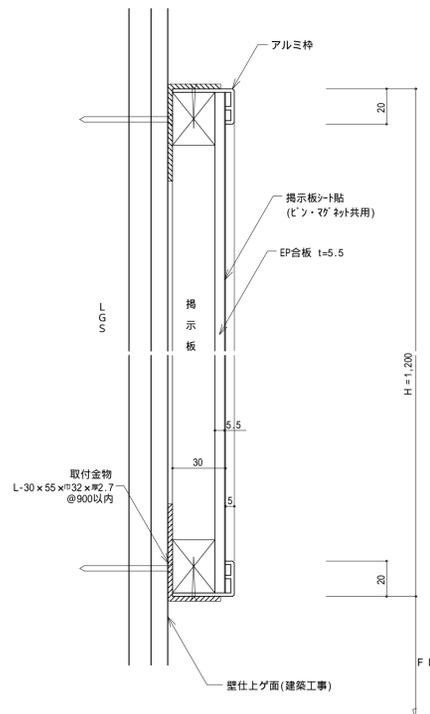


正面図 S:1/10

掲示板W1,200×1,800×H1,200 詳細図 1/2・10 (参考図)



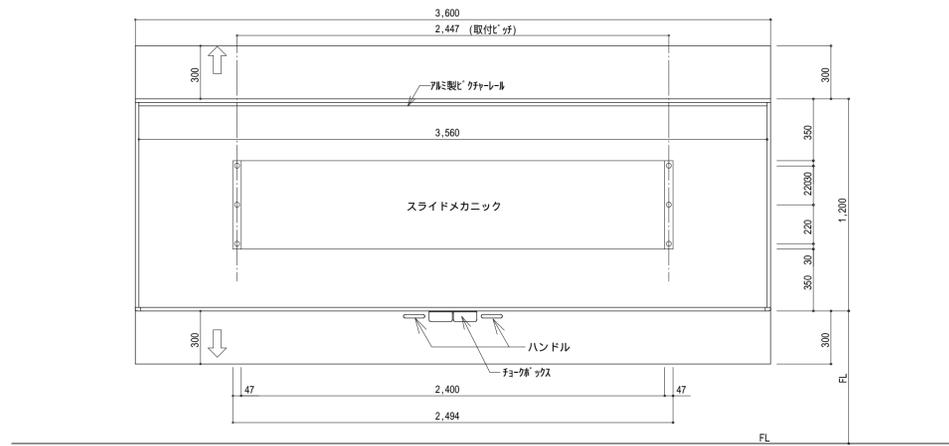
平面詳細図 S:1/2



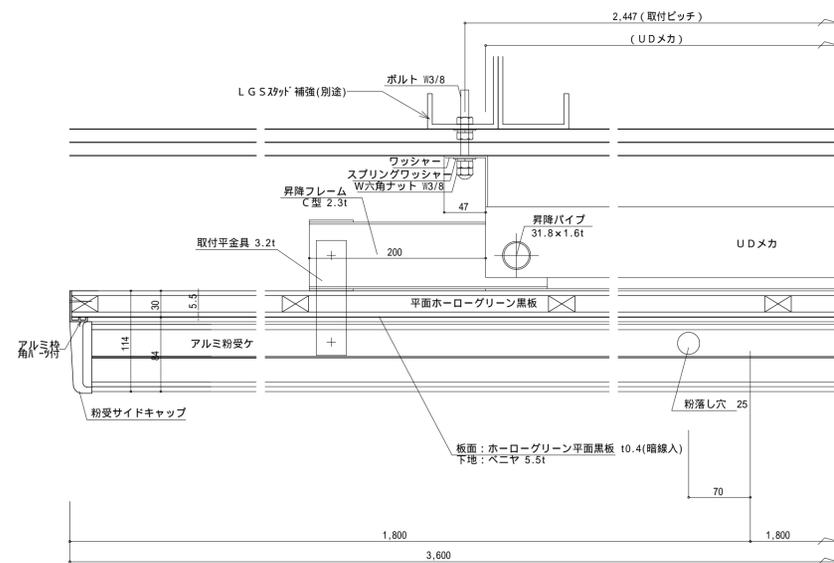
正面図 S:1/10

記 事	業務名		鈴鹿工業高等専門学校				工事名称	鈴鹿工業高等専門学校	日付	平成25年7月	総数	53/77
	鈴鹿工業高等専門学校		事務部長				総務課長	課長補佐	施設係長	担当	図面名称	平面ホワイトボード+ 掲示板, 掲示板 詳細図
		株式会社 総企画設計		管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行		校図		担当		縮尺		1/2・10
										番号		A-47

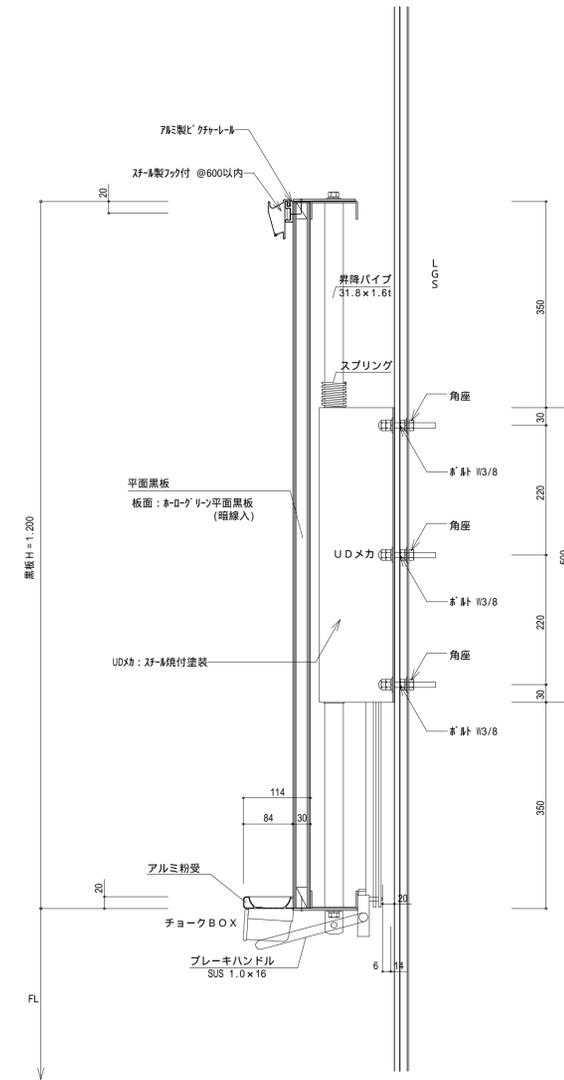
A3版の場合は50%縮尺とする



全体図 S=1/20

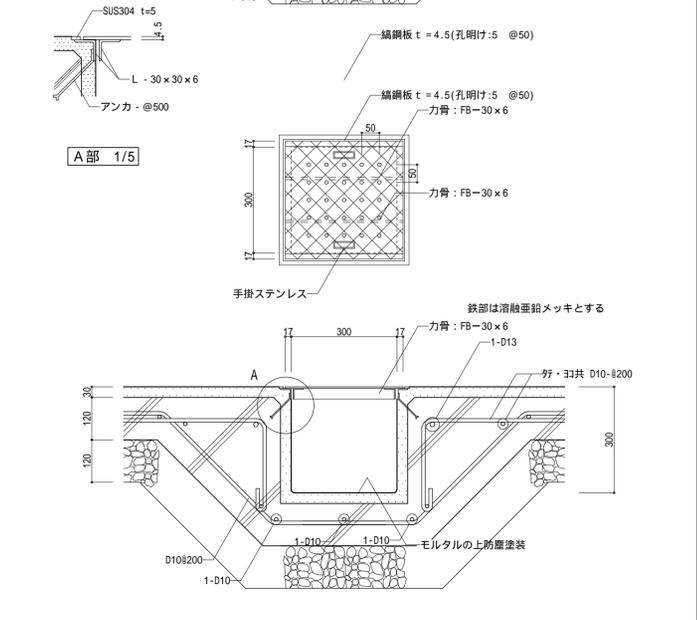
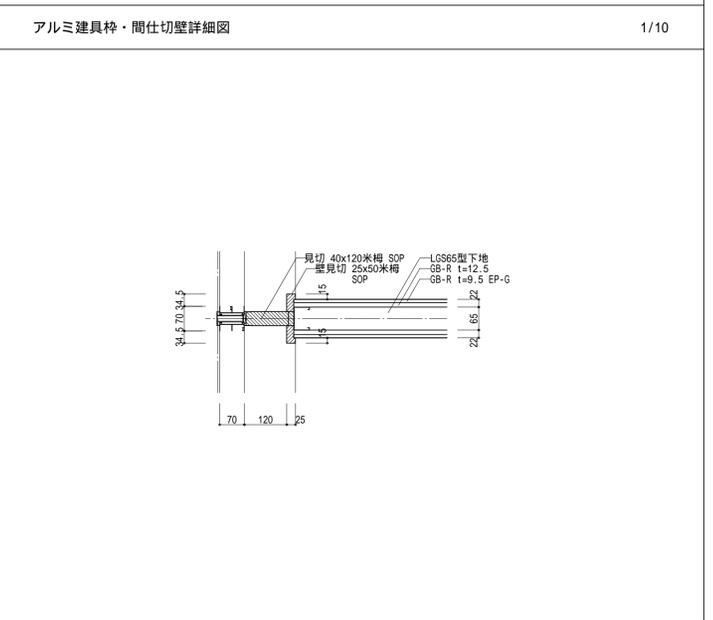
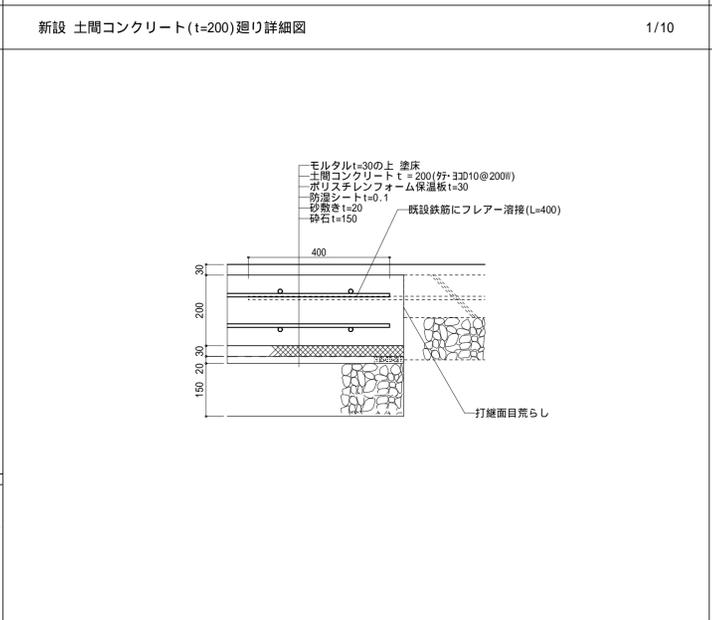
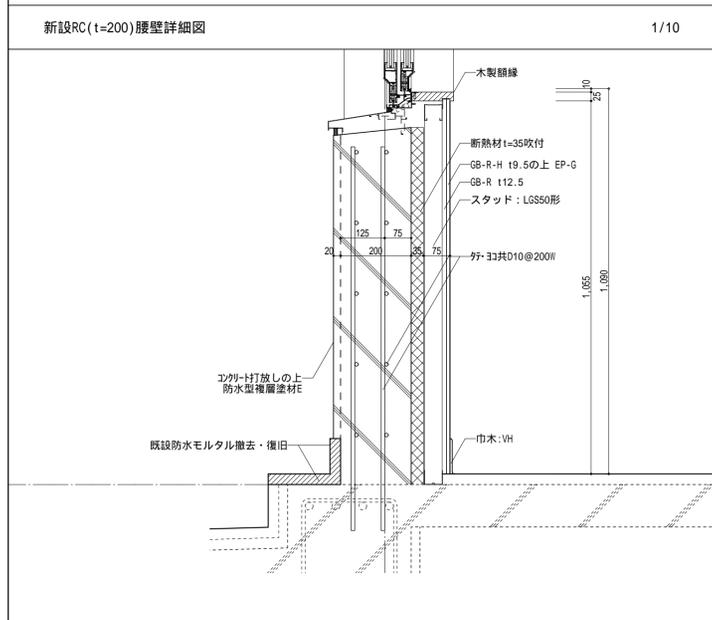
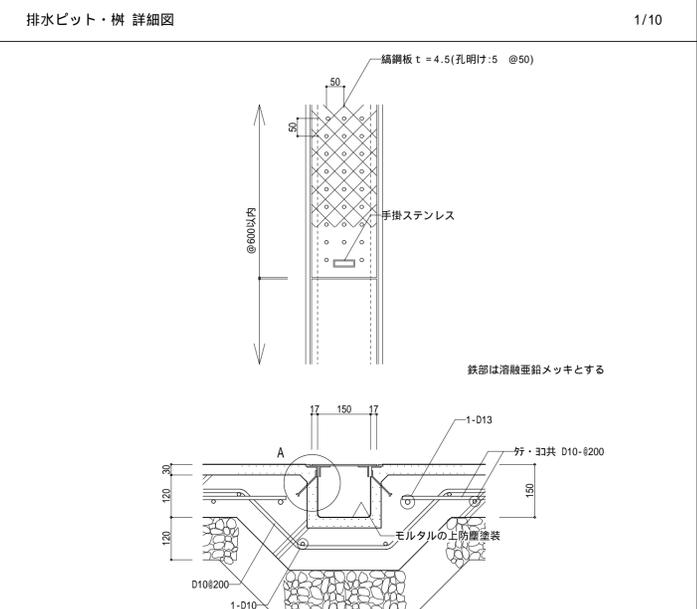
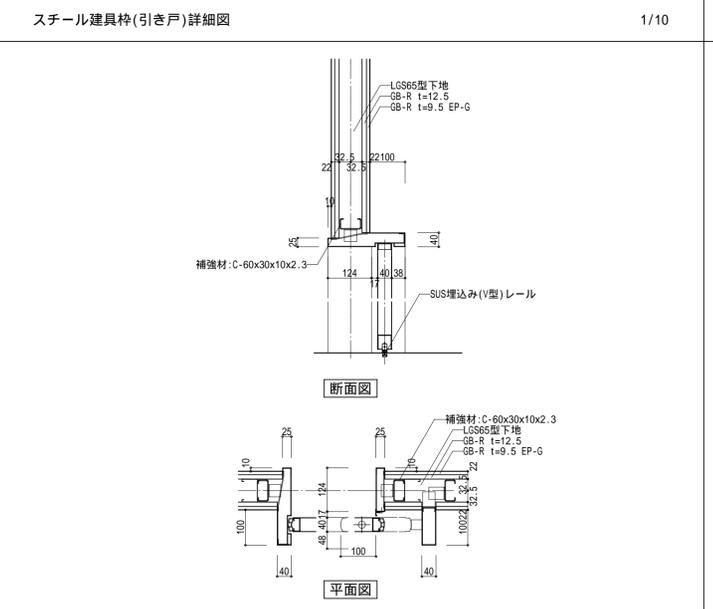
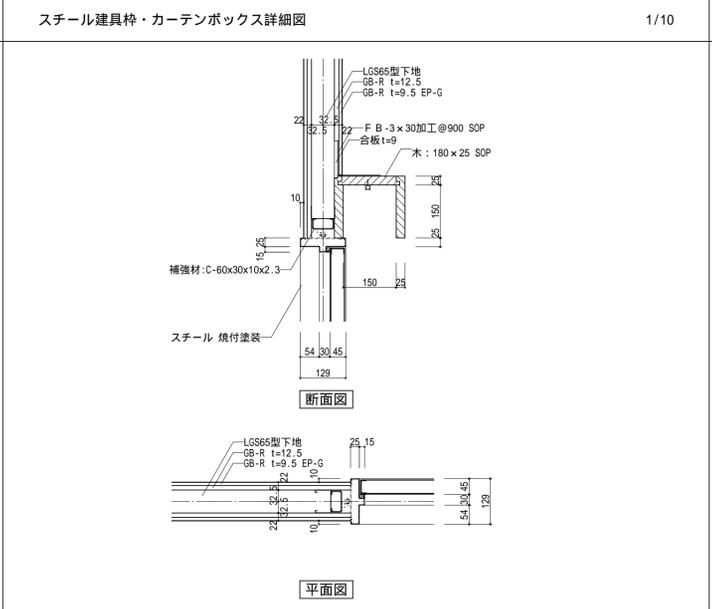
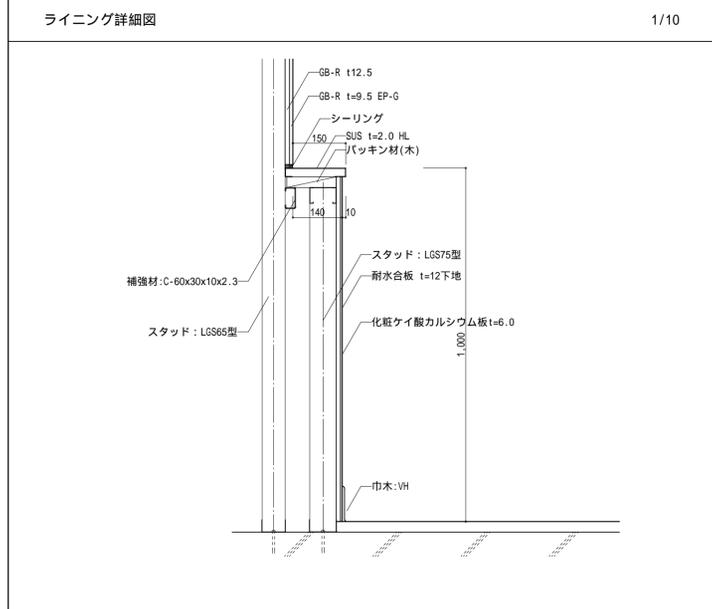
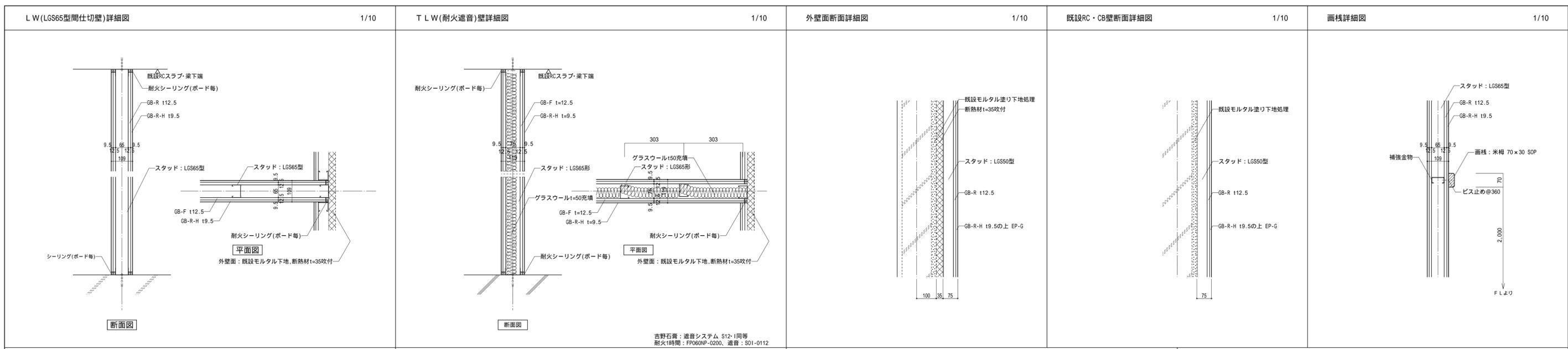


平面詳細図 S=1/4



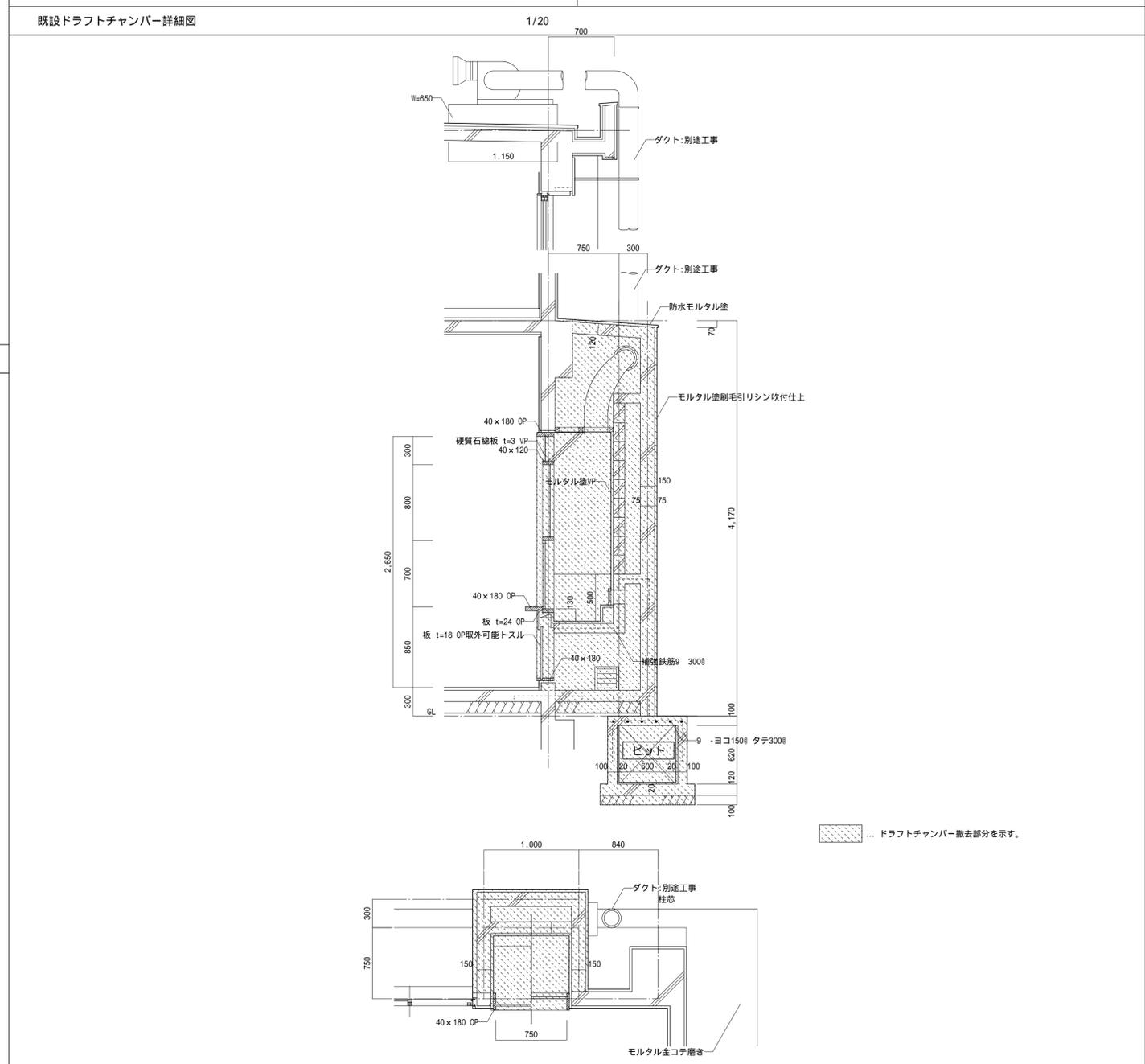
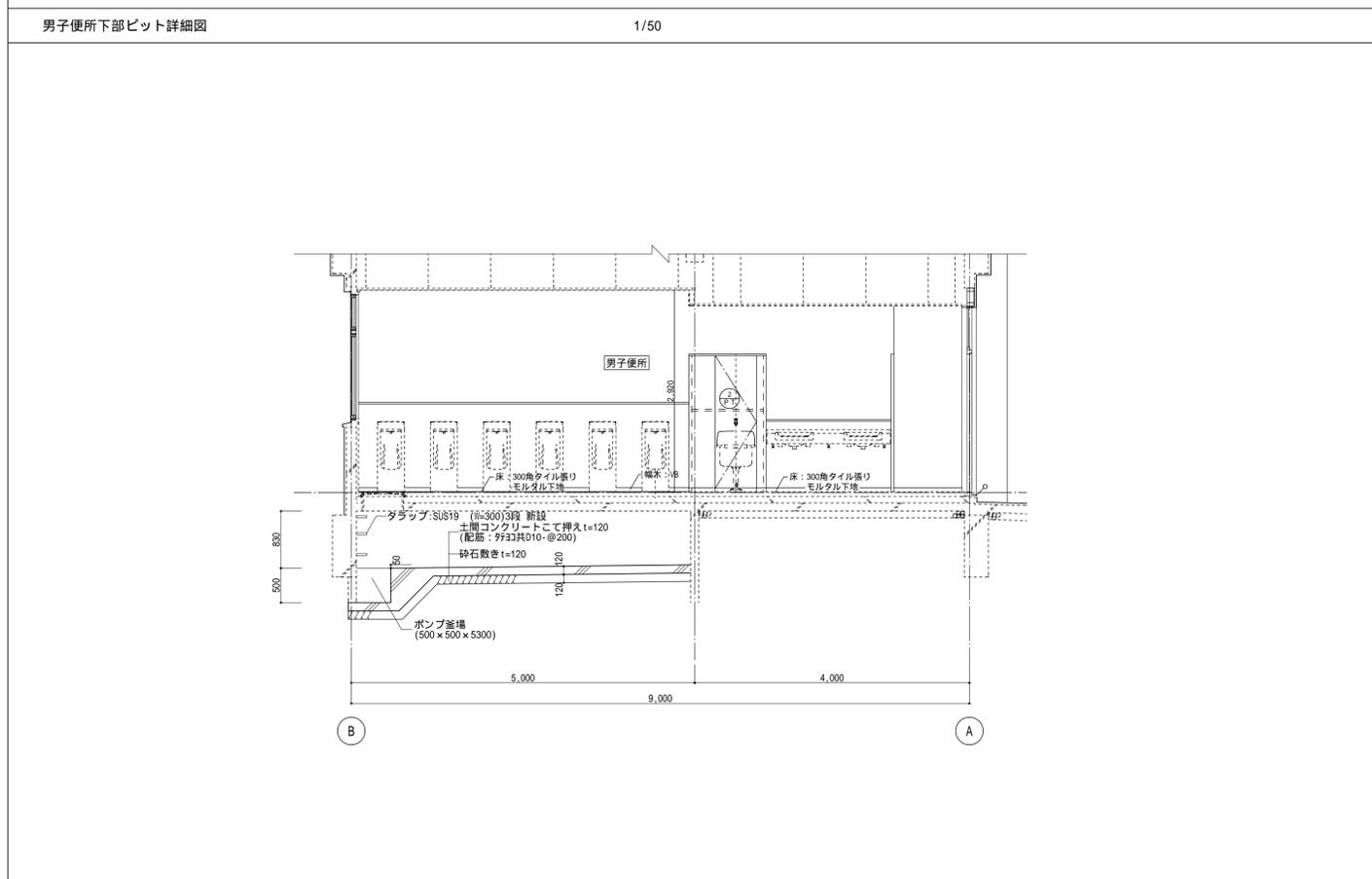
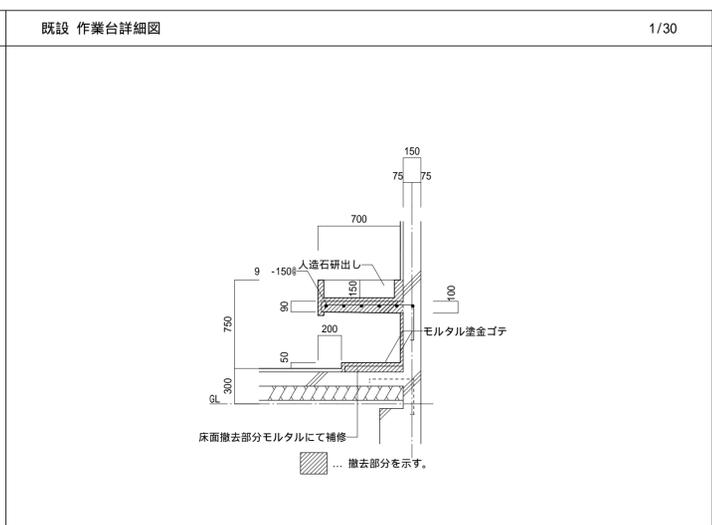
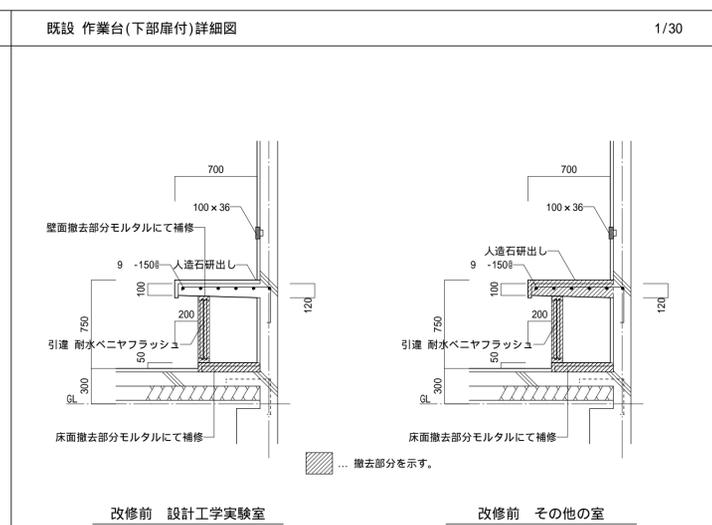
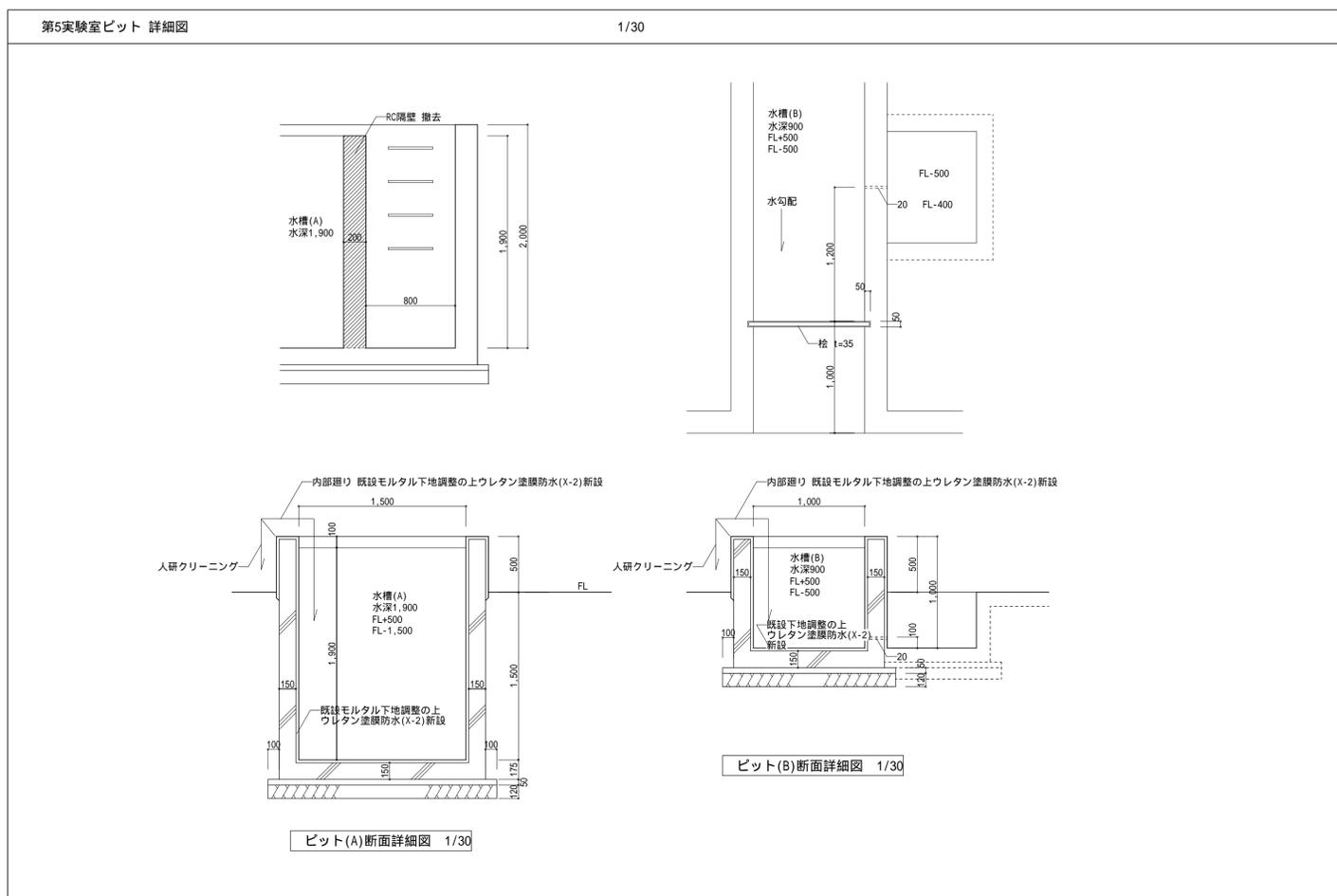
UDスライド平面黒板 断面図 S=1/6

記事	業務名		鈴鹿工業高等専門学校					工事名称	日付	総数
	鈴鹿工業高等専門学校改修設計等業務		事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	鈴鹿工業高等専門学校改修その他工事	平成25年7月	54/77
	株式会社 総企画設計		棟図	担当			図面名称	縮尺	番号	
	管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行						スライド黒板 詳細図	1/4・6・20	A-48	



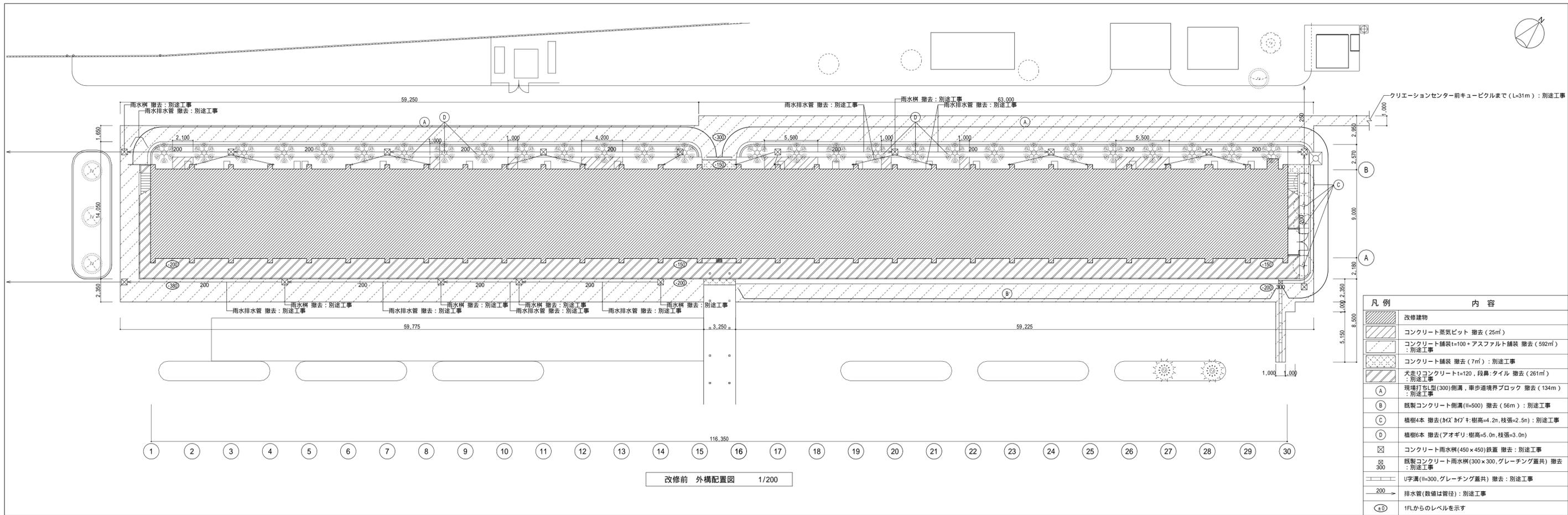
記事	業務名	鈴鹿工業高専機械工学科棟改修設計等業務				鈴鹿工業高等専門学校				工事名称	鈴鹿工業高専機械工学科棟改修その他工事	日付	平成25年7月	総数	55 / 77
	図面名称	株式会社 総企画設計 管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行				検図	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	縮尺	1/10	番号

A3版の場合は50%縮尺とする



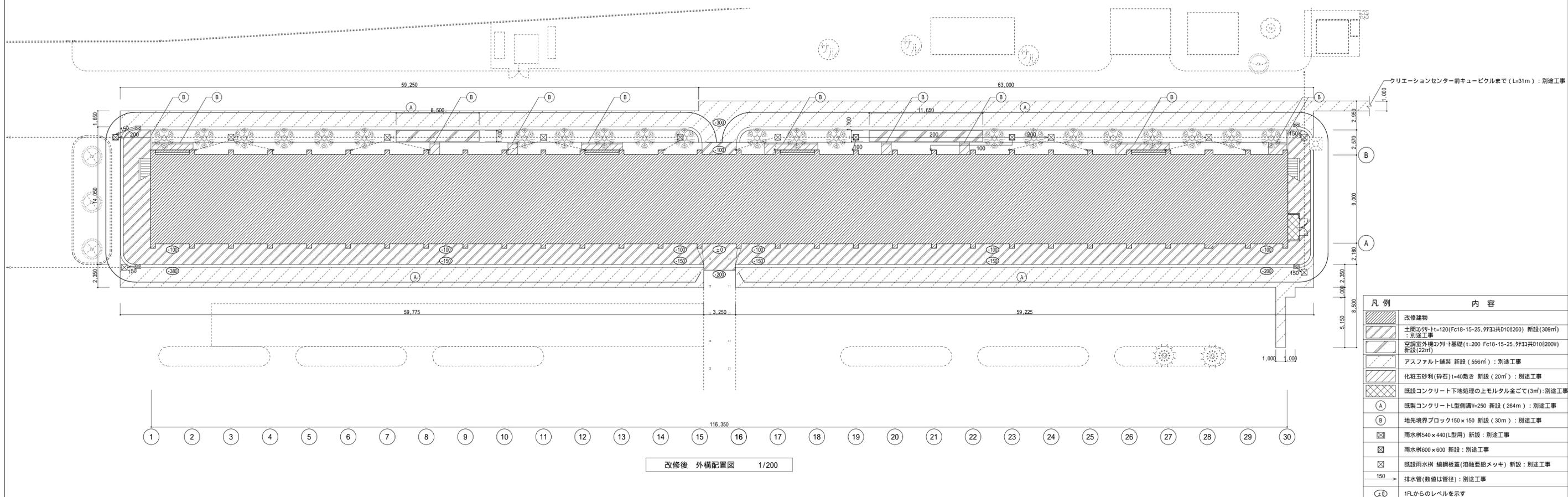
記事	業務名	鈴鹿工業高専機械工学科棟改修設計等業務				鈴鹿工業高等専門学校			工事名称	鈴鹿工業高専機械工学科棟改修その他工事	日付	平成25年7月	総数	57/77
	株式会社 総企画設計	管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行	検図	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	鈴鹿工業高専機械工学科棟改修その他工事	縮尺	1/20-30-50	番号	A-51

A3版の場合は50%縮尺とする



改修前 外構配置図 1/200

凡例	内容
	改修建物
	コンクリート蒸気ビット 撤去 (25㎡)
	コンクリート舗装t=100+アスファルト舗装 撤去 (592㎡) : 別途工事
	コンクリート舗装 撤去 (7㎡) : 別途工事
	犬走りコンクリートt=120, 段鼻:タイル 撤去 (261㎡) : 別途工事
(A)	現場打ちL型(300)側溝, 車歩道境界ブロック 撤去 (134㎡) : 別途工事
(B)	既製コンクリート側溝(W=500) 撤去 (56㎡) : 別途工事
(C)	植樹4本 撤去(オリーブ:樹高=4.2m, 枝張=2.5m) : 別途工事
(D)	植樹6本 撤去(アオギリ:樹高=5.0m, 枝張=3.0m)
	コンクリート雨水枘(450×450) 鉄蓋 撤去 : 別途工事
	既製コンクリート雨水枘(300×300, グレーチング蓋共) 撤去 : 別途工事
	U字溝(W=300, グレーチング蓋共) 撤去 : 別途工事
	排水管(数値は管径) : 別途工事
⊕D	1FLからのレベルを示す

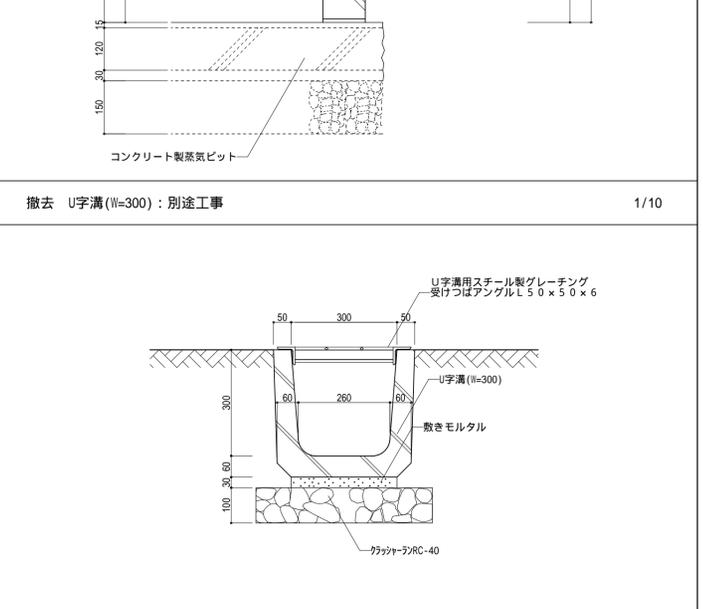
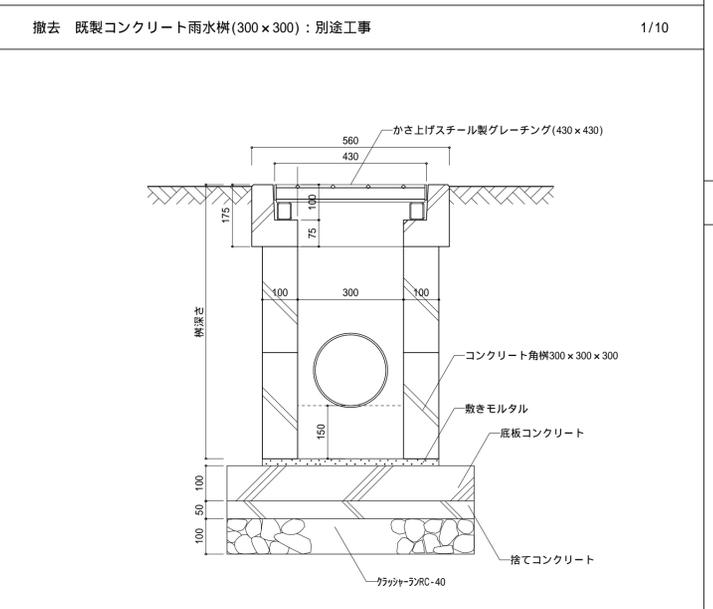
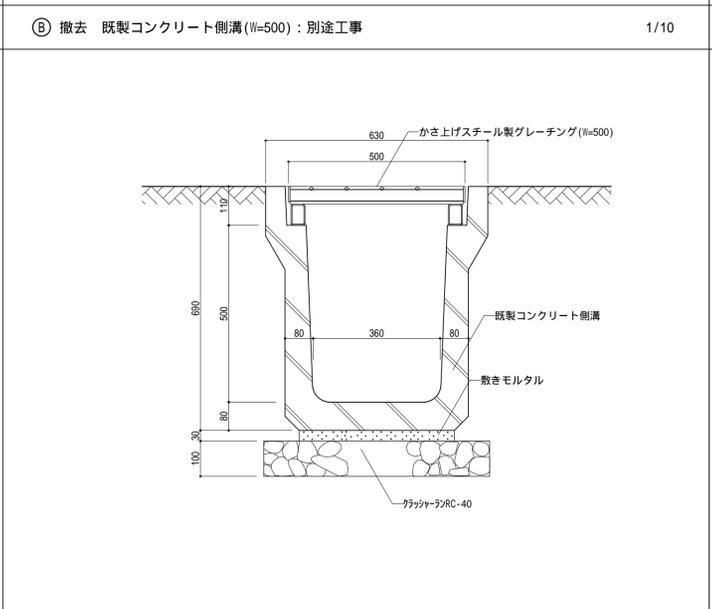
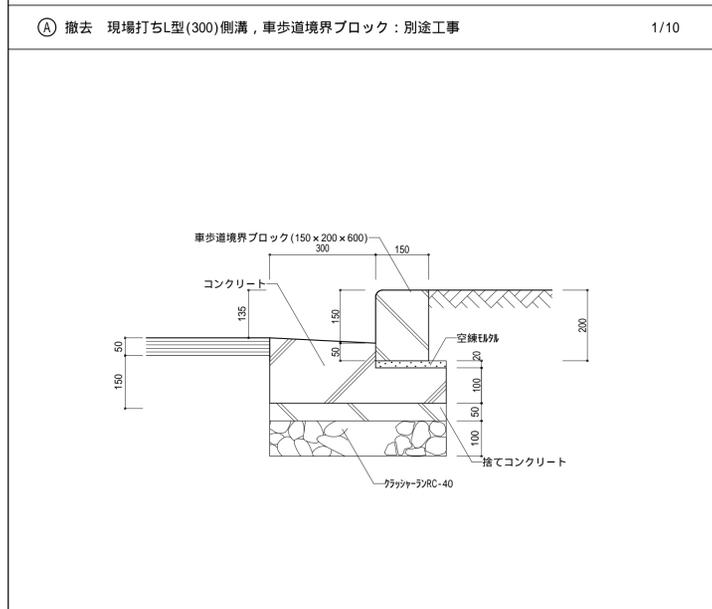
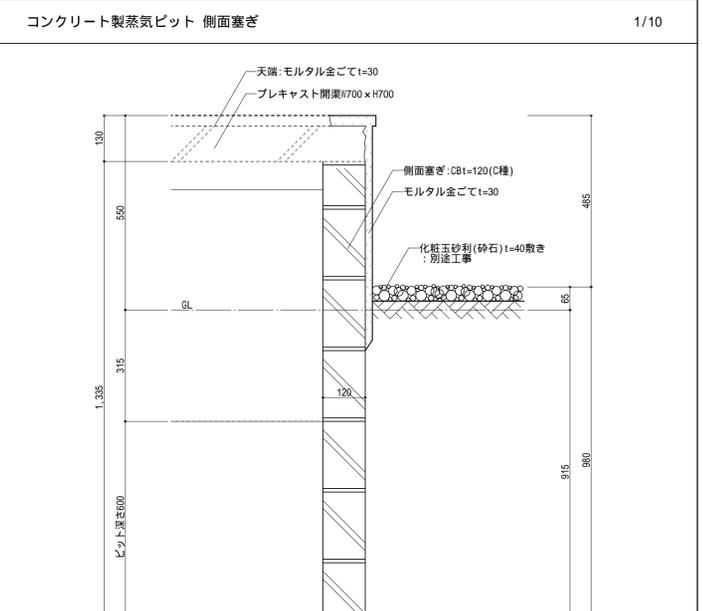
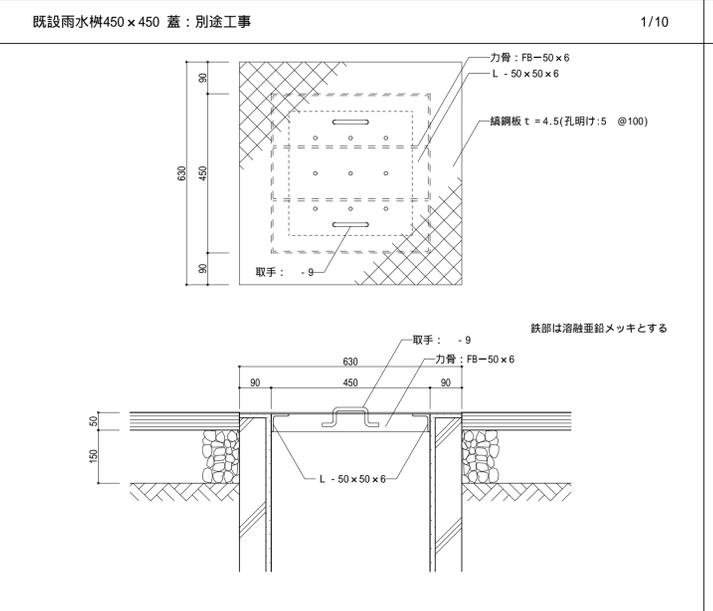
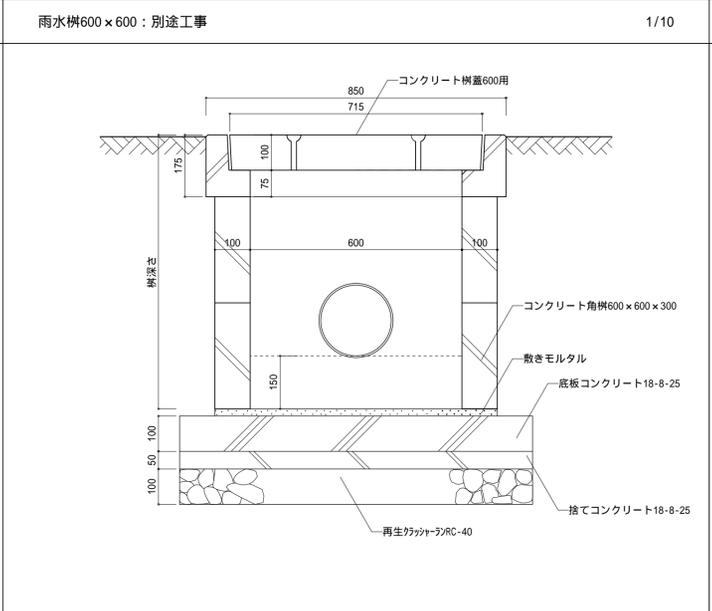
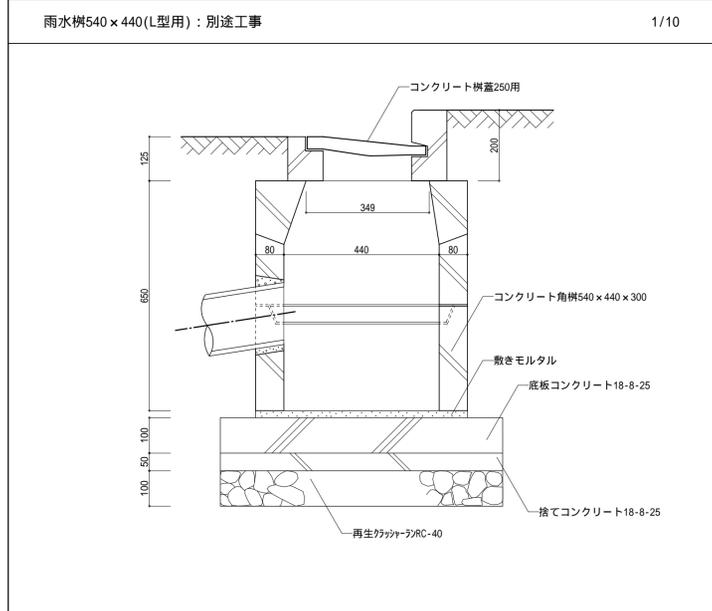
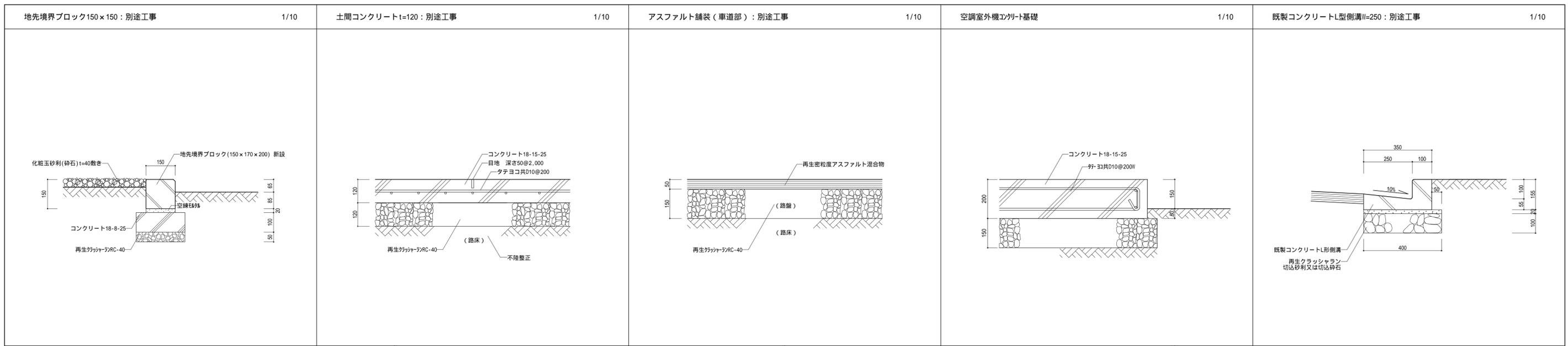


改修後 外構配置図 1/200

凡例	内容
	改修建物
	土間コンクリートt=120(Fc18-15-25, 打設共D108200) 新設(309㎡) : 別途工事
	空調室外機コンクリート基礎(t=200 Fc18-15-25, 打設共D108200) 新設(22㎡)
	アスファルト舗装 新設 (556㎡) : 別途工事
	化粧玉砂利(砕石)t=40敷き 新設 (20㎡) : 別途工事
	既製コンクリート下地処理の上モルタル金ごて (3㎡) : 別途工事
(A)	既製コンクリートL型側溝W=250 新設 (264㎡) : 別途工事
(B)	地先境界ブロック150×150 新設 (30㎡) : 別途工事
	雨水枘540×440(L型用) 新設 : 別途工事
	雨水枘600×600 新設 : 別途工事
	既設雨水枘 錆鋼板蓋(溶融亜鉛メッキ) 新設 : 別途工事
	排水管(数値は管径) : 別途工事
⊕D	1FLからのレベルを示す

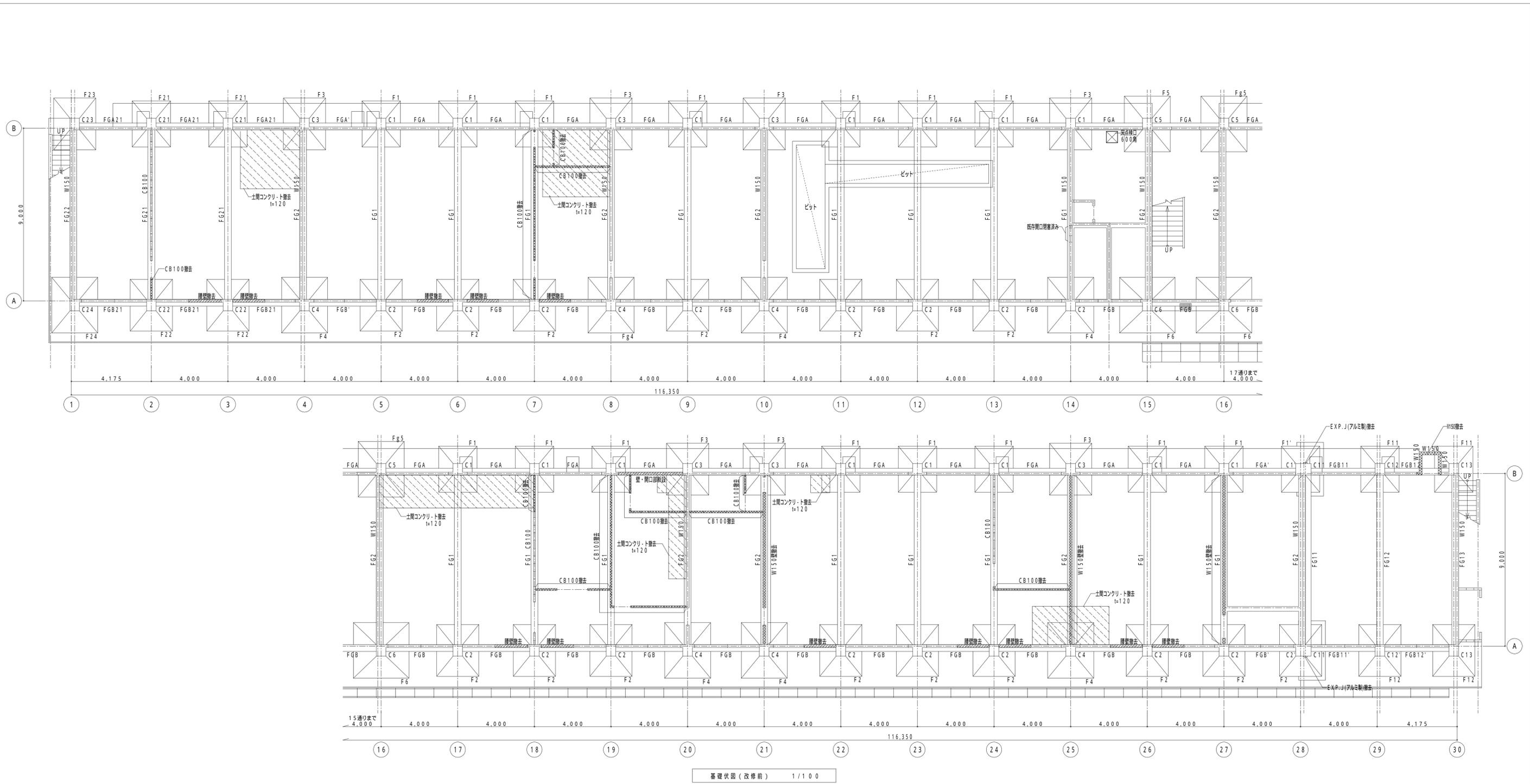
記事	業務名	鈴鹿工業高専機械工学科棟改修設計等業務				鈴鹿工業高等専門学校				工事名称	鈴鹿工業高専機械工学科棟改修その他工事	日付	平成25年7月	総数	58 / 77
	株式会社 総企画設計	管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行	校図	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	鈴鹿工業高専機械工学科棟改修その他工事	縮尺	1/200	番号	A-52	

A3版の場合は50%縮尺とする



記事	業務名		鈴鹿工業高専機械工学科棟改修設計等業務				鈴鹿工業高等専門学校				工事名称	日付	総数
	株式会社 総企画設計		管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行				事務部長 総務課長 課長補佐 施設係長 担当				鈴鹿工業高専機械工学科棟改修その他工事	平成25年7月	59/77
	図面名称		外構詳細図								縮尺	番号	
											1/10	A-53	

A3版の場合は50%縮尺とする

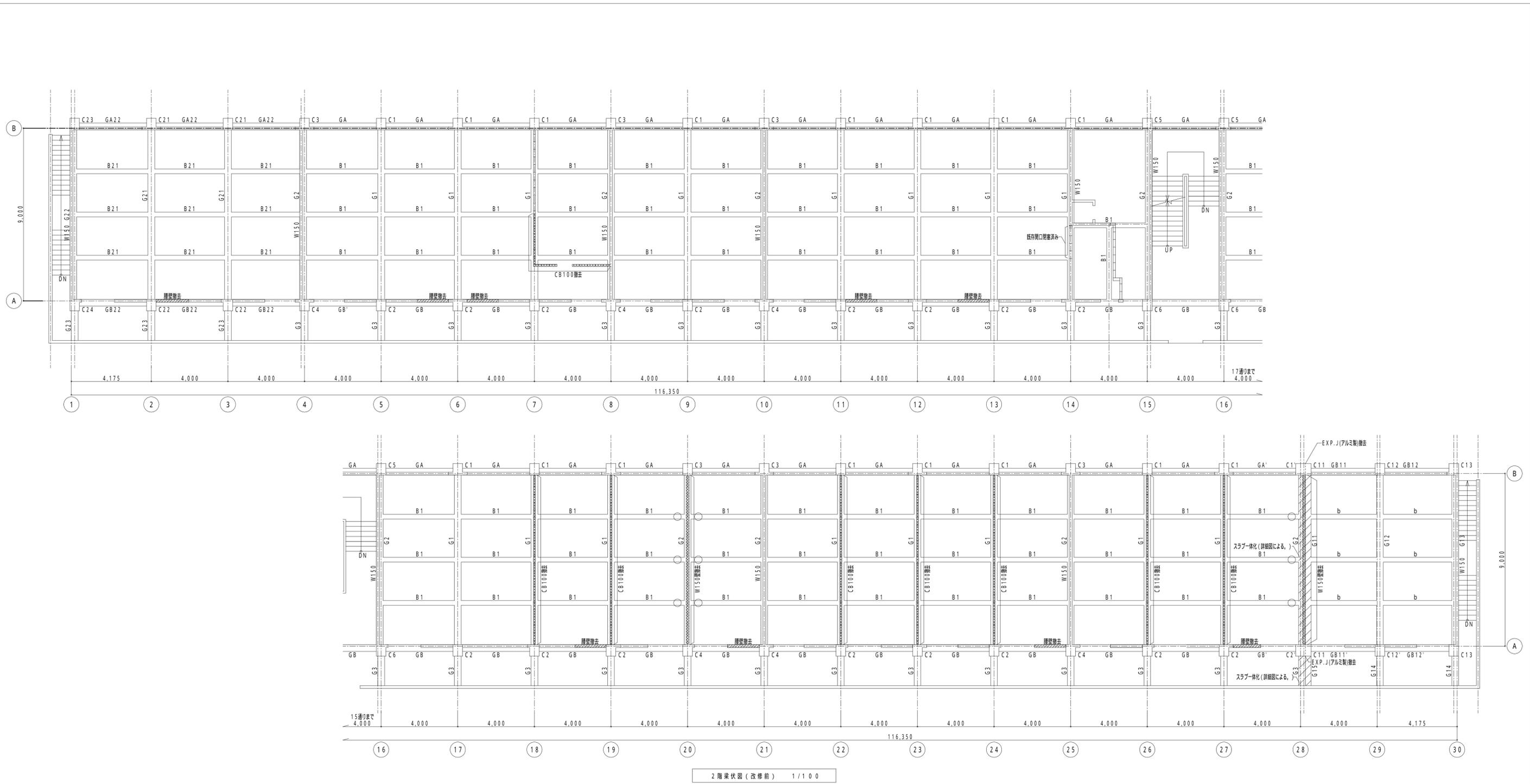


基礎伏図 (改修前) 1/100

註) 特記なき限り、下記による。
1. 壁は、W150 とする。

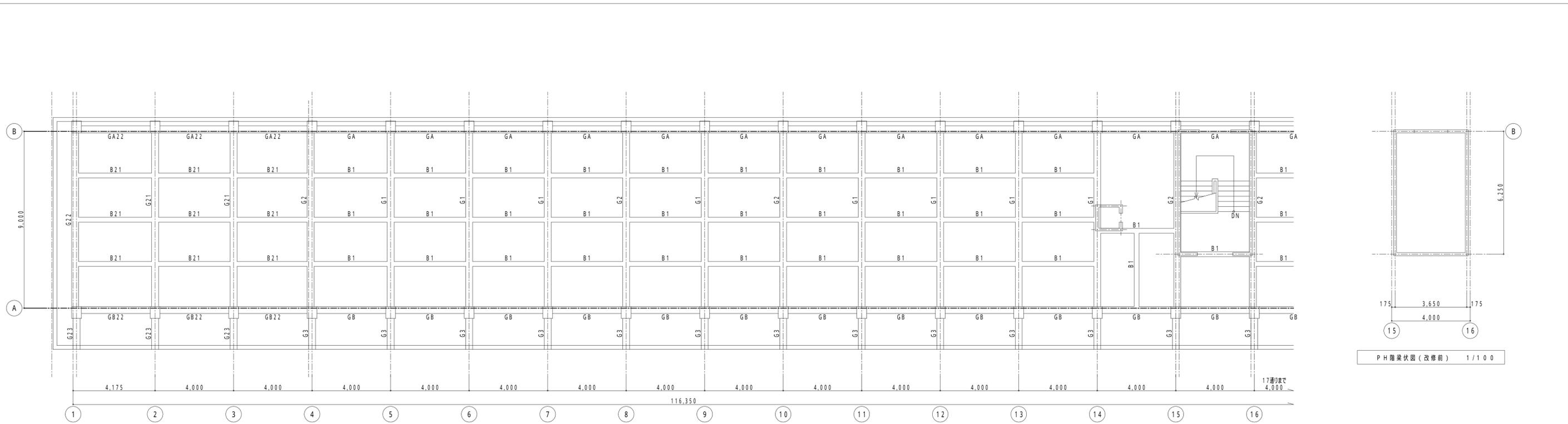
記事	業務名	鈴鹿工業高等専門学校 改修設計等業務				鈴鹿工業高等専門学校			工事名称	鈴鹿工業高等専門学校 改修その他工事	日付	平成25年7月	総数	60/77			
	縮尺	株式会社 総企画設計 管理建築士 一級建築士 (大臣) 第270315号 犬飼 和行				棟図	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	図面名称	改修前 基礎伏図	縮尺	1/100	番号

A3版の場合は50%縮尺とする

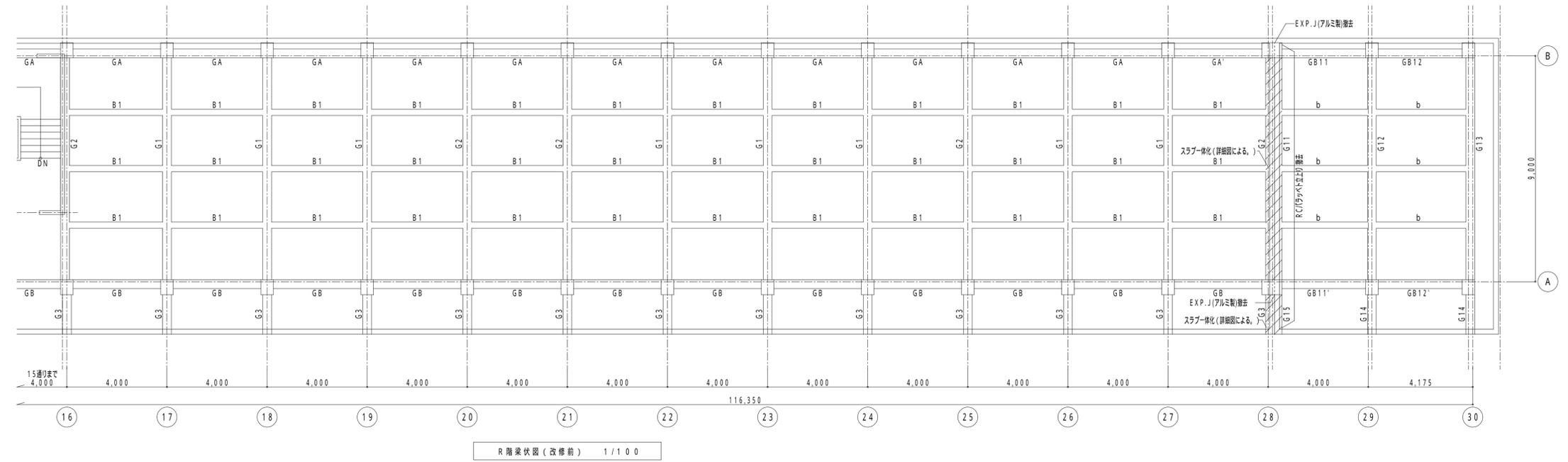


註)特記なき限り、下記による。
 1. 壁は、W150 とする。
 2. ○印は壁撤去前に支保工を設置する箇所を示す。
 支保工1本当たりの荷重は5.0kNとする。

記 事	業務名		鈴鹿工業高等専門学校					工事名称	日付	総数
	鈴鹿工業高等専門学校改修設計等業務		事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	鈴鹿工業高等専門学校改修その他工事	平成25年7月	61/77
	株式会社 緑企画設計		管理建築士 一級建築士(大臣)第270315号 犬飼 和行					図面名称	縮尺	番号
	緑企画設計		緑企画設計					改修前 2階梁伏図	1/100	S-02



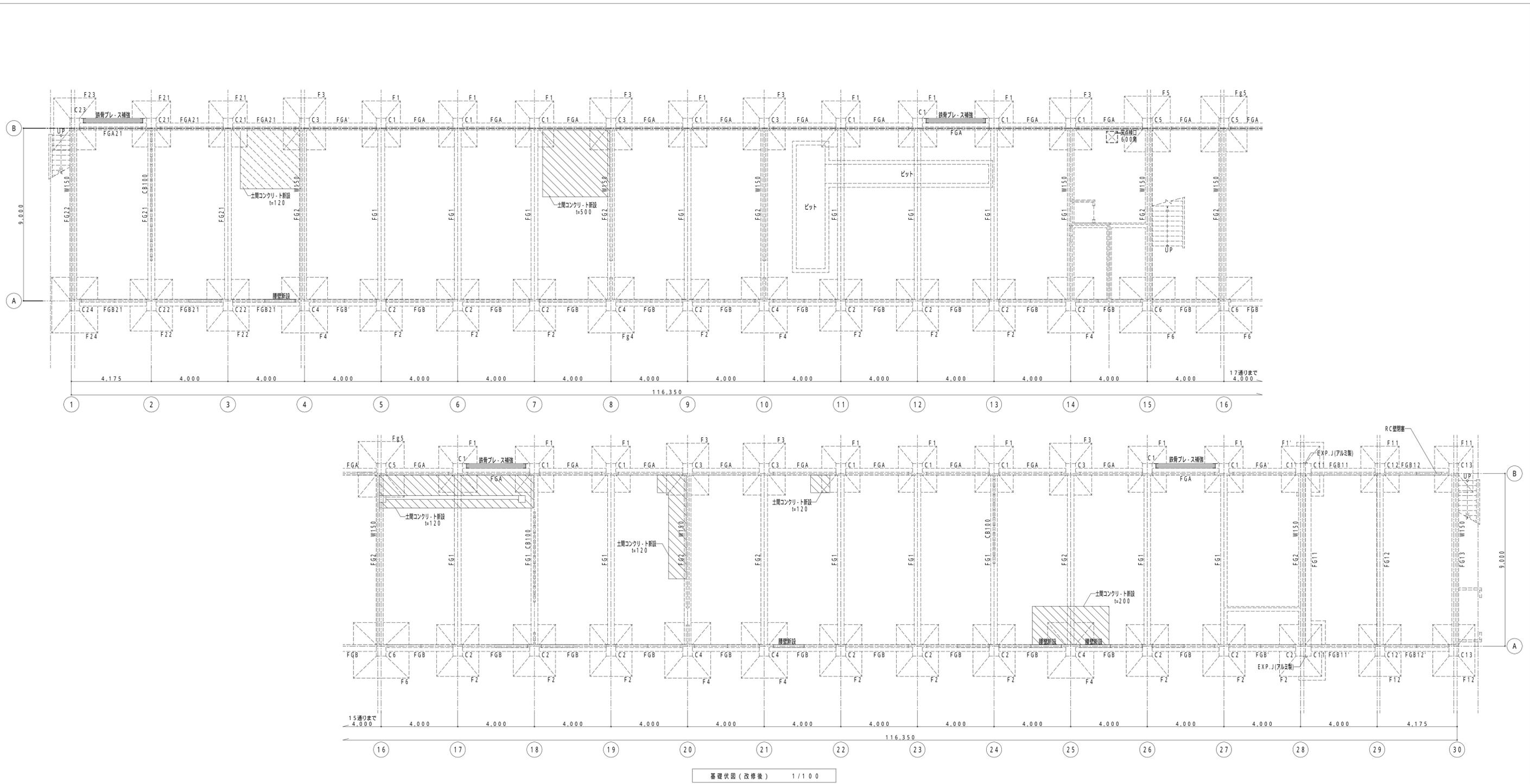
PH階梁伏図 (改修前) 1/100



R階梁伏図 (改修前) 1/100

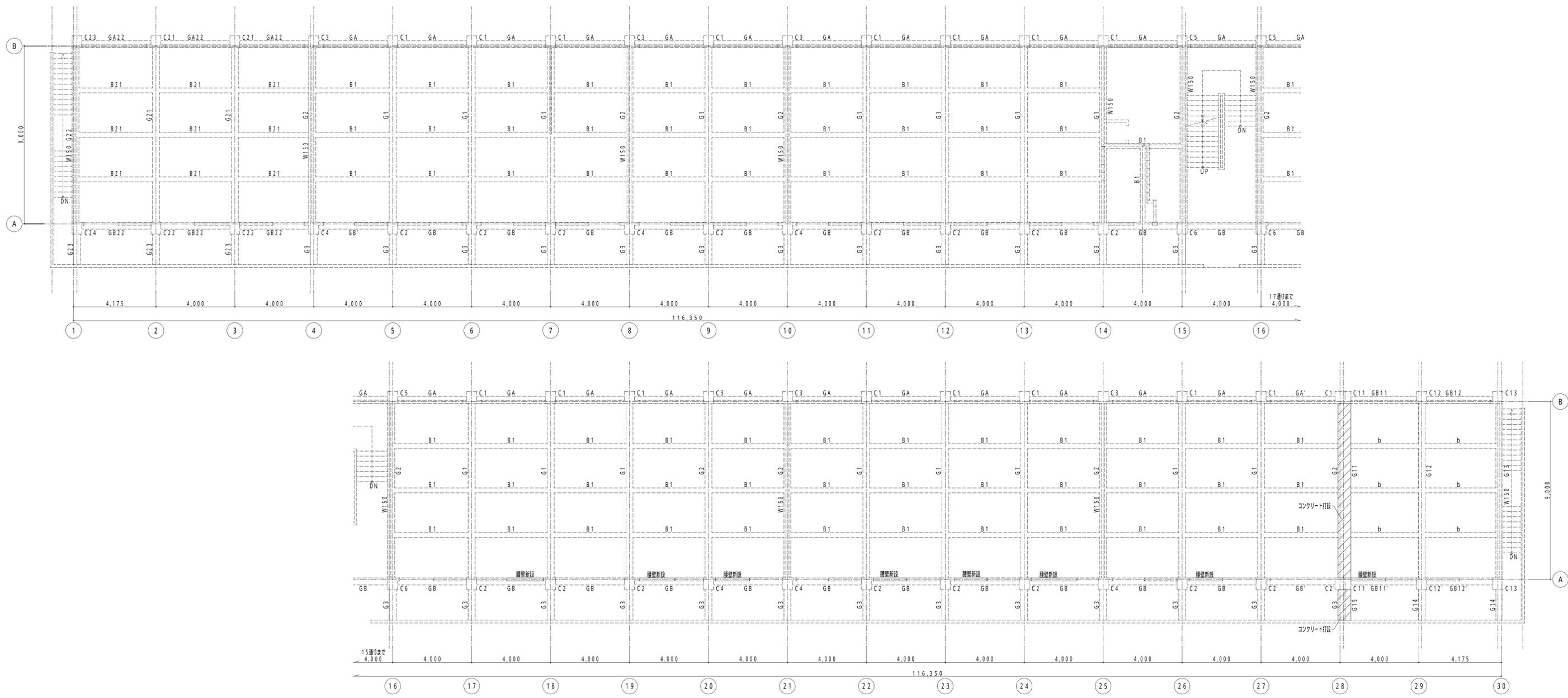
註) 特記なき限り、下記による。
1. 壁は、W150 とする。

記 事	業務名	鈴鹿工業高等専門学校					工事名称	鈴鹿工業高等専門学校	日付	平成25年7月	総数	62/77
		鈴鹿工業高等専門学校改修設計等業務						鈴鹿工業高等専門学校改修その他工事	縮尺	1/100	番号	S-03
		株式会社 緑企画設計 管理建築士 一級建築士 (大臣) 第270315号 犬飼 和行					棟図	担当				
									図面名称	改修前 R階梁伏図		



註) 特記なき限り、下記による。
1. 壁は、W150 とする。

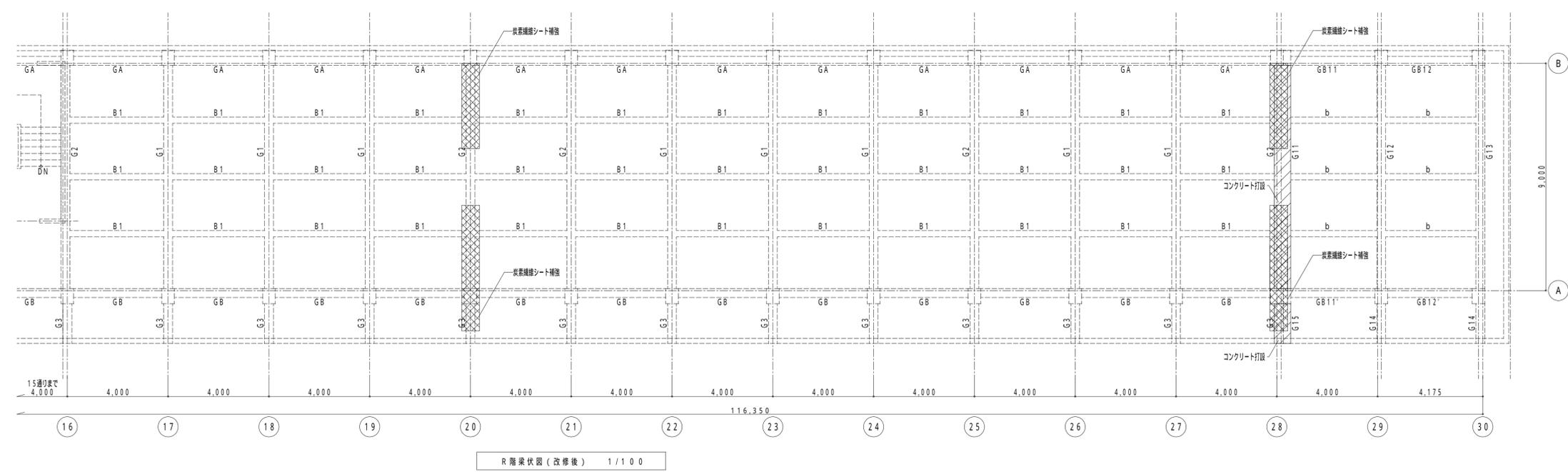
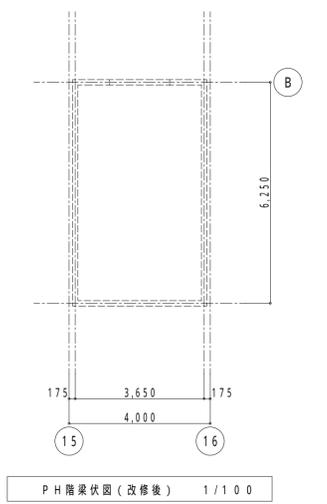
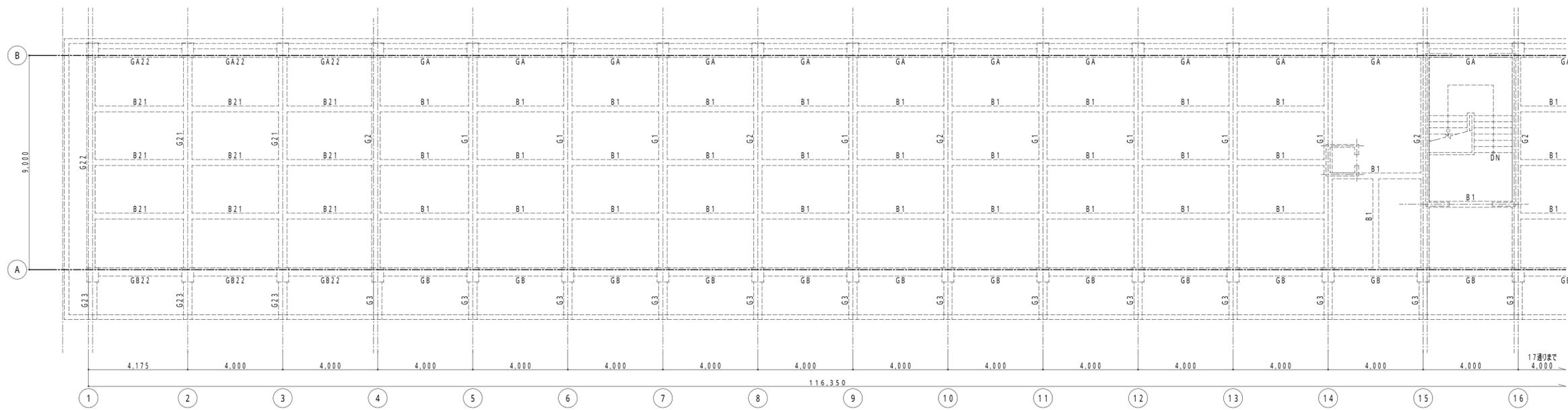
記 事	業務名 鈴鹿工業高専機械工学科棟改修設計等業務		鈴鹿工業高等専門学校					工事名称 鈴鹿工業高専機械工学科棟改修その他工事	日付 平成25年7月	総数 63 / 77
	株式会社 緑企画設計 管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行		棟図	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	縮尺 1/100
		基礎伏図(改修後) 1/100		図面名称 改修後 基礎伏図					A3版の場合は50%縮尺とする	



2階梁状図 (改修後) 1/100

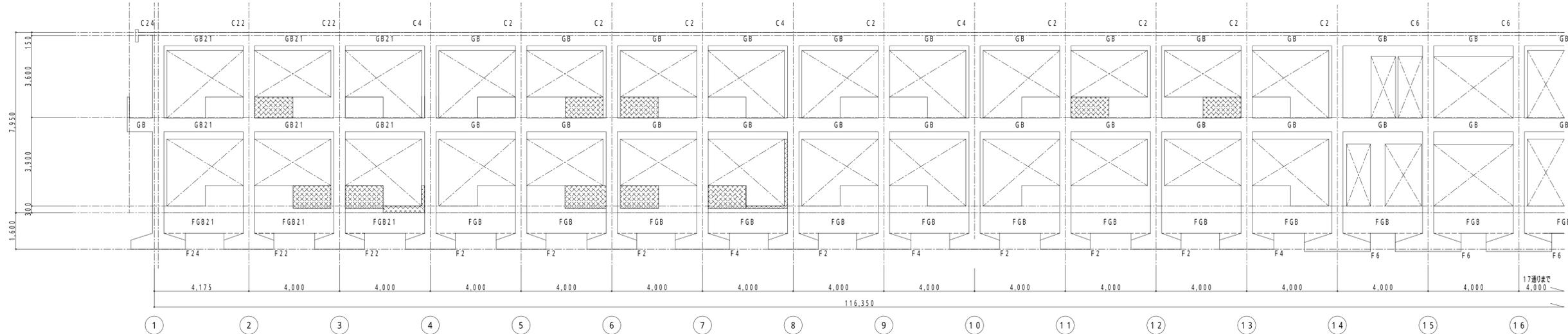
註) 特記なき限り、下記による。
1. 壁は、W150 とする。

記 事	業務名	鈴鹿工業高専機械工学科棟改修設計等業務					鈴鹿工業高等専門学校					工事名称	日付	総数
		株式会社 緑企画設計 管理建築士 一級建築士(大臣)第270315号 犬飼 和行					事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	鈴鹿工業高専機械工学科棟改修その他工事	平成25年7月	64/77
											図面名称	改修後 2階梁状図	縮尺	番号
												1/100	S-05	

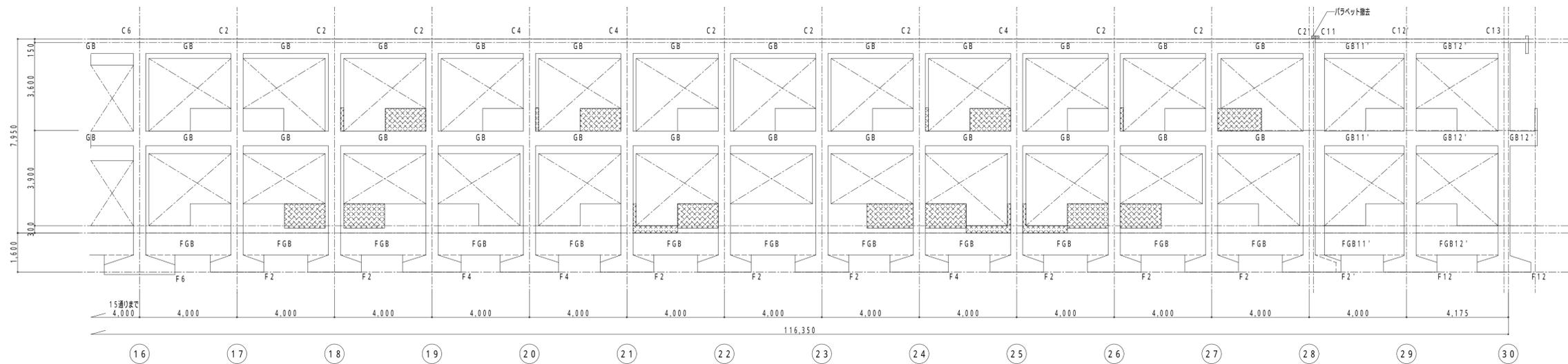


註) 特記なき限り、下記による。
1. 壁は、W150 とする。

記 事	業務名		鈴鹿工業高等専門学校					工事名称	日付	総数
	鈴鹿工業高等専門学校		事務部長					鈴鹿工業高等専門学校改修その他工事	平成25年7月	65/77
	株式会社 緑企画設計		管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行					図面名称	縮尺	番号
	緑企画設計		緑企画設計					改修後 R階梁伏図	1/100	S-06



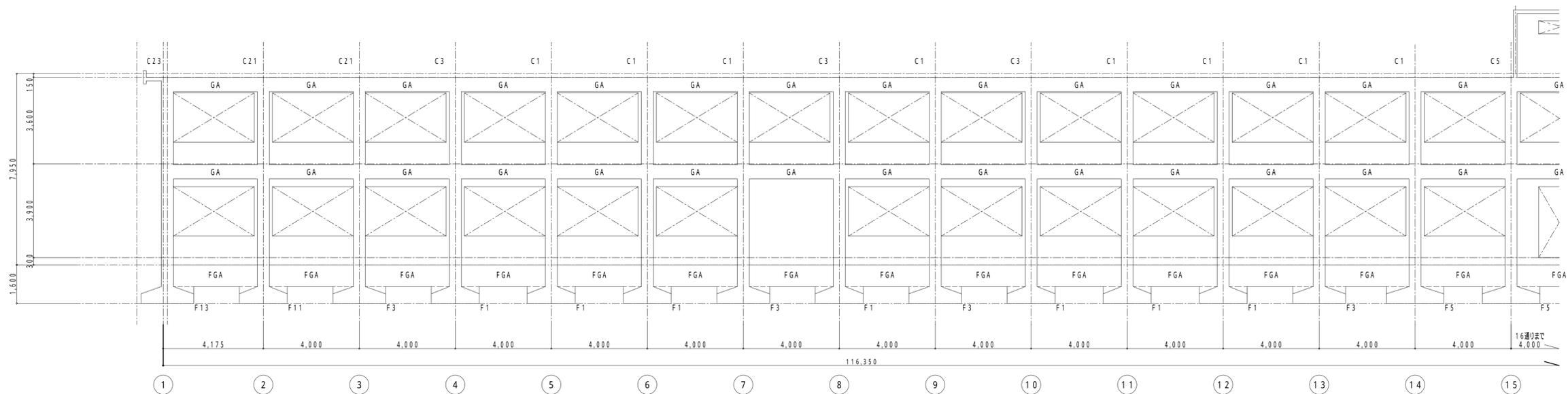
A 通り 軸組図・1 1/100



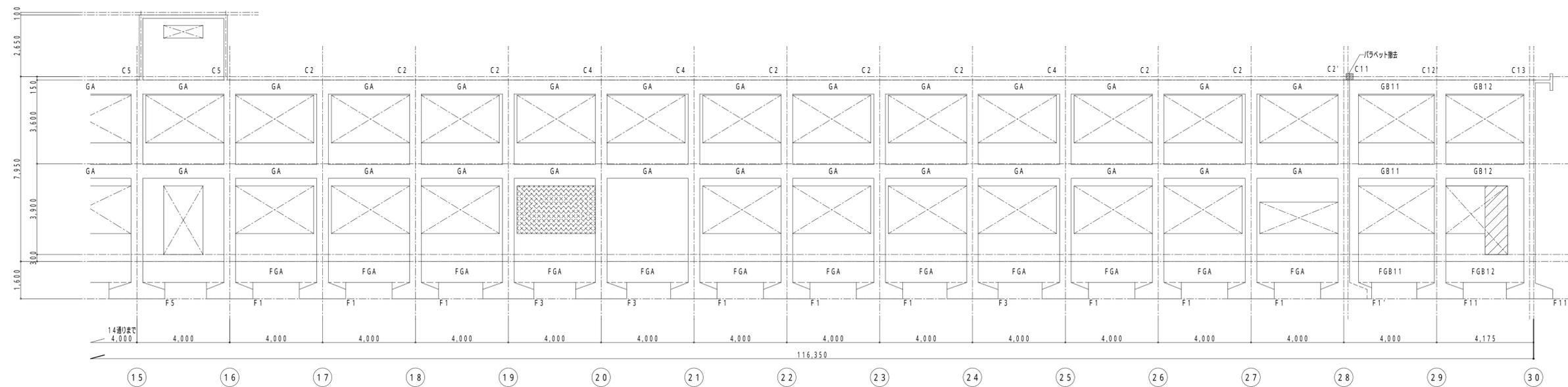
A 通り 軸組図・2 1/100

註) 特記なき限り、下記による。
 1. 壁は、W150とする。
 2. 斜線部: 既存壁撤去位置を示す。
 3. RC部材撤去後は、防錆処理を施すこと。

記 事	業務名		鈴鹿工業高等専門学校					工事名称		日付	総数
	鈴鹿工業高等専門学校		鈴鹿工業高等専門学校改修設計等業務					鈴鹿工業高等専門学校改修その他工事		平成25年7月	66/77
	株式会社 緑企画設計		棟図		担当		図面名称		縮尺	番号	
	管理建築士 一級建築士(大臣)第270315号 犬飼 和行						改修前 軸組図-1		1/100	S-07	



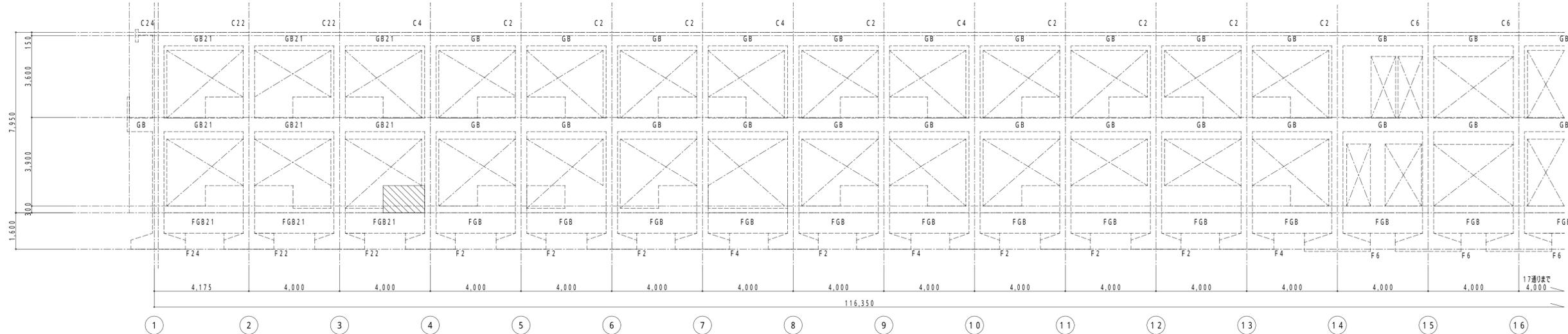
B 通り 軸組図-1 1/100



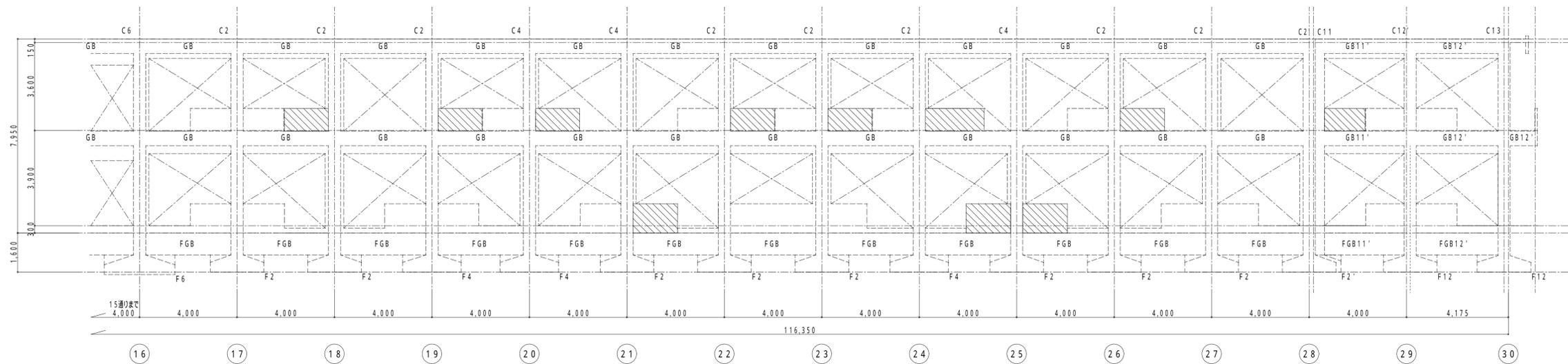
B 通り 軸組図-2 1/100

- 註) 特記なき限り、下記による。
1. 壁は、W150 とする。
 2. 斜線部：既存壁撤去位置を示す。
 3. RC部材撤去後は、防錆処理を施すこと。
 4. 斜線部：RC壁開口部位置を示す。

記 事	業務名		鈴鹿工業高等専門学校				工事名称		日付	総数
	鈴鹿工業高等専門学校改修設計等業務		事務部長 総務課長 課長補佐 施設係長 担当				鈴鹿工業高等専門学校改修その他工事		平成25年7月	67/77
	株式会社 緑企画設計 管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行		棟図	担当				図面名称	縮尺	番号
								改修前 軸組図-2	1/100	S-08



(A) 通り 軸組図-1 1/100

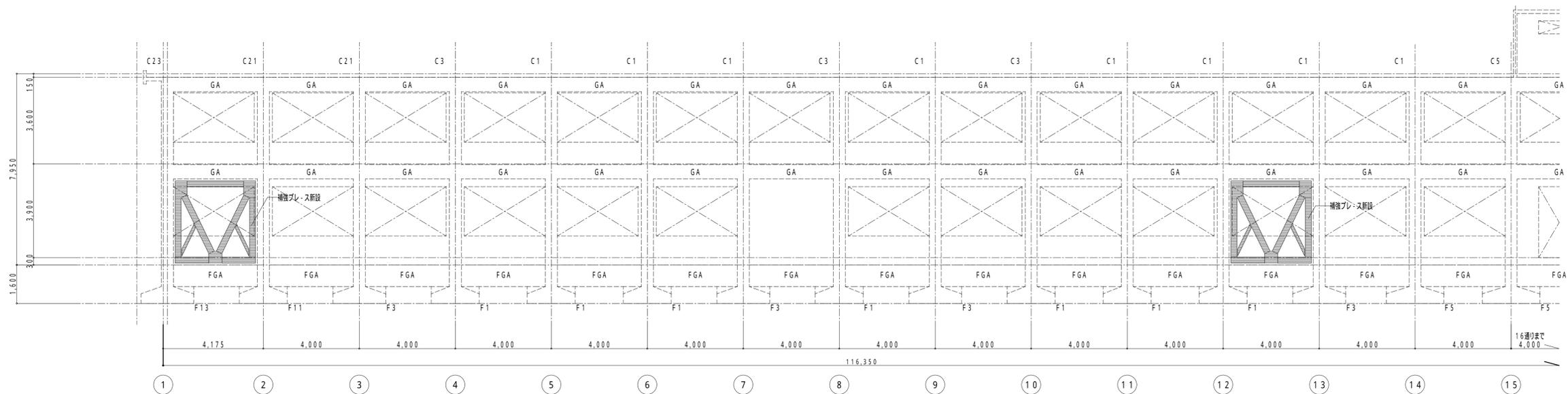


(A) 通り 軸組図-2 1/100

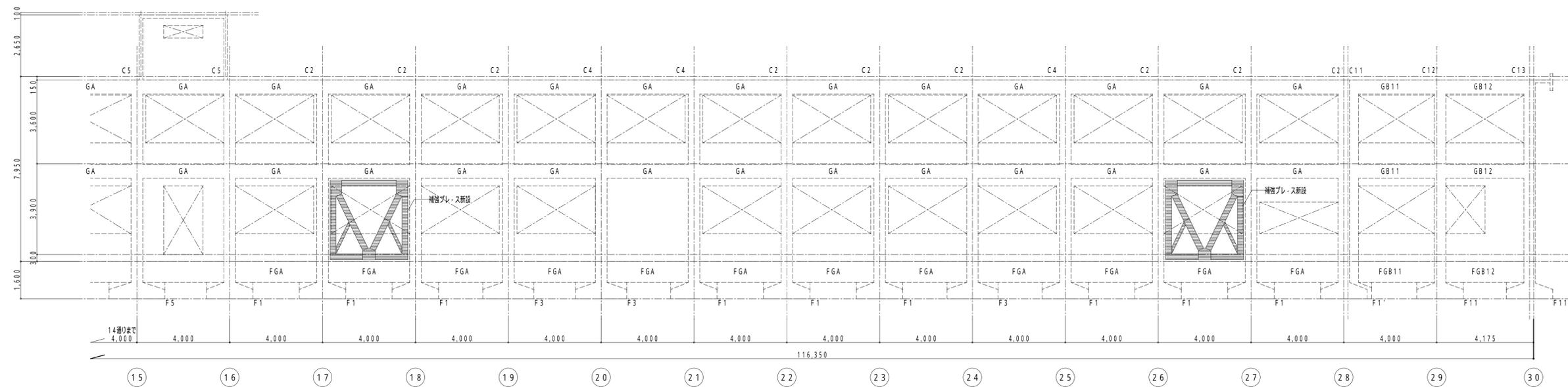
註) 特記なき限り、下記による。
 1. 壁は、W150 とする。
 2. 斜線部: 護壁新設位置を示す。

記 事	業務名		鈴鹿工業高等専門学校			工事名称	日付	総数
	鈴鹿工業高等専門学校改修設計等業務		事務部長			鈴鹿工業高等専門学校改修その他工事	平成25年7月	68/77
	株式会社 緑企画設計		校図	担当	総務課長	図面名称	縮尺	番号
	管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行				課長補佐	改修後 軸組図-1	1/100	S-09
					施設係長			
					担 当			

A3版の場合は50%縮尺とする



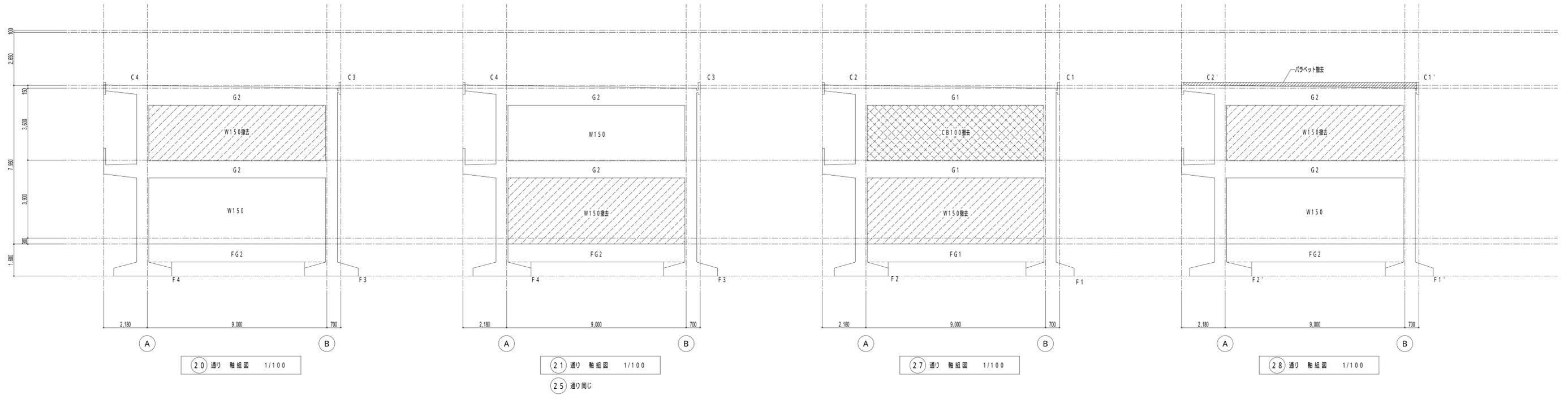
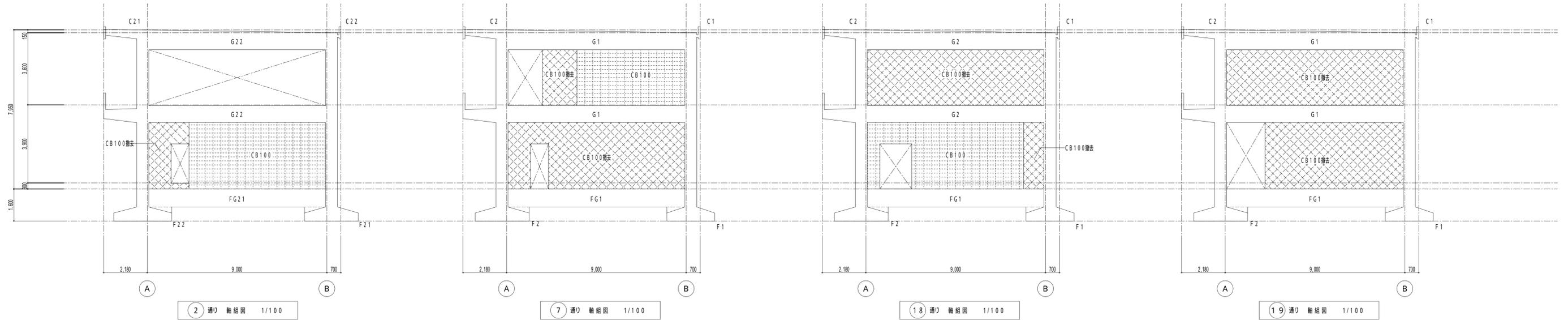
(B) 通り 軸組図-1 1/100



(B) 通り 軸組図-2 1/100

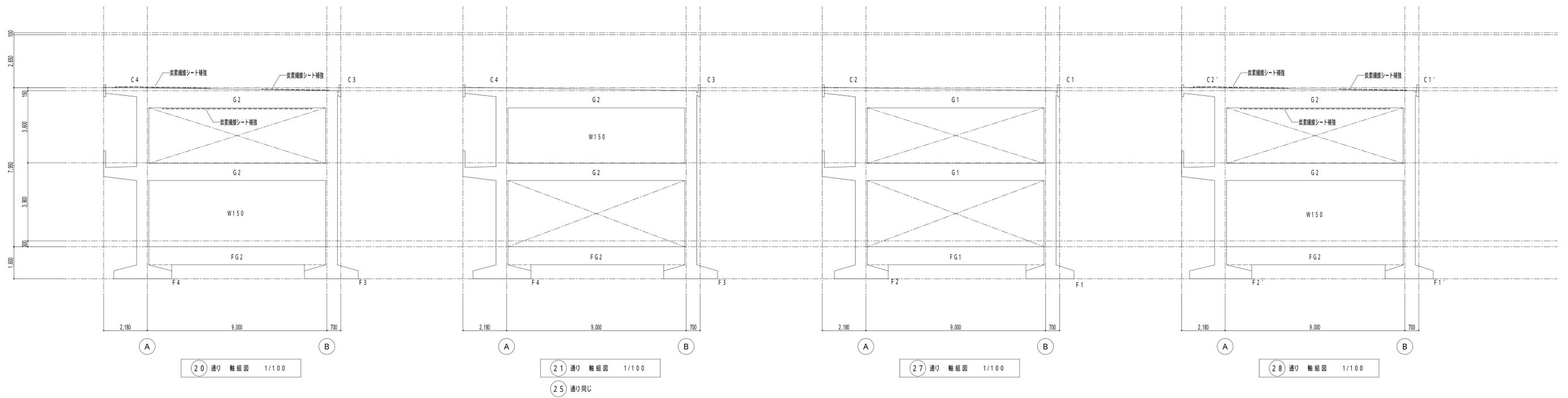
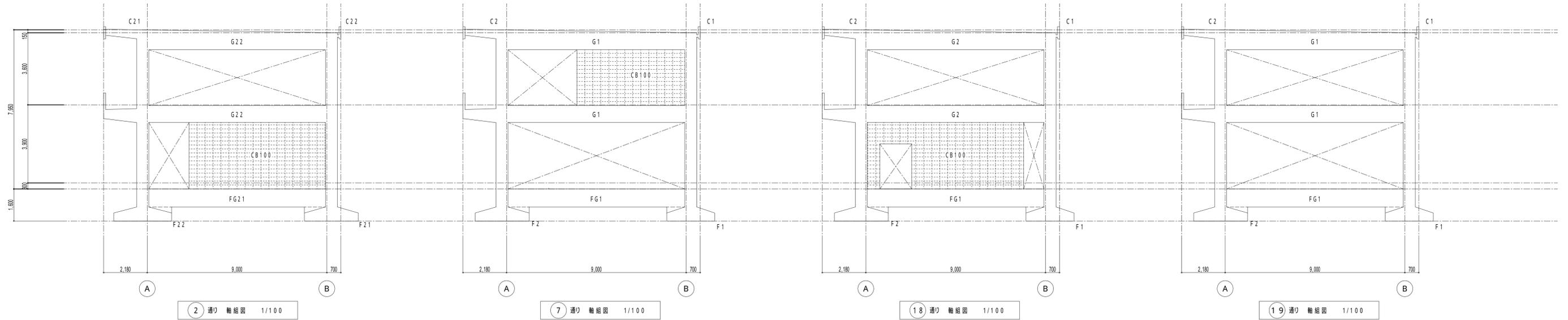
註) 特記なき限り、下記による。
 1. 壁は、W150 とする。
 2. 斜線部: 壁新設位置を示す。

記 事	業務名		鈴鹿工業高等専門学校				工事名称		日付	総数
	鈴鹿工業高等専門学校改修設計等業務		鈴鹿工業高等専門学校				鈴鹿工業高等専門学校改修その他工事		平成25年7月	69/77
	株式会社 緑企画設計		管理建築士	一級建築士(大臣)	第270315号	犬飼 和行	棟図	担当	縮尺	番号
									1/100	S-10
			改修後 軸組図-2						A3版の場合は50%縮尺とする	



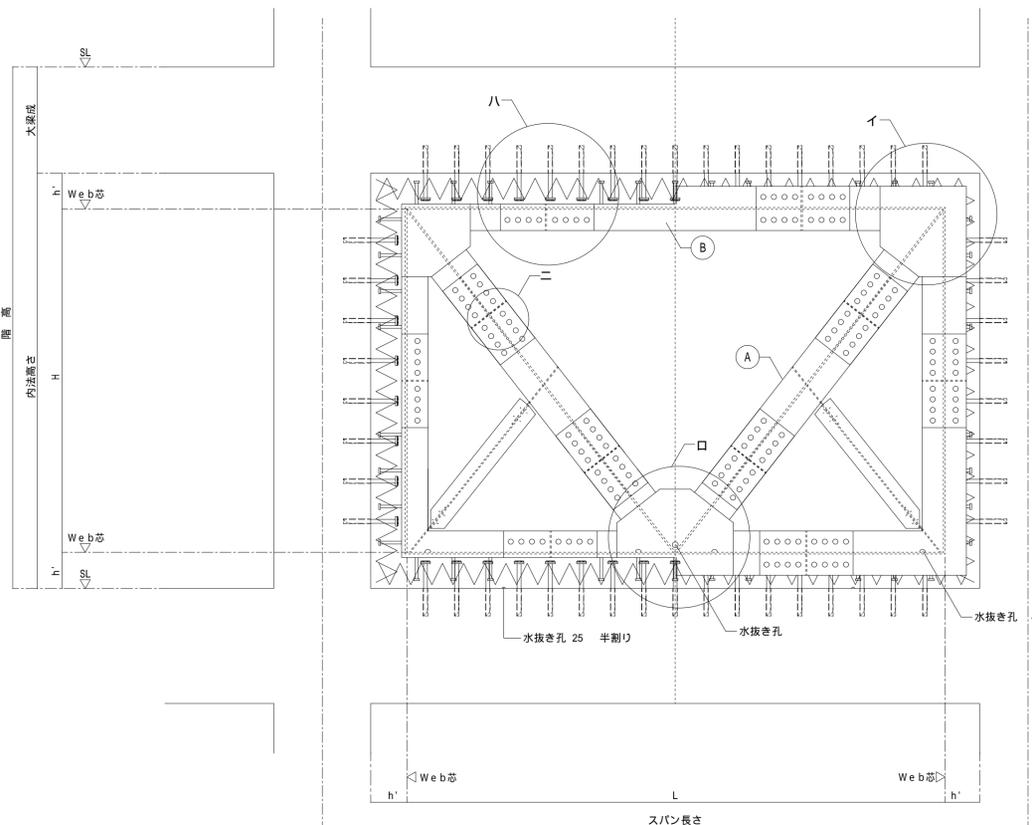
注) 特記なき限り、下記による。
 1. 斜線部: 既存CB100の範囲を示す。
 2. 斜線部: 既存CB100撤去の範囲を示す。
 3. 斜線部: 既存W150撤去の範囲を示す。

記 事	業務名		鈴鹿工業高等専門学校					工事名称	日付	総数	
	鈴鹿工業高等専門学校		鈴鹿工業高等専門学校					鈴鹿工業高等専門学校改修その他工事	平成25年7月	70/77	
	株式会社 緑企画設計		棟図	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	縮尺	番号
	管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行									1/100	S-11
			改修前 軸組図-3								



註) 特記なき限り、下記による。
 1. [斜線部] 斜線部：CB100の範囲を示す。

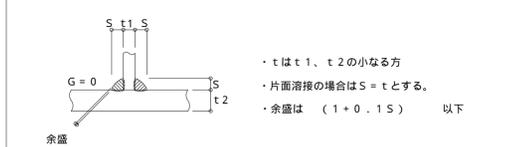
記 事	業務名		鈴鹿工業高等専門学校					工事名称	日付	総数	
	鈴鹿工業高等専門学校		鈴鹿工業高等専門学校					鈴鹿工業高等専門学校改修その他工事	平成25年7月	71/77	
	株式会社 緑企画設計		棟図	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担 当	縮尺	番号
	管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行									1/100	S-12
			改修後 軸組図-3								



溶接規準図 NS

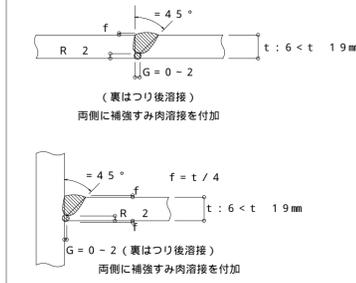
(注) f: 余盛 G: ルート間隔 S: 脚長 R: フェース (単位 mm)

隅肉溶接

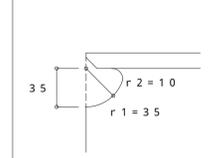


突合せ溶接

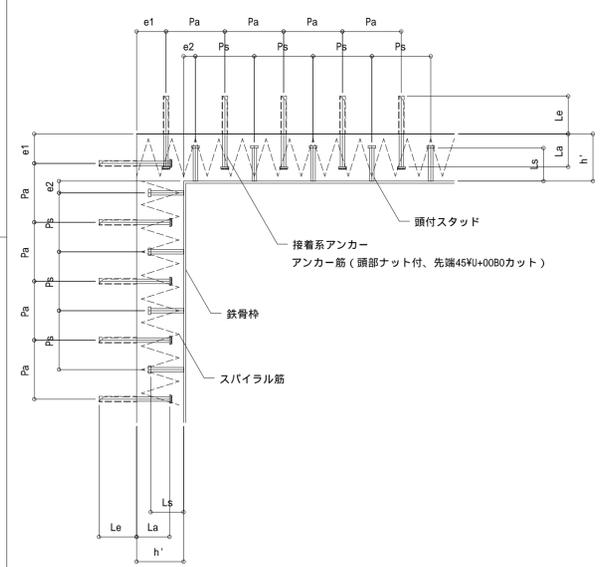
f 0.5mm (ただし t 15mm のとき 4mm とする。)



スカラップ

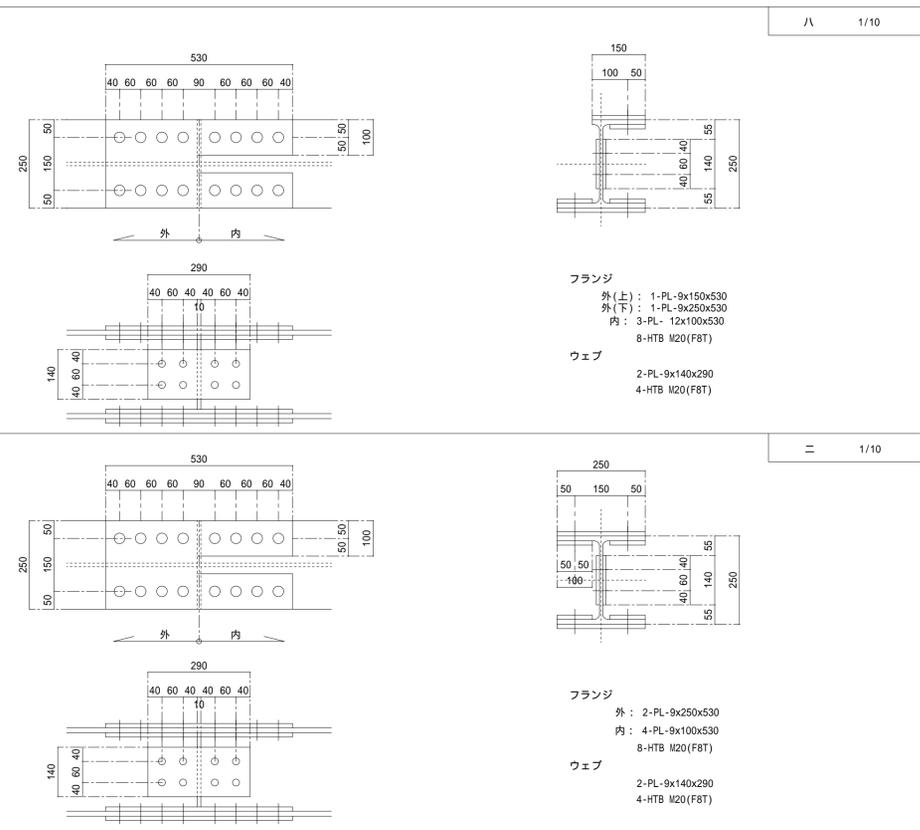
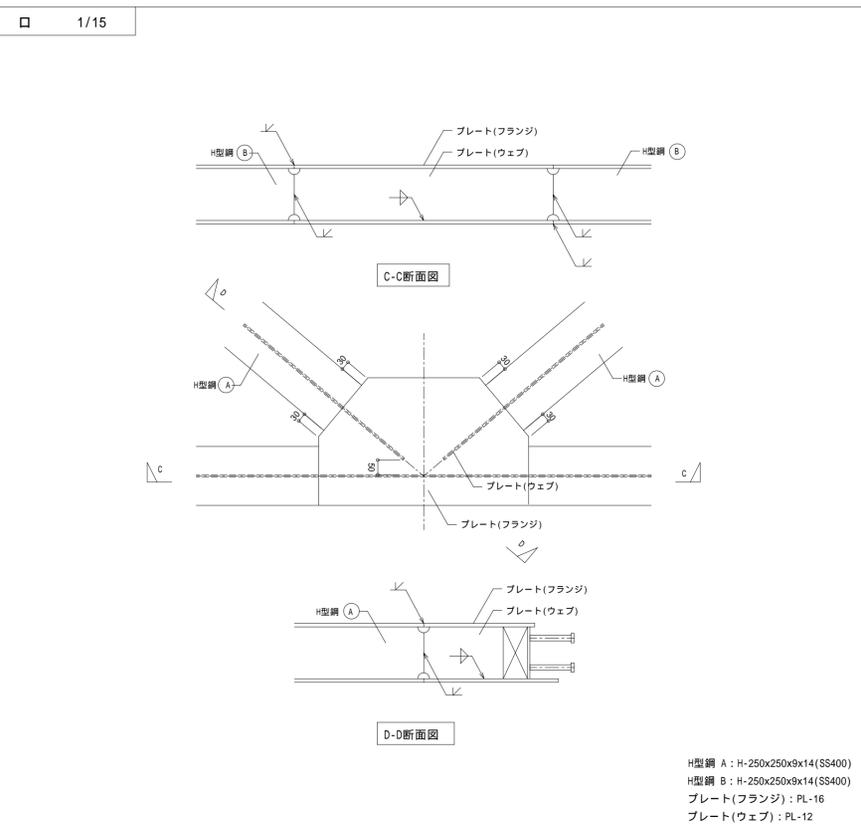
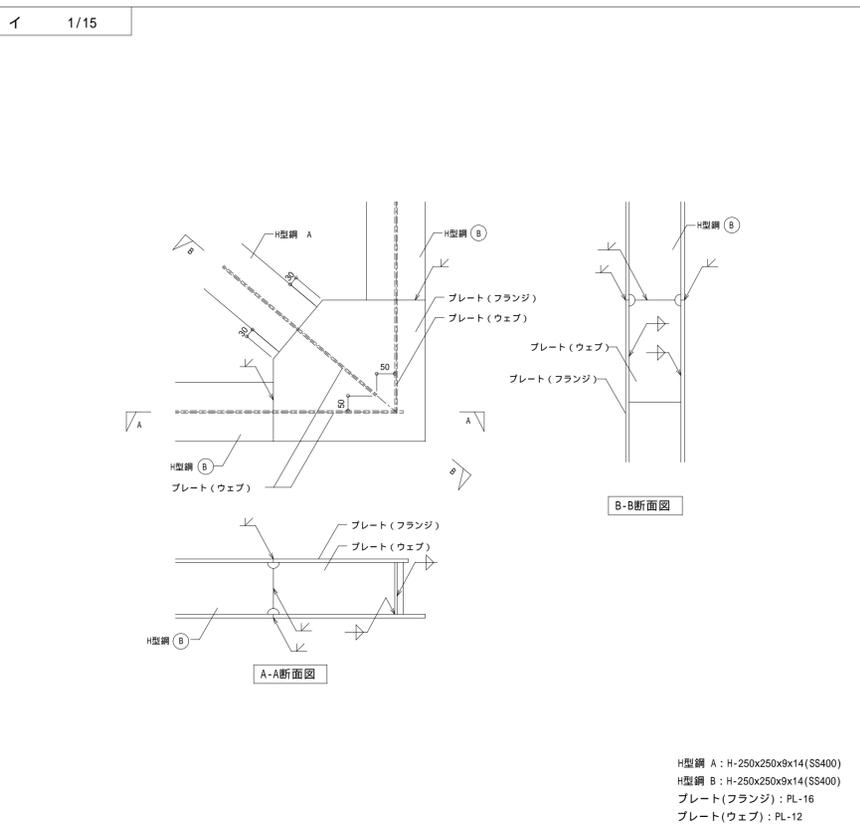


接着系アンカー及び頭付スタッド設置要領 NS



- アンカー筋の埋込長さ Le: 8da以上
- アンカー筋の定着長さ La: 140mm
- 頭付スタッドの定着長さ Ls: 140mm
- 鉄骨枠と既存躯体の表面とのクリアランス h': 200mm
- アンカー筋と頭付スタッドのラップ長 L: 80mm
- アンカー筋のはしあき e1: 5da以上
- アンカー筋のピッチ Pa: 7.5daかつ300mm以下
- 頭付スタッドのはしあき e2: 30mm以上, 60mm以下
- 頭付スタッドのピッチ Ps: アンカー筋のピッチと同間隔

接合部詳細図 NS



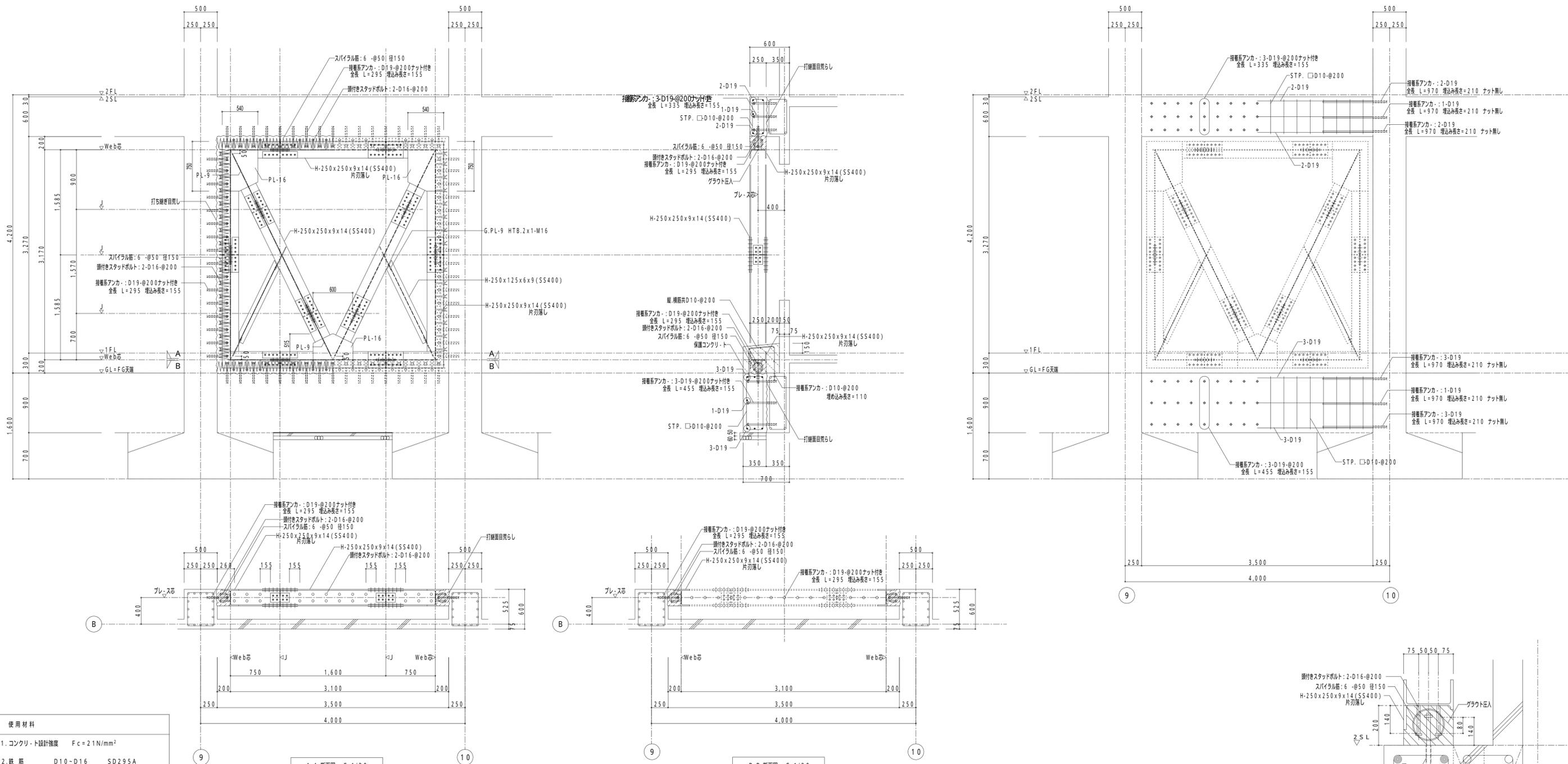
H型钢 A: H-250x250x9x14(SS400)
H型钢 B: H-250x250x9x14(SS400)
プレート(フランジ): PL-16
プレート(ウェブ): PL-12

H型钢 A: H-250x250x9x14(SS400)
H型钢 B: H-250x250x9x14(SS400)
プレート(フランジ): PL-16
プレート(ウェブ): PL-12

フランジ
外: 2-PL-9x250x530
内: 4-PL-9x100x530
8-HTB M20(F8T)
ウェブ
2-PL-9x140x290
4-HTB M20(F8T)

記事	業務名		鈴鹿工業高等専門学校				工事名称	鈴鹿工業高等専門学校	日付	平成25年7月	総数	72/77
	鈴鹿工業高等専門学校		事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	鈴鹿工業高等専門学校	縮尺	1/10, 15, 30	番号	S-13
	株式会社 総企画設計		管理建築士	一級建築士(大臣)	第270315号	犬飼 和行	検図	担当	図面名称	枠付鉄骨ブレース取付要領図		

A3版の場合は50%縮尺とする



使用材料	
1. コンクリート設計強度	$F_c = 21\text{N/mm}^2$
2. 鉄筋	D10-D16 SD295A D19 SD345
3. 鉄骨	SS400 使用鋼材には溶融亜鉛メッキを施すこと。(H0256)
4. ボルト	HTB F8T
5. グラウト設計強度	3.0N/mm^2

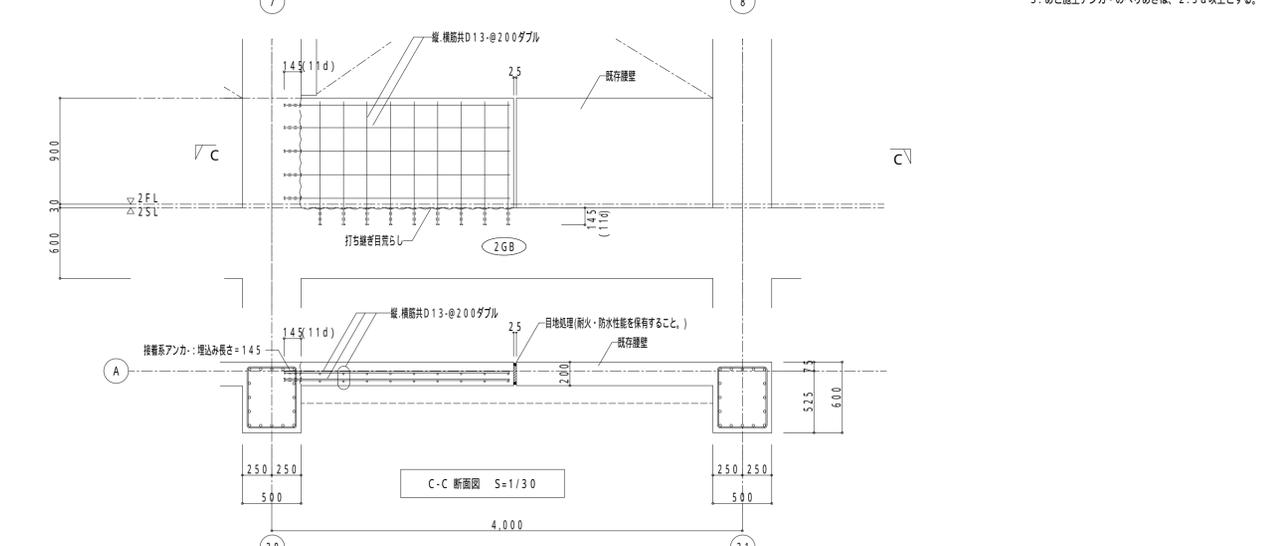
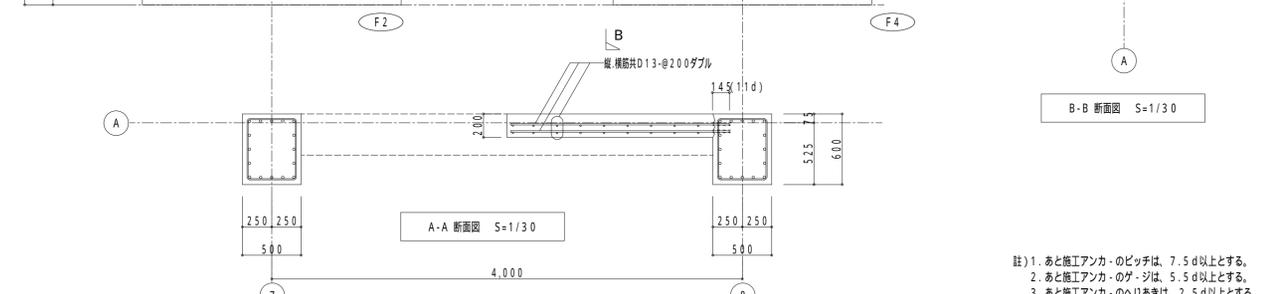
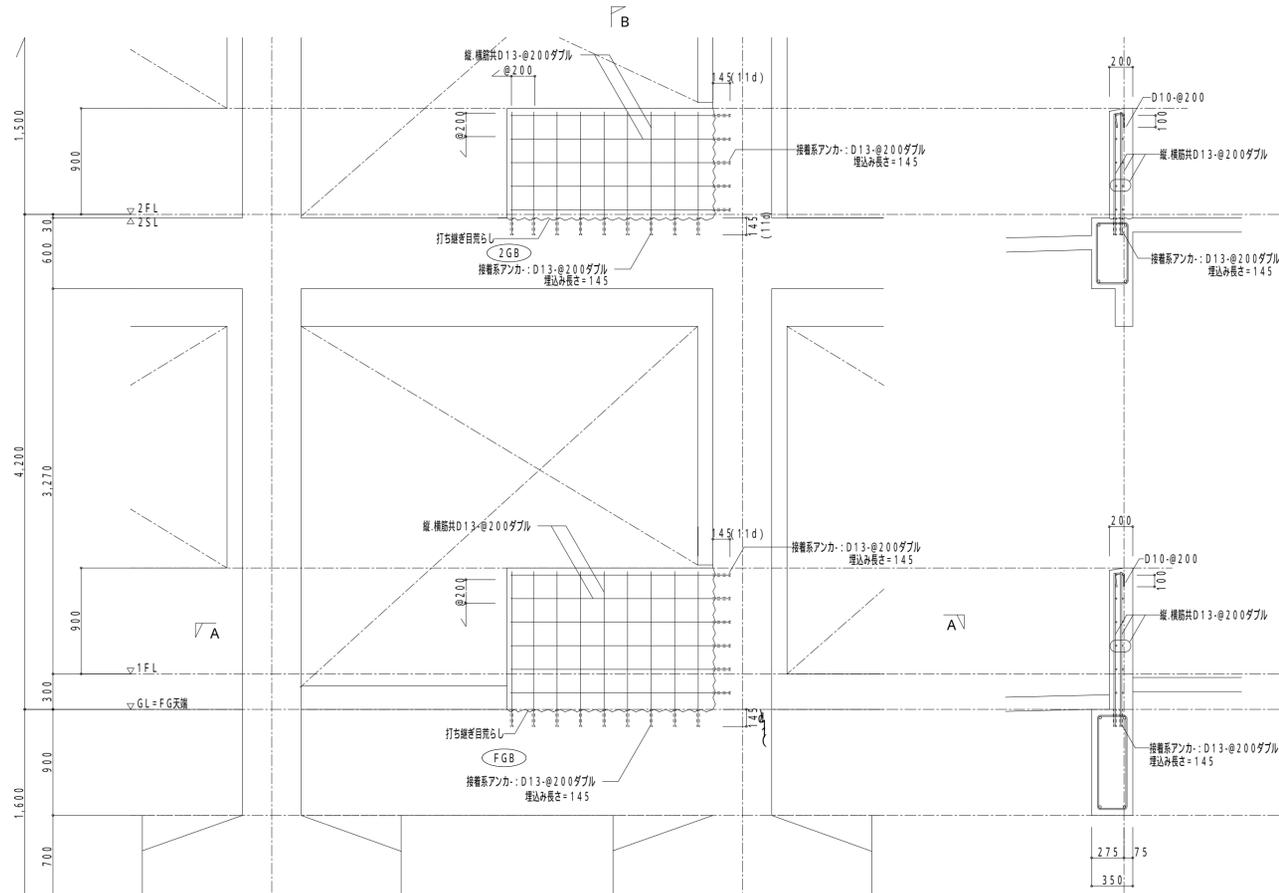
A-A 断面図 S=1/30

B-B 断面図 S=1/30

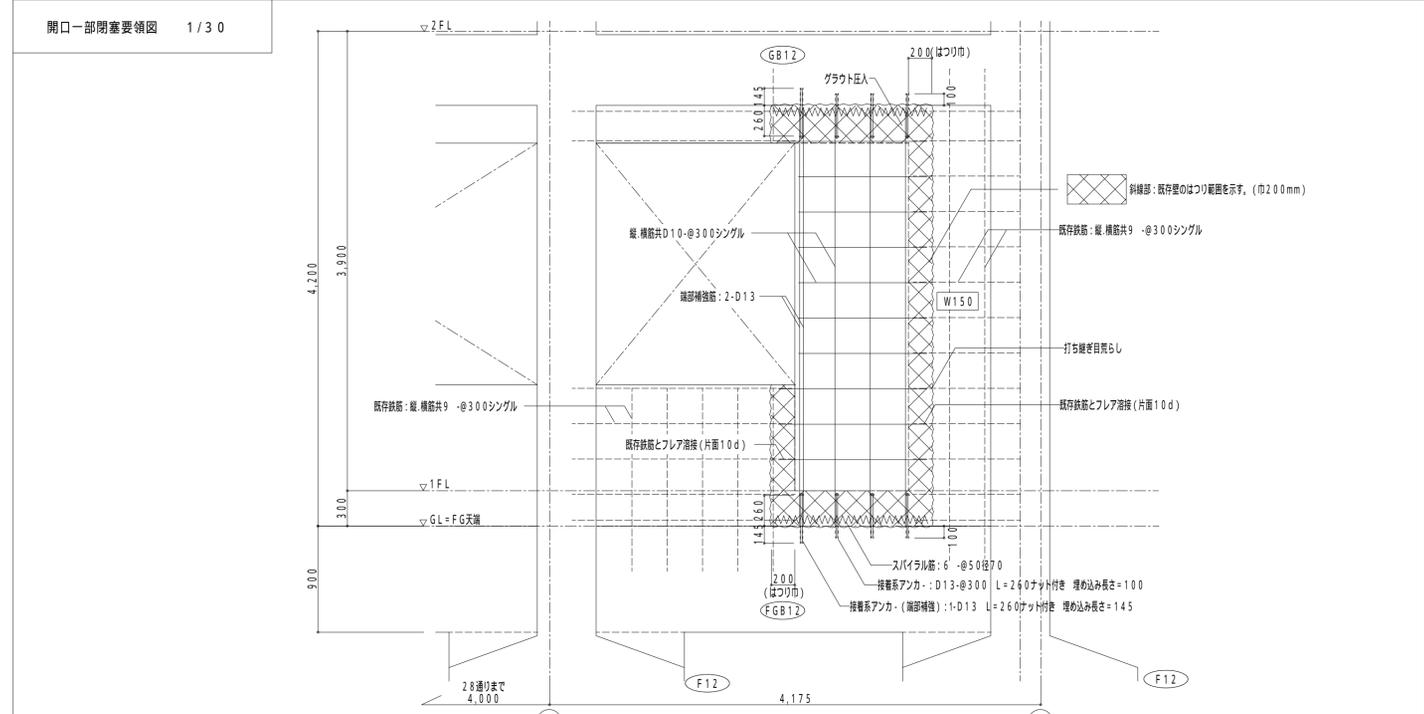
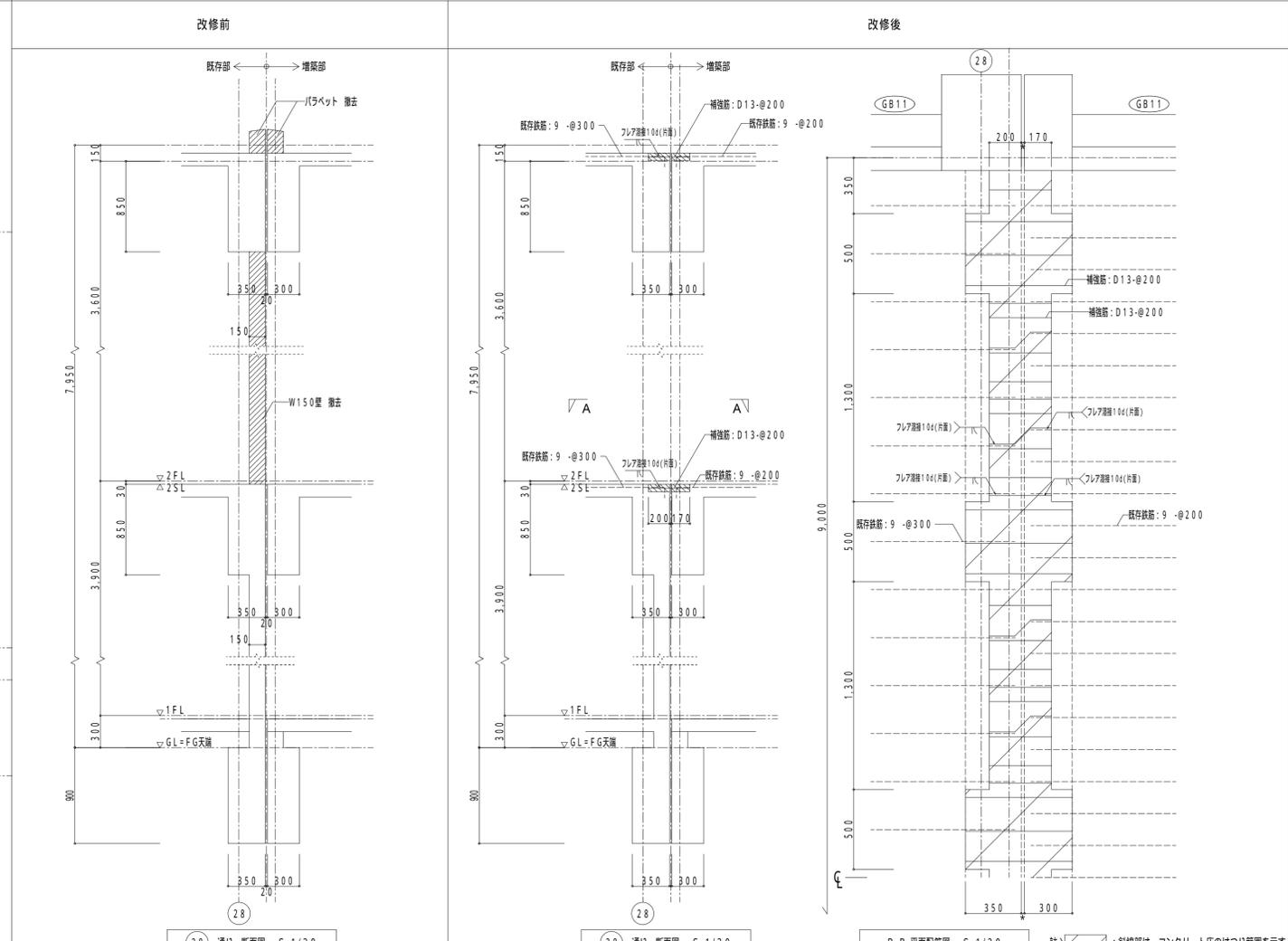
鉄骨挿入詳細図 S=1/10

記 事	業務名	鈴鹿工業高専機械工学科棟改修設計等業務					工事名称	鈴鹿工業高専機械工学科棟改修工事		日付	平成25年7月	総数	73/77
	図面名称	株式会社 総企画設計 管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行					図面名称	桎付鉄骨ブレース架構詳細図		縮尺	1/30	番号	S-14

A3版の場合は50%縮尺とする



註) 1. あと施工アンカ・のピッチは、7.5d以上とする。
 2. あと施工アンカ・のグ・ジは、5.5d以上とする。
 3. あと施工アンカ・のへりあきは、2.5d以上とする。



記 事	業務名	鈴鹿工業高専機械工学科棟改修設計等業務				鈴鹿工業高等専門学校		工事名称	鈴鹿工業高専機械工学科棟改修工事	日付	平成25年7月	総数	74/77
	株式会社 総企画設計	管理建築士 一級建築士 (大臣) 第270315号 犬飼 和行	棟図	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	縮尺	1/30	番号	S-15

炭素繊維シート接着工法(FORCAトウシート工法) 標準仕様書

1. 準備

本仕様書に記載が無い事項は、以下の資料に基づく。
 (1) 「FORCAトウシート工法施工指針」

2. 材料

(1) 炭素繊維シート

- 目付量は、300g/m²、600g/m²のものを使用する。
- 引張強度は、材料試験の(破断強度の平均値-3×標準偏差)とする。
- ヤング係数は、材料試験の平均値とする。

	単位	規格値	試験方法
引張強度	N/mm ²	3,400N/mm ² 以上	JIS A 1191/JSCE-E 541-2000に準拠
ヤング係数	N/mm ²	(2.30+0.39) - (2.30-0.15) × 10 ⁵ N/mm ²	
目付量	g/m ²	表示値以上	JIS R 7602に準拠

繊維目付量300g/m²タイプ：FTS-C1-30

繊維目付量300g/m²タイプ：FTS-C1-60

(2) プライマー

- エポキシ樹脂系のプライマーとする。(FP-NS)

	単位	規格値	試験方法
接着強度	N/mm ²	1.9N/mm ² 以上	JIS A 6909および JSCE-E 545-2000

(3) 不陸修正材

- エポキシ樹脂系のパテ材とする。(FE-Z)

	単位	規格値	試験方法
接着強度	N/mm ²	1.9N/mm ² 以上	JIS A 6909および JSCE-E 545-2000

(4) 含浸接着樹脂

- エポキシ系の樹脂とする。(FR-E3P)

	単位	規格値	試験方法
引張強度	N/mm ²	30N/mm ² 以上	JIS K 7161
曲げ強度	N/mm ²	40N/mm ² 以上	JIS K 7171
引張せん断強度	N/mm ²	10N/mm ² 以上	JIS K 6850

表1 プライマー及び含浸接着樹脂の標準塗布量

	目付量300g/m ² シート	目付量600g/m ² シート
プライマー	0.2~0.3kg/m ²	0.2~0.3kg/m ²
含浸接着樹脂下塗り	0.4~0.6kg/m ²	0.5~0.7kg/m ²
含浸接着樹脂上塗り	0.3~0.4kg/m ²	0.5~0.7kg/m ²

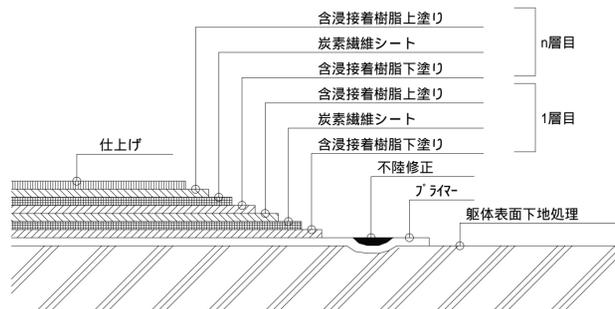


図1 標準施工断面図

3. 標準施工要領

(1) 施工のフロー



(2) 準備

- 資機材の準備、材料の受け入れ、付属設備の一時撤去、仮設工事等の準備を行う。

(3) 下地処理

- 躯体表面の仕上げを撤去する。
- 幅が0.3mm以上のひび割れは、エポキシ樹脂注入等により補修する。
- 必要に応じて、断面修復及び鉄筋防食の対策を施す。
- 躯体表面をディスクサンダー等で研磨し、劣化したコンクリートを取り除く。
- 隅角部は半径20~30mmで円弧状滑らかに面取りする。
- 下地処理後の表面は、エアブロー等で粉塵を取り除く。

(4) プライマー塗布

- 下地の乾燥状態を確認する。(コンクリート表面含水率10%以下)
- 所定の配合比でプライマーを混合する。このとき、均質になるように十分に配合する。
- 躯体表面にプライマーを均等に塗布する。
- プライマーの標準塗布量は表1による。
- 気温5以下、湿度85%以上の場合、雨天及び結露の恐れがある場合は施工しない。
- 可使用時間を過ぎたプライマーは、使用してはならない。
- プライマーの指触硬化確認後、次工程に進むものとする。

(5) 不陸修正 段差修正

- 不陸修正材塗布面に埃が付着している場合は清掃する。
- 所定の配合比で不陸修正材を混合する。このとき、均質になるように十分に配合する。
- 不陸修正材を塗布して、躯体表面の段差及び欠損部を平坦化する。
- 気温5以下、湿度85%以上の場合、雨天及び結露の恐れがある場合は施工しない。
- 可使用時間を過ぎた不陸修正材は、使用してはならない。
- 不陸修正材の指触硬化確認後、次工程に進むものとする。

(6) 墨出し

- 炭素繊維シートの接着位置を躯体表面に墨出しする。
- 繊維方向のラップ長さは200mm以上とする。
- 繊維直交方向のラップ長さは0~30mmとする。
- 炭素繊維シートを積層するときは、繊維方向及び繊維直交方向のラップ位置を下層のラップ位置とずらす。

(7) 炭素繊維シート 巻き付け及び 貼り付け

- 炭素繊維シートを裁断する。
- 躯体の含浸接着樹脂塗布面に埃が付着している場合は清掃する。
- 所定の配合比で含浸接着樹脂を混合する。このとき、均質になるように十分に配合する。
- 躯体に含浸接着樹脂を均等に塗布する(下塗り)。標準塗布量は表1による。
- 含浸接着樹脂塗布後、速やかに炭素繊維シートを貼り付ける。
- 脱泡ローラー又はゴムベラ等で炭素繊維シートを押える。
- 下塗り含浸接着樹脂が炭素繊維シートに含浸するまで30分程度放置する。
- 含浸接着樹脂を均等に塗布する(上塗り)。標準塗布量は表1による。
- 含浸接着樹脂塗布後、速やかに脱泡ローラーで炭素繊維シートを押さえる。
- 炭素繊維シートを積層する場合は、1)~9)の工程を繰り返す。
- 含浸接着樹脂の可使用時間内で接着作業を行う。
- 気温5以下、湿度85%以上の場合、雨天及び結露の恐れがある場合は施工しない。
- 可使用時間を過ぎた含浸接着樹脂は、使用してはならない。

(8) 養生

- 含浸接着樹脂が初期硬化するまで、雨水、埃等が付着しないように養生する。
- 気温が5以下になる場合は、加温養生を行う。

(9) 仕上げ

- 仕上げの仕様は設計図書又は、設計者の指示による。

4. 品質管理

(1) 品質管理

- 設計・監理者の指示により実施する。
- 施工は施工及び品質管理体制を定め、十分な施工管理及び品質管理体制のもとで行う。
- 作業工程に応じて品質管理項目を定め、それぞれの役割分担を明確にする。
- 品質管理項目に応じて、具体的な施工管理内容を定めて施工管理を行う。
- 施工開始前に使用材料の品質を確認する。
- 品質検査は、引張強度試験及び付着強度試験とするが、検査の要否は工事監理者との協議による。

(2) CFRP 付着強度試験

- 試験方法：JIS A 6909に準拠して行う。
- 接着強さの評価：CFRP板と共に下地コンクリートが引き剥がれる凝集破壊であること。または、接着強さが1.5N/mm²以上であること。
- 試験頻度：指定された頻度で実施する。
- 試験場所：原則として施工現場で行う。
- 試験体数：3以上

CFRP：炭素繊維強化プラスチック

記事	業務名		鈴鹿工業高専機械工学科棟改修設計等業務		鈴鹿工業高等専門学校		工事名称	鈴鹿工業高専機械工学科棟改修その他工事	日付	総数	
	株式会社 総企画設計		管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行		棟図	担当			平成25年7月	75 / 77	
								図面名称	炭素繊維シート接着工法標準仕様書	縮尺	番号
									1 /		S - 16

SR-CF工法 特記仕様書（2011年改訂版）

1. 一般事項

1.1 適用事項	(財)日本建築防災協会 技術評価書第2762号に基づくSR-CF工法研究会発行『SR-CF工法(2011年改訂版 既存建築物の耐震改修設計施工指針)』による。
1.2 施工計画	<p>工事の着手に先立ち、下記の事項について充分検討し施工計画を作成して、監督員に提出する。</p> <ul style="list-style-type: none">工程計画 資材・機材の搬入および保管 現場養生 関連する別契約の工事との取り合い納まり等 仮設計画
1.3 専門工事会社	本工事に關する施工は、「SR-CF工法研究会」に所属し、同研究会が実施する技術指導を受けた専門工事会社による。

2. 材料仕様

2.1 炭素繊維シート	<ul style="list-style-type: none">炭素繊維シートは、下記の品質規格を満足することが確認されたものを使用する。 炭素繊維シートは、下記の品質規格を満足することが確認されたものを使用する。 炭素繊維シートは含浸接着樹脂と組み合わせることによる複合材としての強度発現及び耐久性について試験により確認されたものを使用する。
-------------	--

炭素繊維シートの品質規格			
項目	規格	試験方法	
3400MPa級	引張強度	3,400N/mm2 以上	JIS A1191に準拠
	ヤング係数	(230+39) ~ (230-20)kN/mm2	
	目付け量	200g/m ² 、300g/m ²	JIS K7071又はJIS R7602に準拠

炭素繊維シートの種類と特徴		
品番	FTS-C1-20	FTS-C1-30
目付け量(g/m ²)	200	300
設計厚さ(mm)	0.111	0.167
引張強度(N/mm2)	3,400	3,400
ヤング係数(kN/mm2)	230	230

2.2 プライマー	<p>プライマーの品質規格</p> <table> <tbody><tr> <th>項目</th> <th>規格値</th> <th>試験方法</th></tr> <tr> <td>接着強度</td> <td>1.5N/mm2以上</td> <td>JIS K6909に準ずる(試験用基板：モルタル板)</td></tr> </tbody></table>	項目	規格値	試験方法	接着強度	1.5N/mm2以上	JIS K6909に準ずる(試験用基板：モルタル板)
項目	規格値	試験方法					
接着強度	1.5N/mm2以上	JIS K6909に準ずる(試験用基板：モルタル板)					

プライマーの種類と特徴								
品番	FP-NS			FP-WE7			FP-S 通年用	
	春秋用	夏用	冬用	春秋用	夏用	冬用		
適用温度	10～25	20～35	5～15	10～25	20～35	5～15	5～35	
可使用時間 ¹⁾ 分 @20	60	135	30	55	125	25	120	
乾燥時間 ¹⁾ 時間 @20	11	14	9	11	14	9	3	
主剤:硬化剤(重量比)	2:1			2:1			1:1	
性状	無溶剤系			無溶剤系			溶剤系	
主な用途	標準用			湿潤面用			浸透性	

- *1) 発熱温度上昇法にて測定
- *2) ガードナー式ゲル化時間法にて測定(ゲル化終了時間)

2.3 不陸調整材	<ul style="list-style-type: none">不陸調整材は、下記の品質規格を満足することが確認されたものを使用する。
-----------	---

不陸調整材の品質規格		
項目	規格値	試験方法
接着強度	1.5N/mm2以上	JIS A6909に準ずる(試験用基板：モルタル板)

・不陸調整材は、プライマー、含浸接着樹脂と十分な接着が確保できるもの、さらにコンクリート表面の段差やエアホールを平滑化するのに過度な粘度、接着性を有し、すりつけ作業に適した性状を有するものを使用する。

不陸調整材の種類と性能				
品番	FE-Z		FE-B	
	夏用	冬用	夏用	冬用
適用温度	15～35	5～20	15～35	5～20
可使用時間 ¹⁾ 分 @20	60	30	60	30
指触乾燥時間 ¹⁾ 時間 @20	14	10	14	8
主剤:硬化剤(重量比)	2:1		2:1	
性状	クリーム状		パテ状	
主な用途	標準用		厚付け用	

- *1) 発熱温度上昇法にて測定

2.4 含浸接着樹脂	<ul style="list-style-type: none">含浸接着樹脂は、下記の品質規格を満足することが確認されたものを使用する。 含浸接着樹脂は炭素繊維シートへ確実に含浸し、炭素繊維シートの引張強度、ヤング係数、接着強度を確保できるもので、作業に適した粘度、可使用時間を有するものを使用する。
------------	---

含浸接着樹脂の品質規格			
項目	規格値	試験方法	
引張強度	29 N/mm2 以上	JIS K7161	
曲げ強度	39 N/mm2 以上	JIS K7171	
引張せん断強度	10 N/mm2 以上	JIS K6850	

含浸接着樹脂の種類と性能			
品番	FR-E3P		
	春秋用	夏用	冬用
適用温度	10～25	20～35	5～15
可使用時間 ¹⁾ 分 @20	55	160	27
乾燥時間 ¹⁾ 時間 @20	13	16	11
主剤:硬化剤(重量比)	2:1		
性状	無溶剤系		
主な用途	標準用		

2.5 CFアンカー	<p>2.5.1 CFアンカー</p> <ul style="list-style-type: none">CFアンカー(フォルカトウアンカー)は、下記の性能を示す。 <table> <tbody><tr> <th>項目</th> <th>規格</th> <th>試験方法</th></tr> <tr> <td rowspan="2">3400MPa級</td> <td>引張強度</td> <td>3,400N/mm2 以上</td> <td rowspan="2">JIS A1191に準拠</td></tr> <tr> <td>ヤング係数</td> <td>230kN/mm2</td></tr> </tbody></table>	項目	規格	試験方法	3400MPa級	引張強度	3,400N/mm2 以上	JIS A1191に準拠	ヤング係数	230kN/mm2
項目	規格	試験方法								
3400MPa級	引張強度	3,400N/mm2 以上	JIS A1191に準拠							
	ヤング係数	230kN/mm2								

・CFアンカー作製に用いる炭素繊維ストランドの量は、設計施工指針(『SR-CF工法(2011年改訂版 既存建築物の耐震改修設計施工指針)』)による。

2.5.2 CFアンカー用含浸接着樹脂

・CFアンカーの貼付けに用いる含浸接着樹脂は、下記の品質規格を満足することが確認されたものを使用する。

・含浸接着樹脂は、炭素繊維ストランドの束に十分含浸する粘度、作業性を有し、炭素繊維ストランドとの相性を実験により確認したものをを用いる。

CFアンカー用含浸接着樹脂の品質規格			
項目	規格値	試験方法	
引張強度	29 N/mm2 以上	JIS K7161	
曲げ強度	39 N/mm2 以上	JIS K7171	
引張せん断強度	10 N/mm2 以上	JIS K6850	

CFアンカー用含浸接着樹脂の種類と性能						
品番	FR-E3P(H)			FR-E3P(K)		
	春秋用	夏用	冬用	春秋用	夏用	冬用
適用温度	10～25	20～35	5～15	10～25	20～35	5～15
可使用時間 ¹⁾ 分 @20	55	160	27	55	160	27
乾燥時間 ¹⁾ 時間 @20	13	16	11	13	16	11
主剤:硬化剤(重量比)	2:1			2:1		
性状	無溶剤系			無溶剤系		

・コンクリート剥落部分は、十分な接着力と母材コンクリートと同等以上の強度を有する断面修復材で平滑化する。

・ひび割れ注入材は、ひび割れの深部まで浸透し、コンクリートを一体化するために十分な接着強度を有し、ひび割れから供給される水を遮断する性能を有するものを使用する。

3. 施工手順

3.1 一般事項	<ul style="list-style-type: none">施工は、材料メーカーが発行する『SR-CF工法 施工要領書』および、SR-CF工法研究会が発行する『CFアンカー 施工指導の手引き』により実施する。 事前に施工対象部の記録写真を撮影する。 施工に先立ち、資機材の準備、使用材料の受け入れ、付属設備の一時撤去、仮設工事等の準備を行う。 下地コンクリートの不良部(剥落・空隙・豆板・腐食等)をはつきり除去する。鉄筋の露出がある場合には防錆処理を行った上で、コンクリート同等以上の強度を有するポリマーセメントモルタル等で修復する。 クラック(ひび割れ)部にエポキシ樹脂等を注入する。 下地表面は、平滑で脆弱部や汚れの無い状態とする。 コーナー部は研削等の方法で角を半径20mm～30mmの曲面に加工する。 下地処理後の表面はエアフロア等により十分に粉塵を除去する。 CFアンカー用の埋め込み、又は貫通孔は、炭素繊維シートの貼付け量およびCFアンカーの取り付けピッチを考慮し、穿孔位置を墨出しした後に行う。 柱補強において、CFアンカーを貫通させるための壁部の穿孔は、柱際に行うこととする。 梁補強においてCFアンカーを貫通または埋め込むためのスラブ穿孔は、梁際に行うこととする。 壁補強において、CFアンカーを埋め込むための壁周辺の柱、梁、スラブへの穿孔は、壁際に行うこととする。 穿孔直径は、『SR-CF工法 (改訂版 既存建築物の耐震改修設計施工指針)』3.3による。
3.3 準備	
3.4 断面補修	
ひび割れ注入	
3.5 下地処理	
3.6 CFアンカーの埋込孔又は貫通孔穿孔	

3.7 CFアンカー作製	<ul style="list-style-type: none">CFアンカーは、設計で計算された量以上の炭素繊維ストランドを束ねて作製する。 CFアンカーの定着長さは200mm以上(目付300g/m²の炭素繊維シート3層を200mm間隔のCFアンカーで定着する柱及び梁の補強においては250mm以上)となるように作製する。 必要ストランド本数は、『SR-CF工法(改訂版 既存建築物の耐震改修設計施工指針)』3.3による。 表面が乾燥し、汚れが無いことを確認し、ローラー刷毛を用いてプライマーを均一に塗布する。 施工は、5 以上の環境で行う。 塗布後は、雨や粉塵から養生する。 プライマーの指触乾燥を確認後、エポキシパテを用いて下地処理や断面補修の際に修正しきれなかった凹部、段差、穴等を修正する。 CFアンカーを貫通あるいは埋め込むための孔の位置が補強する部材際から10mmを超えて離れている場合にはこの隙間をエポキシパテ等で修正する。 施工は、5 以上の環境で行う。 施工図に基づき、炭素繊維シートの巻き付けあるいは貼り付け位置をコンクリート表面に墨出しする。 貼付ける炭素繊維シートの幅は、200mm以上(目付300g/m²の炭素繊維シート3層を200mm間隔のCFアンカーで定着する柱及び梁の補強においては250mm以上)、補強量はフープ方向の炭素繊維シート補強量の1/3以上とする。 含浸接着樹脂を十分含浸させながら接着する。 施工は、5 以上の環境で行う。 含浸接着樹脂の主剤と硬化剤をメーカーの表示の従い計量して混合する。 可使用時間の管理は時間を計ることを原則とする。 含浸接着樹脂の下塗り後、直ちに炭素繊維シートを貼り付け、一方から蹴や膨脹れが残らないように下地に密着させていく。その後、脱泡ローラーでよく押さえて含浸接着樹脂を十分に炭素繊維シートに含浸させる。 炭素繊維シートの重ね継手は、100mm以上とする。 炭素繊維シートの重ね継手位置は、分散するように0.5～0.7kg/m²、目付300gタイプで0.7～0.9kg/m²とする。 含浸接着樹脂の標準使用量は、目付200gタイプで0.5～0.7kg/m²、目付300gタイプで0.7～0.9kg/m²とする。 塗布後は、雨や粉塵から養生する。 施工は、5 以上の環境で行う。
3.8 プライマー塗布	
3.9 不陸修正	
3.10 墨出し	
3.11 炭素繊維シート貼付け(材軸方向)	
3.12 炭素繊維シート貼付け(せん断補強方向)	
3.13 CFアンカー取付け	

・CFアンカーは、取り付ける前に孔内に納まる部分及び貫通孔へ通す場合にはその両側20～30mm、埋込み孔へ固定する場合にはその片側20～30mmのみを含浸接着樹脂中に浸し、ゴムベラでたいたいで炭素繊維ストランド内部まで含浸接着樹脂を浸透させる。

・CFアンカーの定着長さは、200mm以上(目付300g/m²の炭素繊維シート3層を200mm間隔のCFアンカーで定着する柱及び梁の補強においては250mm以上)とし、扇状に広げ接着する。

・埋め込み型CFアンカーの埋め込み長さは、設計図書による。(壁の場合は150mm以上とする。)

・隣接するCFアンカーの扇の先端部分は、10mm以上重ね合わせる。

・CFアンカーを埋め込んだ穿孔部は、孔内全体にエポキシ樹脂が充填するように行う。

・貫通孔の場合には穿孔部の両端部表面から20mm以上までエポキシ樹脂パテ等で埋める。

・含浸接着樹脂の標準使用量は、埋込型24kタイプで0.35～0.55kg/(76本m)、閉鎖型24kタイプで0.40～0.60kg/(76本m)の範囲である。

・補強する部材際への穿孔が行なえず、かつ、部材際から孔までの間隔が10mmを超える場合には、補強する部材と孔との間をエポキシパテ等を用いて埋める。

・CFアンカー取り付け後は、雨や粉塵から養生する。

・施工は、5 以上の環境で行う。

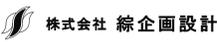
・必要に応じてモルタル塗り、ボード貼り、塗装等の仕上げを行う。

4. 品質検査	<ul style="list-style-type: none">施工開始前に各使用材料の品質を試験成績表で確認する。 品質検査の要否は、工事管理者と協議し決定する。 品質検査は、下表による。 工事管理チェックシートに基づく検査を行う。
---------	--

材 料	検査方法	判 定
CFアンカー(フォルカトウアンカー)	引張試験(JIS A1191準拠)	規格値以上であることをミルシートで確認
炭素繊維シート	引張試験(JIS A1191 準拠) <p>付着強度試験(JIS A6909 準拠)</p>	規格値以上であることをミルシートで確認

下記の事項について施工記録を作成し、監督員に提出する。 <p>1)作業工程 2)施工方法 3)天候 4)気温 5)湿度 6)品質検査記録 7)工事記録写真</p>	
---	--

1)資材・工具の使用法および保管方法を確認する。	
2)足場、路下等の作業環境を整備する。また、作業に応じて保護マスク・メガネ手袋、安全ベルト等の保護具の着用を義務づける。	
3)有機溶剤の使用時には、吸引事故の防止を心掛ける。特に閉空間での作業では、送風機やダクトによる強制換気を行う。また、足場材や養生シートが思わぬ閉空間を作ることがあるので注意する。	
4)プライマー・レジン・塗料等が皮膚に付着した場合には、石鹸水で洗い落とす。また、眼に入った場合には、直ちに大量の水で洗浄し、医師の診察を受ける。	
5)緊急連絡体制を整備し、施工計画に明記するとともに作業員に徹底させ、事故発生時に迅速な対応がとれるようにする。また、応急手当て方法や最寄りの病院も確認しておく。	

		業務名	鈴鹿工業高専機械工学科棟改修設計等業務				鈴鹿工業高等専門学校			工事名称	鈴鹿工業高専機械工学科棟改修その他工事	日付	総数					
記 事			 管理建築士 一級建築士(大匠) 第270315号 犬飼 和行				事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担 当	縮尺	番号					
							棟図	担当										

A3版の場合は50%縮尺とする

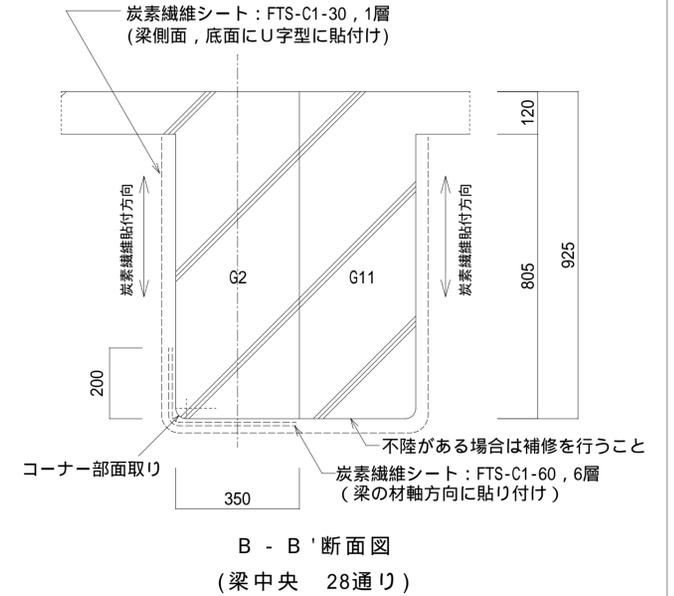
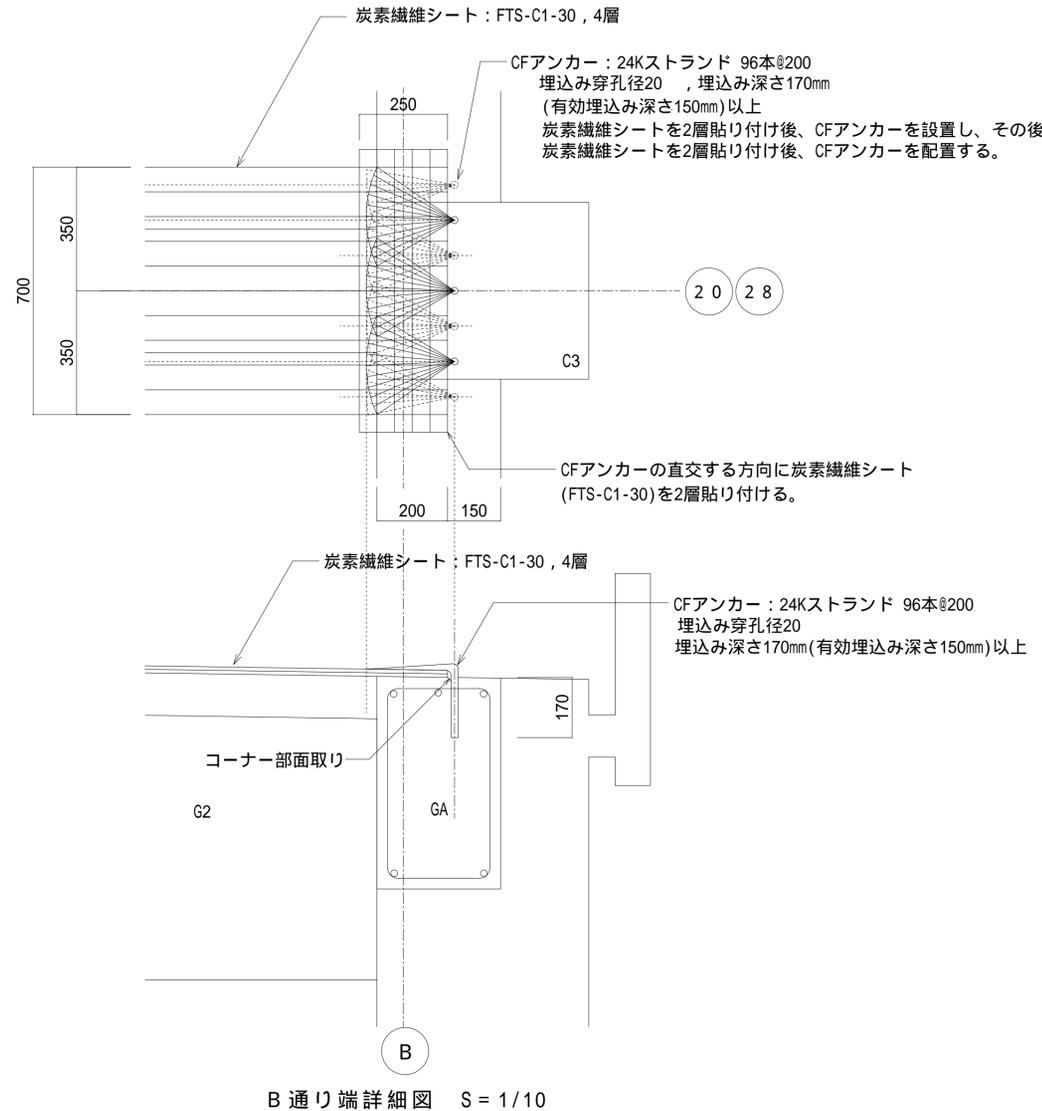
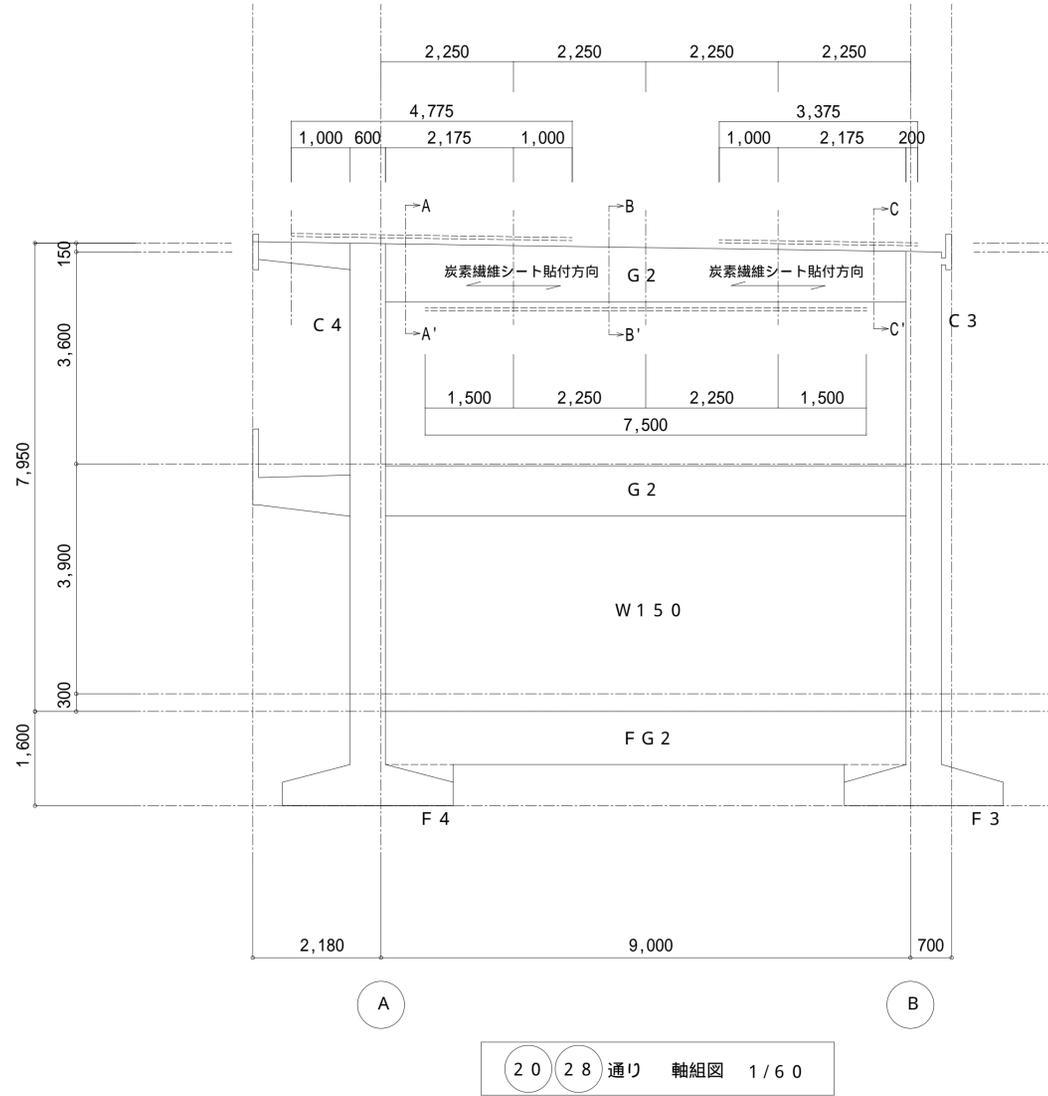
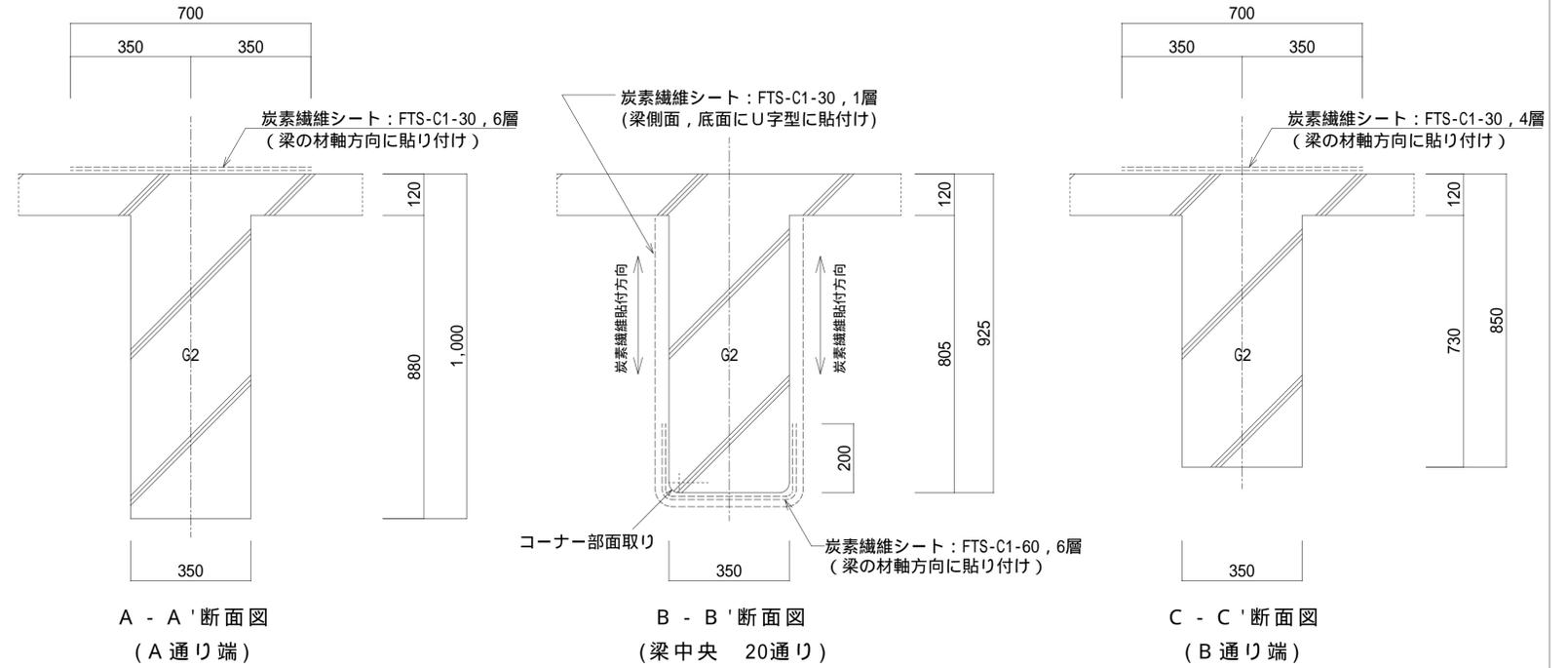
炭素繊維補強リスト

補強位置		補強材料	設計厚さ tcf (mm)	繊維目付 (g/m ²)	積層数 (層)	補強幅 Wcf (mm)	定着長さ Lcf (mm)	備考
A通り端	梁上面	炭素繊維シート(FTS-C1-30)	0.167	300	6	700	1,000	1
B通り端	梁上面	炭素繊維シート(FTS-C1-30)	0.167	300	4	700	1,000	2
梁中央	梁下面	炭素繊維シート(FTS-C1-60)	0.333	600	6	200 + 350 + 200	1,500	3

- 柱側への炭素繊維シートの定着は、跳ね出しスラブに必要な定着長を確保する。
- CFアンカー：24Kストランド，96本@200，埋込み穿孔径20，埋込深さ170mm(有効埋込深さ150mm)以上
 - B通り端の柱側は定着長が確保できないため、CFアンカーで定着耐力を確保する。
 - 炭素繊維シート2層ごとにCFアンカーを配置する。
- 炭素繊維ストランドシート貼り付け後、梁の側面・下面に炭素繊維シート(FTS-C1-30)を1層U字型に貼り付ける。

その他共通事項

- 大梁下の耐震壁を撤去する際は、小梁位置に強力サポートなどを設置し、炭素繊維シートを貼る前に大梁に荷重が作用しないようにする。なお、強力サポートを設置する位置の下階の大梁・小梁応力は施工前に確認すること。
- 大梁下の耐震壁を撤去した後、鉄筋の防錆処理、躯体の断面補修、下地処理を行ってから炭素繊維シートの施工を行うこと。
- 梁上面および梁下面の補強炭素繊維シートは、梁の材軸方向に貼り付ける。
- B通り端位置のCFアンカー設置範囲は、CFアンカーの直交する方向に炭素繊維シート(FTS-C1-30)を2層貼り付ける。
- 梁中央部の梁側面・底面のU字型に貼り付ける炭素繊維シートは、小梁に干渉する部分をCFアンカーで定着すること。



記 事	業務名	鈴鹿工業高専機械工学科棟改修設計等業務				鈴鹿工業高等専門学校				工事名称	鈴鹿工業高専機械工学科棟改修その他工事	日付	平成25年7月	総数	77 / 77		
	図面名称	株式会社 総企画設計 管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行				棟図	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	図面名称	大梁補強詳細図	縮尺	1/10.60	番号